上田市文化財調査報告書第39集

高　　田

高田遺跡緊急発掘調査概報

1991.3

上田市教育委員会
上小地方事務所

上田市文化財調査報告書第39集

高　　田

高田遺跡緊急発掘調査概報

1991.3

上田市教育委員会
上小地方事務所

序

長野県の東部、東信地区に位置する上田市の西部、川西地区小泉地籍は、東西に流れる浦野川を中心に往古から私たちの祖先が生活していた地域です。

昭和60年度から始まった当地区のほ場整備事業も今年度をもって一段落しましたが、この間の緊急発掘調査によってその一部が解明された、琵琶塚遺跡・大道下遺跡では縄文時代から平安時代に至る貴重な遺構・遺物が大量に出土し、当地域の歴史の解明に多大な影響を与えました。本年度の調査はこの2遺跡の所在する浦野川第2段丘から南に上がった第1段丘に所在する高田遺跡の調査を実施し、今回ここに御報告する次第です。

高田遺跡は奈良時代から平安時代、おおむね8～11世紀の遺跡です。この時期、上田市には信濃国分寺が建立され、創置の信濃国府が置かれていました。さらにこの地域には、当上田市にお住まいで、上田市文化財保護審議会長をお願いしている黒坂周平先生らの研究成果の大きい「延喜式東山道」の通過地区として注目されており、道路敷の遺構こそ検出されませんでしたが、この東山道が通っていた頃とも時期を同じくし、この遺跡調査は、奈良～平安時代の地域的な研究にとどまらず、これらの国家的大事業の研究に寄与でき得る成果を上げられたと思います。

現場調査は、記録的な猛暑にも関わらず、有力な調査補助員と作業員の皆さんの御尽力によって比較的円滑に進捗しました。このことはとりもなおさず、顧問や調査員をお引き受け下さった先生方をはじめ、長野県教育委員会文化課、上小地方事務所土地改良第一・二課、地元小泉地区自治会、同ほ場整備実行委員会の皆様の適切な御指導・御助力の賜物であります。関係各位に心より御礼申し上げ、序といたします。

平成3年3月25日

上田市教育委員会教育長　内　藤　　尚

例　　言

1　本書は長野県上田市大字小泉字高田における県営ほ場整備事業小泉地区に伴う、平成２年度高田遺跡発掘調査概報である。

2　調査は、上田市教育委員会が赤羽衆を調査団長として、高田遺跡発掘調査団を編成し、調査を委託して実施した。なお、事務局は上田市教育委員会社会教育課が担当した。

3　発掘調査は遺物整理、報告書刊行まで含めて1990年（平成2年）4月10日から1991年 3月25日まで実施した。この間の調査は調査団の指導のもと、主に中沢徳士が担当した。

4　SB－50に係る発掘・整理は主に長野県丸子実業高校地歴班の金箱教諭、塩入知紀が行った。

5　遺構の実測は猪熊啓司・中沢・川崎康子・大井敬子・小山倍子・山崎美津子が行い、一部を㈲写真測図研究所に委託した。トレースは市村みつ子が行った。

6　遺物の実測は中沢が、トレースは市村が行った。

7　本文の執筆は、第二章を塩入秀敏が、その他は中沢が行った。遺物の観察は中沢が行った。

8　版組は中沢・大井・市村・荒井かぎ子が行った。

9　遺構・遺物の写真撮影は中沢が行った。

10　本調査に係る基準点測量は㈲写真測図研究所に委託した。

11　遺物の接合作業は猪熊・中沢・大井・樋口真知子・市村が行い、石膏復元は樋口・清水閲二・西沢勝が行った。

12　本調査に係る資料は上田市教育委員会の責任下、上田市立信濃国分寺資料館に保管してある。

13　本書の編集刊行は事務局が担当した。

14　本調査にあたり次の皆さんにご協力、ご助言を賜った。記して感謝する次第である。（順不同、敬称略）

黒坂周平、長野県教育委員会文化課、小泉地区ほ場整備実行委員会、小泉自治会、上田市農村整備課、田宮きよ、尾見智志、小川忠博、上田市立清明小学校、長野県丸子実業高校地歴班

15　本調査に係る高田遺跡発掘調査団の組織は次のとおりである。

顧　　問	五十嵐幹雄（日本考古学協会員、上田市文化財保護審議会委員）
〃	岩佐今朝人（日本考古学協会員、上田小県誌考古編編纂副主任）
団　　長	赤羽　　衆（上田市教育委員会教育長・平成2年10月10日迄）
副 団 長	小林　陽三（上田市教育委員会教育次長）
調 査 員	塩入　秀敏（日本考古学協会員、上田女子短期大学助教授）

調　査　員　　猪熊　啓司（長野県長野高等学校教諭）
〃　　川上　　元（日本考古学協会員、社会教育課課長補佐文化係長）
〃　　倉沢　正幸（上田市立信濃国分寺資料館学芸員）
〃　　塩崎　幸夫（社会教育課主事）
〃　　久保田敦子（社会教育課主事）
〃（担当）　中沢　徳士（社会教育課学芸員）
事務局長　　三輪　善方（社会教育課長・平成２年４月３０日退任）
〃　　須藤　　清（社会教育課長・平成２年５月１日着任）
事務局次長　　川上　　元（社会教育課課長補佐文化係長）
事務局員　　塩崎　幸夫（社会教育課主事）
〃　　久保田敦子（社会教育課主事）
〃　　中沢　徳士（社会教育課学芸員・担当者）
〃　　小林香保利（社会教育課主事・平成２年５月１日着任）

16　発掘・整理作業に参加、協力していただいた方々（順不同、敬称略）

（調査補助員）川崎康子、大井敬子

間島亥三郎、西沢勝、竹内三郎、関茂樹、小山倍子、山崎美津子、成沢伯、清水芳敏、野田三雄、小山康直、宮崎四郎、竹内勇、竹内和好、田宮きよ、清水閲二、尾見英雄、塩入知紀、金箱芳明、柳沢仁美、岩下真、柴崎仁志、柴崎和美、市村みつ子、樋口真知子、窪田幸子、田中弥重子、小野沢恵美子、唐沢裕子、荒井かぎ子、小林明子、樋口若子、戸谷栄子、倉島長子、堀内節子

17　今回の発掘調査により、多くの遺構・遺物が検出された。遺構の完掘状況についてはすべて掲載したが、遺物出土状況等は除いた。また、遺物については整理の途中段階で、代表的なもの、残存状態が良いものを選択して報告した。

凡　　例

遺　構

1　竪穴住居址（SB－）、土壙（SK－）、掘立柱建物址（ST－）、ピット（P－）、溝址（SD－）、竪穴住居址のピット（P）の番号は任意である。

2　遺構の版組は国家座標の北を基準に行ったが、紙面の都合により例外もある。

3　遺構実測図は原則として原図1／20、縮尺1／4 を基本とした。なお、竪穴住居址の竈、遺物出土状況等、必要に応じて原図1／10、縮尺1／4とし、溝址は原図1／20、縮尺1／8 とした。

4　遺構が時代の新しい遺構によって、あるいは攪乱等によって破壊を受け、プランが明確でない場合は古い遺構を破線で示した。

5　竪穴住居址の主軸方位は、国家座標の北と竈を通る住居址の中軸線とのなす角度で示してある。

6　土壙、ピット、柱穴の規模は、（長軸×短軸×深さ）で示した。

7　遺構断面図の標高は、すべてm単位で示してある。

8　挿図中のスクリーントーンは次のとおり示した。

焼土　　炭化物

9　遺構写真図版の縮小は任意である。

遺　物

1　遺物実測図は原図1／1、縮尺1／4 とした。

2　土器の実測方法は4分割法を用い、右側1／2 に断面及び内面を、左側に外面を記録した。

3　黒色処理のある遺物はスクリーントーン　で示した。

4　箆削りの方向は ⟶ で示した。

5　法量は最大値を、すべてcmで示した。

6　出土遺物一覧表の器質は、胎土を「胎」、焼成を「焼」、色調を「色」と記載した。なお、色調は遺物の外面・内面の基本的な色調を農林省農林水産技術会議事務局監修・財団法人日本色彩研究所色票監修『新版標準土色帖』1990年を用いて判別した。

7　遺物番号は実測図版番号及び写真図版番号と一致している。

8　遺物写真図版の縮小は任意である。

本 文 目 次

序

例言

凡例

目次

第一章　序説 …… 1
　第1節　調査に至る経過 …… 1
　　1　経過 …… 1
　　2　発掘調査の計画 …… 1
　第2節　調査の経過 …… 2
　第3節　調査の方法 …… 3
　第4節　調査日誌（抄） …… 3

第二章　遺跡の環境 …… 7
　第1節　自然的環境 …… 7
　第2節　歴史的環境 …… 7

第三章　調査の結果 …… 11
　第1節　検出された遺構 …… 11
　　1　概要 …… 11
　　2　竪穴住居址 …… 12
　　3　掘立柱建物址 …… 35
　　4　土壙 …… 46
　　5　ピット …… 48
　　6　溝址 …… 69
　　7　遺構一覧表 …… 73
　第2節　出土した遺物 …… 85
　　1　概要 …… 85
　　2　竪穴住居址 …… 86
　　3　土壙 …… 108
　　4　溝址 …… 110
　　5　出土遺物一覧表 …… 111

写真図版

あとがき

本 文 目 次

序

例言

凡例

目次

第一章　序説 …… 1
　第１節　調査に至る経過 …… 1
　　1　経過 …… 1
　　2　発掘調査の計画 …… 1
　第２節　調査の経過 …… 2
　第３節　調査の方法 …… 3
　第４節　調査日誌（抄） …… 3

第二章　遺跡の環境 …… 7
　第１節　自然的環境 …… 7
　第２節　歴史的環境 …… 7

第三章　調査の結果 …… 11
　第１節　検出された遺構 …… 11
　　1　概要 …… 11
　　2　竪穴住居址 …… 12
　　3　掘立柱建物址 …… 35
　　4　土壙 …… 46
　　5　ピット …… 48
　　6　溝址 …… 69
　　7　遺構一覧表 …… 73
　第２節　出土した遺物 …… 85
　　1　概要 …… 85
　　2　竪穴住居址 …… 86
　　3　土壙 …… 108
　　4　溝址 …… 110
　　5　出土遺物一覧表 …… 111

写真図版

あとがき

第一章　序　　説

第1節　　調査に至る経過

1　経過

平成元年７月７日 元教文第１３０号	平成２年度の農業基盤整備事業等に係る埋蔵文化財の保護について（通知） （発）県教委教育長（受）市教委教育長
平成元年７月13日 事　務　連　絡	平成２年度の農業基盤整備事業等に係る埋蔵文化財の保護について（照会） （発）市教委社会教育課長（受）市農村整備課長、土地改良課長 平成元年７月７日付元教文第130号通知に関する照会
平成元年８月２日 上教社発第176号	平成２年度の農業基盤整備事業等に係る埋蔵文化財の保護について（回答） （発）市教委（受）上田教育事務所長 平成元年７月７日付元教文第130号通知に関する回答
平成元年９月18日	平成２年度農業基盤整備事業等に係る埋蔵文化財の保護協議 （出席）県教委、上小地方事務所、市、市教委の担当課担当職員 ２年度施工地区内の試掘調査を実施し、その結果を待って再度協議する。
平成元年10月16日 ～10月18日	２年度施工地区内の試掘調査 字高田地籍高田堰南側に約1,000㎡の遺跡の存在を確認。北側は調査不能。
平成２年３月９日	平成元年度及び2年度県営ほ場整備事業小泉地区・殿城地区に係る埋蔵文化財の保護協議(出席)県教委、上小地方事務所、市、市教委の担当課担当職員

2　発掘調査の計画

発　掘　調　査　地	上田市大字小泉	遺　　跡　　名	高田遺跡
遺　跡　の　状　況	地目（水田）、破壊状況（一部破壊）		
発掘調査の目的及び概要	県営ほ場整備事業小泉地区に先立ち1,000㎡以上を発掘調査して記録保存をはかる。遺跡における発掘作業は平成２年５月31日までに終了する。調査報告書は平成３年３月31日までに刊行するものとする。		
調査に要する費用	4,000,000円	調査報告書作製部数	300部
発掘調査の主体者	上田市教育委員会		
経費の負担割合	上小地方事務所　2,900,000円（72.5%） 上田市　1,100,000円（27.5%＝農家負担分）		
備　　考	調査の結果、重要な遺構などが検出されたときは、その保存について改めて協議するよう配慮する。		

第２節　　調査の経過

平成２年４月１日 上教社発第７６号	埋蔵文化財の発掘調査について（届出） （発）上田市教育委員会教育長（受）上田教育事務所長
平成２年４月４日 庁保伝第７号	平成２年度文化財関係国庫補助事業の内示について（通知） （発）文化庁（経由）長野県教育委員会教育長（受）上田市教育委員会
平成２年４月４日 ２教文第２号	平成２年度文化財保護事業県補助金の内示について（通知） （発）長野県教育委員会教育長（受）上田市教育委員会
平成２年４月５日 2上小地土第49号の3	県営ほ場整備事業小泉地区施工に伴う埋蔵文化財の発掘調査について（依頼）（発）上小地方事務所長（受）上田市長
平成２年４月10日	委託契約成立（委託者）上小地方事務所長（受託者）上田市長 （内容）高田遺跡発掘調査（期間）平成２年４月10日～平成３年３月25日 （金額）2,900,000円（報告書）300部
平成２年４月16日	委託契約成立（委託者）上田市長（受託者）高田遺跡発掘調査団長 （内容）高田遺跡発掘調査農政部局負担分（期間）平成２年４月10日～平成３年３月25日（金額）1,500,000円
平成２年４月16日	委託契約成立（委託者）上田市長（受託者）高田遺跡発掘調査団長 （内容）高田遺跡発掘調査文化財保護部局負担分（期間）平成２年４月10日～平成３年３月25日（金額）2,991,000円平成２年４月18日現場調査着手
平成２年４月25日	昨年度試掘調査ができなかった高田堰北側にトレンチを入れたところ、遺跡が段丘の北端まで広がっていることが判明する。
平成２年６月２日 上教社発第118-1号	国宝重要文化財等保存整備費補助金交付申請書提出 （発）上田市長（受）上田教育事務所長
平成２年６月12日	２年度県営ほ場整備事業小泉地区・殿城地区に係る埋蔵文化財の保護協議 （出席）県教委、上小地方事務所、市、市教委の担当課担当職員 調査面積3,000㎡以上、調査に要する費用12,000,000円、経費の負担割合上小地方事務所8,700,000円上田市3,300,000円に変更
平成２年８月10日 上教社発第173号	文化財保護事業補助金交付申請書提出 （発）上田市長（受）上田教育事務所長
平成２年９月17日	現場調査終了
平成２年11月20日 上教社発第241号	発掘調査終了届 （発）上田市教育委員会教育長（受）上田教育事務所長
平成２年11月21日 上教社発第242号	拾得届（埋蔵文化財保管証添付） （発）上田市教育委員会教育長（受）上田警察署長
平成２年８月27日	平成２年４月10日契約の変更委託契約
平成２年10月１日	平成２年４月16日契約の変更委託契約
平成２年３月25日 上教社発第84-2号	高田遺跡発掘調査事業の結果について（報告） （発）上田市長（受）上小地方事務所長
平成２年３月25日 上教社発第84-1号	国宝重要文化財等保存整備事業の実績報告書について（提出） （発）上田市教育委員会教育長（受）上田教育事務所長

第3節　調査の方法

遺跡名は長野県教育委員会作成の遺跡台帳に記載されている「高田遺跡」とした。また、記録の便宜を図るため、遺跡記号としてTa－Ka－DaのTKDを組み合わせて与えた。各種の記録や遺物の注記等はこの記号を用いている。

調査区の設定については、トレンチ調査により遺跡の範囲を確認し、ほ場整備の設計図と照らし合わせて、現状保存が難しい箇所を中心に設定した。表土の排除はそのほとんどをバックホーにより、その後の遺構検出～遺構掘りは人手によった。調査の方法はグリッド方式を用い、遺物の取り上げ、遺構測量に利用した。このグリッドについては、国家座標のメッシュに従い、遺跡周辺の三角点の座標値から基準点を遺跡に引っ張り設定した。グリッドは、3m×3mで、調査区の東から西にA、B、C、D……とアルファベット順に、南から北に1、2、3、4……と番号順に付し、その組み合わせによってグリッド番号を与えた。

なお、遺跡の基準点は、A－10グリッド、X＝42,444.000、Y＝ -27,636.000、標高 461.555mであり、上田地区は国家座標第Ⅷ量系に属している。

第4節　調査日誌（抄）

1990年（平成2年）

4月18日　調査着手。バックホーにより表土の除去を行う。

4月19日　テントの設営、発掘機材の搬入を行う。午後から遺構検出作業にかかる。

4月21日　基準点測量着手。

4月25日　グリッド杭打ちを始める。高田堰の北側にトレンチを入れたところ、遺跡が段丘北端まで広がっていることが確認される。

5月7日　SK－03が井戸址であることが確認される。

5月11日　SB－08覆土から鉄鏃出土。

5月18日　SD－06A区から土器片が集中して出土する。SD－05から緑釉陶器出土。

5月28日　P－431から柱根出土。

6月8日　SD－06C区から石組遺構検出。

6月12日　県教委文化課児玉指導主事ほか4名来訪。

6月19日　高田堰北側調査区の表土剥ぎをバックホーにより開始する。

6月28日　高田堰北側調査区の配り図作成

7月5日　高田堰北側調査区のピット、土壙を掘る。

7月23日　丸子実業高校地歴班の金箱教諭・塩入の2名が本日より参加。SB－50の調査実施。

7月24日　長野高校猪熊教諭が本日より参加。

7月30日　SB－39東南隅から土師器坏が集中して出土する。

8月9日　丸子実業高校地歴班担当のSB－50完掘。

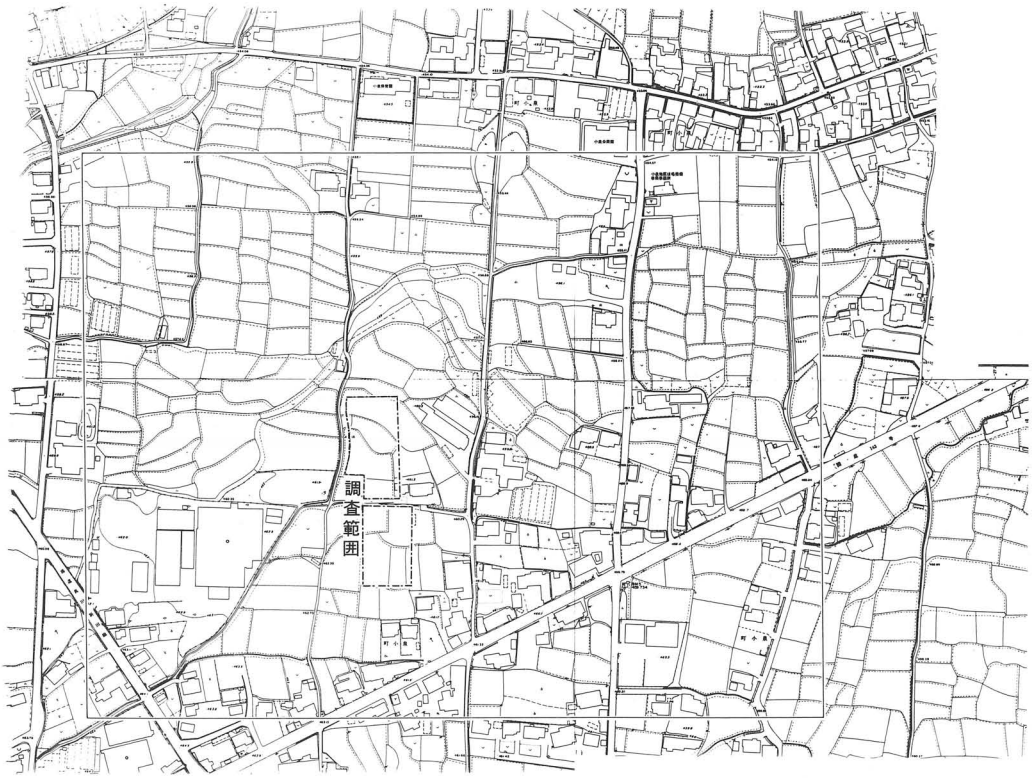
8月11日

～16日　盆休み

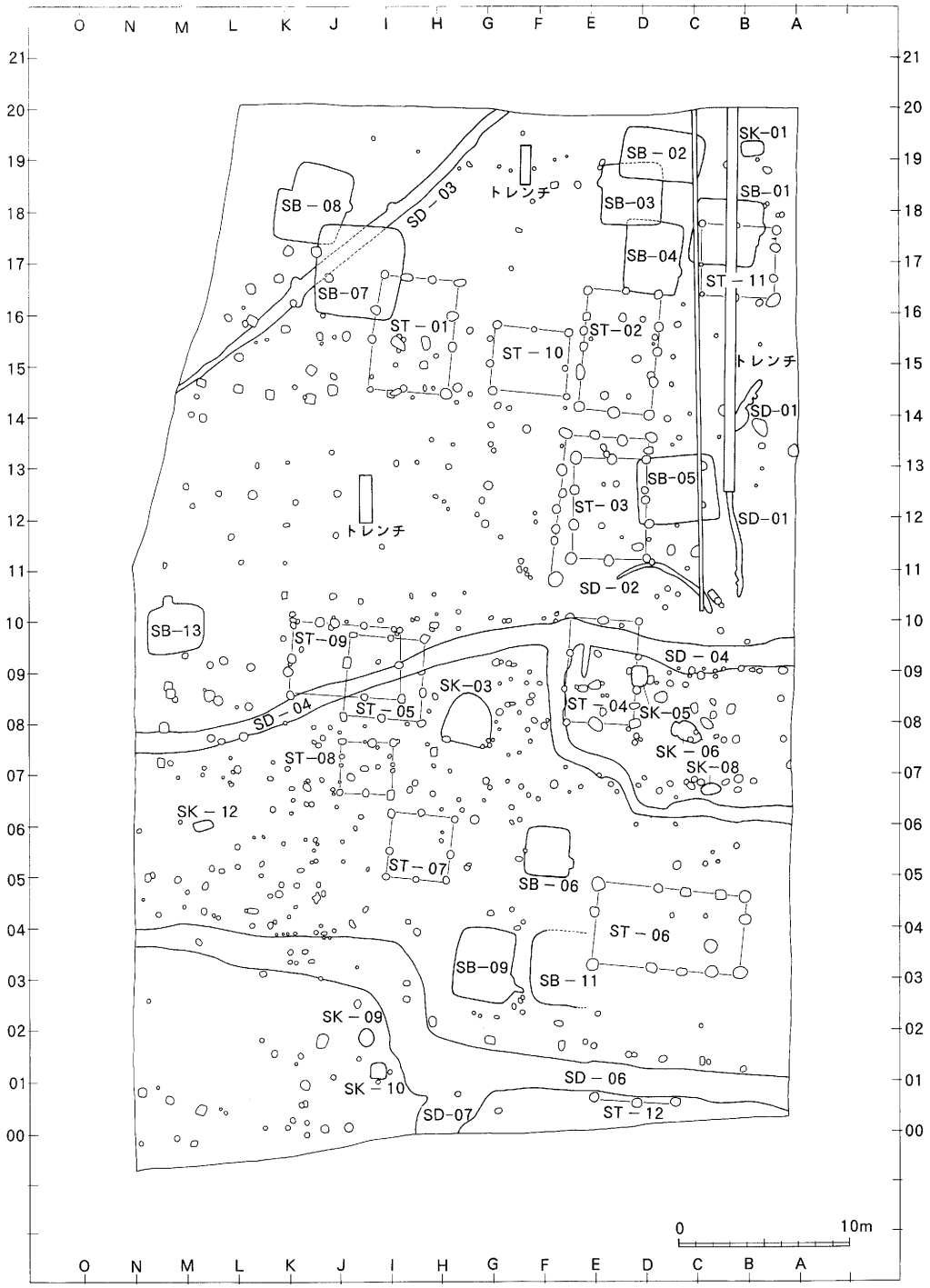
9月10日　航空写真撮影に備え、遺構に白線入れ作業を始める。

9月13日　発掘機材等撤去。雨のため、航空写真撮影中止。この後、雨が数日降り続き、結局撮影できなかった。

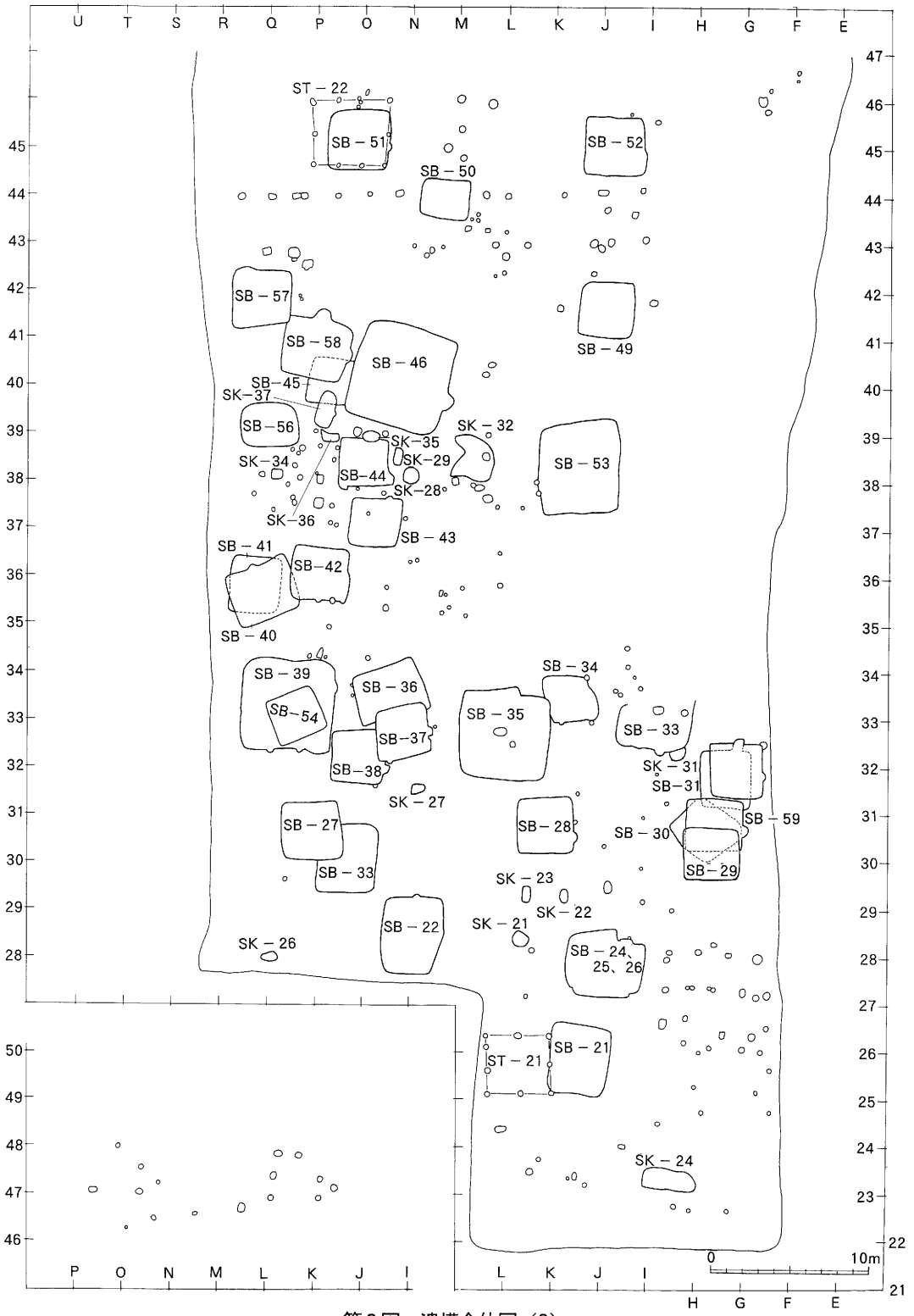
この後、小泉ほ場整備実行委員会事務所で土器洗いをした後、埋蔵文化財整理室にて遺物整理作業、報告書作成作業を行い、平成3年3月25日本書を刊行して調査を終了した。



第1図　調査の範囲


O N M L K J I H G F E D C B A
21 20 19 18 17 16 15 14 13 12 11 10 09 08 07 06 05 04 03 02 01 00
SK-01
SB－02
SB-01
SB－08
SD－03
トレンチ
SB-03
SB-04
ST－11
SB-07
ST－01
ST-02
ST－10
トレンチ
SD-01
SB-05
ST－03
SD-01
トレンチ
SD－02
SB-13
ST-09
SD－04
SK-03
ST－05
ST－04
SK-05
SD－04
SK－06
ST-08
SK-08
SK－12
ST－07
SB－06
ST－06
SB-09
SB－11
SK－09
SK－10
SD－06
SD-07
ST－12
0
10m

第2図　遺構全体図（1）


ST－22
SB－51
SB－52
SB－50
SB－57
SB－58
SB－46
SB－49
SB－45
SK－37
SB－56
SK－35
SK－32
SK－34
SK－29
SB－44
SB－53
SK－28
SK－36
SB－43
SB－41
SB－42
SB－40
SB－39
SB－36
SB－34
SB－54
SB－35
SB－37
SB－33
SB－38
SK－31
SB－31
SK－27
SB－59
SB－27
SB－28
SB－30
SB－33
SB－29
SK－23
SK－22
SK－21
SB－22
SK－26
SB－24、25、26
SB－21
ST－21
SK－24
0
10m

第3図　遺構全体図（2）

第二章　環　　境

第1節　　自然的環境

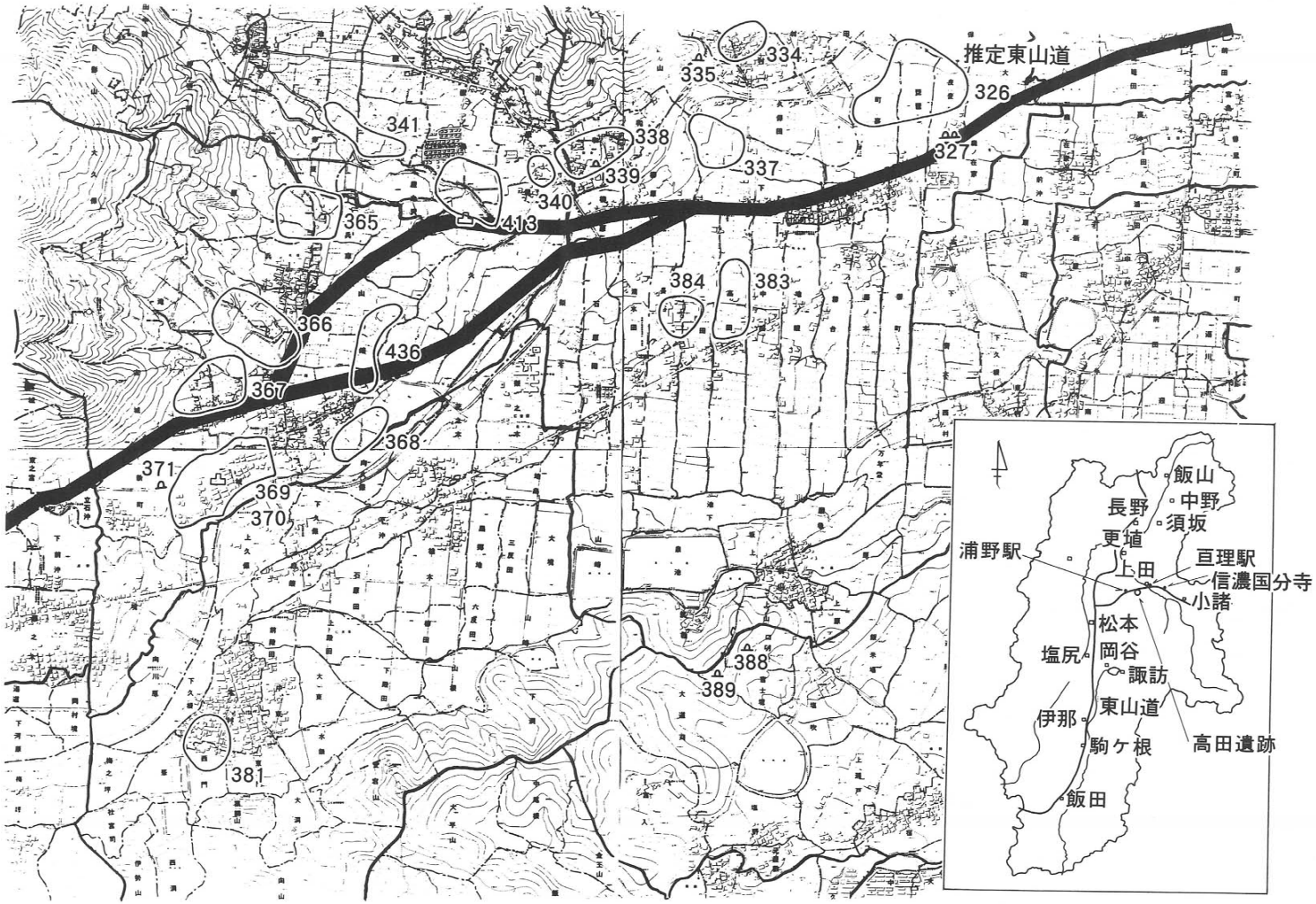
長野県東部に位置する上田盆地の南西部は、塩田地区と川西地区に二分される。塩田地区が盆地性で塩田平と呼ばれているのに対して、川西地区は浦野川が形成した谷平野と室賀谷を中心として形成される地区である。浦野川は、上田小県地方では依田川・神川に次ぐ大河川で、小県郡青木村の大明神岳（1232m）、二ツ石岳（1535m）、御鷹山（1623m）、大沢山（1440m）、子檀嶺岳（1223m）などを源とする相染川、宮渕川、滝川、田沢川などを集めながら東北流し、中流域で阿鳥川・室賀川が合流し、下流域に至ってさらに産川を合流して上田市下之条で千曲川に注ぐ。上流域の青木村沓掛あたりですでに谷平野を形成し始め、その幅は青木村中心部付近で約400m、上田市浦野で約900m、同吉田で約1000mをはかる。また河岸段丘もよく発達し、中下流域では2段を認めることができる。

今回ほ場整備事業に先立って発掘調査された高田遺跡は、浦野川が形成した谷平野の最も幅の広い地帯である上田市大字小泉の字高田に所在し、浦野川が北寄り山麓沿いに流れる地域の谷平野中央部に位置する。一帯は谷平野とはいっても、西から東へ、また南から北へ緩やかな傾斜をなしている。北側に名勝岩鼻から三ツ頭山（922m）につらなる城山（933m）の山塊が屹立して北風をさえぎり、また南側には塩田平と画する丘陵状の小尾根が存在するのみで、日照まことによく温暖で、その上、全国でも有数の寡雨地帯であるため、浦野川以外に洪水を惹起するような河川もなく、さしたる自然災害は考えにくい絶好の生活環境であると言える。

高田遺跡は、この緩斜面の約7,000㎡にわたって広がり、海抜は約450mをはかる。

第2節　　歴史的環境

浦野川流域で人類が足跡を残した最も古い地点として認められるのは、約7000年前の縄文時代早期後葉茅山式期の土器を出土した室賀谷の奥の谷鬼（やぎ）遺跡である。地形などからより古い時期の遺跡が発見される可能性はあるが、現在の時点ではこれを遡る時期の遺跡は確認されていない。縄文時代はその後の全期を通して遺跡が存在するが、中期後半に遺跡数が最も増加する傾向がみられる。後晩期には数的には減少するものの、高田遺跡の北方約600mには、平成元年に行われた発掘調査により中期後半から後期前半にかけての4軒の敷石住居址や2基の石棺墓などが検出された大道下遺跡があり、また、西南西約2.5㎞には昭和55年の発掘調査の結果、後期後葉加曽利B式期～晩期中葉大洞C_2式期の遺物を出土し、上田市内でも数少ない該期遺跡の中でも最も優秀な遺物を出土したことで知られている下前沖遺跡がある。



第４図　高田遺跡周辺の歴史地図

遺跡番号	遺跡名	時代	所在地	備考
326	琵琶塚遺跡	弥生～平安	小泉字琵琶塚・町裏	昭和61～62年度調査
327	琵琶塚古墳	古墳	〃	
334	旗鉾遺跡	縄文～平安	小泉字旗鉾	
335	鍛冶山古墳	古墳	小泉字鍛冶山	
337	大道下遺跡	縄文～平安	小泉字大道下	平成元～2年度調査
338	和合遺跡	〃	小泉字和合	
339	将軍塚古墳	古墳	〃	
340	岳之里遺跡	平安	下室賀字岳之里	
341	岳之鼻遺跡	縄文～平安	下室賀字岳之鼻	
365	原遺跡	縄文・平安	岡字原	
366	滝遺跡	〃	岡字滝	
367	古城遺跡	平安	岡字古城	
368	久保遺跡	〃	岡字久保	
369	岡城跡	近世	岡字城	一部上田市指定史跡
370	城遺跡	平安	〃	
371	城古墳	古墳	〃	
381	本村遺跡	平安	仁古田字本村	
383	高田遺跡	奈良・平安	小泉字高田	今回調査
384	長谷田遺跡	弥生	小泉字長谷田	
388	口明塚古墳	古墳	保野字口明塚	
389	富士塚古墳	古墳	保野字富士塚	
413	山崎城跡	近世	岡字山崎	
436	山崎遺跡	平安	〃	

第1表　高田遺跡と周辺遺跡一覧表

弥生時代の遺跡としては、青木村を含め10をわずかに上回る数の遺跡をあげることができるだけで、それも後期後葉箱清水式期の小遺跡が多い。その中にあって、高田遺跡の東北方約500mの琵琶塚遺跡は昭和61・62年にわたり発掘調査され、23軒の住居址が検出された大遺跡で、この谷平野のみならず上田小県地方を代表する遺跡となった。また、平成元年に発掘調査された大道下遺跡からも多くの該期住居址が検出され、浦野川の右岸河岸段丘崖沿いに大きな遺跡が展開する様子が明らかにされた。琵琶塚遺跡からは東海地方西部に中心をもつS字口縁台付甕形土器が出土しており、弥生時代から古墳時代にかけての端境期の遺跡としても重要である。S字口縁台付甕形土器は青木村の岡石遺跡からの出土も知られている。また、琵琶塚遺跡からは近畿地方や北陸地方の影響を受けた土器もかなりの量で出土した。

古墳時代の遺跡は古墳の数に比して意外に分かっていない。湮滅したものも含め19基を数える古墳の内、室賀谷の神宮寺古墳、青木村の塚穴古墳が調査された。ともに両袖式の横穴式石室をもつが、前者は直線的な羽子板型石室を、後者は胴張りの石室を有する。特に後者の副葬品は勾玉・切小玉・ガラス小玉・耳環等の装身具が見事である。また、西北方約500mの和合将軍塚古墳は礫槨をもつ竪穴式石室墳と推測され、かつて鉄剣2口が出土したと伝える。北方700mの日向小泉には日向小泉1～5号墳など6基の円墳が存在し、当地区唯一の群集墳として注目される。さらに、東北方1.5㎞に、すでに畑化して湮滅してはいたが人物埴輪・円筒埴輪を出土した八幡山古墳がある。これらの古墳は、やや古いと考えられる和合将軍塚古墳は例外として、その他のほとんどは後期後葉～終末期に比定され、6世紀末～7世紀代に築造されたものである。和合将軍塚古墳が竪穴式石室墳としてそのまま認められるならば、6世紀前葉以前にはすでに相当の権力の集中があり、その後は少々分散するものの継続して権力の存在をみることができると考えられる。浦野川谷平野の最も広い地帯を経済基盤に築かれた古墳なので、対応する集落遺跡の解明がまたれる。

奈良・平安時代に至ると、集落数が急増する。技術の進歩により灌漑用水路の開鑿や水田の開発が急激に進んだ結果であり、水田化可能な谷平野はおろか、戦後開拓の手が入った室賀谷奥の谷鬼の地にも約1000年前にすでに開拓者が入り込んでいる。8世紀には上田に信濃国府、次いで信濃国分僧寺・同尼寺が置かれ、東山道も保福寺峠越えでこの谷平野を通っており、その通過地点については諸説があるが、最近では谷平野の真ん中を一直線に通ったと言われている。そうすると、高田遺跡は東山道に直接面した集落であったとも考えられる。また、信濃16の勅旨牧の一つ塩原牧も近くにあり、牧に関する数多くの地名等はその事実を如実に物語る。『日本霊異記』に登場する「跡目郷」の「他田舎人蝦夷」は、信濃国造氏につながるものと思われるが、塚穴古墳や塩原牧とも何らかの関係があったとも考えられよう。川西地区は『和名類聚抄』の小県八郷の内の「福田郷」であり、一部分「跡部郷」にも含まれると思われるが、今ならば超一級国道ともいうべき東山道沿いで中央の文物も入りやすく、当時としては開けた土地だったろう。古代末に比定される小泉条里的遺構は、今に残るその名残の一つであると言えよう。

第三章　　調査の結果

第1節　　検出された遺構

1　概要

今回の調査で検出された遺構は、竪穴式住居址47軒、土壙22基、溝址7基、ピットにより構成される掘立柱建物址14基にのぼる。

竪穴式住居址では、SB－30、36、40、54を除いては、主軸方向をほぼ南北に持ち、平面形態は概ね隅丸（長）方形を呈している。壁高も10cm前後の浅いものが多いが、SB－45、46は、30cm以上あり、当遺跡の中ではとくに深い数値を示している。

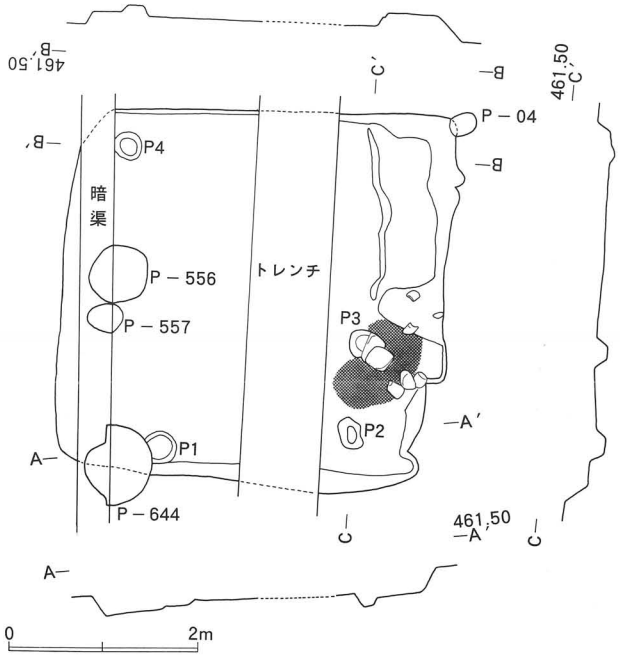
竈は北壁もしくは東壁に設けている。SB－58では北壁と東壁双方に竈が検出されており、おそらく、北壁竈が何等かの都合で不都合となり、東壁に移築したものと思われる。遺跡が段丘上に位置し、北・西風が強いことが、竈の位置に影響を与えている。竈の形態は、遺存状態が必ずしも良好でなかったため、細部については不明な点が多いが、タイプとしては、住居の壁から張り出して作るものと、壁のラインを乱さずに、竪穴内部に設けるものに分類されよう。煙道についてはまったく検出されていない。基本的には石組竈が多いと思われ、住居の廃絶時、もしくは廃絶後に石を抜き取った形跡の残るものがある。こんな中でも、SB－21で検出された竈は、残存の状態も良く、また、余熱を利用したと思われる施設を、燃焼室に付して配置している点注目される。

SB－24、25、26については、住居の切り合いの関係がプラン検出時に掴めなかったこと、出土遺物が極端に少なく、また、時期の前後差がほとんど無いこと、床の高さがほぼ同じだったこと等により、遺構の前後関係が遂に判明しなかったため、一括図示した。ただ、竈が2基検出され、SB－24の竈がSB－25の竈に切られていることだけは判明している。

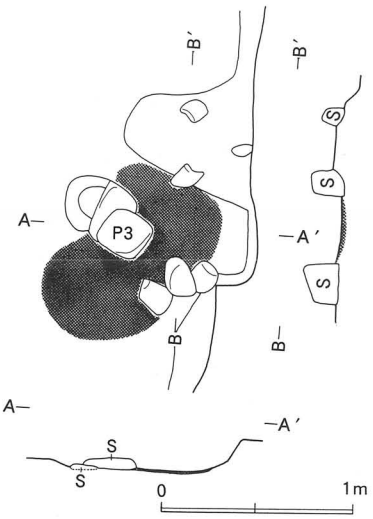
掘立柱建物址群は今回の調査の最も注目されるべき遺構である。しかも、高田堰の南側に集中し、主軸方位がほぼ一致している。中でも、ST－06は5×3間の当地方でも有数の大型の側柱建物址である。また、ST－02、03、04の並びやST－03を囲む塀、ST－04の総柱の建物址など、大型の建物が並ぶ点、今後の研究の課題として提示したい。その他にもピットの並びで、あるいは建物址が想定されるものもあったが、ピットの形態や深さなどで、想定を控えたものが多々ある。特に、43と44グリッドの間に直線に並ぶピットは、あるいは塀の可能性もあるが、平面形態が円形のものと方形のものが混在しているため、遺構として提示することは差し控えた。

この他、SD－06は、意図的な屈曲や、調水施設の存在など、自然の流路ではない。SK－03の井戸址とあいまって、高燥な水の便の悪い当地区に居を構えた先人の苦労が窺われると共に、なぜこの様な、生活に不可欠な水に苦労する地を選定せねばならなかったのであろうか。

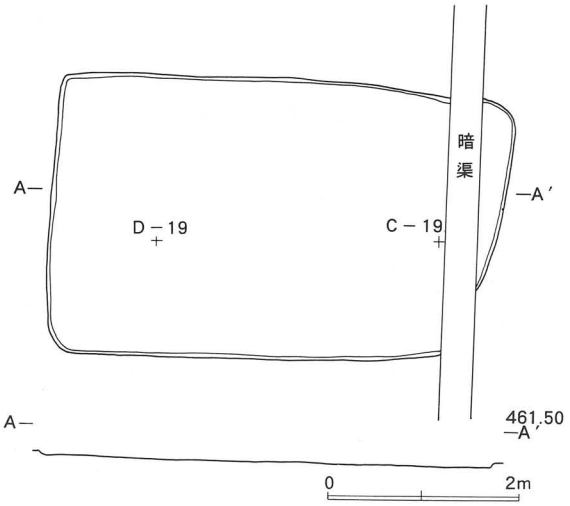
2　竪穴住居址



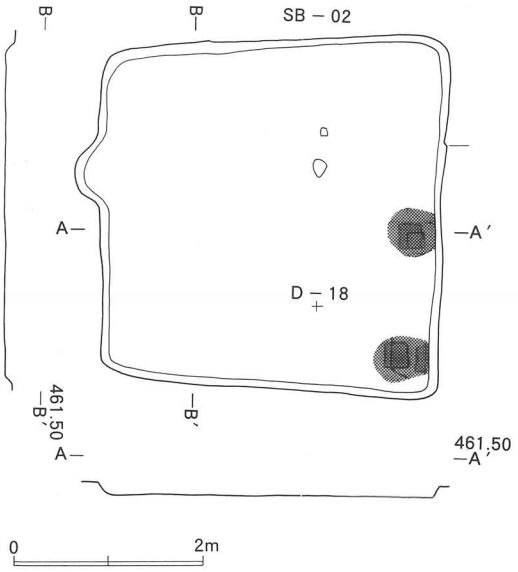
第5図　第1号住居址実測図



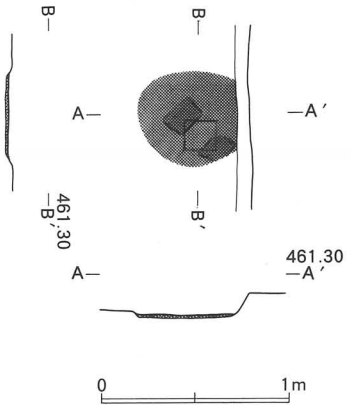
第6図　第1号住居址竈実測図



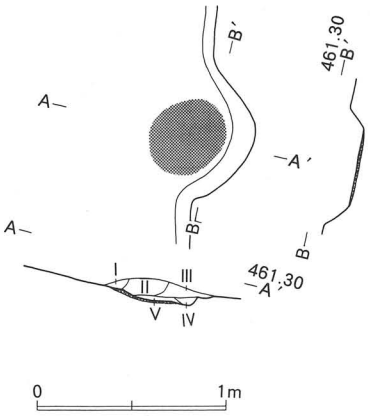
第7図　第2号住居址実測図



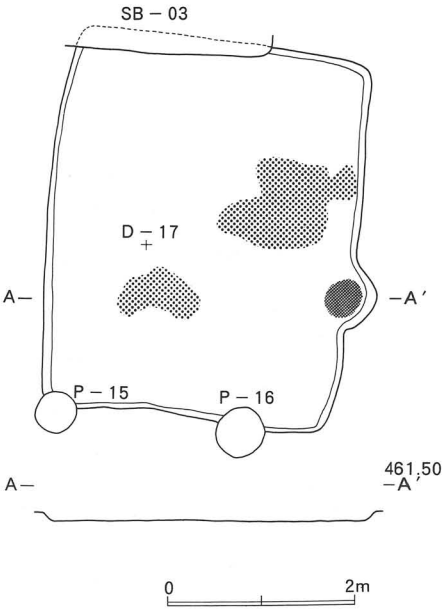
第８図　第３号住居址実測図



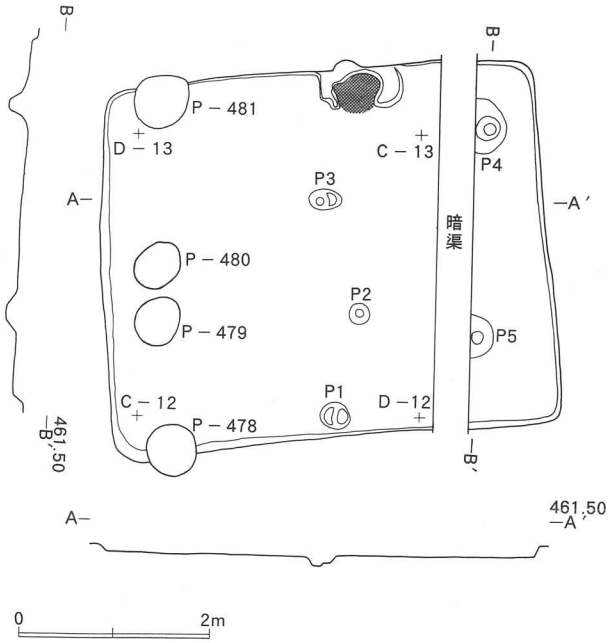
第９図　第３号住居址竈実測図



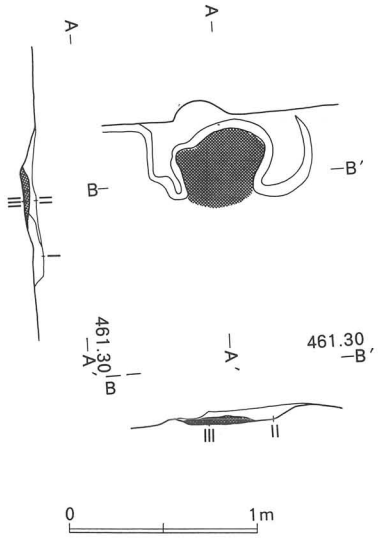
第10図　第４号住居址竈実測図



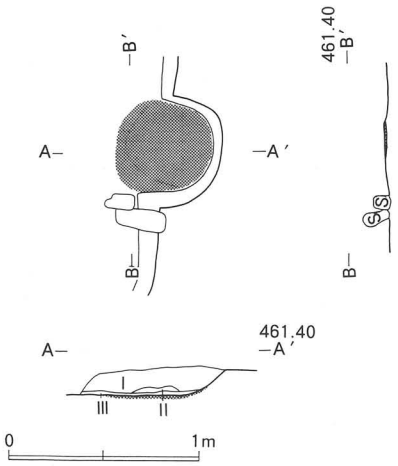
第11図　第４号住居址実測図



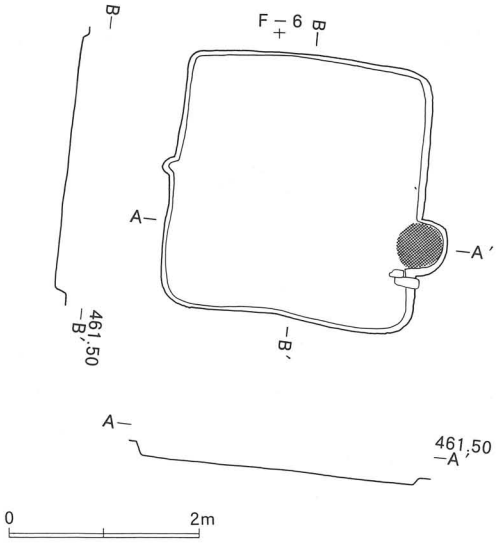
第12図　第5号住居址実測図



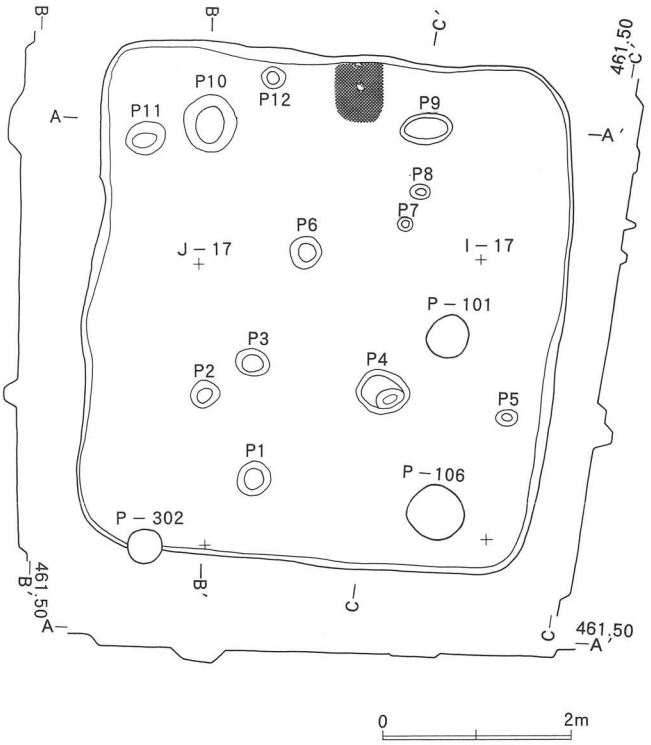
第13図　第5号住居址竈実測図



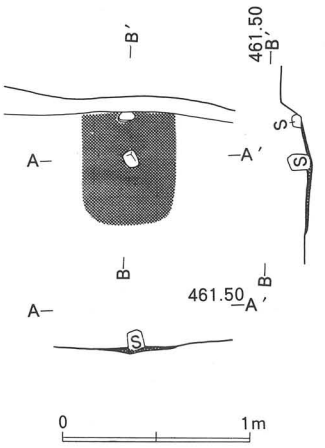
第14図　第6号住居址竈実測図



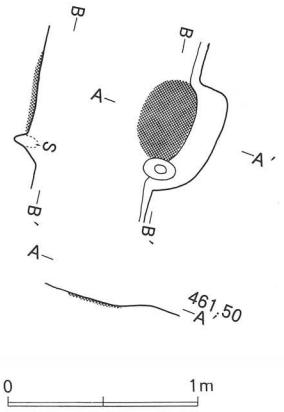
第15図　第6号住居址実測図



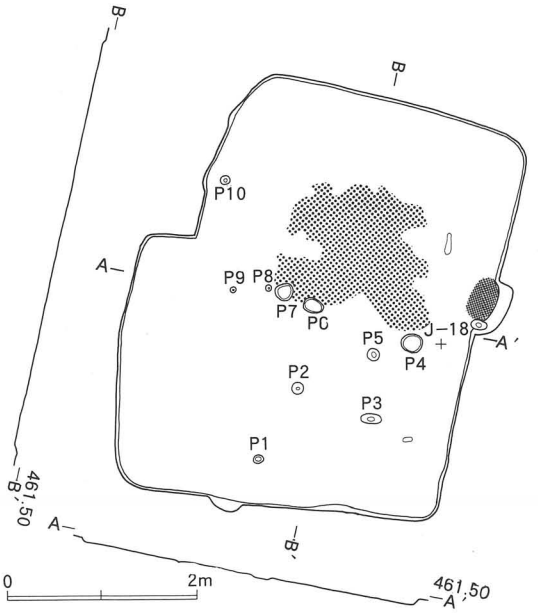
第16図　第7号住居址実測図



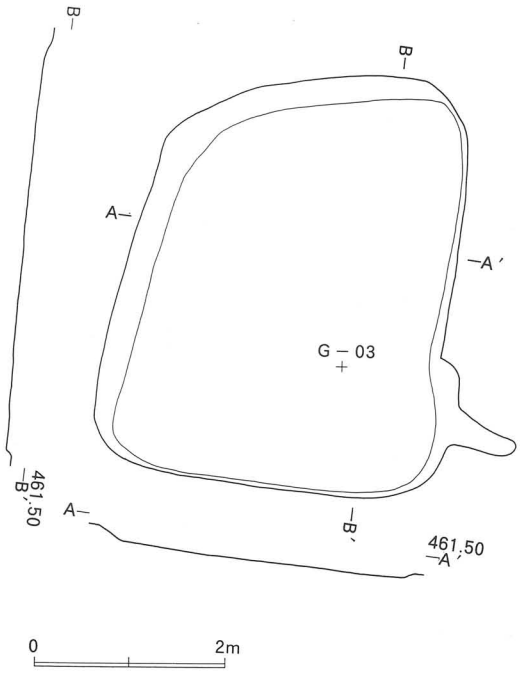
第17図　第7号住居址竈実測図



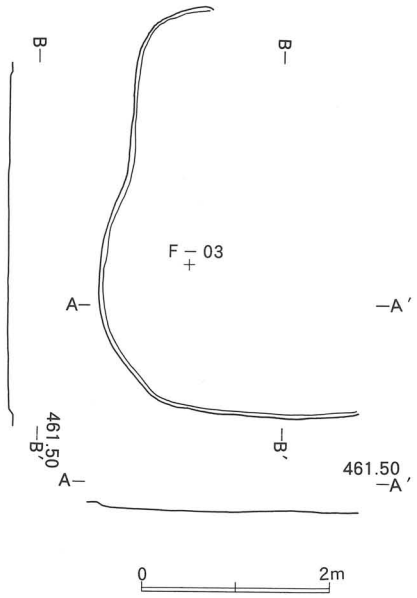
第18図　第8号住居址竈実測図



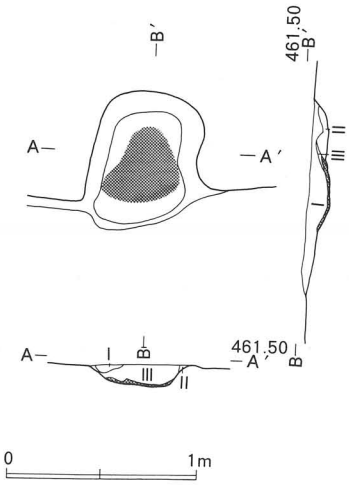
第19図　第8号住居址実測図



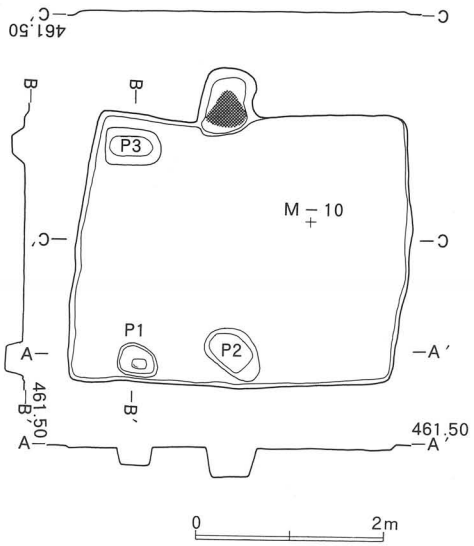
第20図　第9号住居址実測図



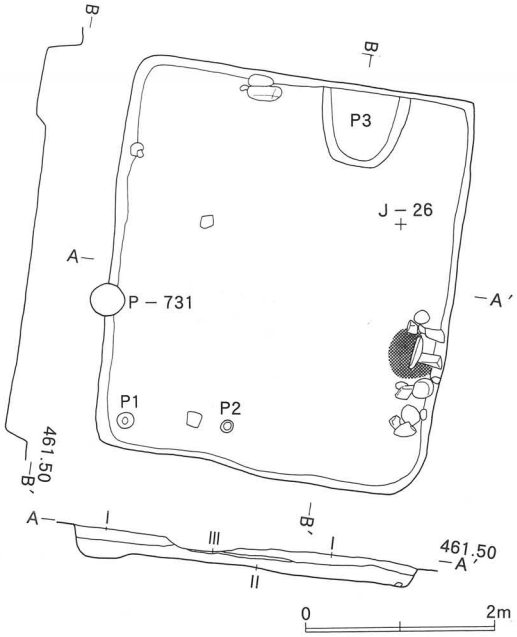
第21図　第10号住居址実測図



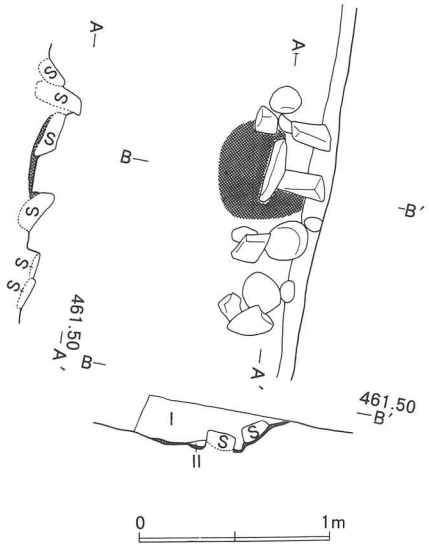
第22図　第13号住居址竈実測図



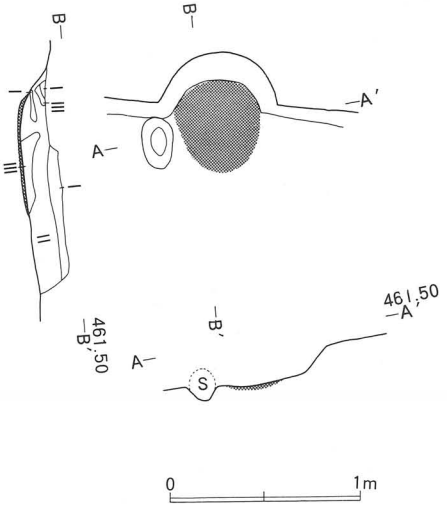
第23図　第13号住居址実測図



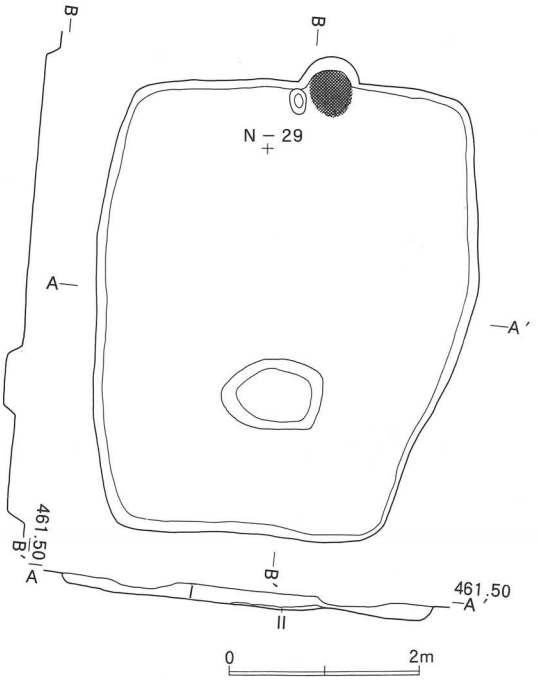
第24図　第21号住居址実測図



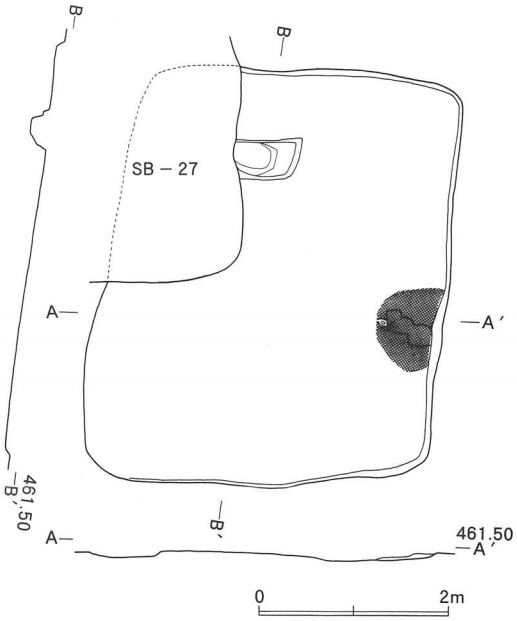
第25図　第21号住居址竈実測図



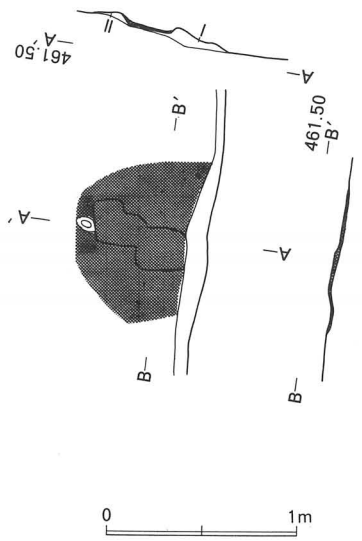
第26図　第22号住居址竈実測図



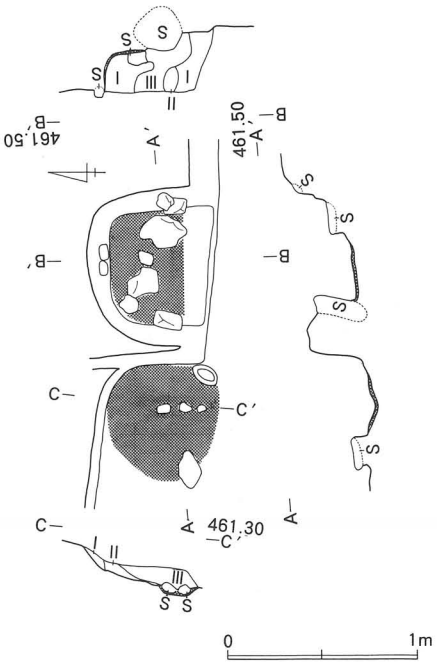
第27図　第22号住居址実測図



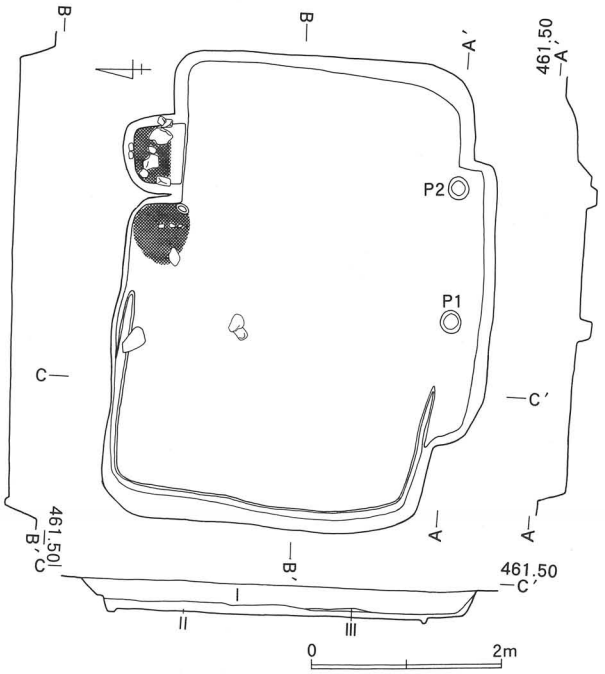
第28図　第23号住居址実測図



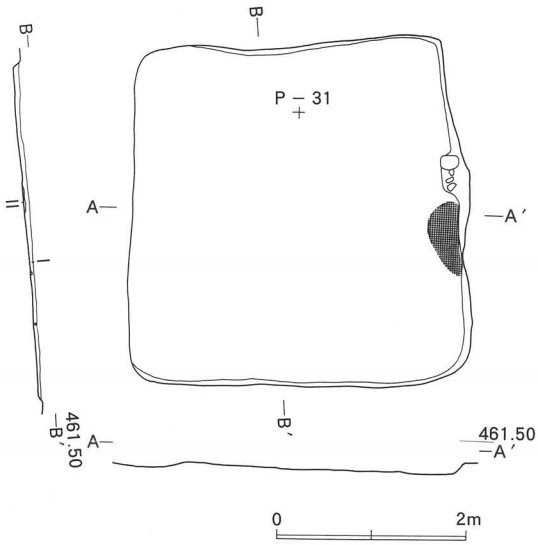
第29図　第23号住居址竈実測図



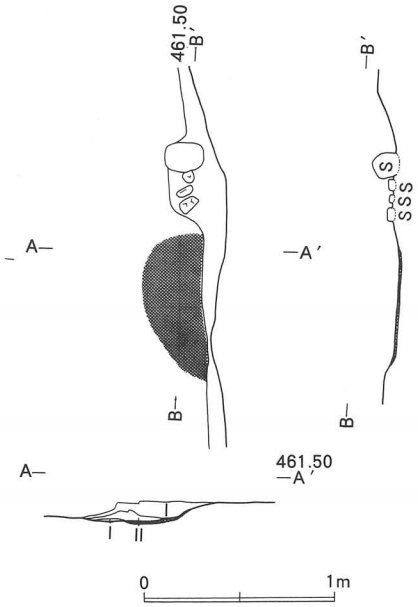
第30図　第25・26号住居址竈実測図



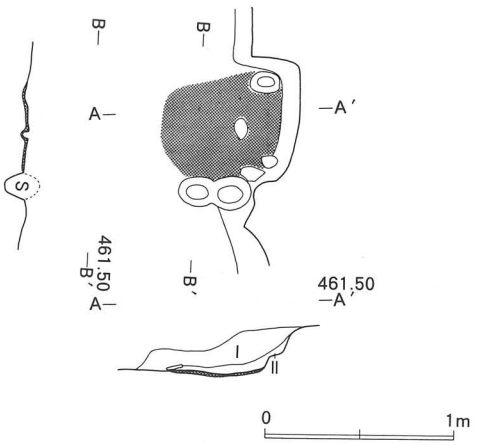
第31図　第24・25・26号住居址実測図



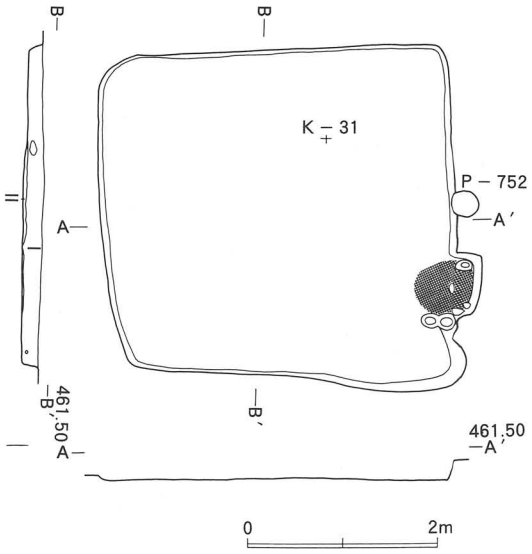
第32図　第27号住居址実測図



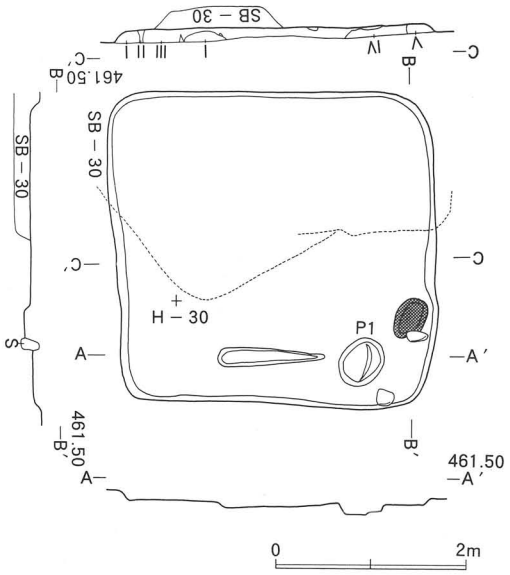
第33図　第27号住居址竈実測図



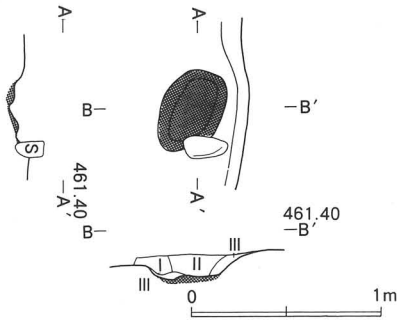
第34図　第28号住居址竈実測図



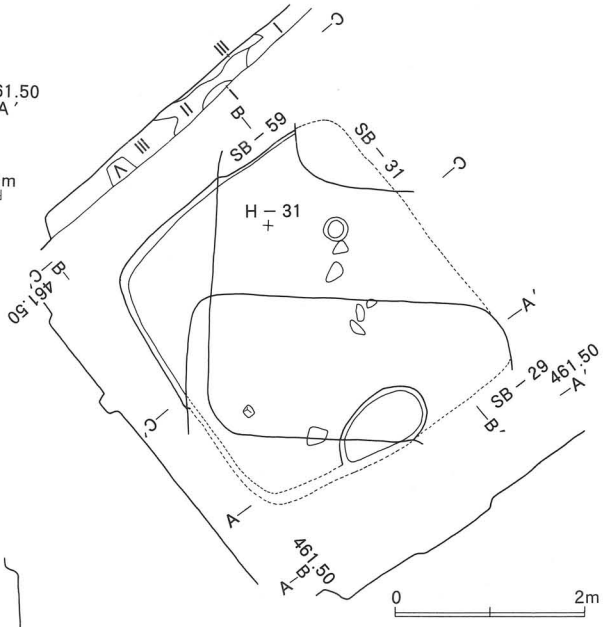
第35図　第28号住居址実測図



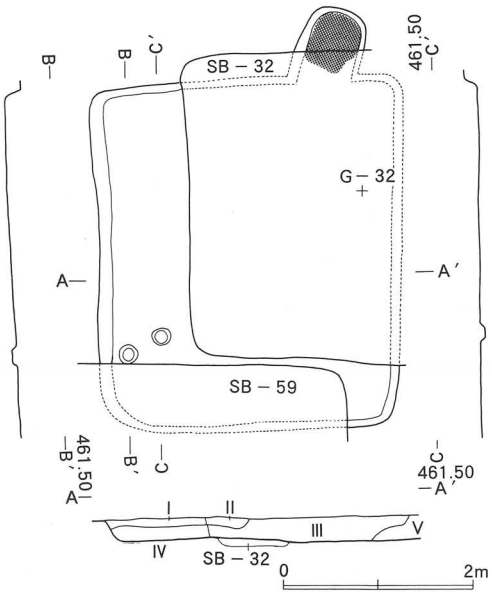
第36図　第29号住居址実測図



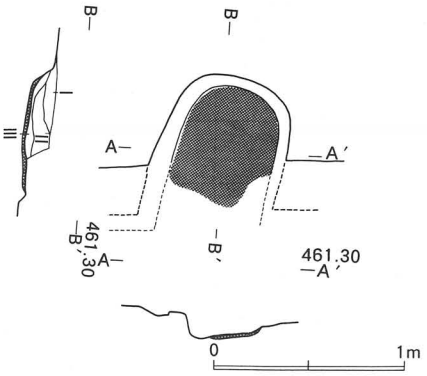
第37図　第29号住居址竈実測図



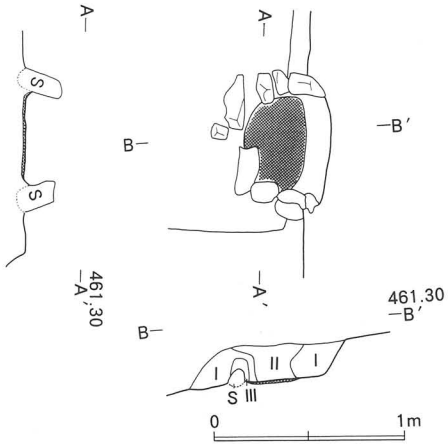
第38図　第30号住居址実測図



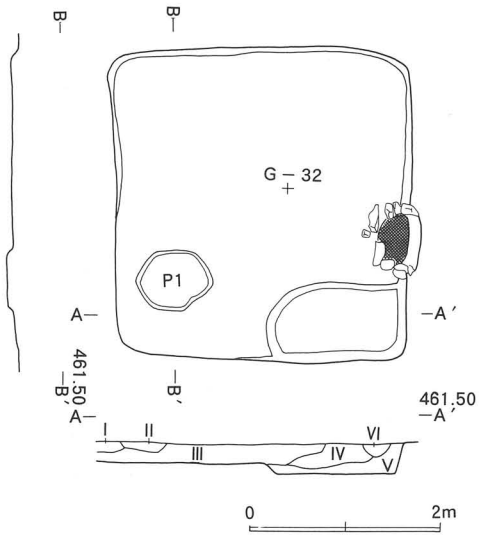
第39図　第31号住居址実測図



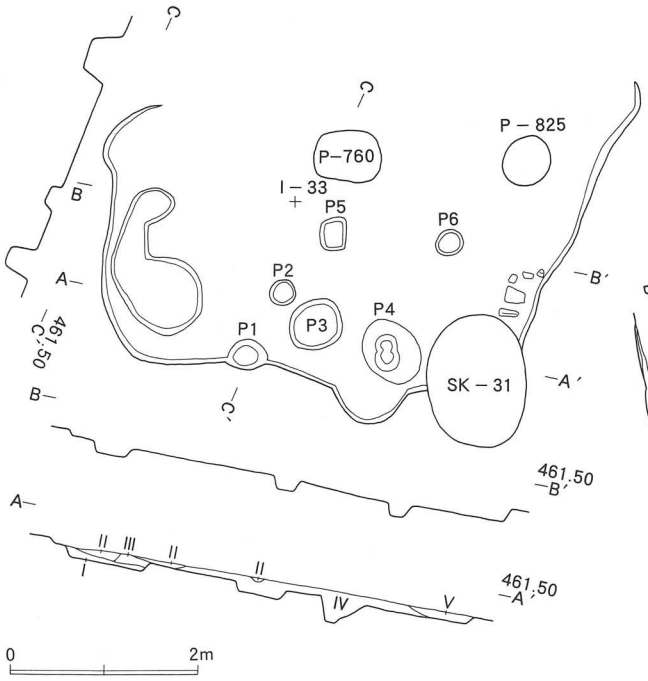
第40図　第31号住居址竈実測図



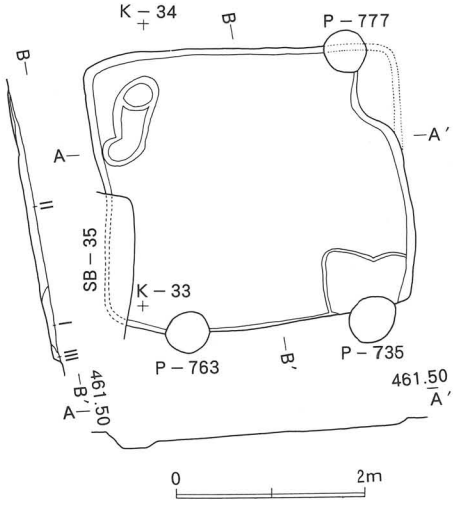
第41図　第32号住居址竈実測図



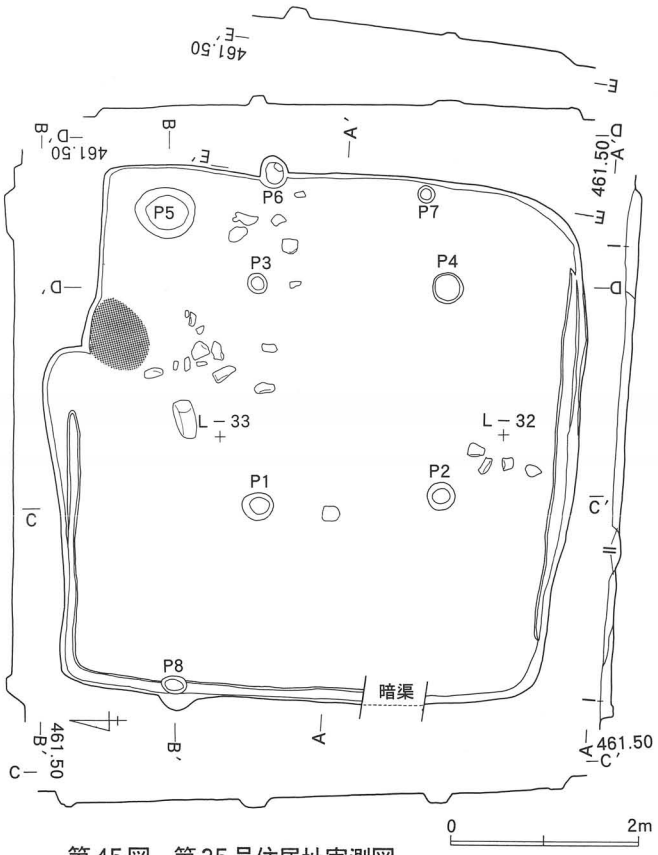
第42図　第32号住居址実測図



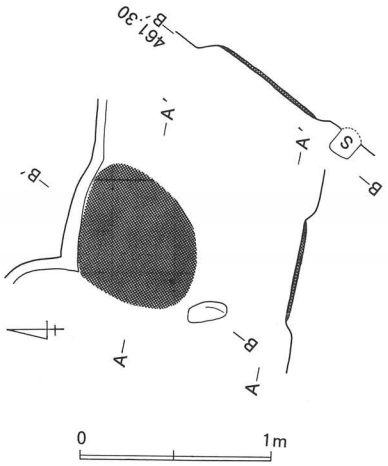
第43図　第33号住居址実測図



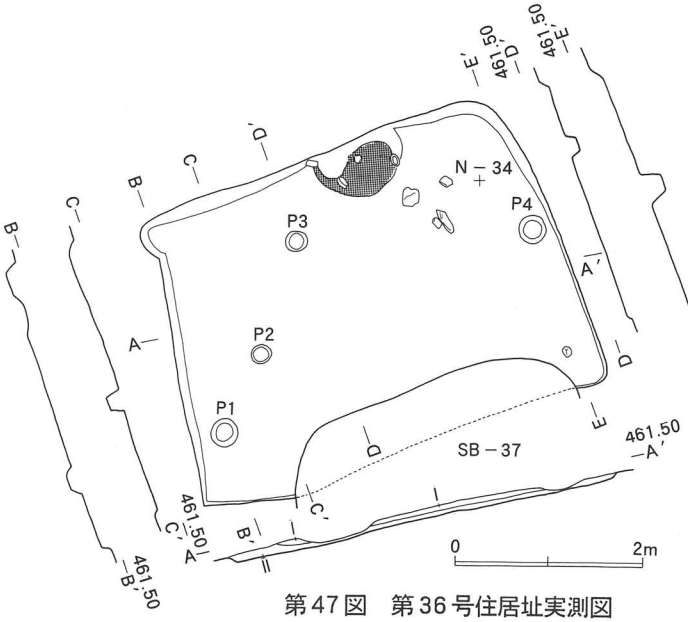
第44図　第34号住居址実測図



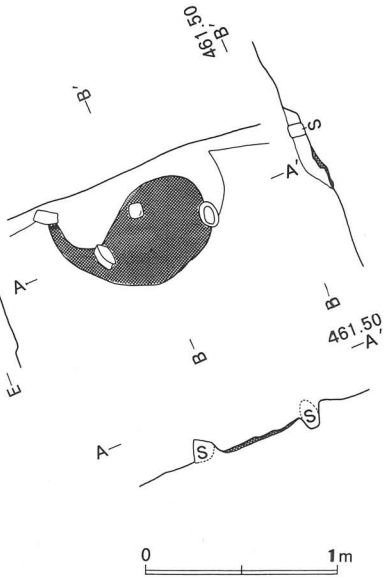
第45図　第35号住居址実測図



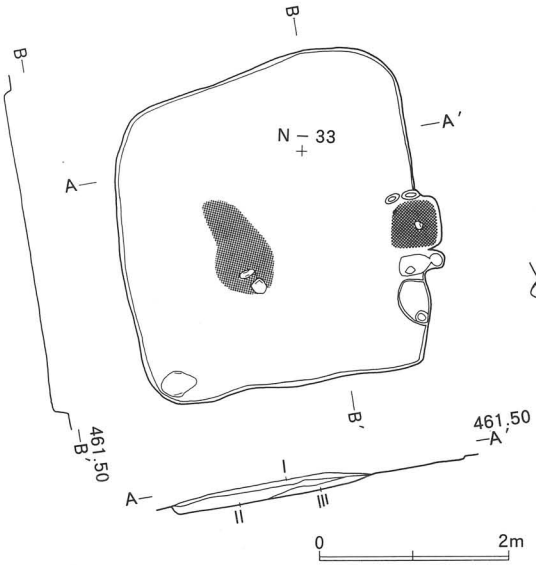
第46図　第35号住居址竈実測図



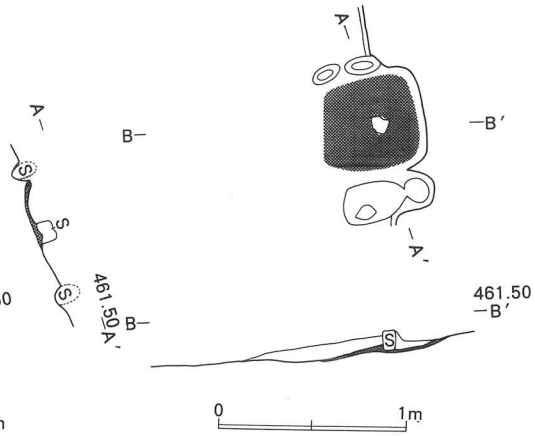
第47図　第36号住居址実測図



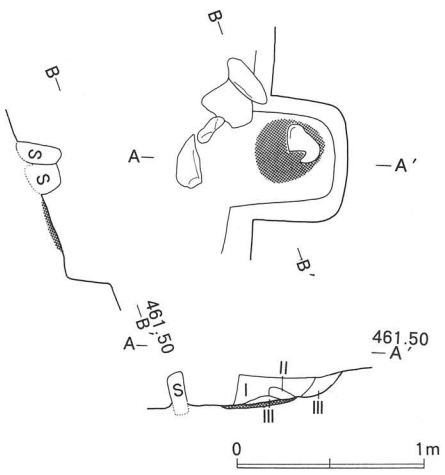
第48図　第36号住居址竈実測図



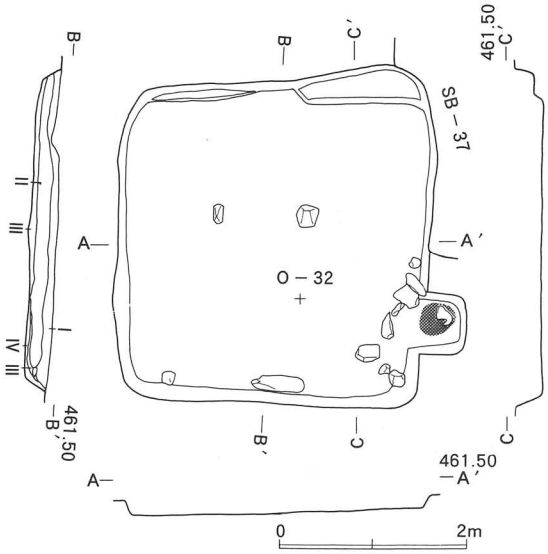
第49図　第37号住居址実測図



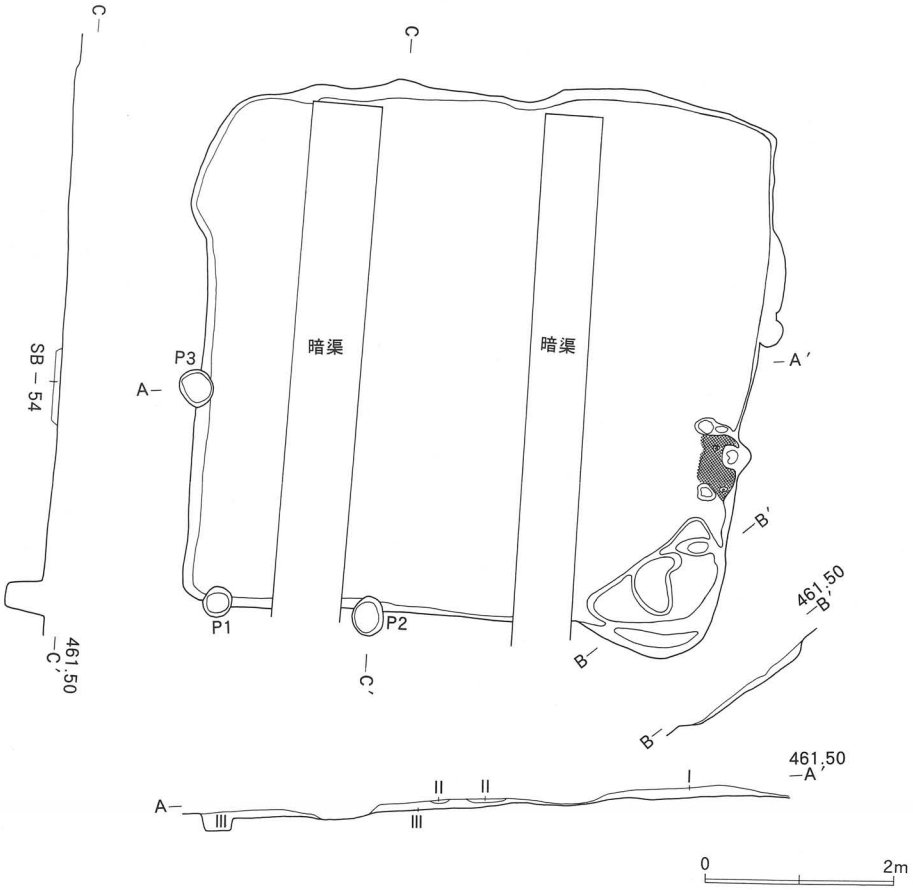
第50図　第37号住居址竈実測図



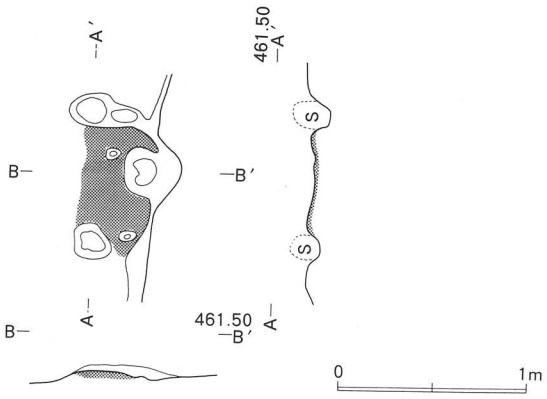
第51図　第38号住居址竈実測図



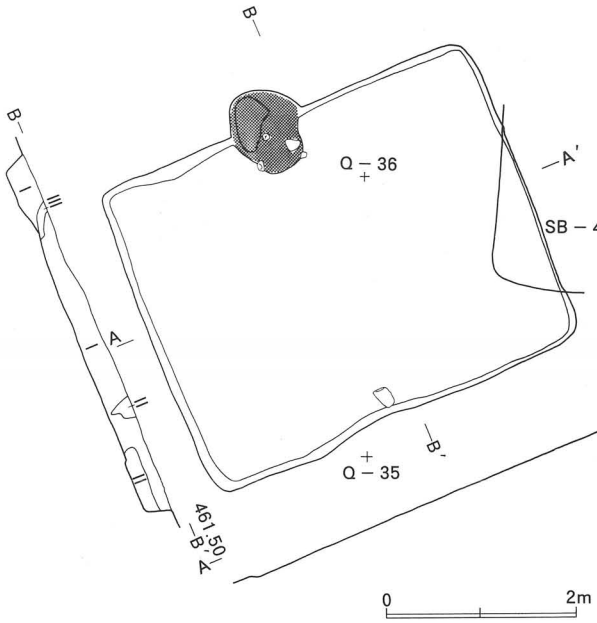
第52図　第38号住居址実測図



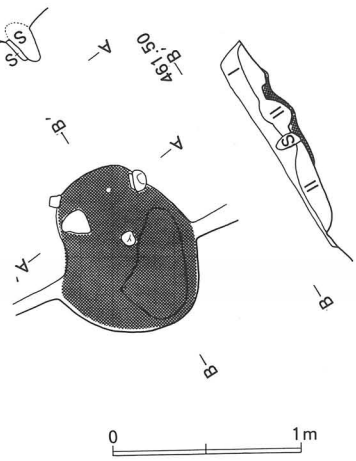
第53図　第39号住居址実測図



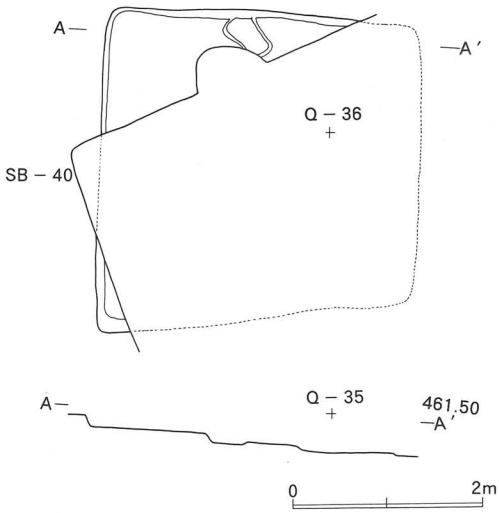
第54図　第39号住居址竈実測図



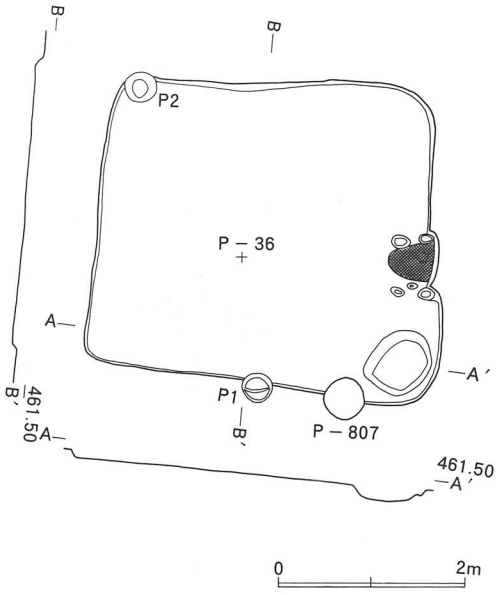
第55図　第40号住居址実測図



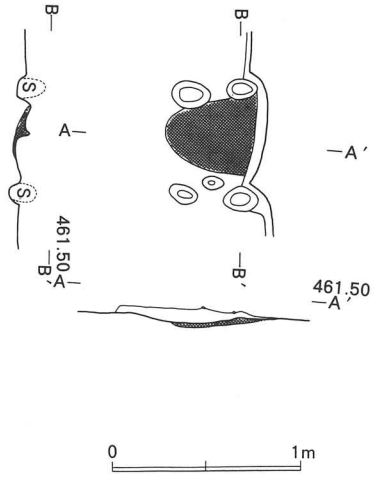
第56図　第40号住居址竈実測図



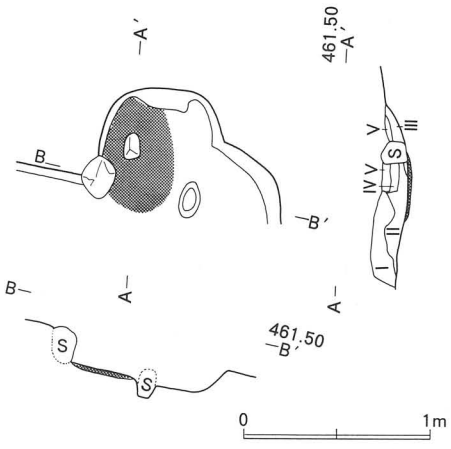
第57図　第41号住居址実測図



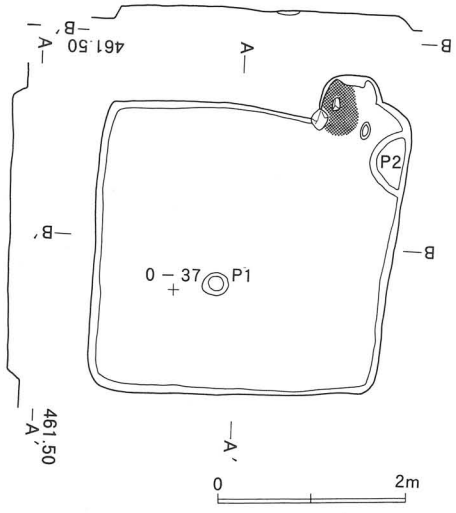
第58図　第42号住居址実測図



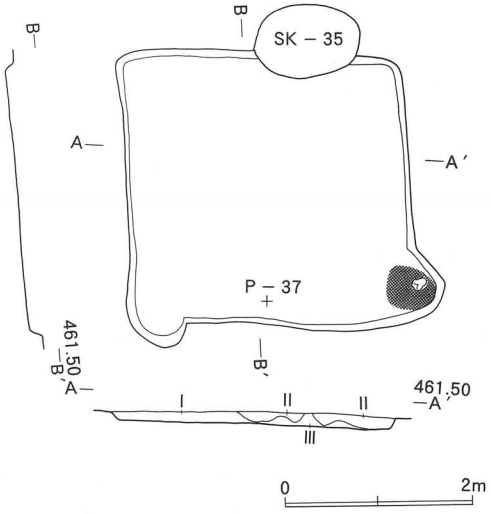
第59図　第42号住居址竈実測図



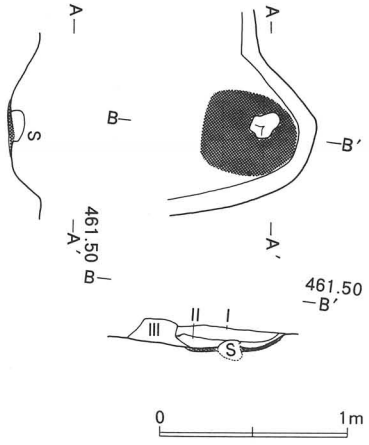
第60図　第43号住居址竈実測図



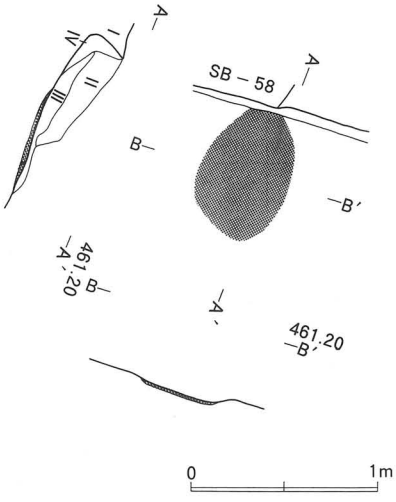
第61図　第43号住居址実測図



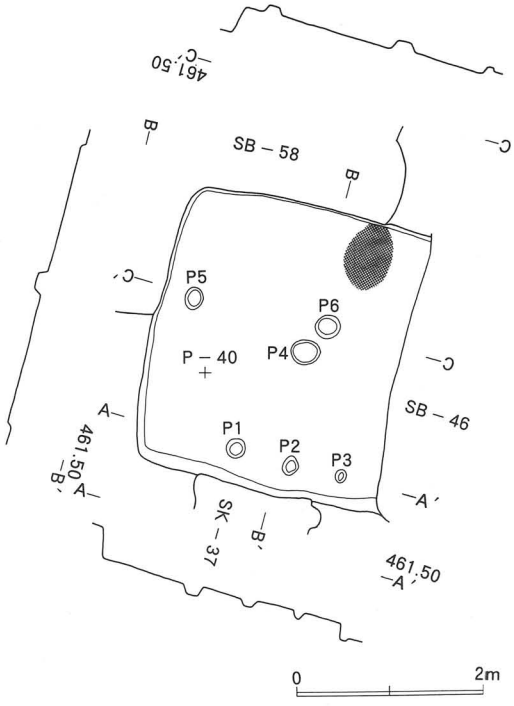
第62図　第44号住居址実測図



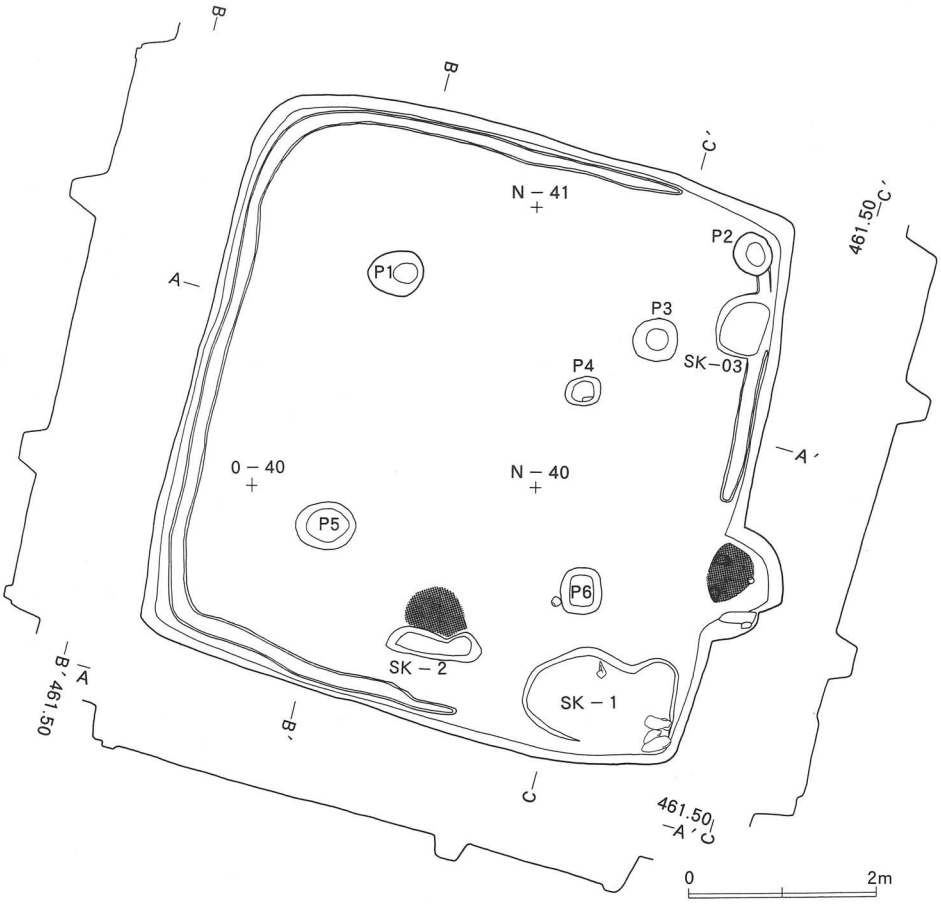
第63図　第44号住居址竈実測図



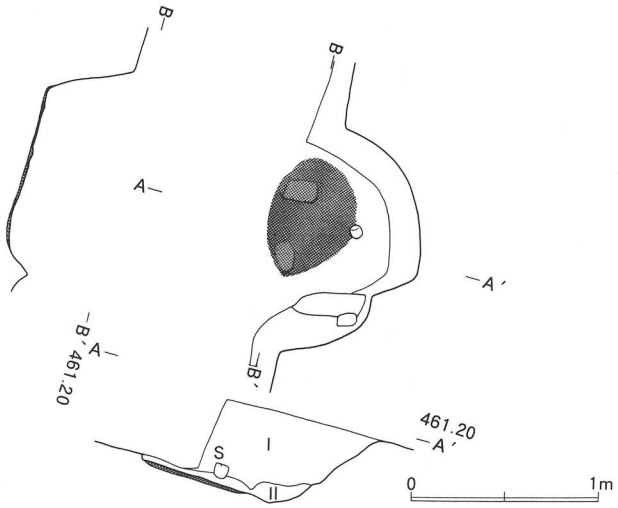
第64図　第45号住居址竈実測図



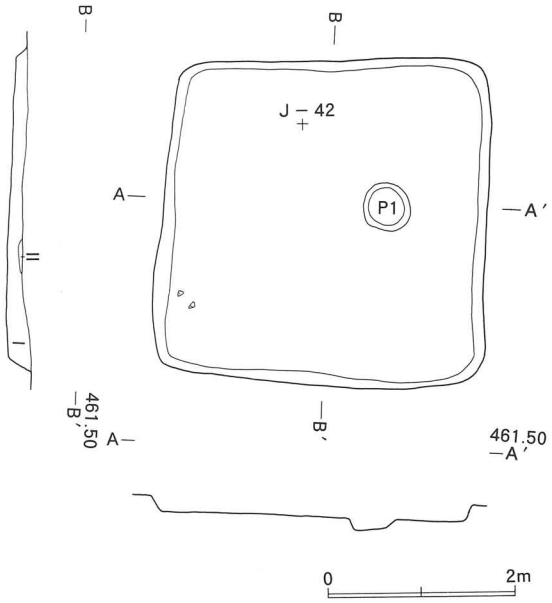
第65図　第45号住居址実測図



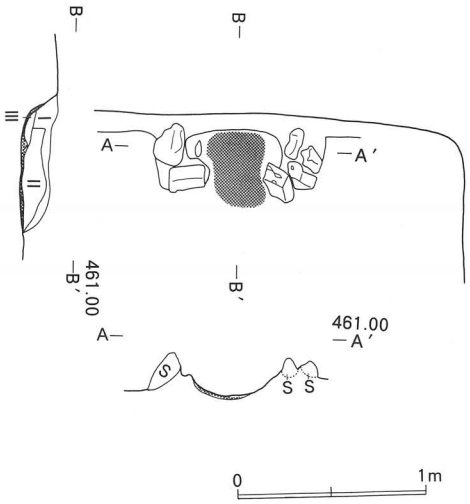
第66図　第46号住居址実測図



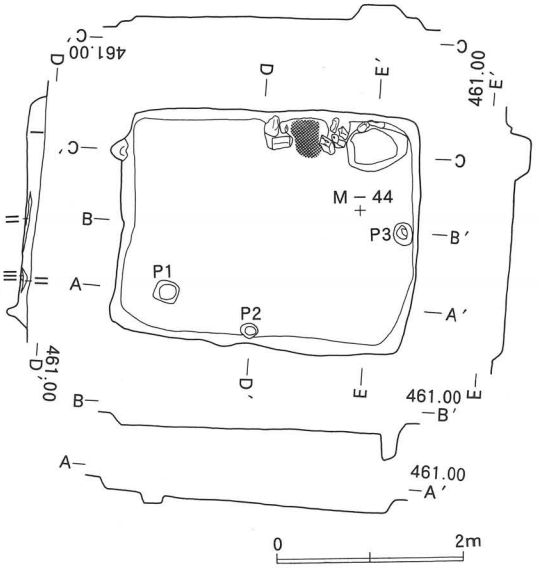
第67図　第46号住居址竈実測図



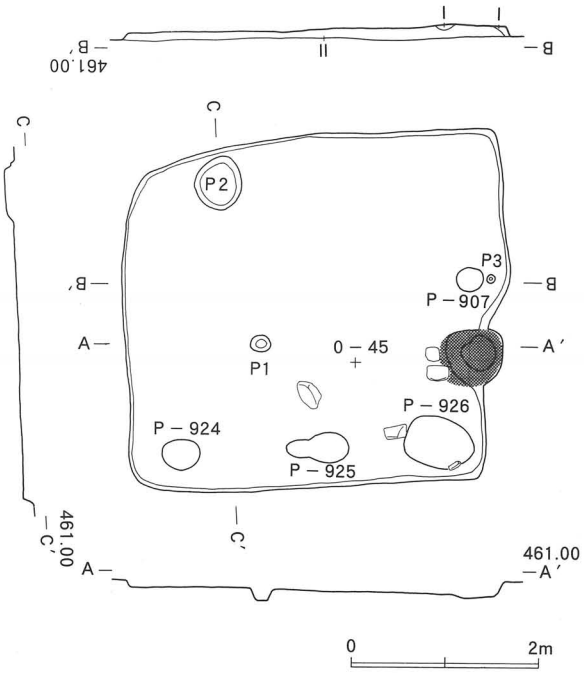
第68図　第49号住居址実測図



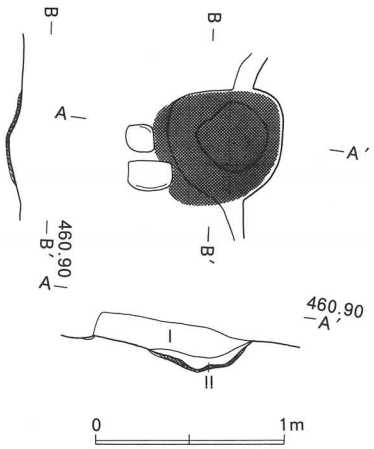
第69図　第50号住居址竈実測図



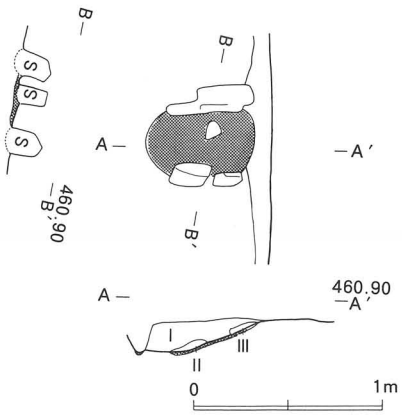
第70図　第50号住居址実測図



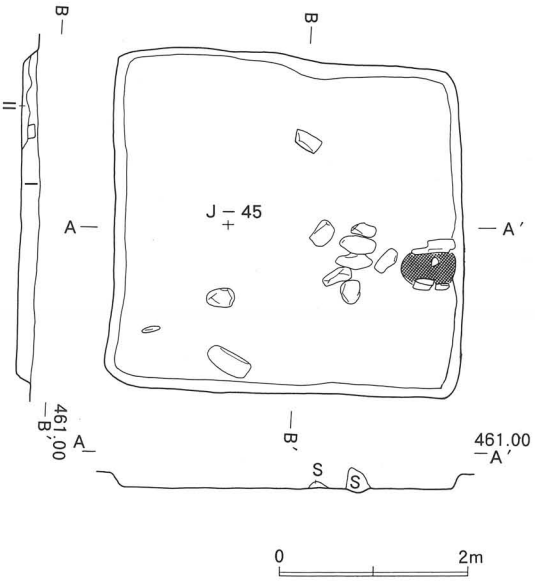
第71図　第51号住居址実測図



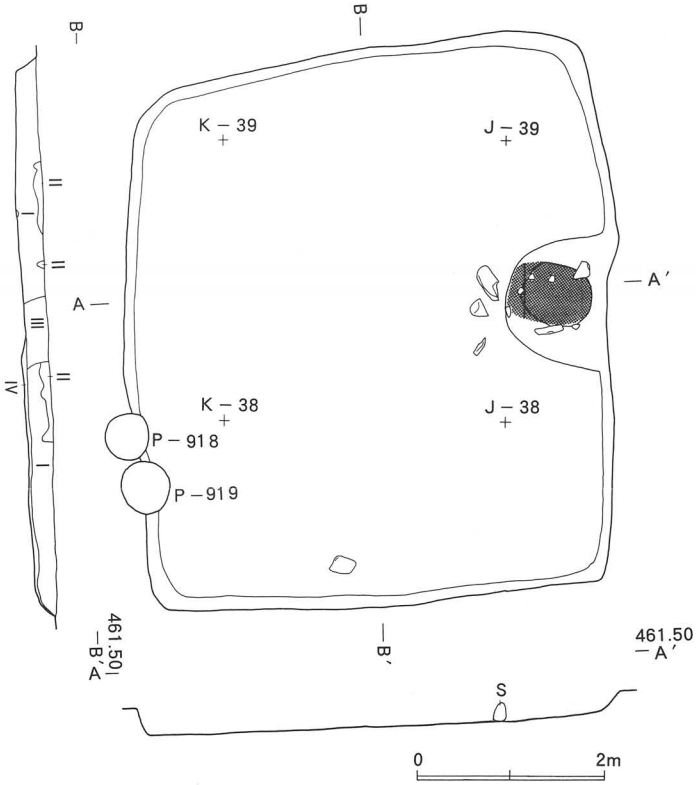
第72図　第51号住居址竈実測図



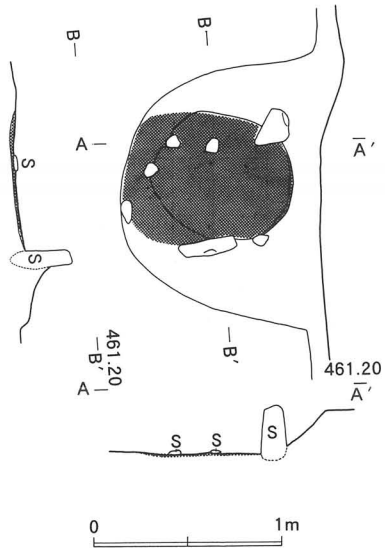
第73図　第52号住居址竈実測図



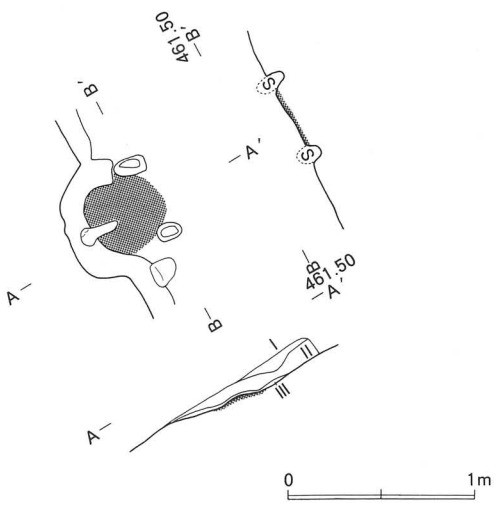
第74図　第52号住居址実測図



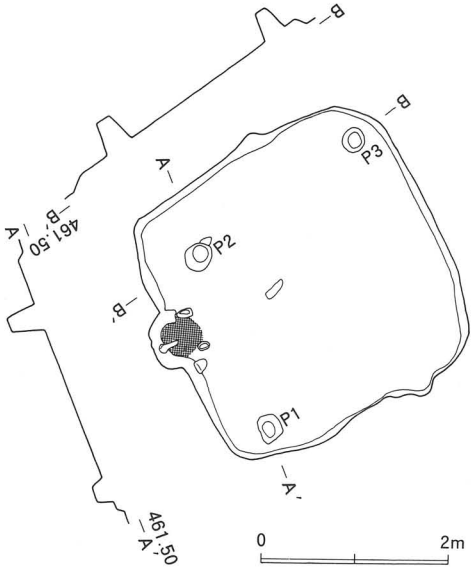
第75図　第53号住居址実測図



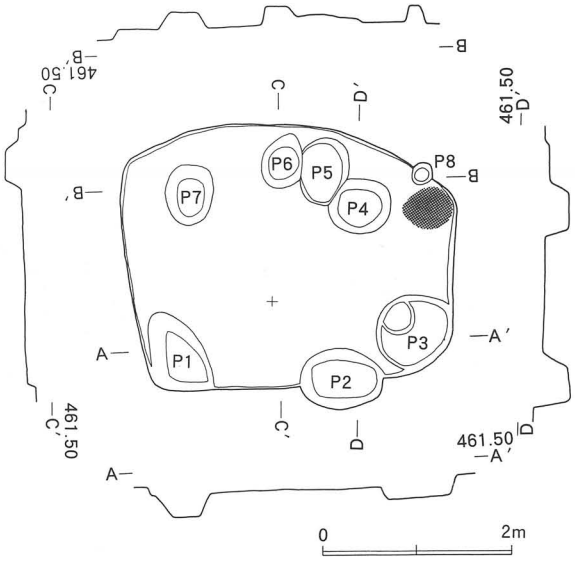
第76図　第53号住居址竈実測図



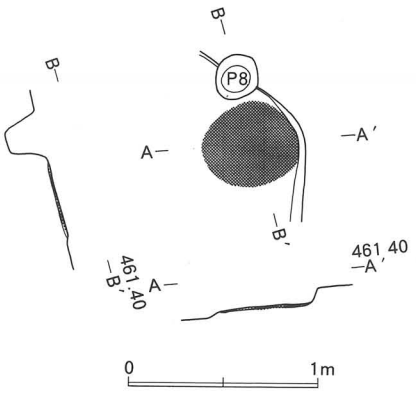
第77図　第54号住居址竈実測図



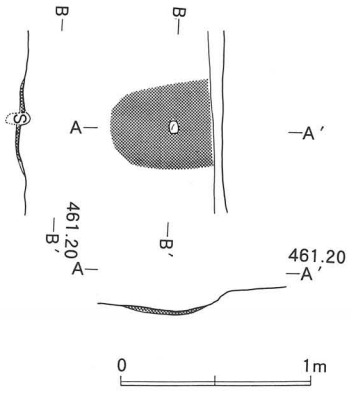
第78図　第54号住居址実測図



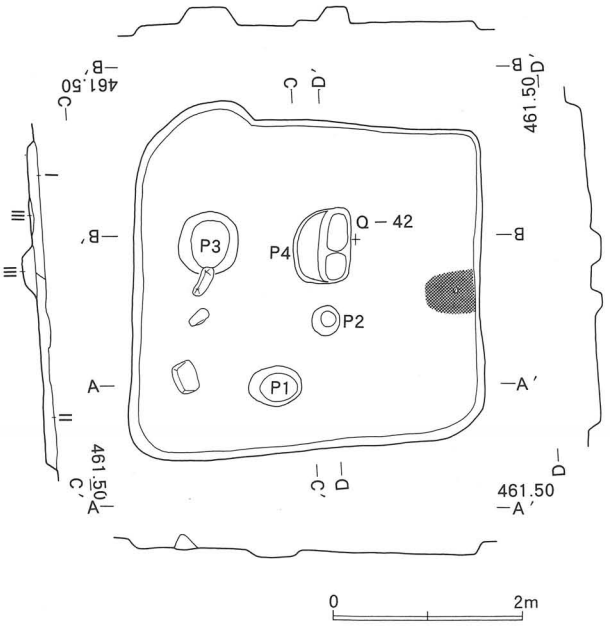
第79図　第56号住居址実測図



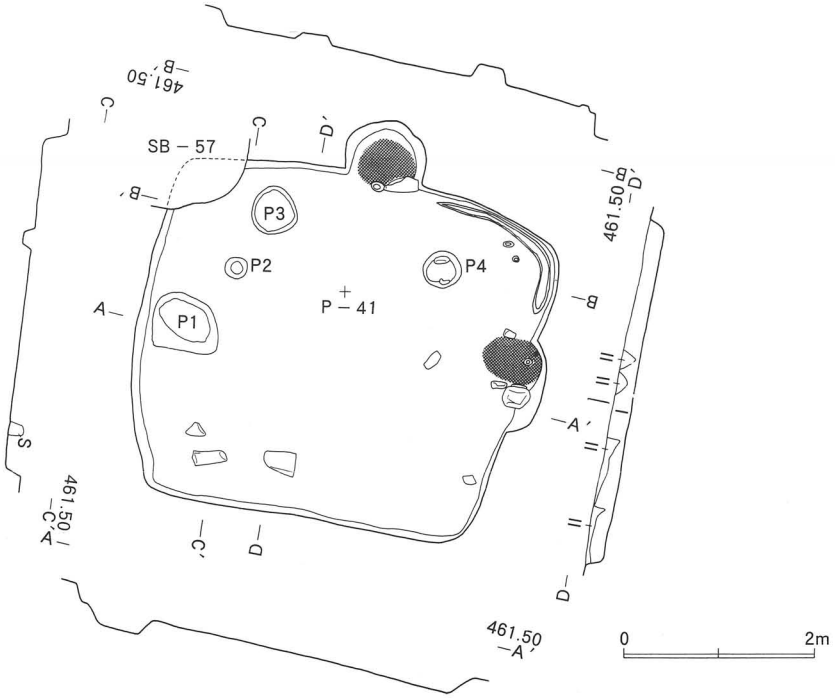
第80図　第56号住居址竈実測図



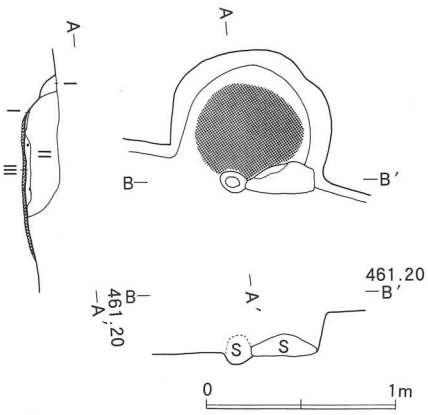
第81図　第57号住居址竈実測図



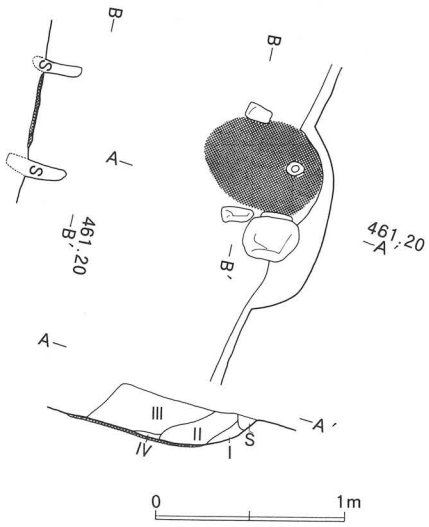
第82図　第57号住居址実測図



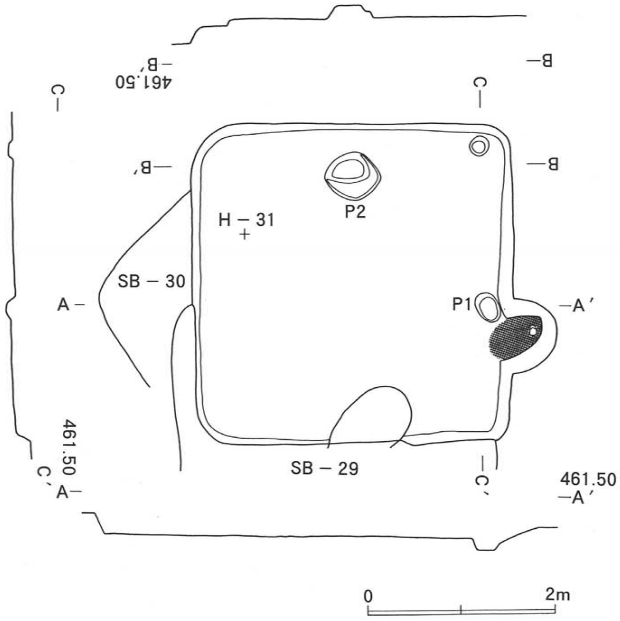
第83図　第58号住居址実測図



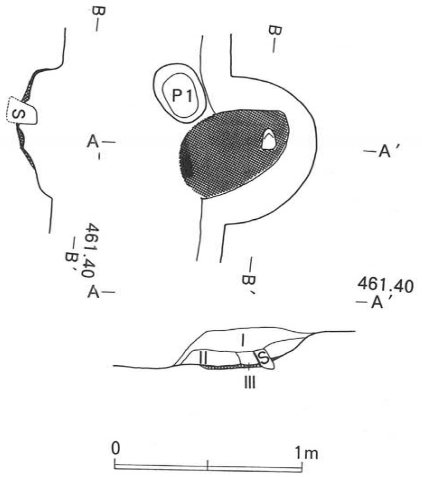
第84図　第58号住居址竈実測図



第85図　第58号住居址竈実測図

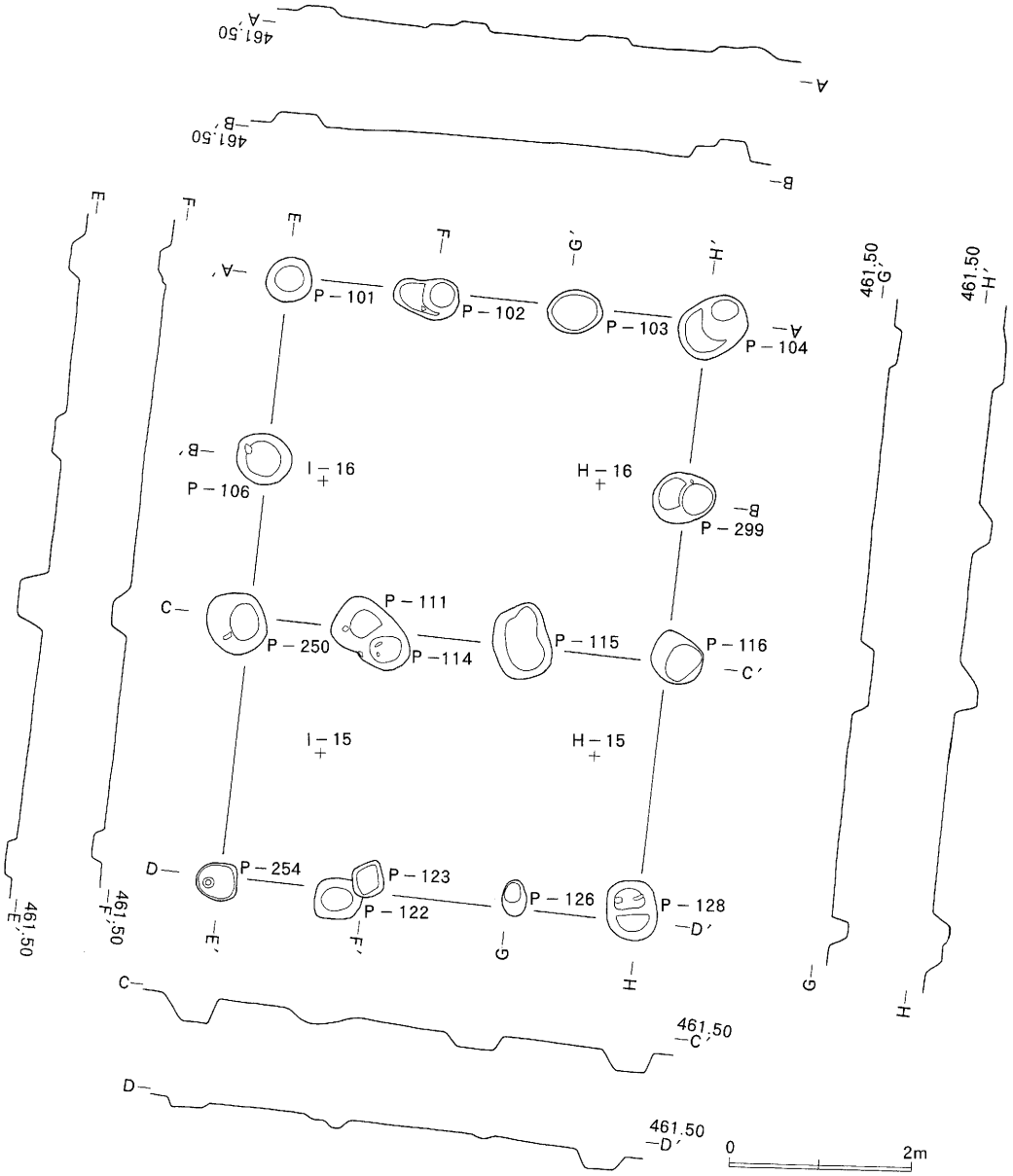


第86図　第59号住居址実測図

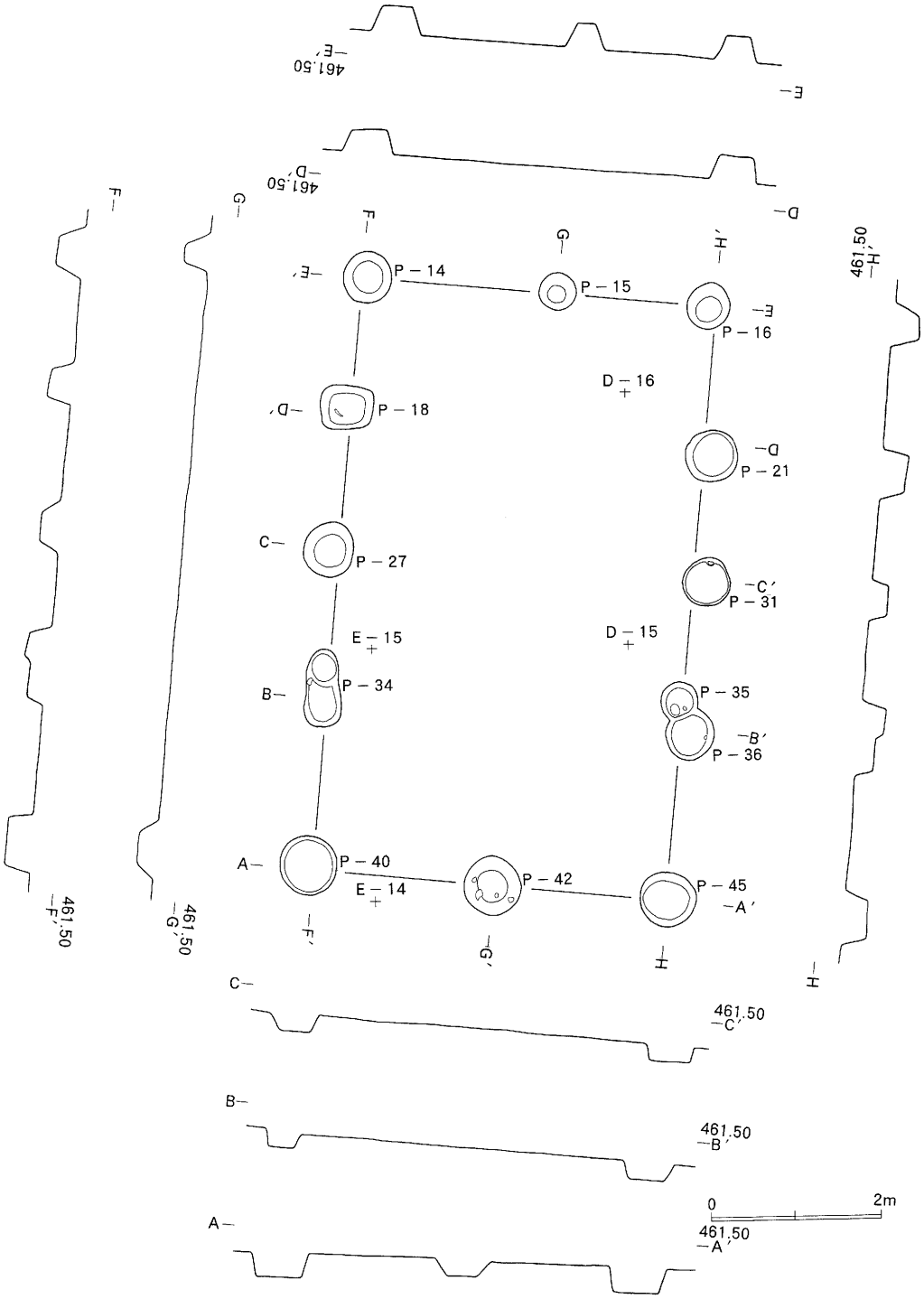


第87図　第59号住居址竈実測図

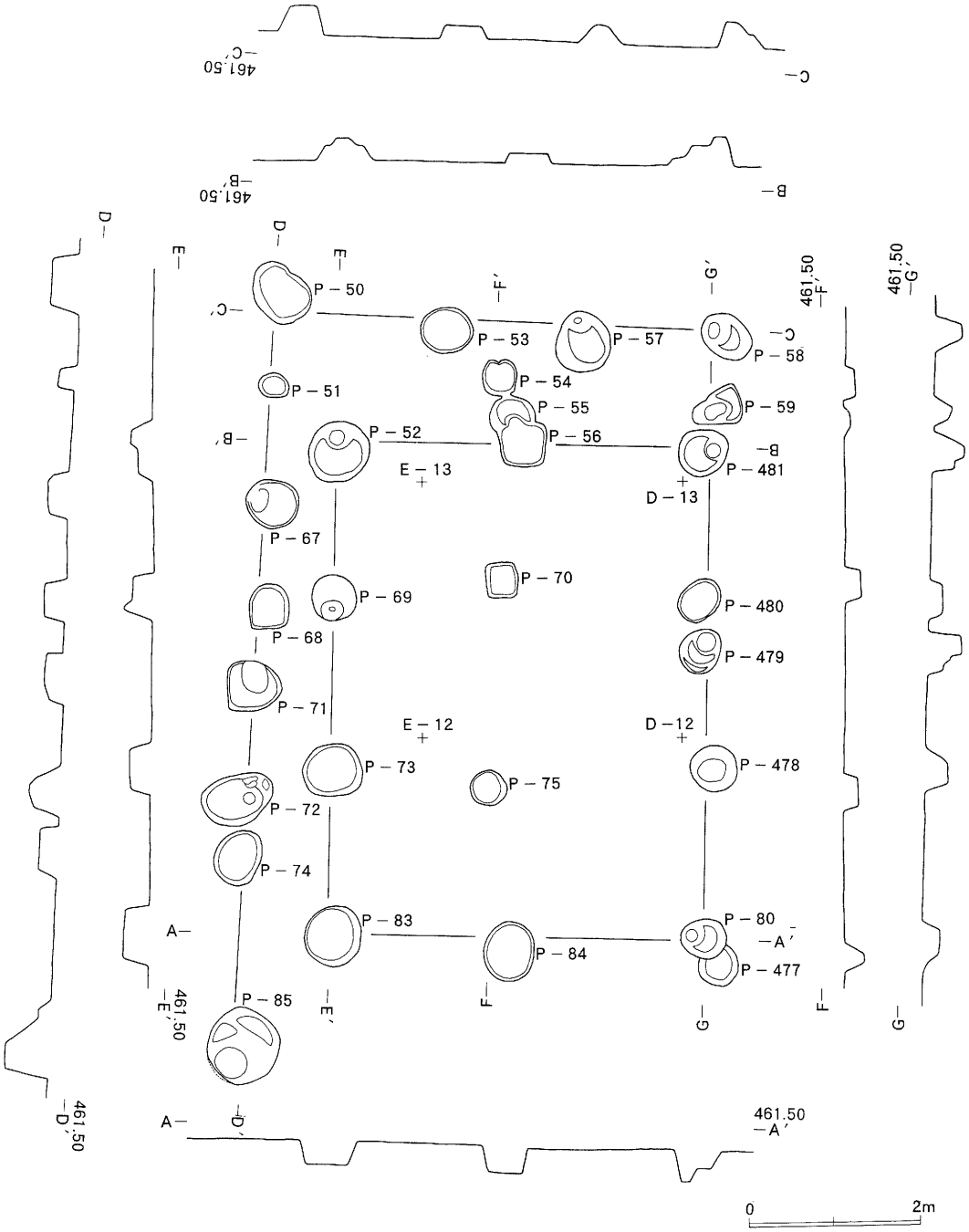
3　掘立柱建物址



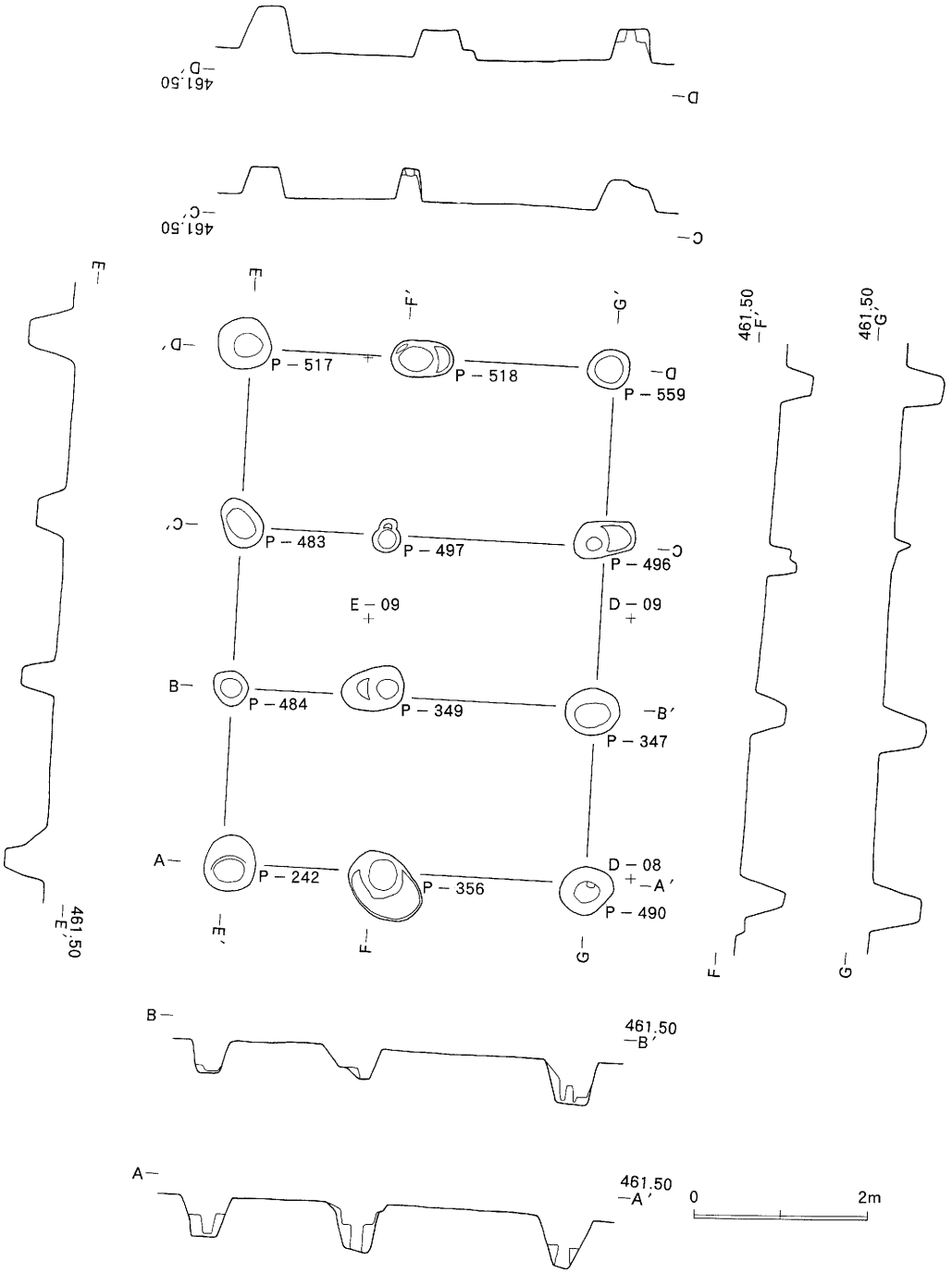
第88図　第1号掘立柱建物址実測図



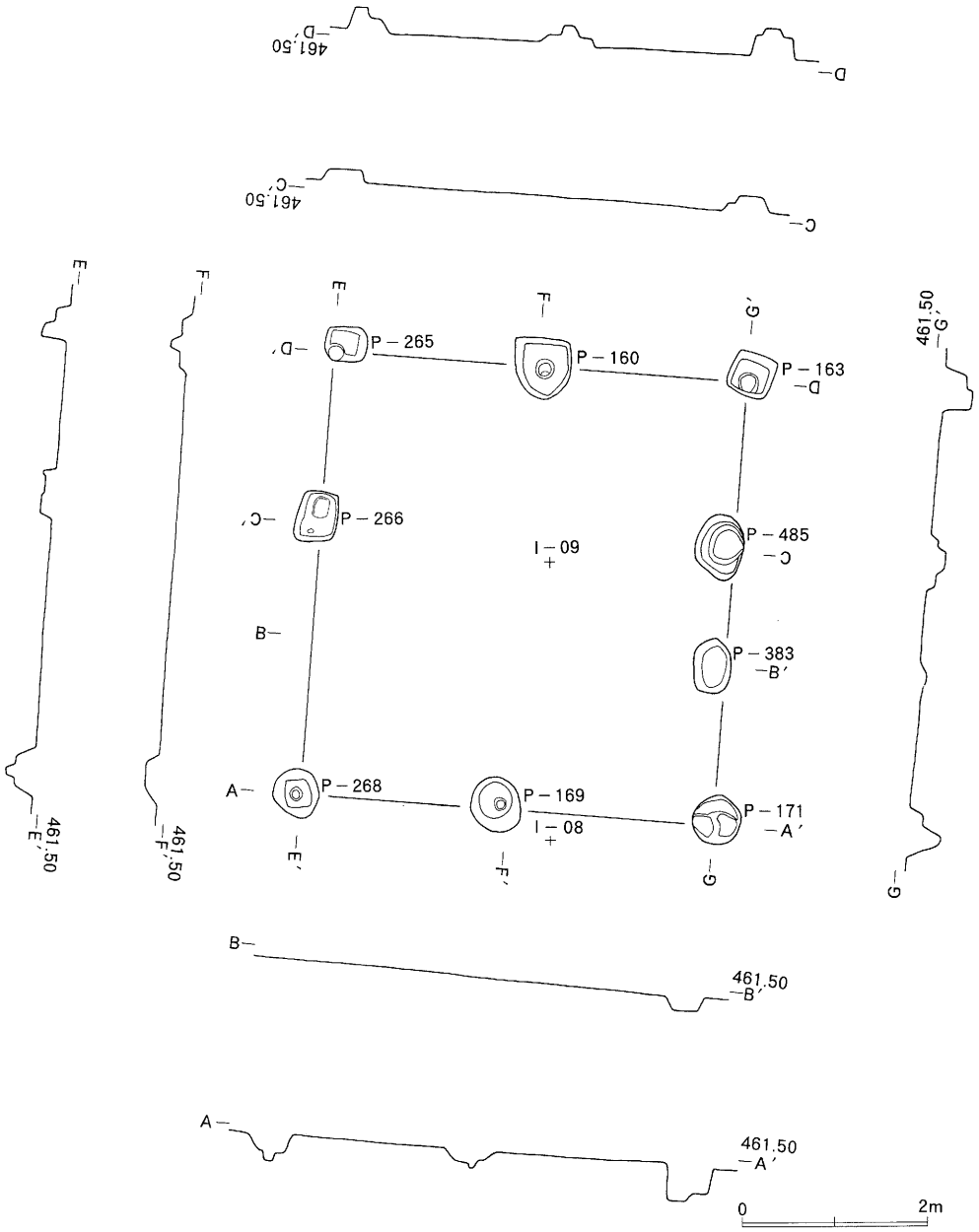
第89図　第2号掘立柱建物址実測図



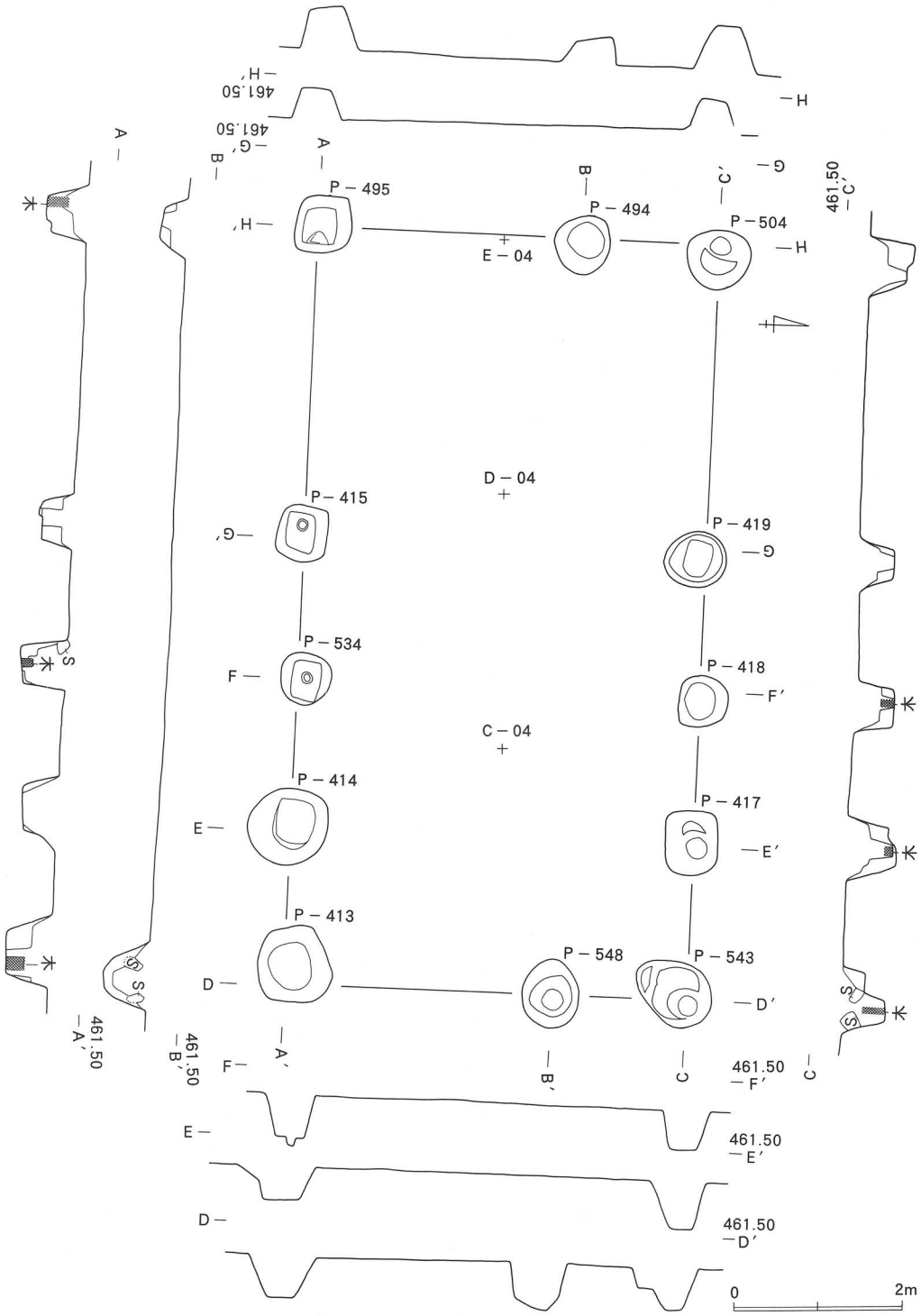
第90図　第3号掘立柱建物址実測図



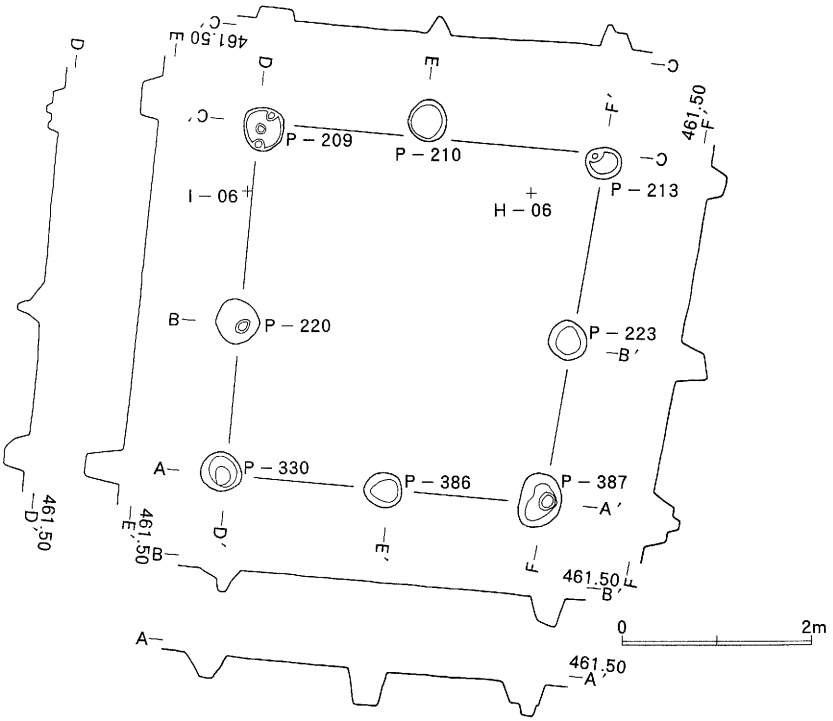
第91図　第4号掘立柱建物址実測図



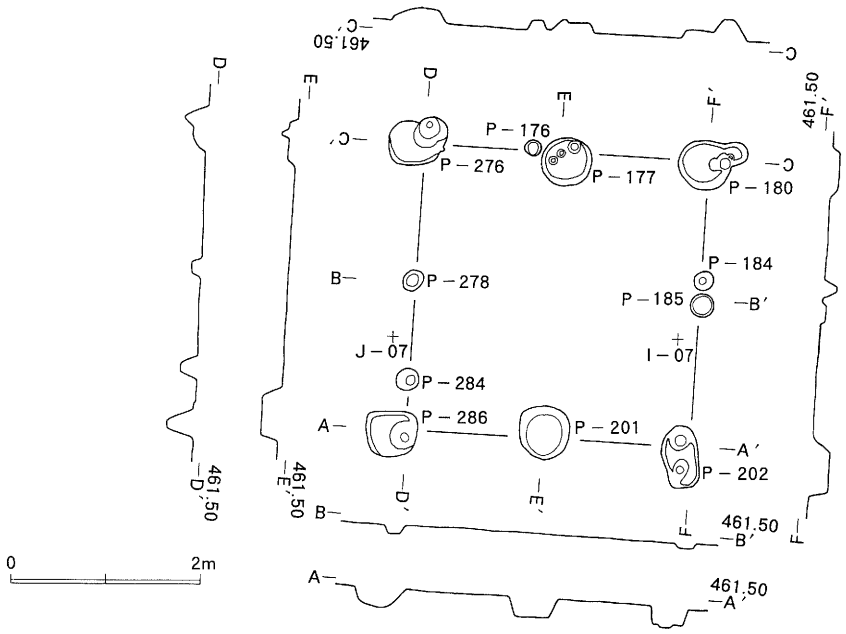
第92図　第5号掘立柱建物址実測図



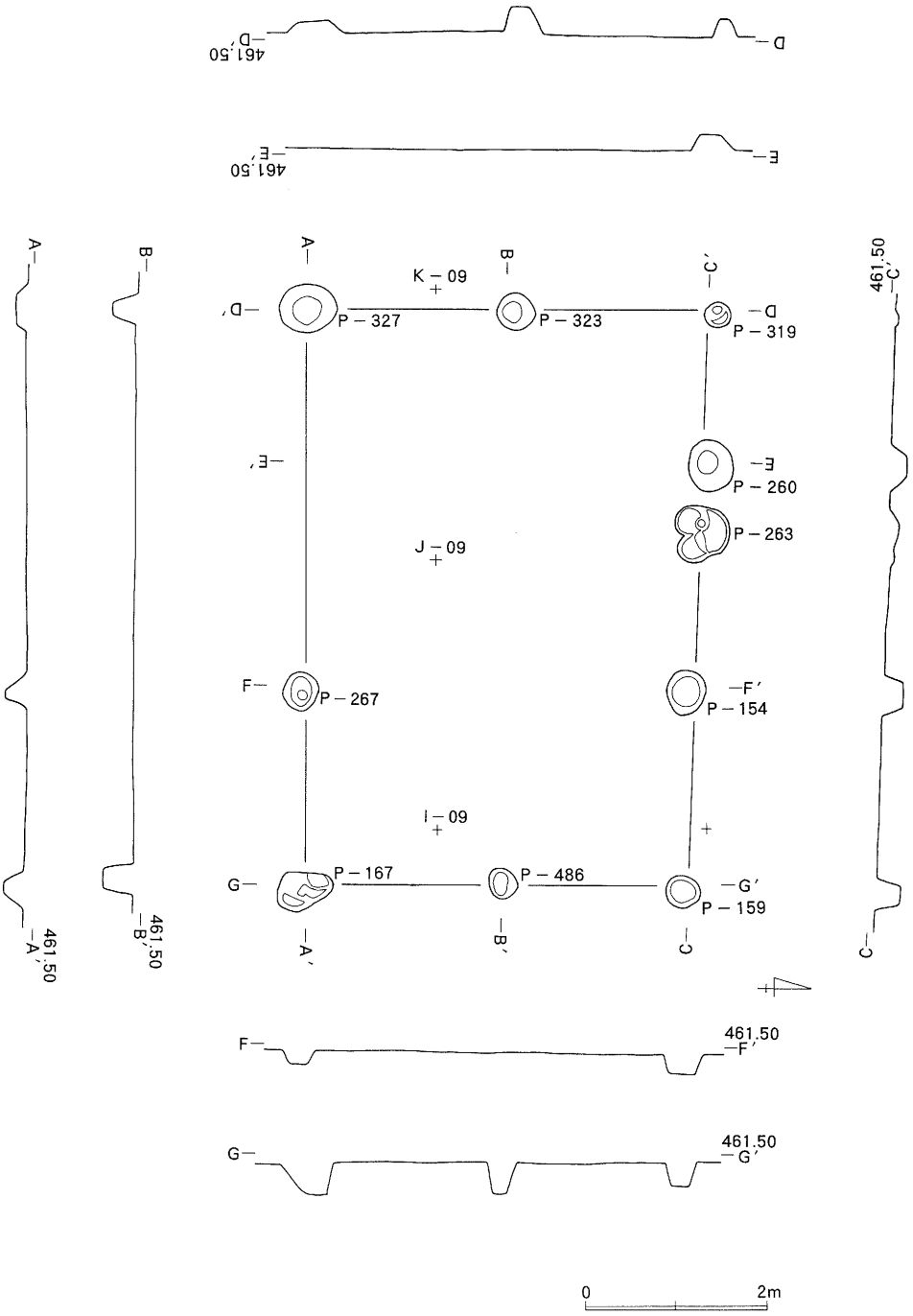
第93図　第6号掘立柱建物址実測図



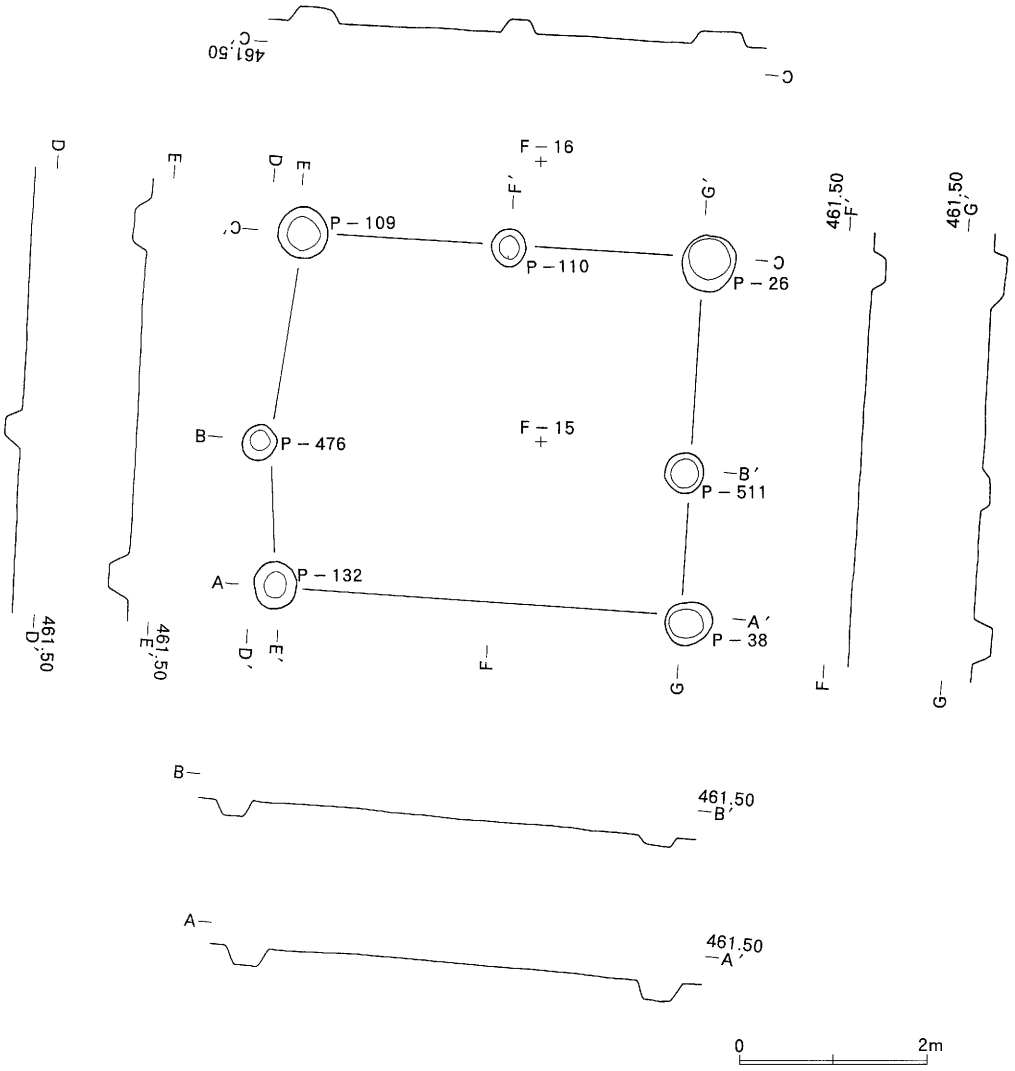
第94図　第7号掘立柱建物址実測図



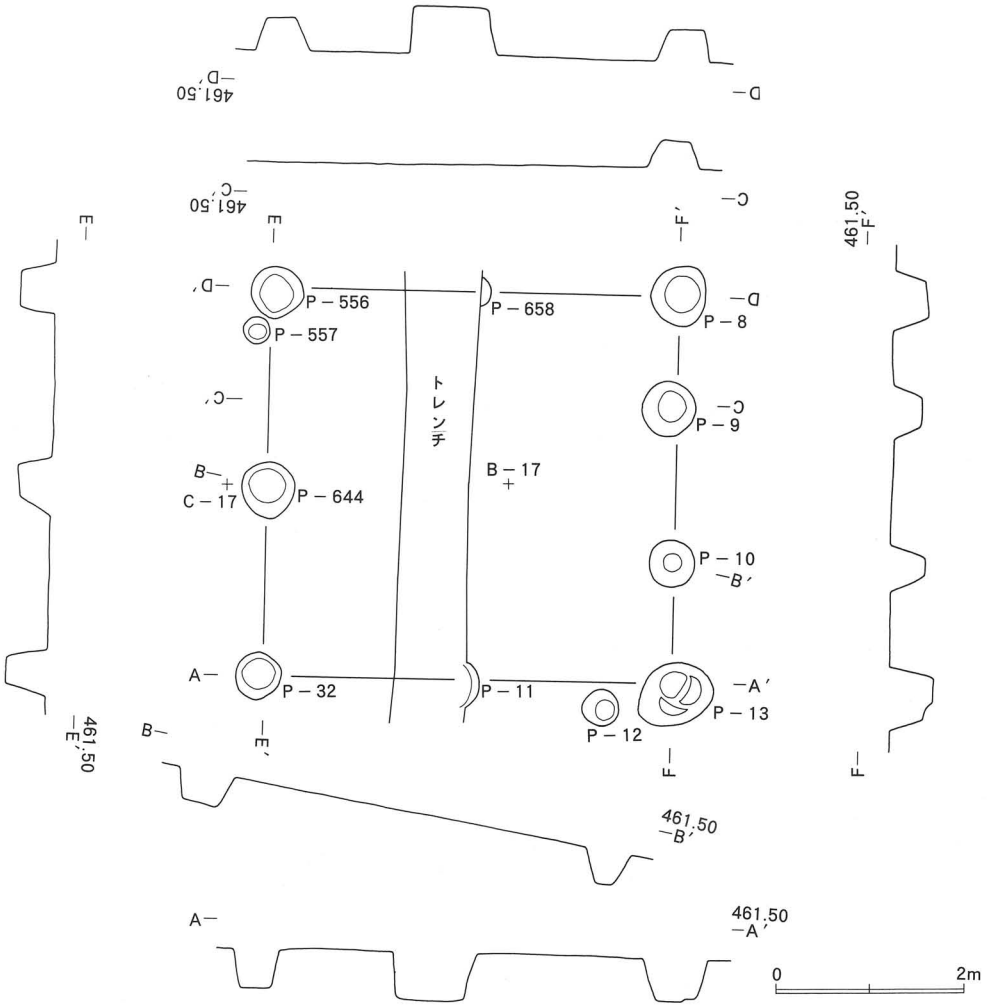
第95図　第8号掘立柱建物址実測図



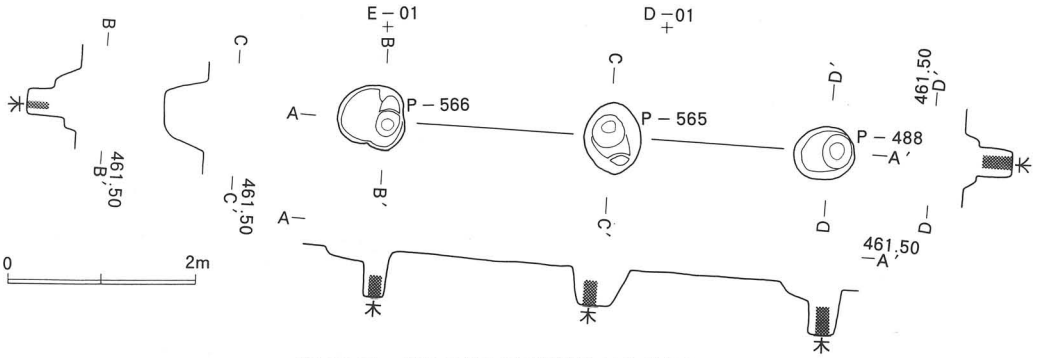
第96図　第9号掘立柱建物址実測図



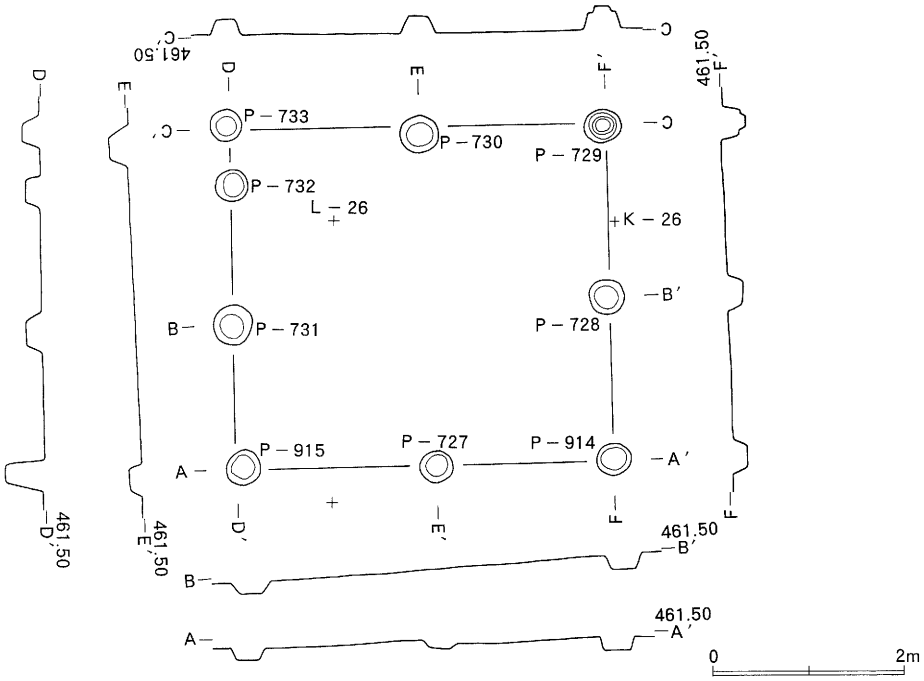
第97図　第10号掘立柱建物址実測図



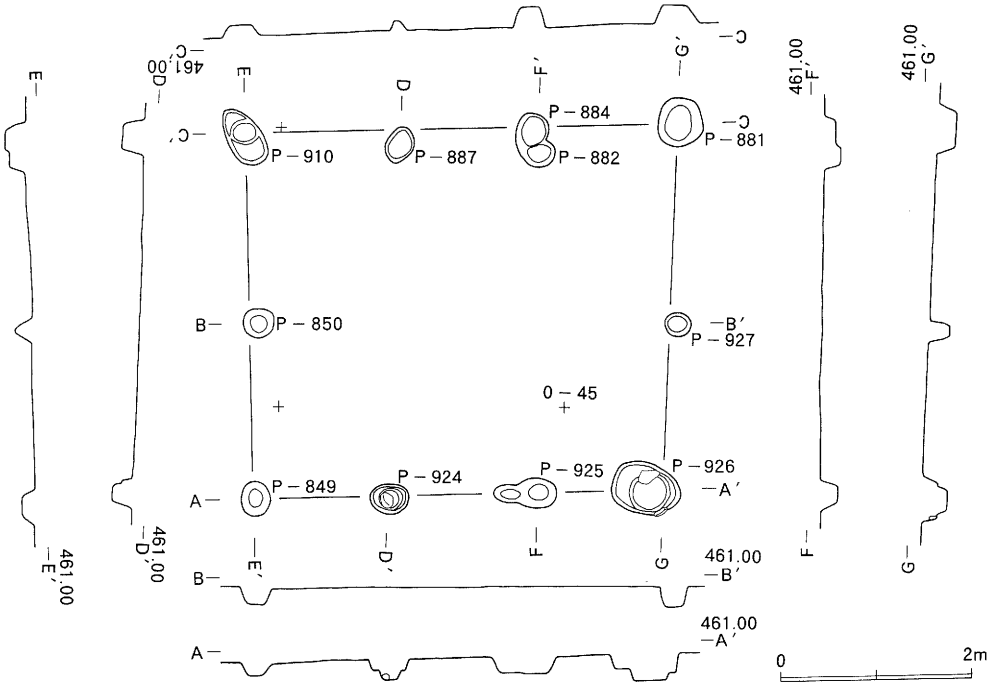
第98図　第11号掘立柱建物址実測図



第99図　第12号掘立柱建物址実測図

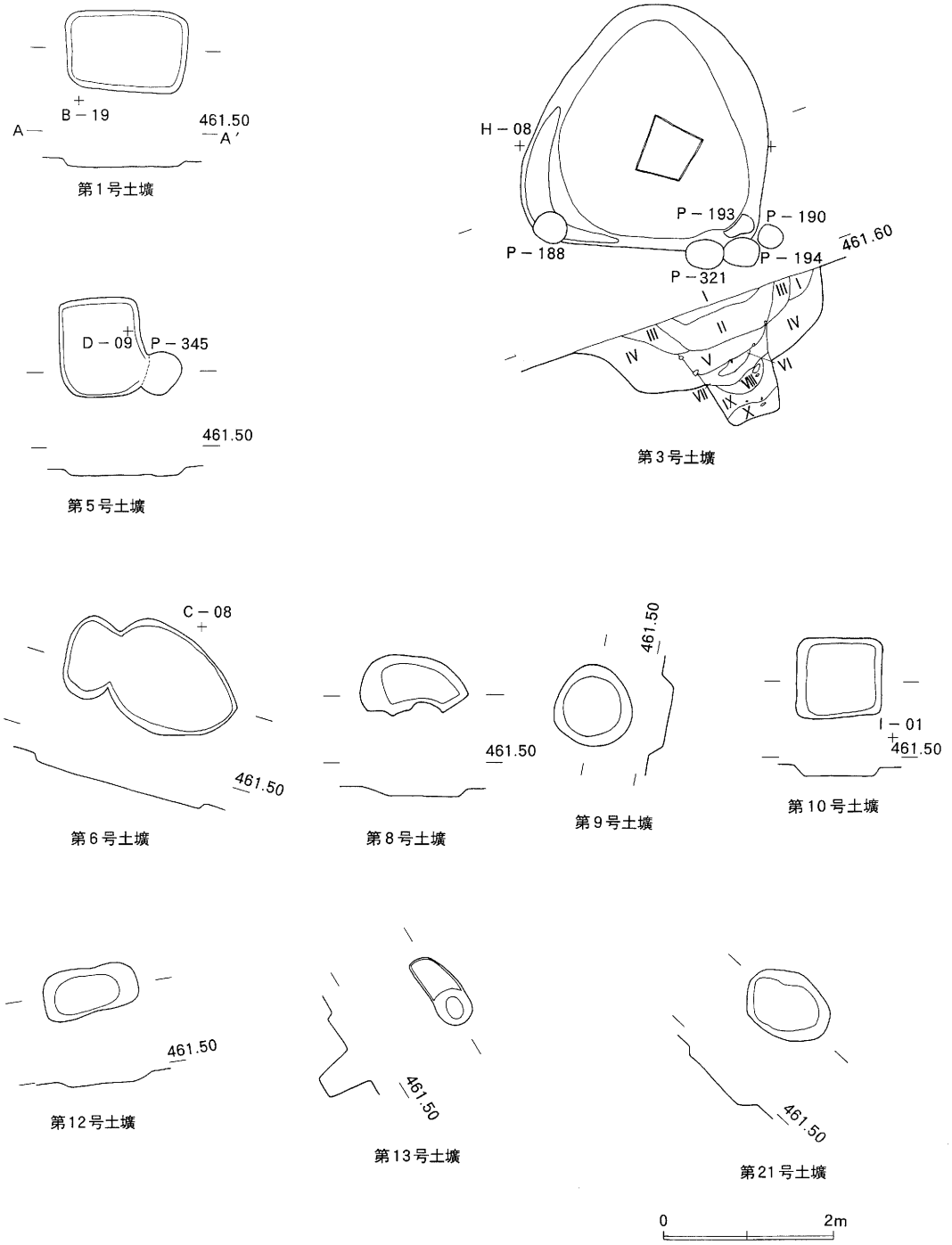


第100図　第21号掘立柱建物址実測図

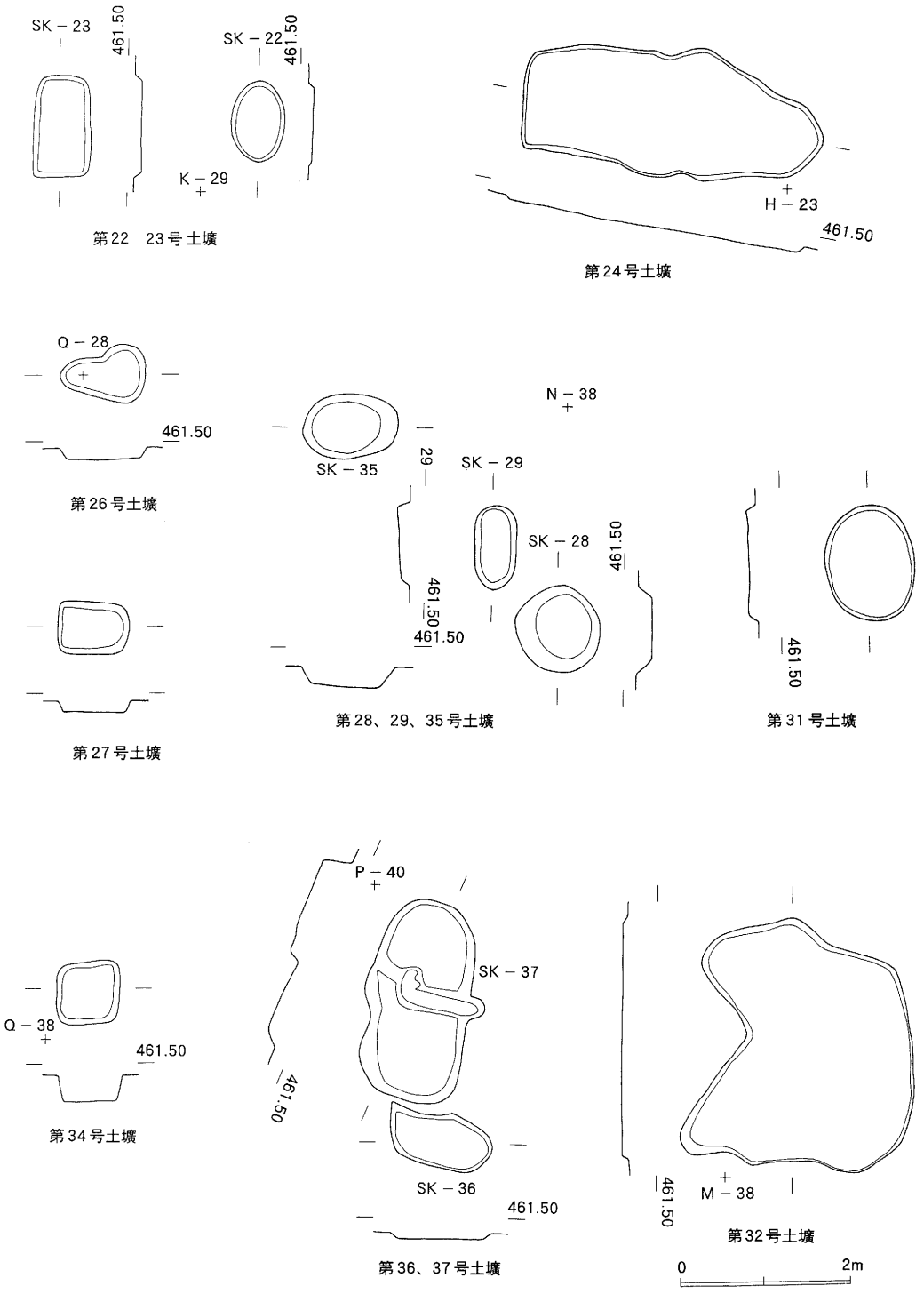


第101図　第22号掘立柱建物址実測図

4　土壙

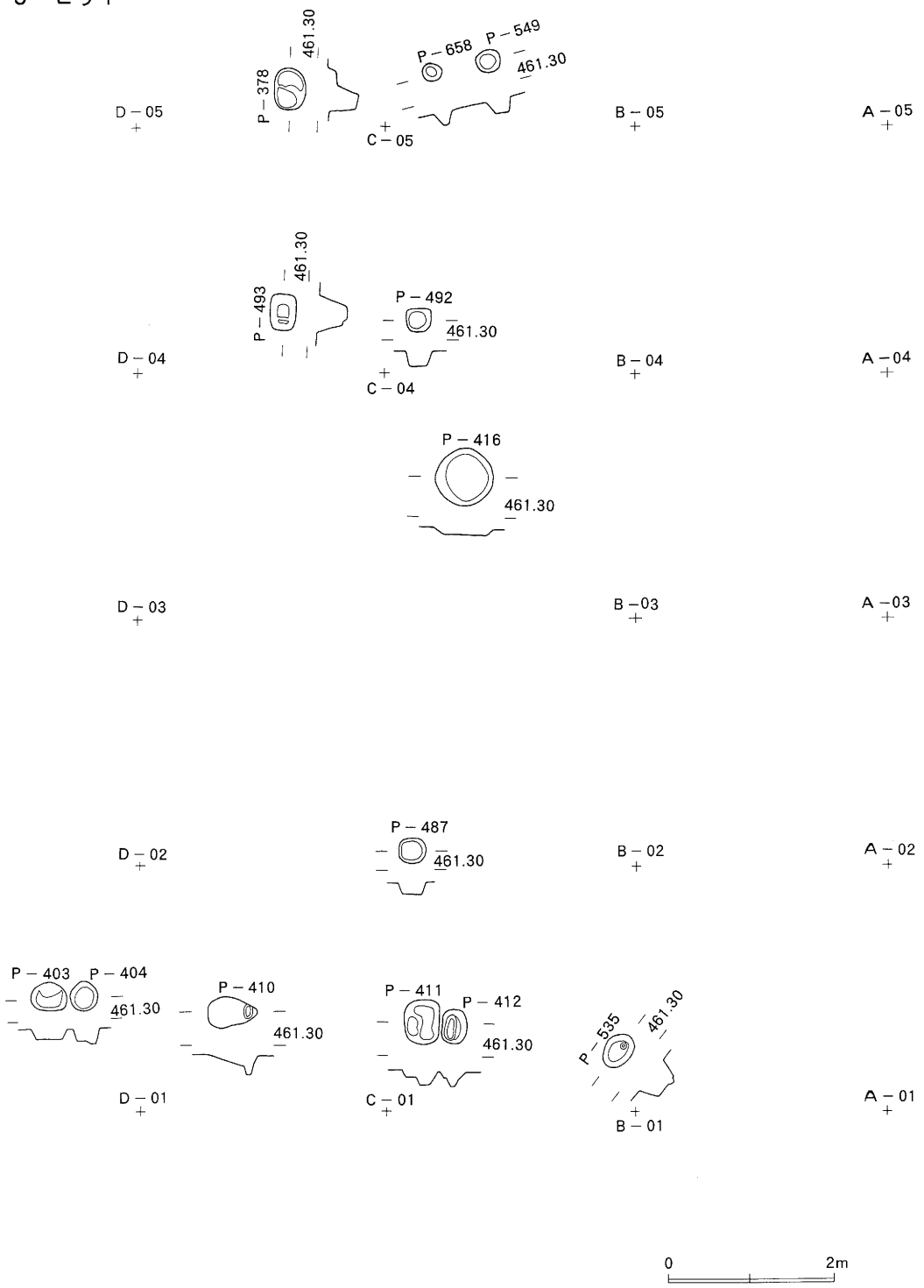


第102図　土壙実測図（1）

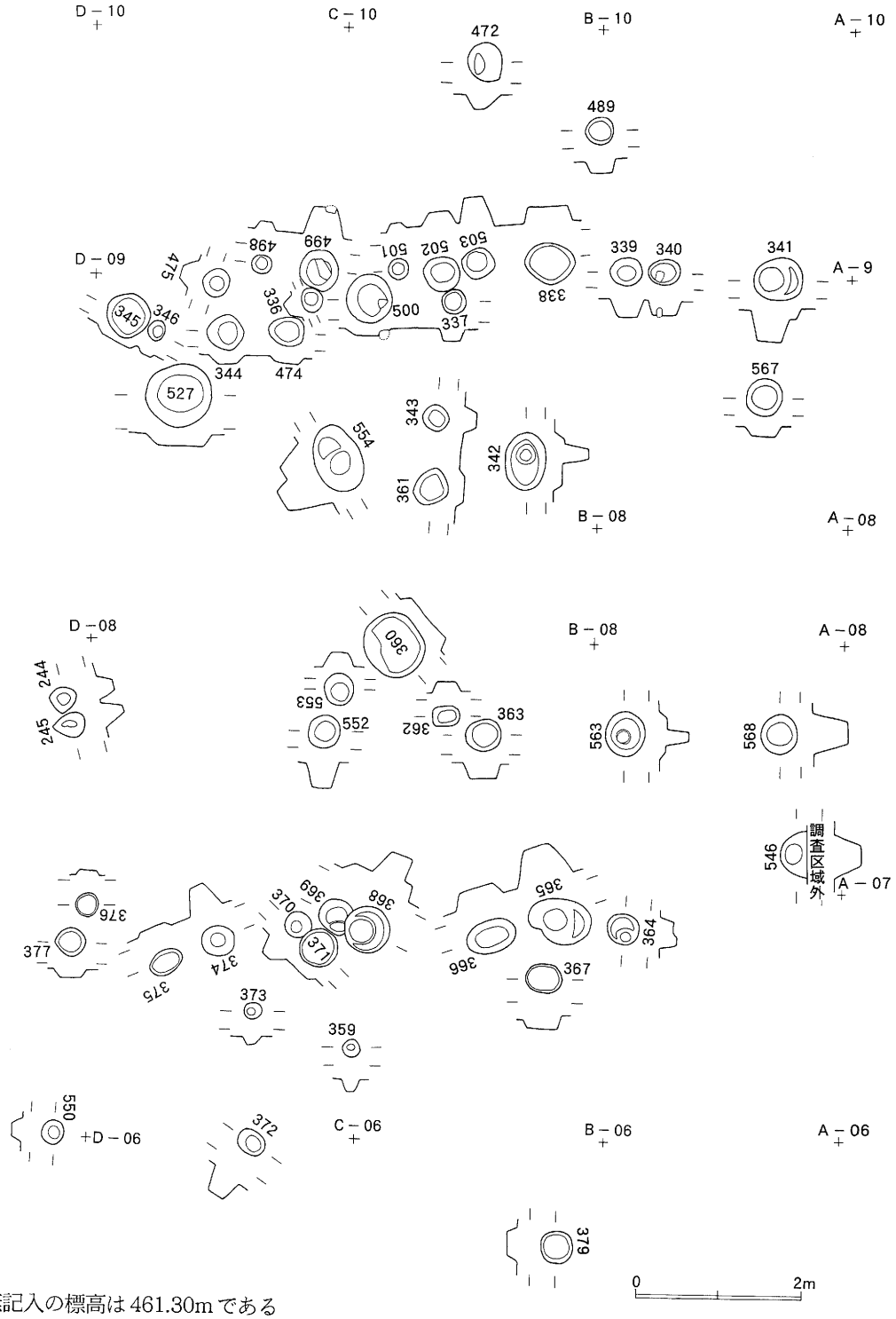


第103図　土壙実測図（2）

5 ピット

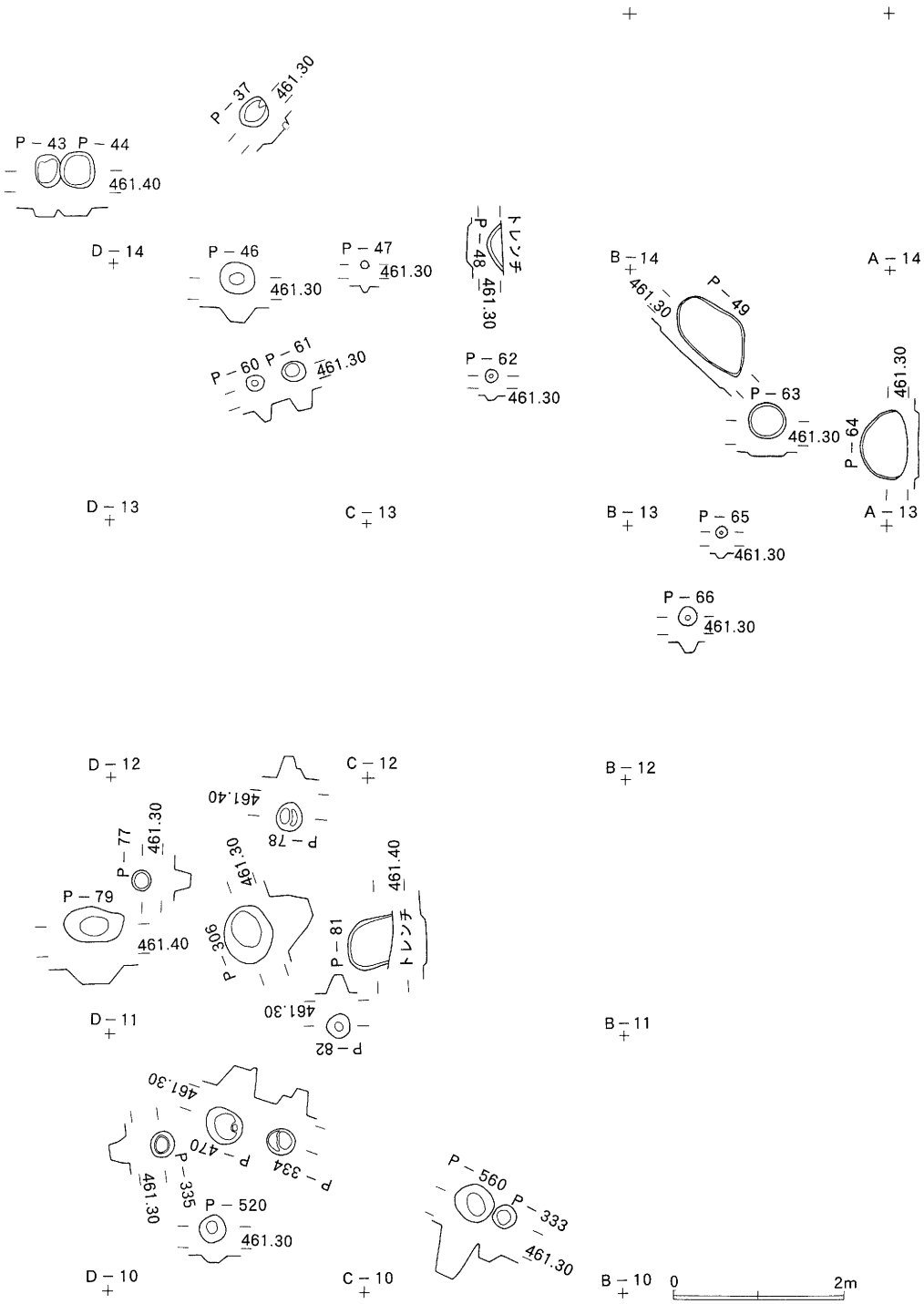


第104図　ピット実測図（1）

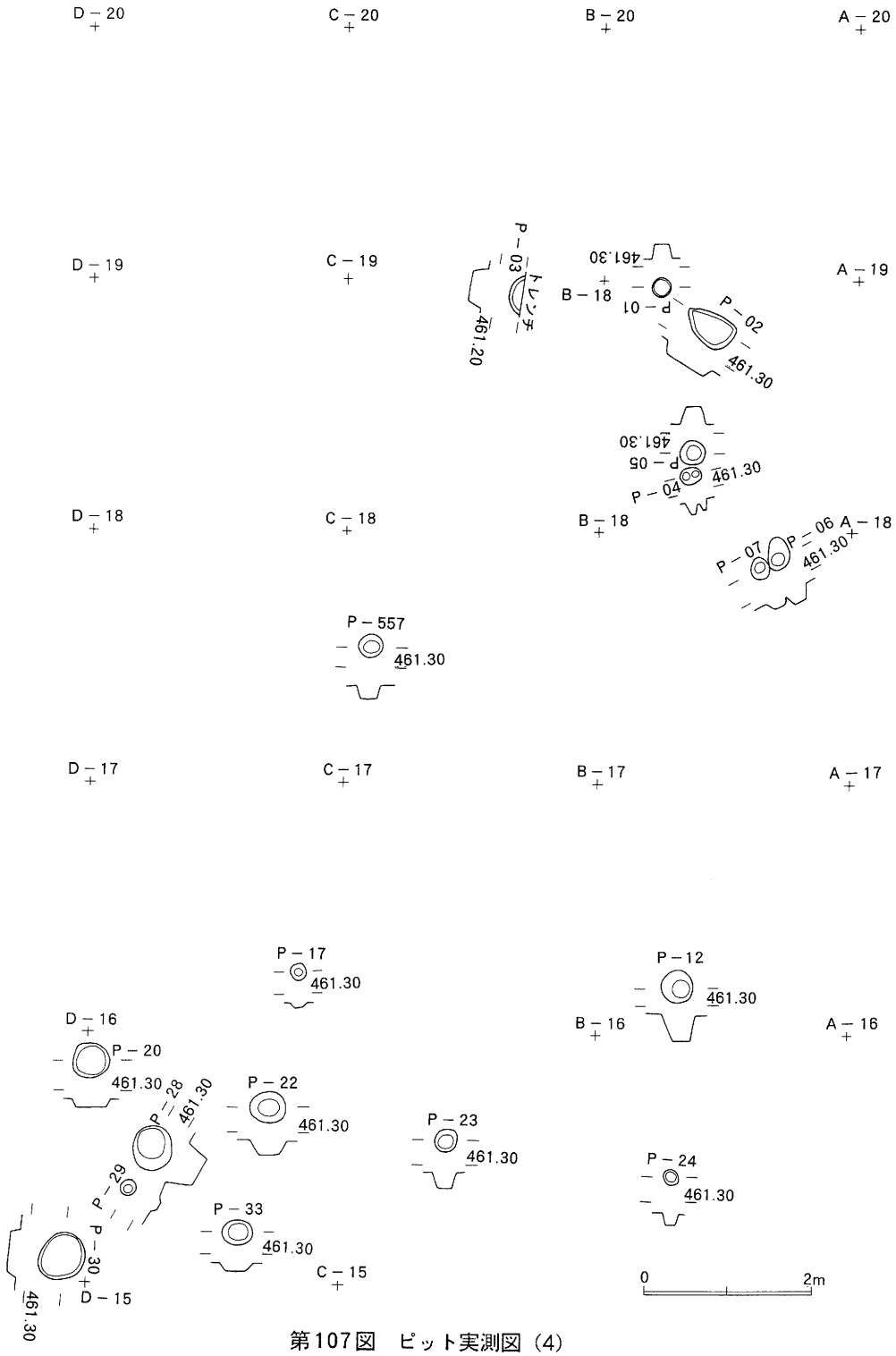


無記入の標高は461.30mである

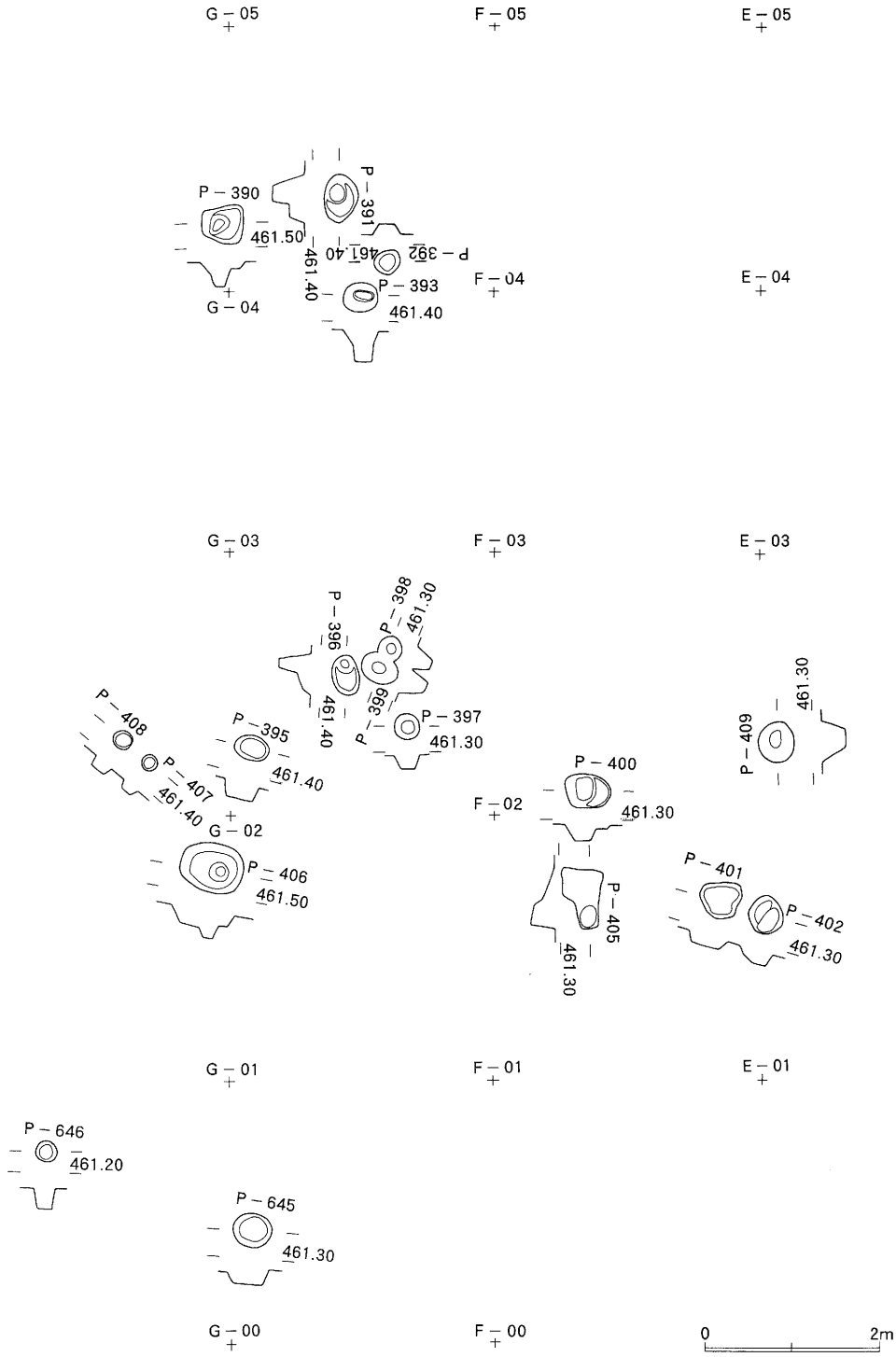
第105図　ピット実測図（2）



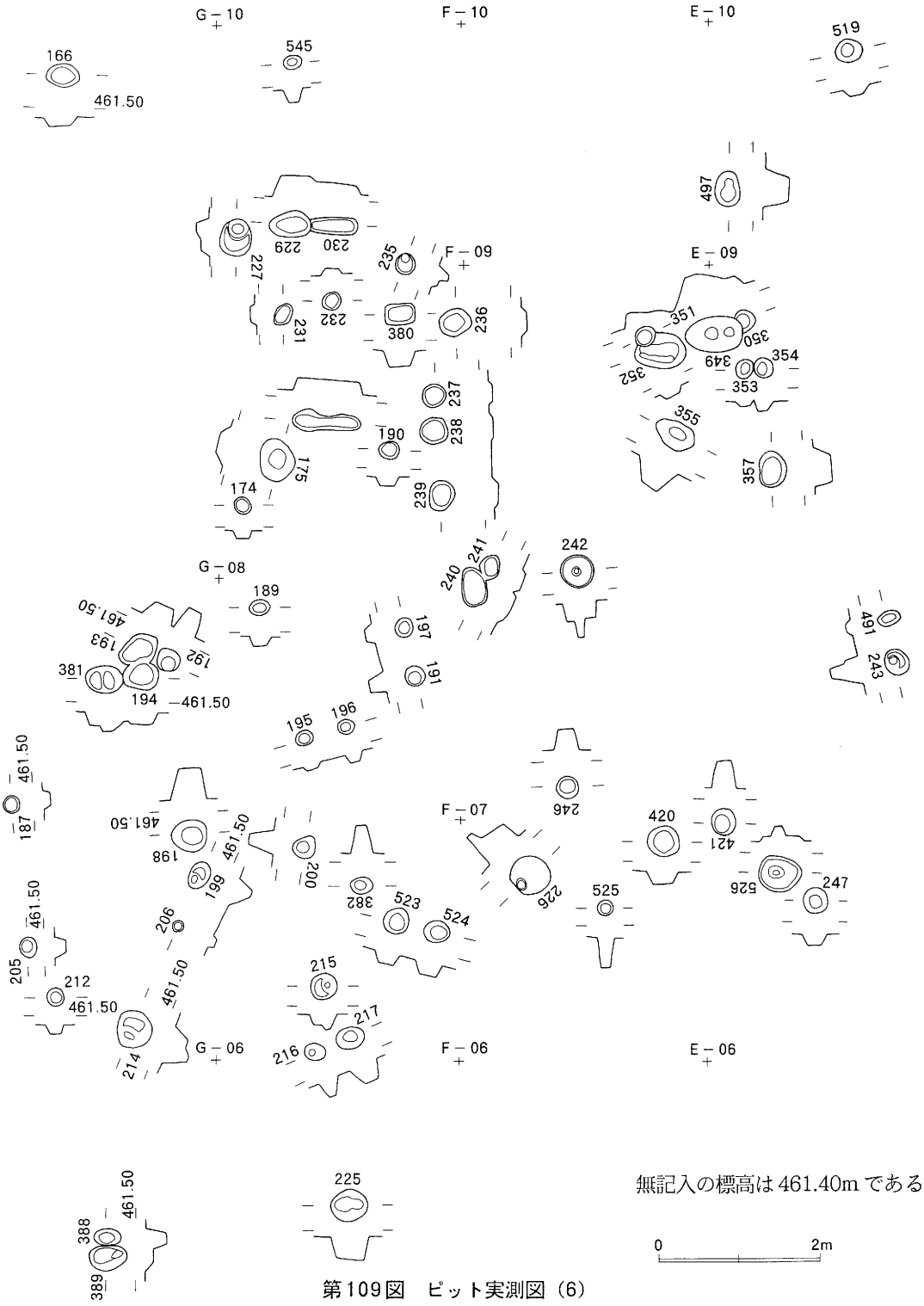
第106図　ピット実測図（3）



第107図　ピット実測図（4）



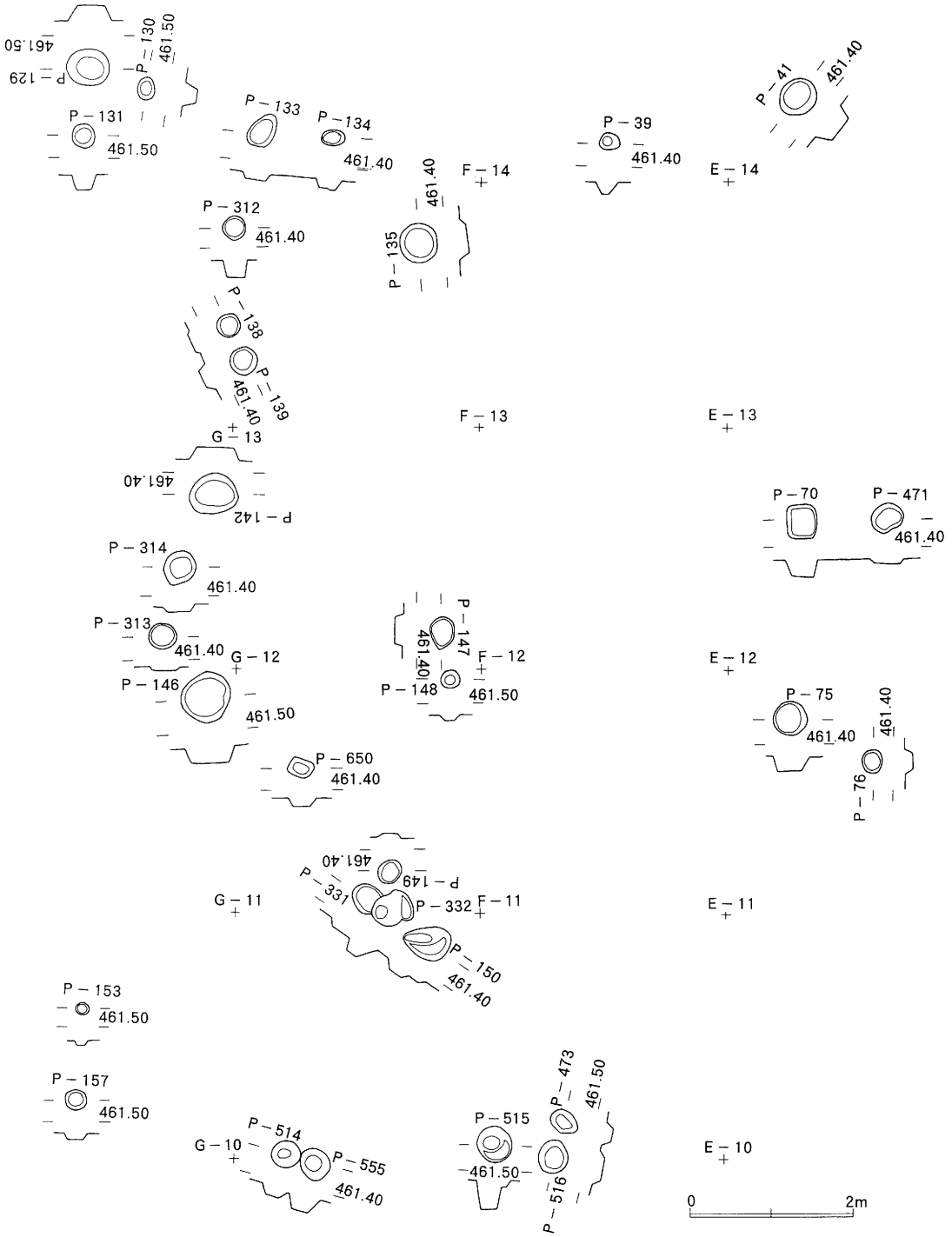
第108図　ピット実測図（5）



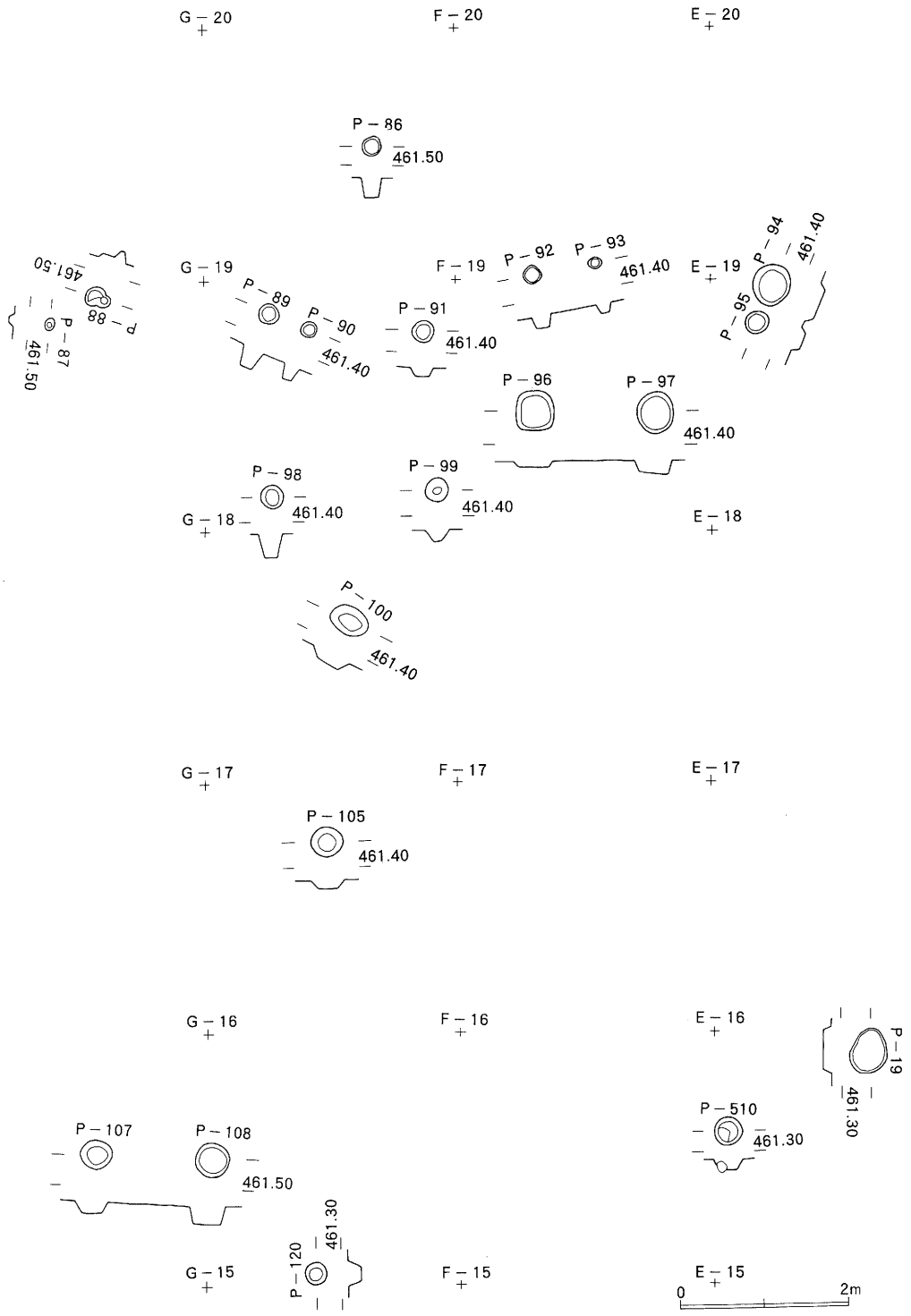
無記入の標高は461.40mである

0　2m

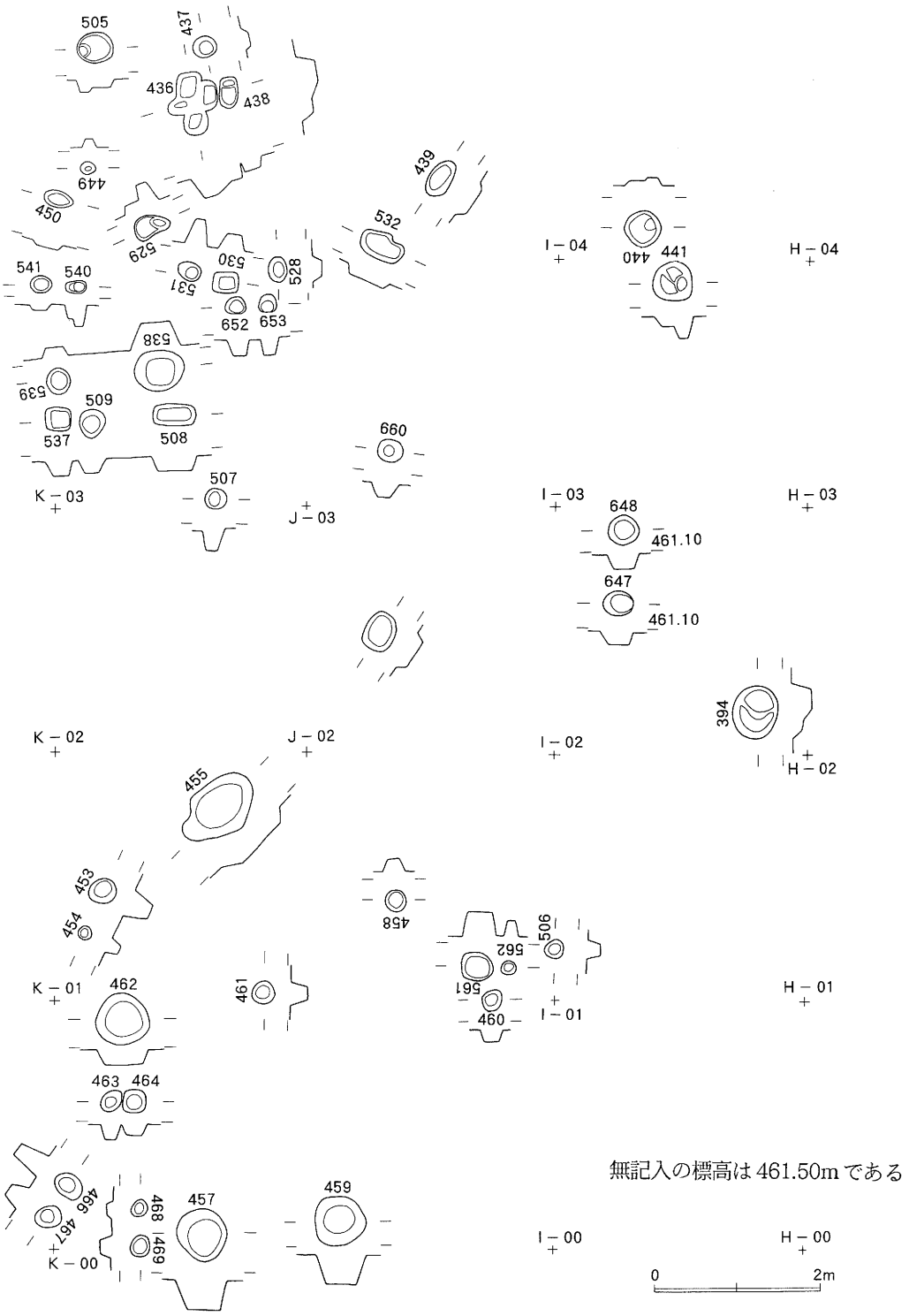
第109図　ピット実測図（6）



第110図　ピット実測図（7）

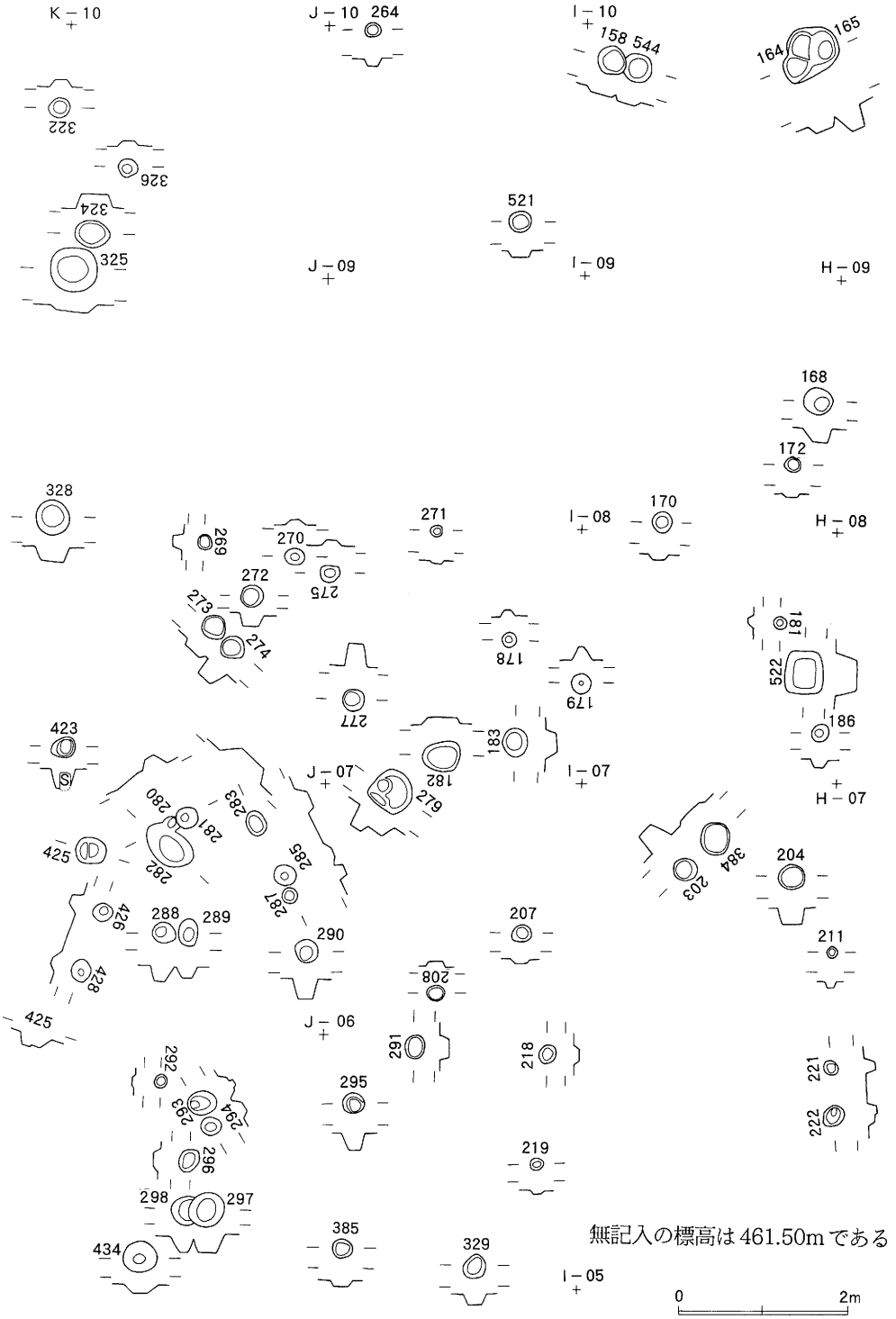


第111図　ピット実測図（8）

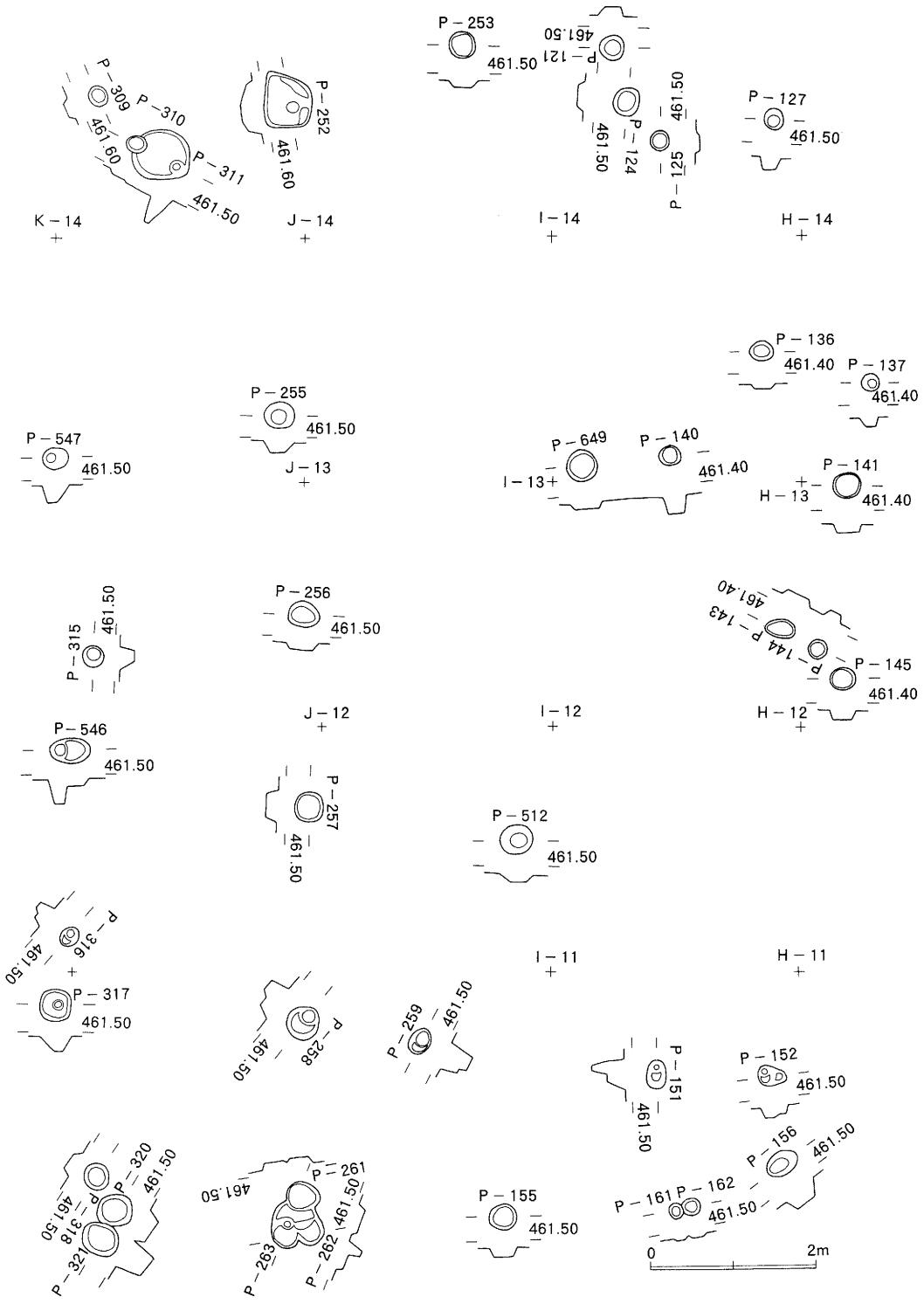


無記入の標高は461.50mである

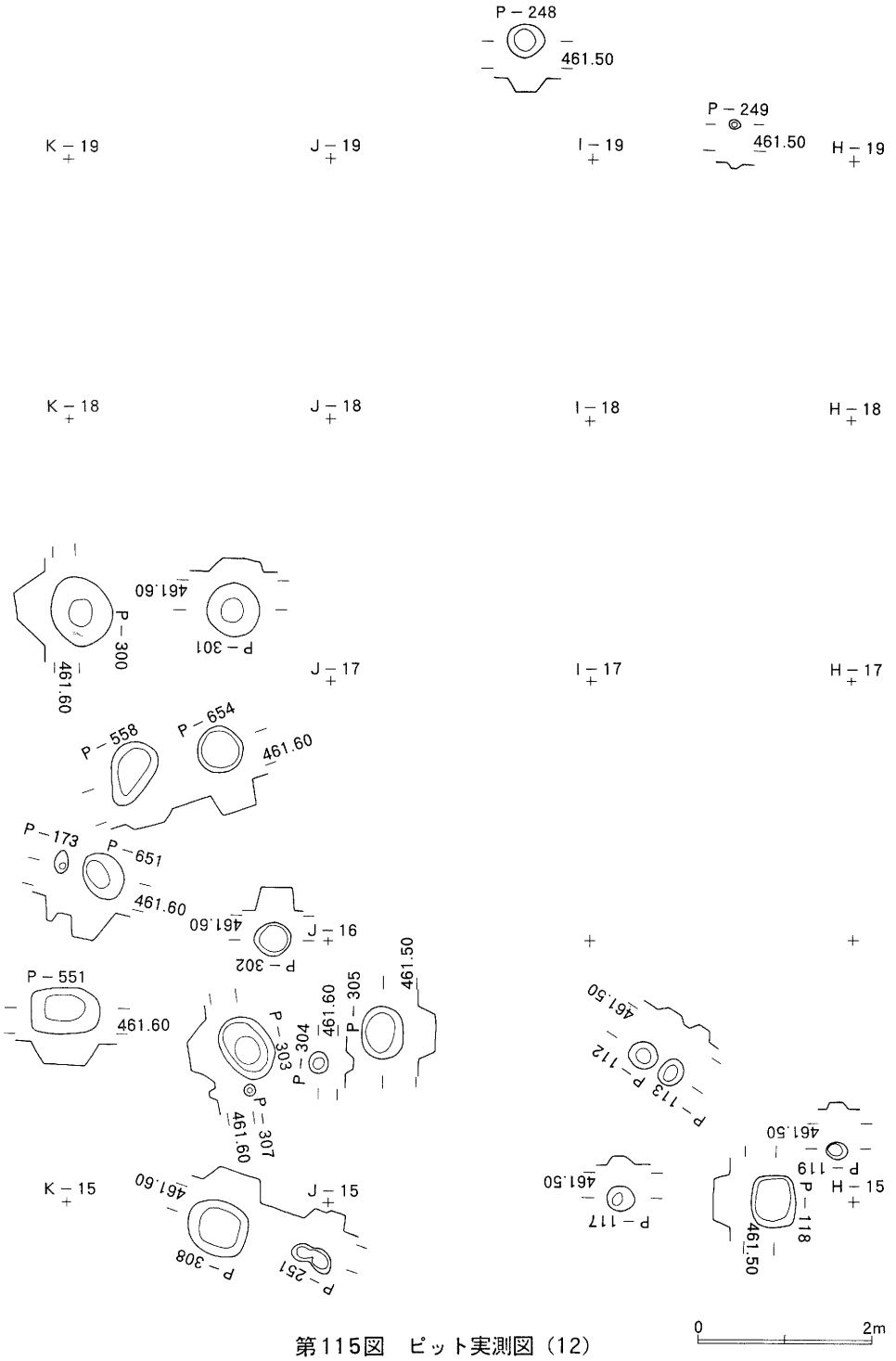
第112図　ピット実測図（9）



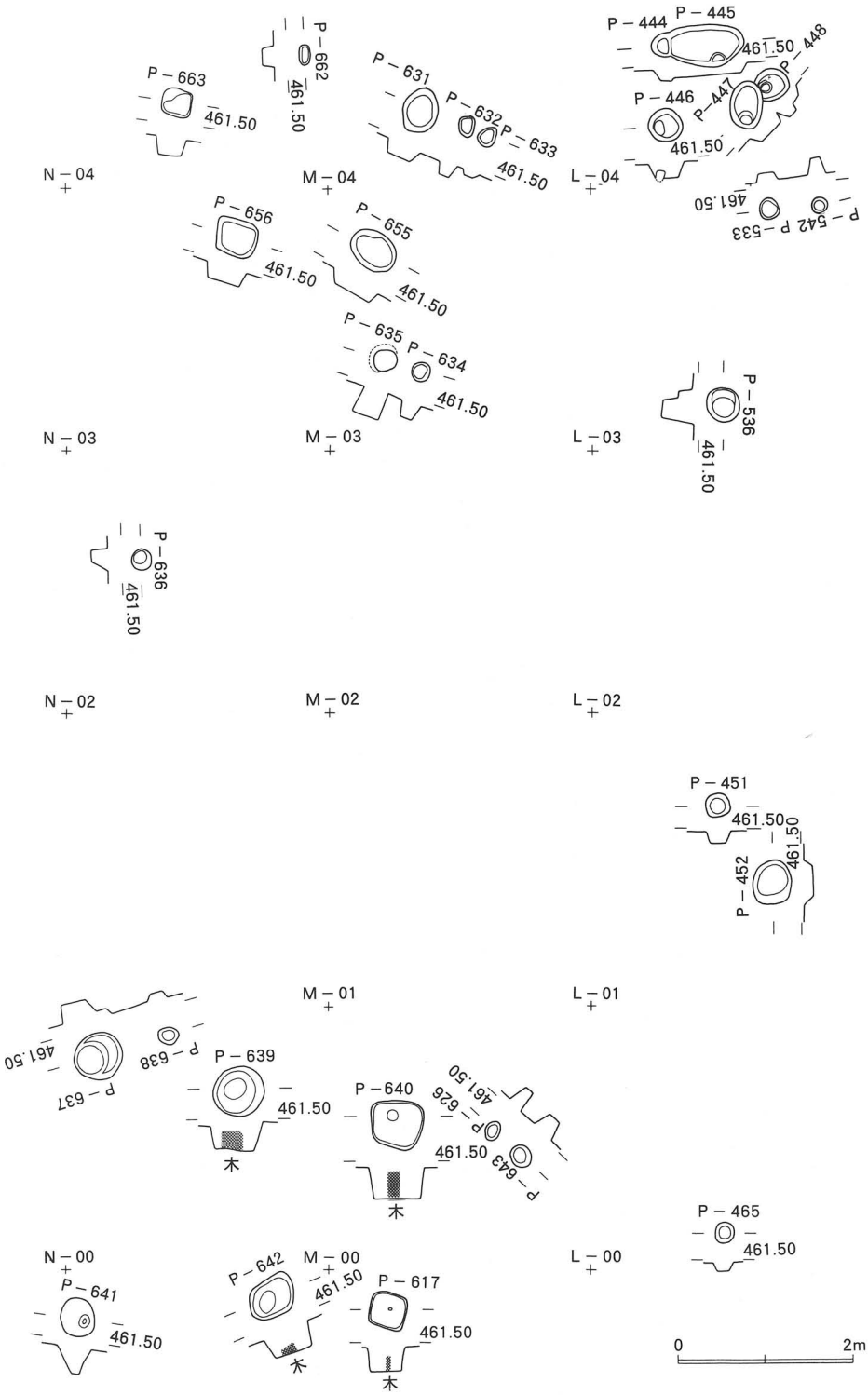
第113図　ピット実測図（10）



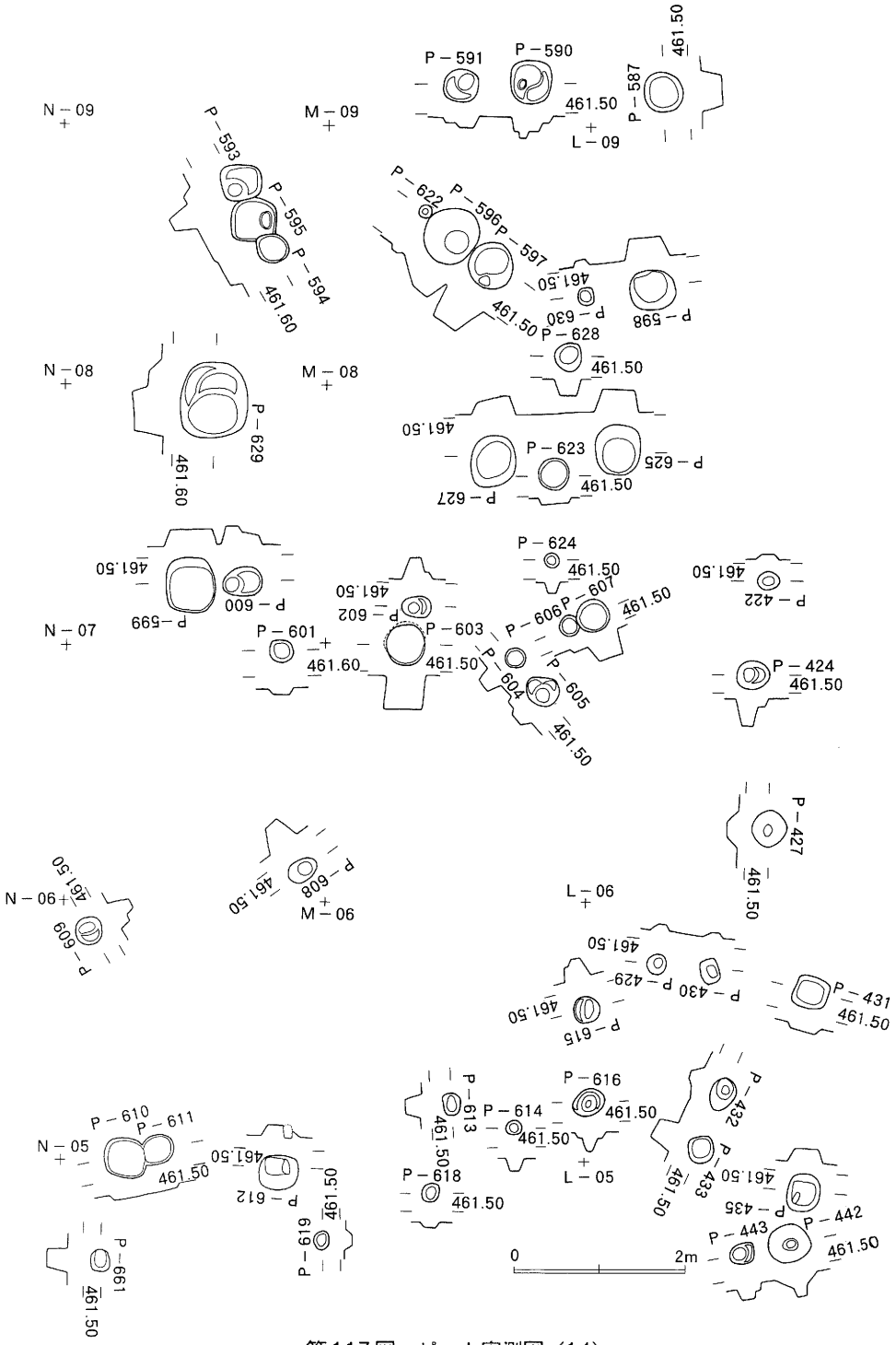
第114図　ピット実測図（11）



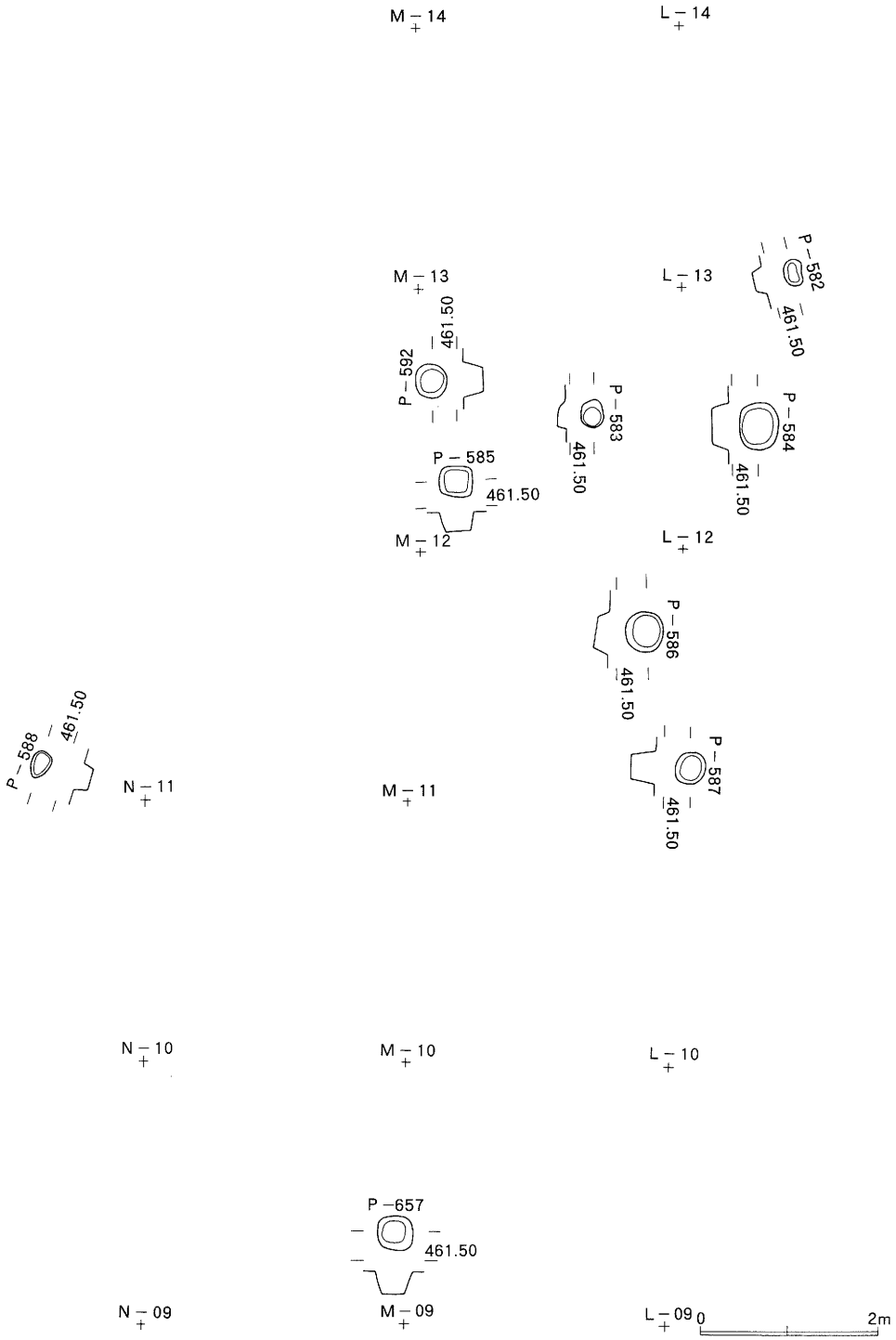
第115図　ピット実測図（12）



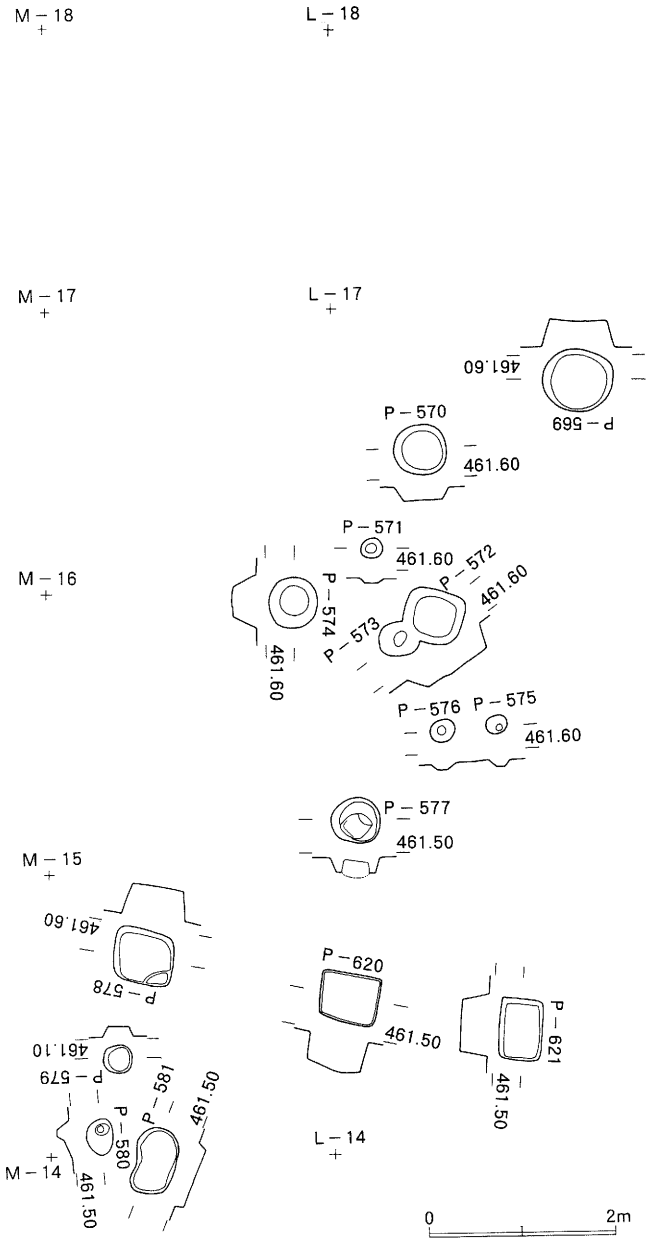
第116図　ピット実測図（13）



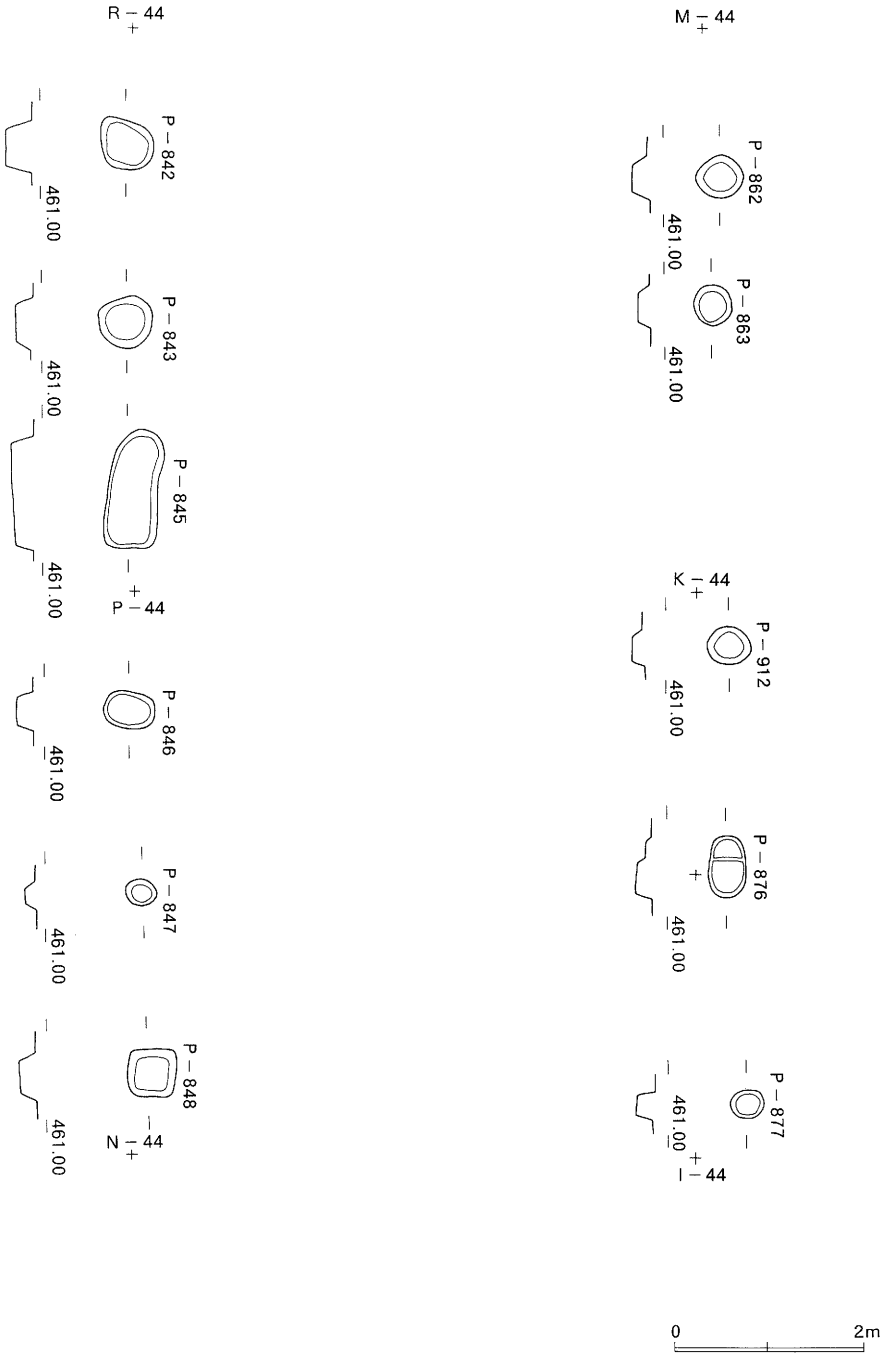
第117図　ピット実測図（14）



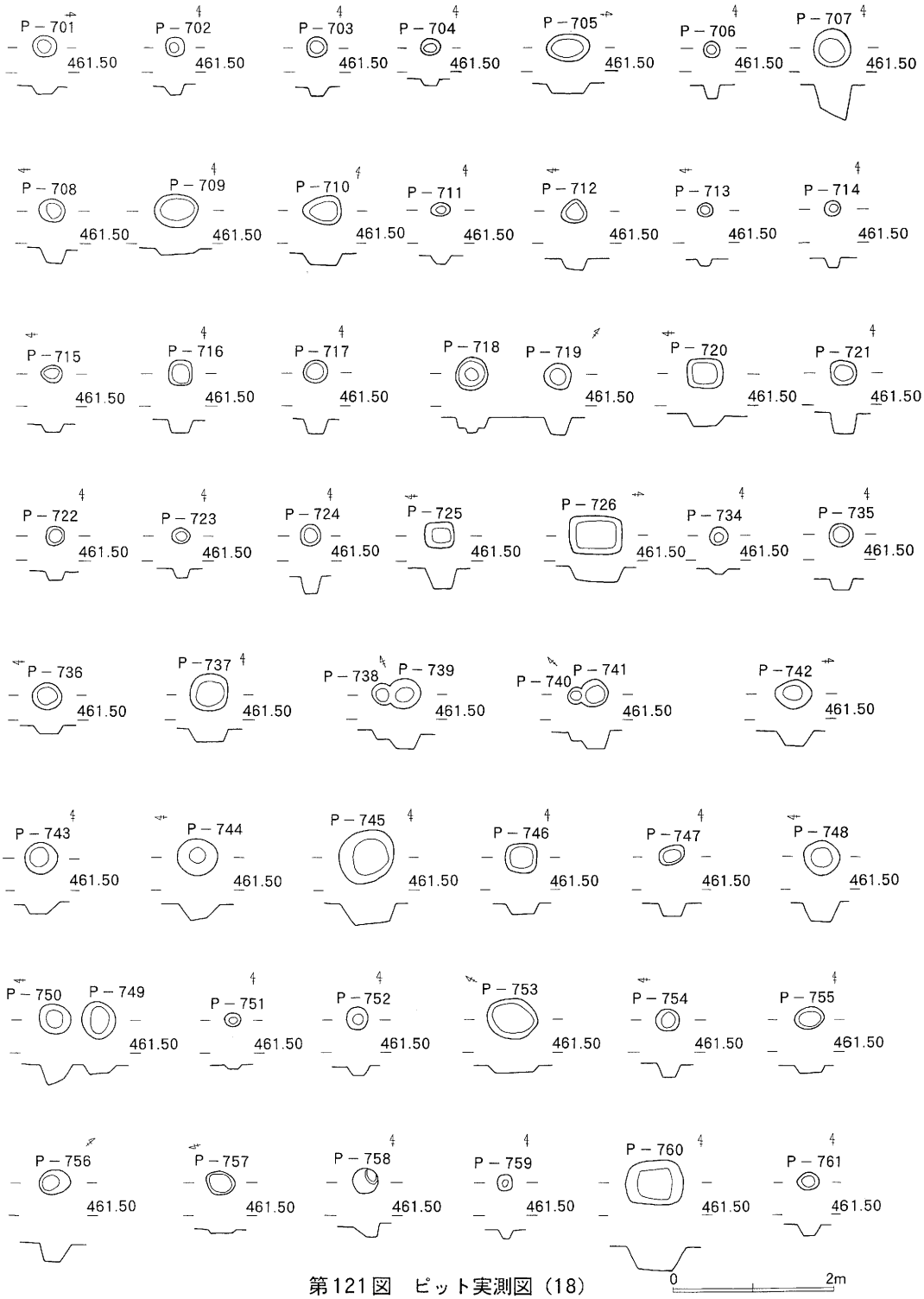
第118図　ピット実測図（15）



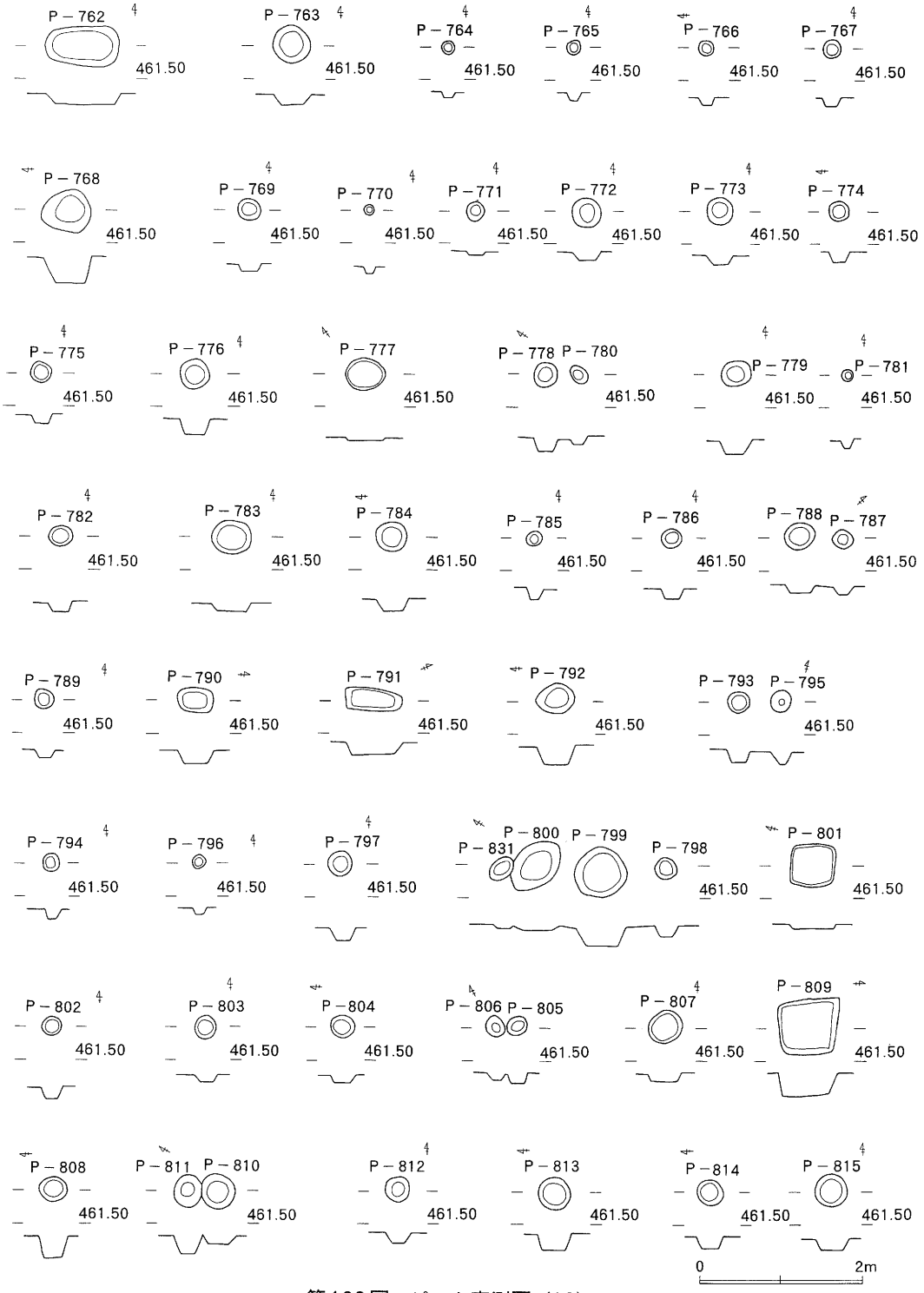
第119図　ピット実測図（16）



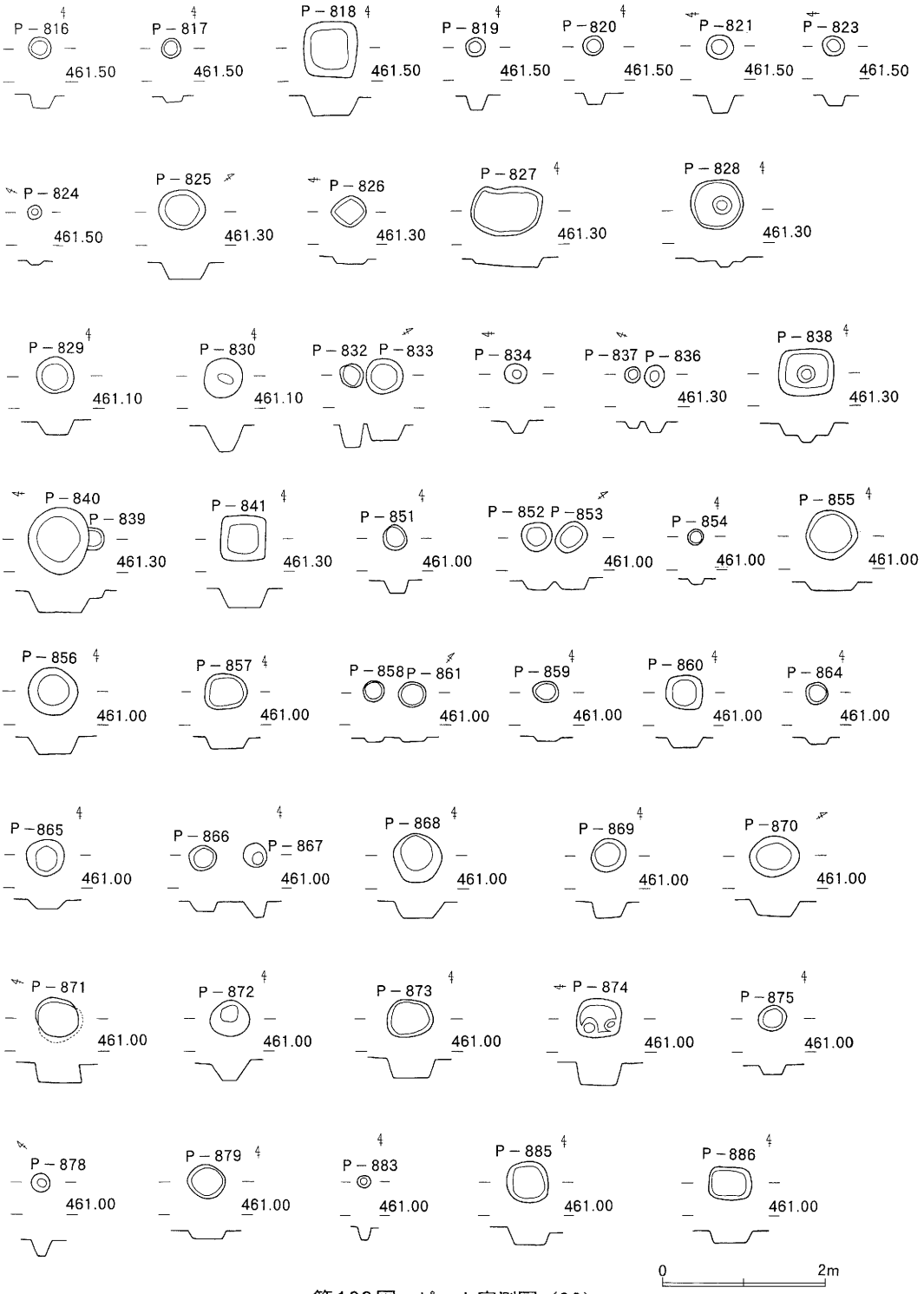
第120図　ピット実測図（17）



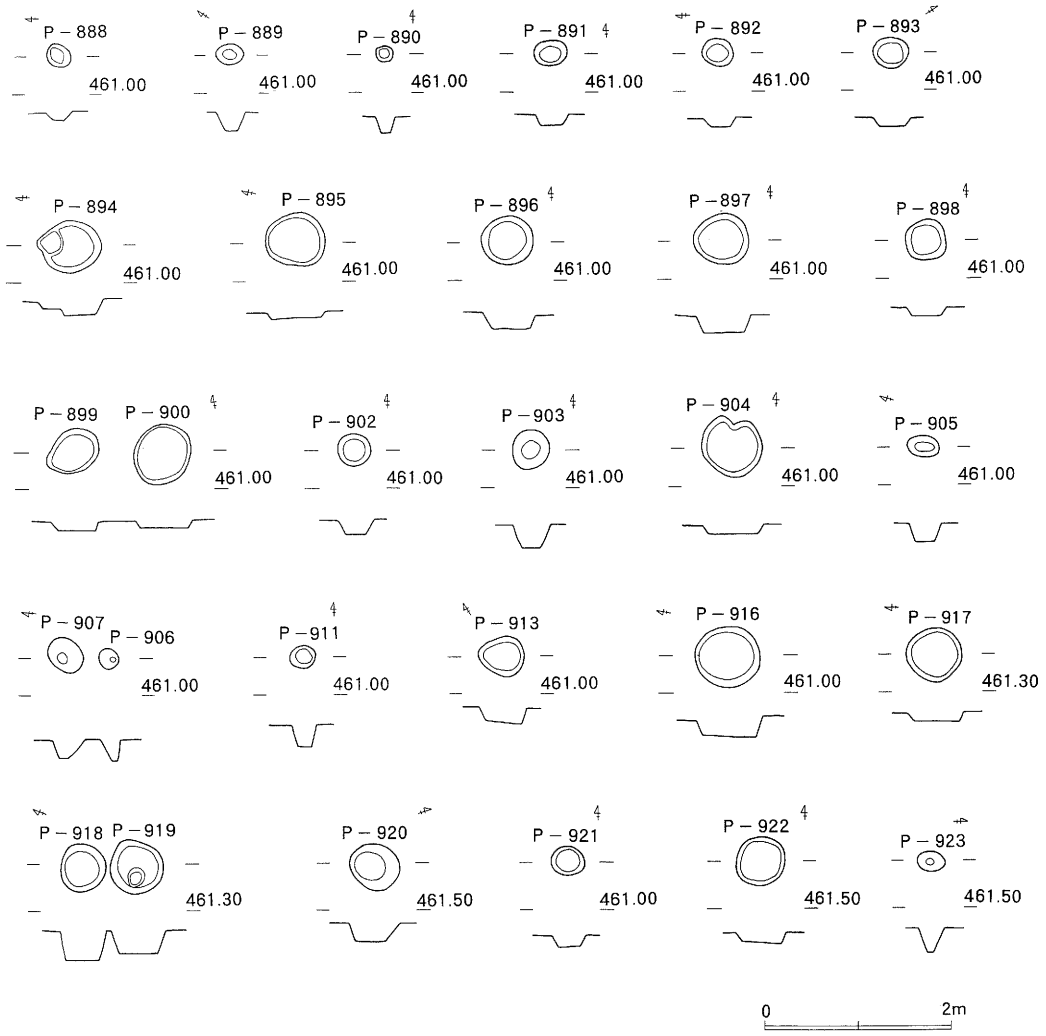
第121図　ピット実測図（18）



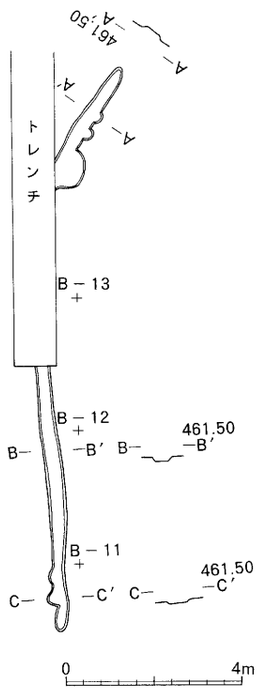
第122図　ピット実測図（19）



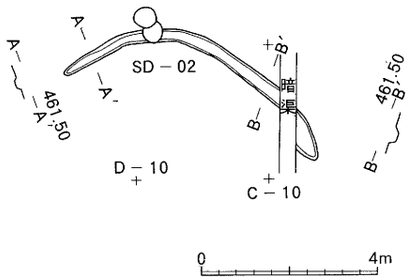
第123図　ピット実測図（20）



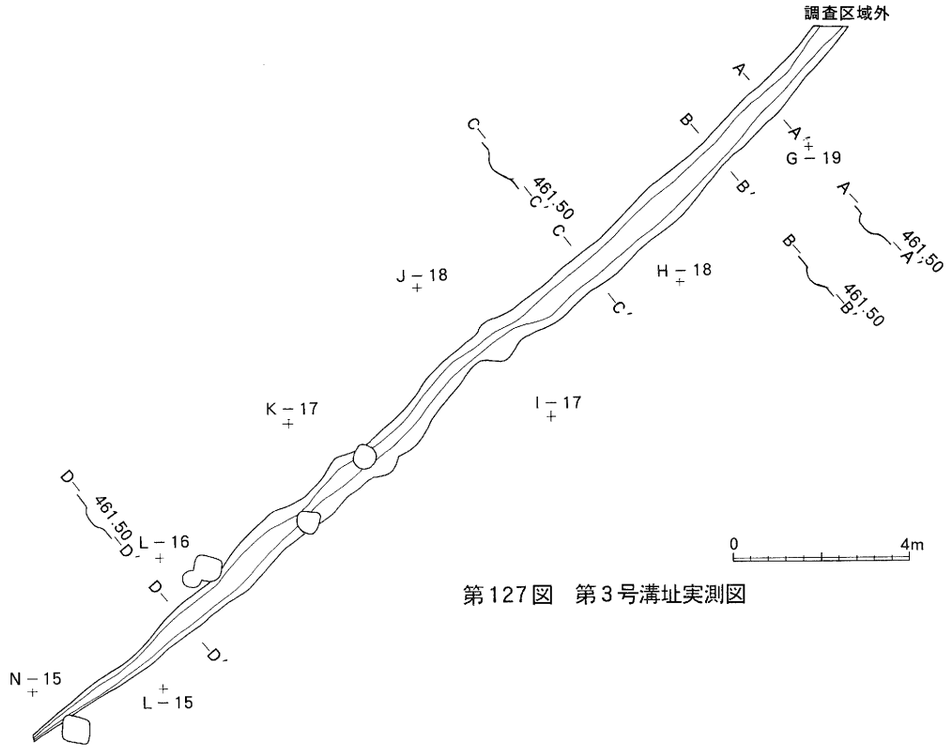
第124図　ピット実測図（21）



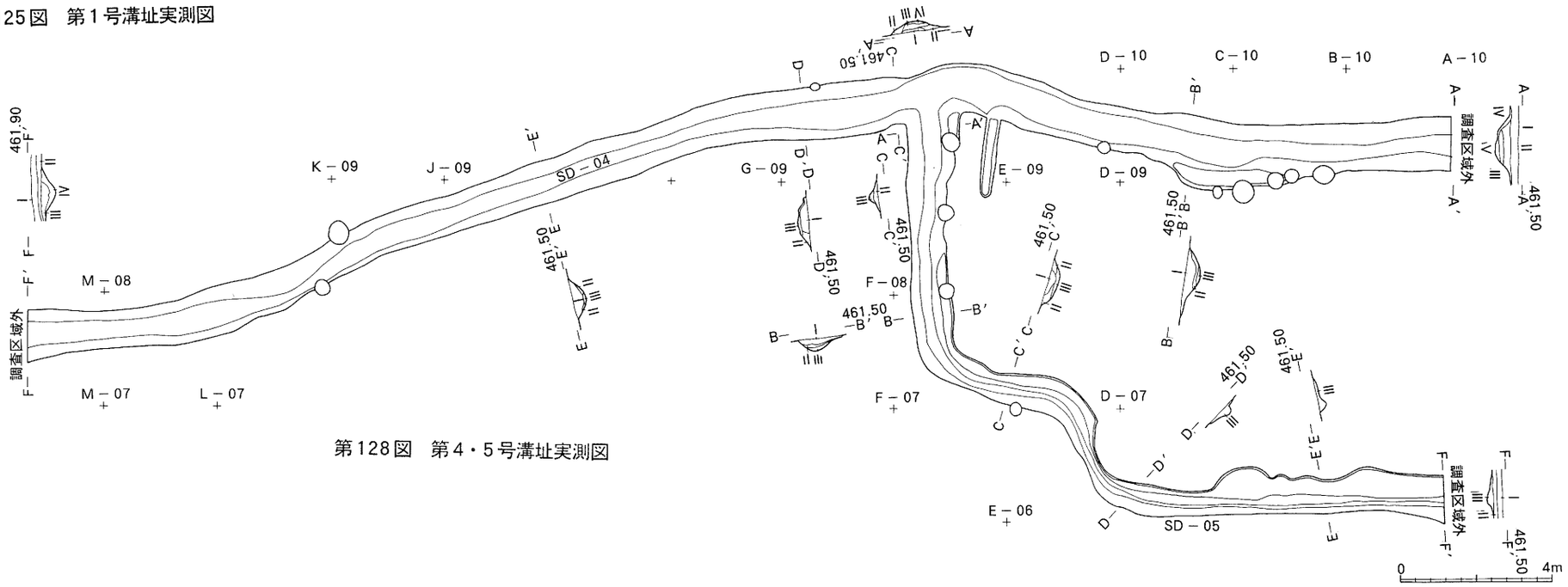
第125図　第1号溝址実測図



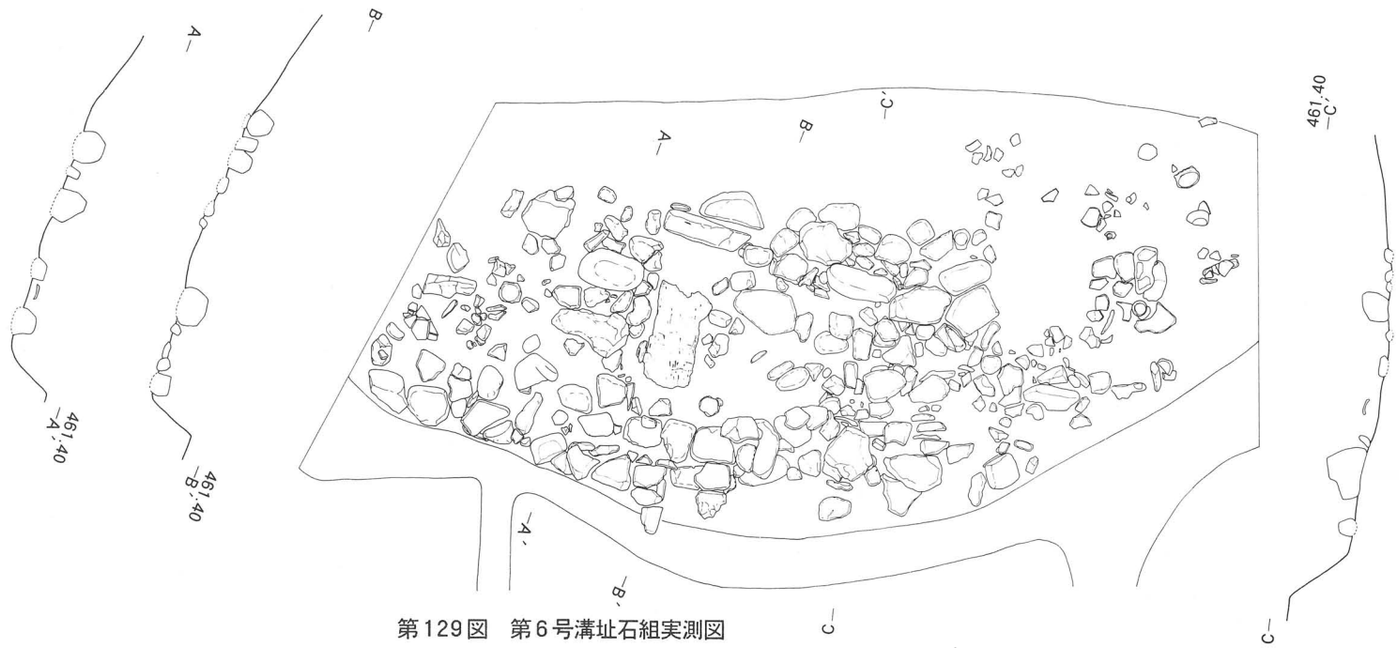
第126図　第2号溝址実測図



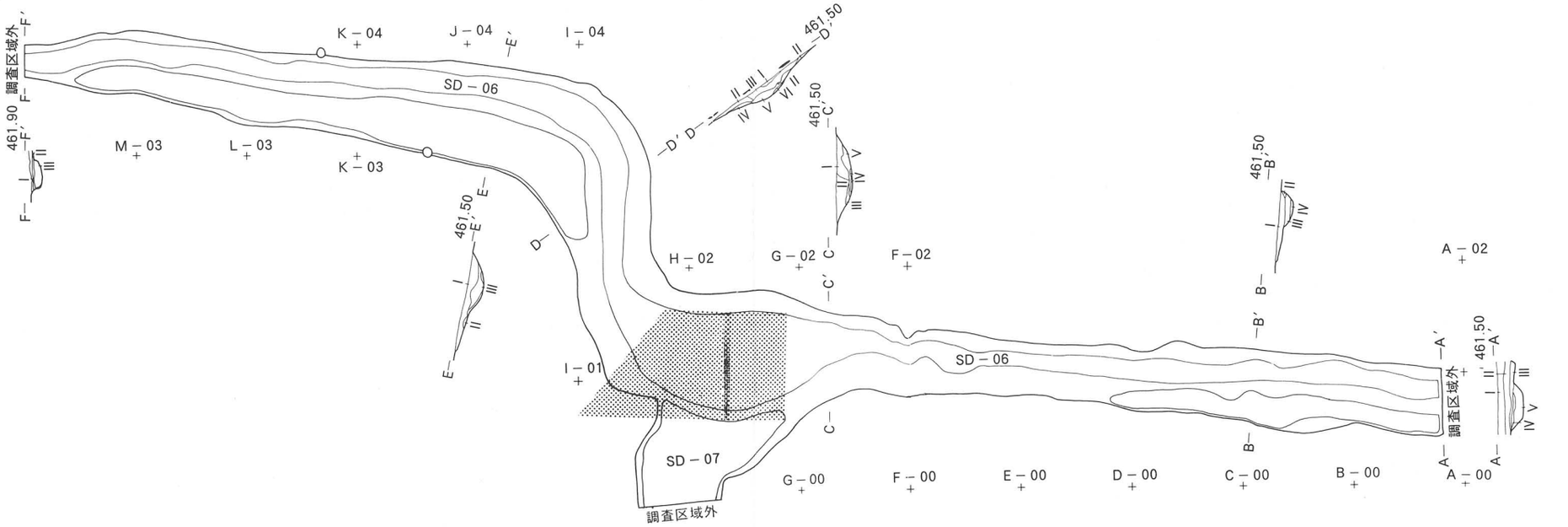
第127図　第3号溝址実測図



第128図　第4・5号溝址実測図



第129図　第6号溝址石組実測図



第130図　第6号溝址実測図

遺構番号 遺構図版 遺物図版	位置（グリッド） 平面形態 主軸方位	規模 壁高 床高	覆土層	柱穴（長径×短径×深さ）	竈	位置・主軸方位 規模（全長×最大幅） 覆土層
SB－01 第5～6図 第131図	A－16,17,18,B－16,17,18, 隅丸方形 N－94.5°－E	3.70×3.75 (N) 0.15～ (E) 0.27 460.93～461.11	Ⅰ黒褐色土	P1 (0.34×0.34×0.12) P2 (0.34×0.24×0.14) P3 (0.30×0.30×0.12) P4 (0.30×0.29×0.12)		東壁南寄り・N－92°－E 0.59×0.61 Ⅰ黒褐色土
備考	竈焚口に円盤状の平石を置く。ST－11、試掘トレンチにきられる					
SB－02 第7図 第132図	B－18,19,C－18,19,D－18,19 隅丸長方形 N－1.5°－E	4.63×2.92 (N) 0.05～ (W) 0.02 461.11～461.17	Ⅰ黒褐色土	なし		なし
備考	SB－03をきり、暗渠排水にきられる					
SB－03 第8～9図 第133図	C－17,18,D－17,18, 隅丸方形 N－92.0°－E	3.52×3.44 (S) 0.07～ (W) 0.12 461.07～461.12	Ⅰ黒褐色土	なし		東壁中央・N－93°－E 0.52×0.52 Ⅰ黒褐色土
備考	SB－02にきられ、SB－04をきる。南東隅に焼土と土師甕が伴って出土する。					
SB－04 第10～11図 第134図	C－16,17,D－16,17 隅丸長方形 N－4.5°－E	3.86×3.16 (S) 0.07～ (E) 0.10 461.13～461.19	Ⅰ黒褐色土	なし Ⅰ明灰褐色　Ⅱ明灰色縞混土　Ⅲ炭化物混暗灰色土　Ⅳ焼土混灰色土　Ⅴ焼土炭化物を含む褐色土		東壁南寄り・N－108°－E 0.46×0.42
備考	SB－03、ST－02にきられる					
SB－05 第12～13図 第135図	B－11,12,13,C－11,12,13, D－11,12,13,隅丸長方形 N－4.5°－W	4.58×3.80 (N) 0.07～ (S) 0.09 461.11～461.19	Ⅰ黒褐色土	P1 (0.32×0.29×0.12) P2 (0.22×0.22×0.08) P3 (0.57×?×0.18) P4 (0.46×?×0.12) ?＝暗渠排水にきられる　Ⅰ締まりのある明灰褐色土　Ⅱ炭化物混褐灰色土　ⅢⅡ＋焼土		北壁東寄り・N－3°－W 0.40×0.48
備考	ST－03、暗渠排水にきられる					
SB－06 第14～15図 第136～137図	E－05,F－05 隅丸方形 N－95.5°－E	2.69×2.60 (N) 0.07～ (S) 0.15 461.19～461.23	Ⅰ褐灰色土	なし Ⅰ褐色土混明灰褐色土　Ⅱ黄橙色土混灰白色弱粘質土　Ⅲ炭化物混褐灰色土		東壁南寄り・N－95.5°－E 0.50×0.52
備考	南西隅にいわゆる『編み物石』が集まる。竈石袖石残存					
SB－07 第16～17図 第138図	H－15,16,17,I－15,16,17, J－16,17隅丸方形 N－5.5°－E	4.88×5.25 (N) 0.10～ (W) 0.05 461.41～461.29	Ⅰ黒褐色土	P1 (0.22×0.19×0.12) P2 (0.17×0.13×0.14) P3 (0.22×0.19×0.06) P4 (0.45×0.35×0.21) P5 (0.10×0.07×0.06) P6 (0.20×0.17×0.16) P7 (0.08×0.07×0.04) P8 (0.10×0.06×0.09) P9 (0.50×0.22×0.04) P10 (0.12×0.10×0.23) P11 (0.38×0.29×0.13) P12 (0.25×0.12×0.07)		北壁中央・N－4.5°－E 0.60×0.50 支柱のみ残存
備考	SB－08・SD－03をきり、ST－01にきられる					
SB－08 第18～19図 第139～140図	I－17,18,J－17,18,K－17,18 隅丸長方形 N－103.0°－W	3.59×4.44 (W) 0.04～ (E) 0.08 461.40～461.38	Ⅰ黄橙色土混褐灰色粘質土	P1 (0.10×0.09×0.04) P2 (0.13×0.12×0.03) P3 (0.20×0.10×0.04) P4 (0.22×0.20×0.05) P5 (0.13×0.12×0.06) P6 (0.22×0.16×0.08) P7 (0.20×0.18×0.09) P8 (0.06×0.06×0.04) P9 (0.06×0.06×0.03) P10 (0.10×0.10×0.03)		東壁中央・N－110.5°－E 0.28×0.49
備考	SB－07にきられる。西の張出部は検出時や床面精査でも変化が確認できなかったので1住居址として報告する。床中央部に炭化物が広がる					
SB－09 第20図 第141図	F－02,03,G－02,03 隅丸長方形 N－11.5°－E	4.12×3.04 (N) 0.07～ (W) 0.14 461.23～461.30	Ⅰ灰褐色粘質土	なし		竈状の遺構は東壁南寄りに残るが、焼土等被熱の痕跡はない。
備考						

第2表　住居址一覧表（1）

遺構番号 遺構図版 遺物図版	位置（グリッド） 平面形態 主軸方位	規模 壁高 床高	覆土層	柱穴（長径×短径×深さ）	竈	位置・主軸方位 規模（全長×最大幅） 覆土層
SB－11 第21図 第142図	E－02,03,F－02,03 隅丸（長）方形 N－0.3°－W	3.68×2.62 (N) 0.02～(S) 0.05 461.12～461.23	Ⅰ褐灰色弱粘質土	なし		なし
備考	北・東側がほとんど削平されている					
SB－13 第22～23図 第143図	L－09,10,M－09,10 隅丸長方形 N－1.5°－W	3.44×2.82 (E) 0.02～(W) 0.04 461.43～461.47	Ⅰ明灰褐色弱粘質土	P1 (0.44×0.36×0.20) P2 (0.67×0.43×0.30) P3 (0.60×0.40×0.18) Ⅰ明灰褐色弱粘質土　Ⅱにぶい黄橙色土Ⅲ炭化物混黒褐色粘質土		北壁西寄り・N－5.5°－ 0.59×0.50
備考	竈焼土面は床面から比高差で12cm低く掘り窪めている。					
SB－21 第24～25図 第144図	I－25,26,J－25,26 隅丸長方形 N－97.5°－E	4.10×3.46 (E) 0.21～(W) 0.31 461.15～461.19	Ⅰ橙色砂混黄灰色土 Ⅱ黄褐色土混黄灰色土 Ⅲ赤褐色土混黄灰色	P1 (0.18×0.17×1.10) P2 (0.13×0.12×0.10) P3 (0.90×0.80×0.39) Ⅰ橙色砂混灰色土　Ⅱ明赤褐色焼土　Ⅲ炭化物混灰褐色		東壁南寄り・N－97.0°－E 0.46×0.54
備考	燃焼室を二分するように竈中央に縦軸に沿って石が置かれ、左室には焼土がない。余熱を利用した保温施設か。ST－21にきられる。					
SB－22 第26～27図 第145図	M－27,28,29,N－27,28,29 隅丸長方形 N－2.5°－E	4.66×3.74 (E) 0.19～(W) 0.14 461.24～461.33	Ⅰ橙色砂混黄灰色土 Ⅱ暗赤褐色砂質土	なし Ⅰ灰白色耕作土　Ⅱ橙色砂混黄灰色土　Ⅲ炭化物混黄褐色土		北壁東寄り・N－2.8°－E 0.48×0.50
備考	住居址中央に土壙（1.06×0.75×0.15）あり。竈の石が抜かれた形跡がある。					
SB－23 第28～29図 第146図	N－29,30,O－29,30 隅丸長方形 N－97.7°－E	4.37×3.53 (S) 0.05～(N) 0.07 461.30～461.38	Ⅰ褐色土混明灰色土	なし		東壁中央・N－103.0°－E 0.60×0.86 Ⅰ炭化物混灰褐色土　Ⅱ黄色粘土
備考	北壁寄りに土壙（0.70×0.53×0.20）あり、これを含めて北西4半をSB－21にきられる					
SB－24 25 26 第30～31図 第147図	I－27,28,J－27,28 3軒ともおそらく隅丸の（長）方形を呈すると思われる。	? (E) 0.36～(W) 0.31 床の高さは461.14～461.20で3軒とも一致する。	Ⅰ黄橙色土混明褐色土	P1 (0.24×0.22×0.14) P2 (0.24×0.22×0.15) Ⅰ褐色土　Ⅱ炭化物焼土混暗褐色土　Ⅲ黄橙色土混褐色土		〔SB－24〕北壁・N－6.5°－E 0.60×0.61 〔SB－25〕北壁・N－2°－E 0.52×0.68 Ⅰ黄橙色土混明褐色土　Ⅱ灰混褐色土　Ⅲ暗褐色砂土混褐色土
備考						
SB－27 第32～33図 第148図	O－30,31,P－30,31 隅丸方形 N－85.5°－E	3.49×3.41 (S) 0.04～(E) 0.11 461.26～461.32	Ⅰ褐色土混明灰色砂質土	なし		東壁中央・N－85.5°－E 0.31×0.76 Ⅰ褐色土混明灰色砂質土　ⅡⅠ＋焼土
備考	SB－23をきる					
SB－28 第34～35図 第149図	J－30,31,K－30,31 隅丸方形 N－89.5°－E	3.35×3.62 (N) 0.16～(E) 0.19 461.16～461.24	Ⅰ黄橙色土混灰色土 Ⅱ黒褐色土混灰色土	なし Ⅰ黄橙色土混灰色土　Ⅱ炭化物・焼土混暗灰色土		東壁南寄り・N－90.0°－E 0.61×0.52
備考	床中央北寄りに炭化物が広がる					
SB－29 第36～37図 第150図	G－29,30,H－29,30 隅丸方形 N－91.5°－E	3.05×3.16 (E) 0.08～(W) 0.13 461.20～461.26	Ⅰ明灰褐色土、Ⅱ浅黄橙色土 Ⅲ明褐色土混黒褐色土　Ⅳ明褐灰色土、黄砂・焼土混明褐灰色土	P1 (0.53×0.45×0.18) P2 (0.46×0.31×0.10)		
備考	SB－30,59をきる					
SB－30 第38図 第151図	G－30,31,H－30,31 隅丸方形 N－39.0°－W	3.32×2.98? (W) 0.21～(W) 0.23 461.00～461.08	Ⅰ黄橙色砂粒混明褐色砂質土Ⅱ橙色砂混褐色土　Ⅲ黄橙色土混褐色砂質土　Ⅳ炭化物混暗褐色土　Ⅴ灰白色土	P1 (0.26×0.25×0.11)		なし
備考	南隅に1.10×0.63×0.07の土壙					

第3表　住居址一覧表（2）

遺構番号 遺構図版 遺物図版	位置（グリッド） 平面形態 主軸方位	規模 壁高 床高	覆土層	柱穴（長径×短径×深さ）	竈	位置・主軸方位 規模（全長×最大幅） 覆土層
SB－31 第39～40図 第152図	F－31,32,G－31,32 隅丸方形 N－1.0°－W	3.56×2.85 (N) 0.14～(W) 0.22 461.00～461.05	Ⅰ褐色弱粘質土　Ⅱ灰色土混弱粘質褐色土　Ⅲ黒褐色土混弱粘質赤灰色土　Ⅳ赤褐色土混褐色土　Ⅴ弱粘質明褐色土	P1 (0.20×0.20×0.06) P2 (0.20×0.18×0.05)		北壁東寄り・N－14.5°－E 0.70×0.52 Ⅰ灰色土混褐色土　Ⅱ明褐色土　Ⅲ焼土混褐色
備考	SB－32に切られる。					
SB－32 第41～42図 第153～154図	F－31,32,G－31,32 隅丸方形 N－89.5°－W	3.21×2.94 (E) 0.21～(N) 0.24 460.96～461.08	Ⅰ弱粘質褐色土　Ⅱ灰色土混弱粘質褐色土　Ⅲ極暗赤褐色土混弱粘質黒褐色土　Ⅳ弱粘質明灰褐色土　Ⅴ橙色土混明褐灰色土　Ⅵ灰色土混黒褐	P1 (0.82×0.64×0.08)		東壁中央・N－90.5°－E 0.32×0.50 Ⅰ赤褐色礫混褐色土　Ⅱ褐灰色土　Ⅲ灰色土混褐色土
備考	SB－31を切る。石組竈は残存状態が良好である。					
SB－33 第43図 第155図	H－32,33,I－32,33 隅丸方形？ ？	？×4.90 (E) 0.15～(W) 0.06 461.03～461.15	Ⅰ赤褐色礫混黄色砂質土　Ⅱ黄灰色色土　Ⅲ黄色土混褐色土　Ⅳ赤褐色土混褐色土　Ⅴ焼土混褐色土	P1 (0.40×0.32×0.30) P2 (0.28×0.26×0.10) P3 (0.60×0.55×0.17) P4 (0.73×0.57×0.33) P5 (0.35×0.28×0.13) P6 (0.29×0.27×0.12)		なし
備考	畦畔により北部を切られる。					
SB－34 第44図 第156図	J－32,33,K－33 隅丸方形 N－87.5°－E	2.86×3.00 (E) 0.04～(W) 0.08 461.21～461.12	Ⅰ褐色土　Ⅱ黒色礫混明褐色土、Ⅲ黄橙色砂質土　Ⅳ礫混黄橙色土	なし		東壁中央に僅かな焼土 ほか不明
備考	SB－35、畦畔に切られる。東南隅に0.87×0.70×0.06、西北隅に1.00×0.38×0.20の土壙					
SB－35 第45～46図 第157図	K－31,32,33,L－31,32,33 隅丸方形 N－27.5°－E	5.49×5.52 (E) 0.04～(W) 0.15 461.20～461.29	Ⅰ橙色砂混黒褐色土 Ⅱ橙色砂混褐色土 Ⅲ黄橙色砂混灰褐色土	P1 (0.33×0.30×0.10) P2 (0.30×0.30×0.10) P3 (0.21×0.20×0.09) P4 (0.33×0.32×0.05) P5 (0.64×0.54×0.11) P6 (0.34×0.30×0.10) P7 (0.18×0.18×0.04) P8 (0.38×0.20×0.06)		北壁東寄り・N－27.0°－E 0.64×0.65 Ⅰ黒褐色土
備考	SB－34を切る。					
SB－36 第47～48図 第158図	N－32,33,34,M－33,34 L－33,34,隅丸方形 N－18.5°－E	3.26×4.09 (E) 0.03～(N) 0.14 461.25～461.34	Ⅰ褐色砂混褐灰色土 Ⅱ黄橙色砂質土	P1 (0.30×0.30×0.10) P2 (0.22×0.20×0.16) P3 (0.24×0.20×0.11) P4 (0.30×0.28×0.20)		北壁やや東寄り・N-17.0°-E 0.48×0.51 Ⅰ褐色土
備考	SB－37に切られる。竈は左袖石と支柱が残り、右袖石は抜かれている。					
SB－37 第49～50図 第159図	M－32,33,N－32,33 隅丸方形 N－87.5°－E	3.31×3.10 (W) 0.07～(E) 0.14 461.24～461.31	Ⅰ褐色砂混褐灰色土　Ⅱ灰黄褐色砂質土　Ⅲ黒色・褐色土混にぶい赤褐色土	なし 竈左に楕円形の0.42×0.30×0.07の貯蔵穴		東南壁中央・N－84.5°－E 0.50×0.50 Ⅰ炭化物・焼土混黒褐色土
備考	SB－36を切る。竈は支柱・焼土を残しほぼ全壊					
SB－38 第51～52図 第160図	N－31,32,O－31,32 隅丸方形 N－92.0°－E	3.20×3.15 (S) 0.26～(E) 0.13 461.12～461.21	Ⅰ黄色砂・橙色砂混灰褐色土 Ⅱ黄色砂・橙色砂混黒褐色土　Ⅲ黒褐色土混褐灰色砂質土　Ⅳ黄色砂混にぶい赤褐色土	なし Ⅰ黄色砂・橙色砂混灰褐色土　Ⅱ灰混褐色土　Ⅲ紫灰色土混黒褐色土　Ⅳ黄橙色砂質土		東壁南寄り・N－89.5°－E 0.70×0.50
備考	SB－37に切られる。					
SB－39 第53～54図 第161図	O－32,33,34,P－32,33,34 Q－32,33,34,隅丸方形 N－91.5°－E	5.65×5.44 (N) 0.04～(W) 0.06 461.30～461.33	Ⅰ炭化物褐灰色砂質土　Ⅱ炭化物を僅かに含む灰褐色土　Ⅲ黄橙色砂混明褐灰色土	P1 (0.33×0.30×0.20) P2 (0.42×0.34×0.38) P3 (0.30×0.28×0.20)		東壁南寄り・N－94.0°－E 0.80×1.36 Ⅰ炭化物混褐色土
備考	SB－54を切る。					
SB－40 第55～56図 第162～163図	P－35,36,Q－34,35,36, 隅丸長方形 N－23.5°－W	3.24×4.16 (S) 0.12～(E) 0.15 461.15～461.18	Ⅰ褐色土 Ⅱ黄橙色土混褐色土 Ⅲ炭化物混赤灰色焼土	なし		北壁中央・N－23.5°－W 0.87×0.62 Ⅰ褐色土　Ⅱ焼土　Ⅲ黄橙色土混褐色土
備考	SB－41を切る。竈の袖土はほとんど失われている。					
SB－41 第57図 第164図	P－35,36,Q－35,36 隅丸方形 N－1.5°－E	3.07×3.30 (N) 0.10～(W) 0.08 461.18～461.27	Ⅰ褐色土 Ⅱ黄橙色土混褐色土 Ⅲ炭化物混赤灰色焼土	なし		なし
備考	SB－40に切られる。					

第4表　住居址一覧表（3）

遺構番号 遺構図版 遺物図版	位置（グリッド） 平面形態 主軸方位	規模 壁高 床高	覆土層	柱穴（長径×短径×深さ）	竈	位置・主軸方位 規模（全長×最大幅） 覆土層
SB－42 第58～59図 第165図	O－35,36,P－35,36 隅丸長方形 N－94.0°－E	3.52×3.07 (S) 0.03～(N) 0.06 461.31～461.37	Ⅰ黄橙色砂混明褐灰色土	P1 (0.32×0.32×0.10) P2 (0.34×0.32×0.14)		東壁中央・N－90.0°－E 0.47×0.47 Ⅰ焼土混褐色土
備考	SB－40を切る。竈の袖石は抜かれている。					
SB－43 第60～61図 第166図	N－36,37,O－36,37 隅丸方形 N－6.5°－E	2.94×3.00 (N) 0.15～(S) 0.12 461.12～461.21	Ⅰ黄橙色砂混明褐灰色土	P1 (0.28×0.24×0.24)	Ⅰ褐色土混明赤灰色土　Ⅱ黄色土混褐色土　Ⅲ炭化物・焼土混褐色土　Ⅳ炭化物混灰褐色土　Ⅴ灰褐色土	北壁東寄り・N－12.5°－E 0.54×0.54
備考						
SB－44 第62～63図 第167図	N－37,38,O－37,38 隅丸方形 N－85.5°－E	2.76×2.90 (W) 0.09～(S) 0.13 461.16～461.20	Ⅰ黄橙色土混明褐灰色砂質土 Ⅱ褐色砂混暗褐色砂質土 Ⅲ黄橙色土混褐色砂質土	なし	Ⅰ炭化物混暗褐色土、Ⅱ炭化物・焼土混橙色砂質土、Ⅲ黄橙色土混灰色砂質土	東南隅・N－100.5°－E 0.50×0.44
備考	SK－35に切られる。竈は極端に隅に寄る。					
SB－45 第64～65図 第168図	O－39,40,P－39,40 隅丸方形？ N－13.0°－E	2.82×？ (S) 0.31～(W) 0.32 460.81～460.90	Ⅰ暗褐色土	P1 (0.21×0.20×0.12) P2 (0.20×0.16×0.08) P3 (0.15×0.12×0.08) P4 (0.32×0.26×0.10) P5 (0.24×0.20×0.08) P6 (0.28×0.24×0.12)	Ⅰ灰黄褐色土　Ⅱ暗褐色土　Ⅲ赤橙色焼土　Ⅳ焼土	北壁・N－19.5°－E 0.72×0.48
備考	SB－58、SK－37に切られる。SB－46との切り合いは不明。					
SB－46 第66～67図 第169～170図	M－39,40,41,N－39,40,41 O－39,40,隅丸方形 N－103.5°－E	6.20×5.86 (W) 0.35～(S) 0.42 460.69～460.77	Ⅰ暗褐色土	P1 (0.58×0.48×0.35) P2 (0.46×0.40×0.17) P3 (0.49×0.46×0.30) P4 (0.38×0.30×0.29) P5 (0.66×0.52×0.26) P6 (0.50×0.32×0.29)	Ⅰ橙色土混褐色土　Ⅱ焼土・炭化物混黒褐色土	東壁南寄り・N－101.5°－E 0.67×1.04
備考	周溝が巡る。土壙SK－1 (1.63×1.02×0.06) SK－2 (1.02×0.28×0.12) SK－3 (0.71×0.58×0.14) 有り。					
SB－49 第68図 第171図	I－41,42,J－41,42 隅丸方形 N－3.5°－E	3.20×3.16 (N) 0.12～(S) 0.25 460.74～460.79	Ⅰ褐色砂混灰色土 Ⅱ褐色土混灰白色土	P1 (0.50×0.50×0.12)		なし
備考						
SB－50 第69～70図 第172図	L－43,44,M－43,44 隅丸長方形 N－4.5°－E	2.28×2.92 (E) 0.10～(W) 0.14 460.71～460.77	Ⅰ褐色土 Ⅱ焼土 Ⅲ灰混焼土	P1 (0.25×0.23×0.10) P2 (0.18×0.16×0.13) P3 (0.24×0.20×0.28)	Ⅰ黒褐色土　Ⅱオリーブ黒色　Ⅲ焼土混黒色土	北壁東寄り・N－0.5°－E 0.42×0.44
備考	竈右脇に0.55×0.46×0.17の貯蔵穴					
SB－51 第71～72図 第173図	N－44,45,O－44,45 隅丸方形 N－93.0°－E	3.69×3.72 (W) 0.08～(E) 0.12 460.82～460.99	Ⅰ灰白色砂質土 Ⅱ暗灰黄褐色砂質土	P1 (0.22×0.19×0.14) P2 (0.58×0.50×0.12) P3 (0.10×0.09×0.08)		東壁南寄り・N－93.0°－E 0.36×0.37 Ⅰ褐色土　Ⅱ焼土・炭化物混褐灰色土
備考	ST－22に切られる。					
SB－52 第73～74図 第174～175図	I－44,45,J－44,45 隅丸方形 N－90.0°－E	3.39×3.47 (W) 0.13～(S) 0.17 460.57～460.65	Ⅰ褐色砂質土 Ⅱ黄橙色土混褐色土	なし	Ⅰ黄橙色砂混褐色土、Ⅱ炭化物混褐灰色土　Ⅲ焼土混灰色土	東壁南寄り・N－93.0°－E 0.56×0.32
備考	南側中央に楕円形の窪み有り。					
SB－53 第75～76図 第176図	I－37,38,39,J－37,38,39 K－37,38,39,隅丸長方形 N－87.0°－E	5.69×4.89 (S) 0.24～(W) 0.28 460.88～460.80	Ⅰ褐色砂質土　Ⅱ灰色粘質土 Ⅲ暗褐色砂質土 Ⅳ黄橙色粘質土	なし		東壁中央・N－94.0°－E 0.73×0.64 Ⅰ黒色礫混暗褐色土
備考						
SB－54 第77～78図 第177図	O－32,33,P－32,33 隅丸方形 N－115.0°－W	2.98×2.90 (S) 0.07～(E) 0.12 461.27～461.30	Ⅰ黄色土混暗褐色土 Ⅱ炭化物混暗灰褐色土	P1 (0.32×0.26×0.14) P2 (0.30×0.29×0.24) P3 (0.26×0.24×0.30)	Ⅰ褐色土混褐灰色土　Ⅱ褐色土混灰黄色土　Ⅲ炭化物混焼土	西壁中央・N－59.0°－E 0.82×0.80
備考	SB－39に切られる。					

第5表　住居址一覧表（4）

遺構番号 遺構図版 遺物図版	位置（グリッド） 平面形態 主軸方位	規模 壁高 床高	覆土層	柱穴（長径×短径×深さ）	竈	位置・主軸方位 規模（全長×最大幅） 覆土層
ＳＢ－５６ 第79～80図 第１７８図	P－38,39,Q－38,39 隅丸方形 N－1.5°－W	2.72×3.33 (N) 0.05～(W) 0.01 461.20～461.24	Ⅰ暗褐色土	P1 (0.84×0.57×0.27) P2 (0.88×0.65×0.40) P3 (0.81×0.80×0.20) P4 (0.66×0.58×0.24) P5 (0.70×0.60×0.19) P6 (0.60×0.43×0.20) P7 (0.64×0.52×0.21) P8 (0.24×0.22×0.18)		東壁南寄り・N－64.0°－E 0.50×0.44 Ⅰ暗褐色土
備考	北東隅を畦畔に切られる。					
ＳＢ－５７ 第81～82図 第１７９図	P－41,42,Q－41,42 隅丸方形 N－88.0°－E	3.32×3.48 (E) 0.10～(N) 0.16 461.00～461.06	Ⅰ黄橙色混灰褐色土 Ⅱ黒色礫混褐色土 Ⅲ黄橙色土	P1 (0.56×0.44×0.08) P2 (0.32×0.28×0.10) P3 (0.68×0.63×0.18) P4 (0.80×0.62×0.18)		東壁中央・N－88.0°－E 0.53×0.47 Ⅰ黄橙色混灰褐色土
備考	SB－58を切る。					
ＳＢ－５８ 第83～85図 第１８０図	O－40,41,P－40.41 隅丸方形 N－101.5°－E	3.57×3.70 (S) 0.18～(E) 0.22 460.89～460.97	Ⅰ黄色・橙色砂混褐色土 Ⅱ灰色土混暗褐色土	P1 (0.70×0.60×0.20) P2 (0.25×0.25×0.11) P3 (0.53×0.50×0.08) P4 (0.42×0.40×0.16) Ⅰ黄橙色土混褐色土　Ⅱ褐色土混黒褐色土　Ⅲ焼土混暗褐色土 Ⅰ黄橙色土混弱粘質褐色土　Ⅱ焼土混弱粘質褐色土　Ⅲ灰混弱粘質褐色土　Ⅳ炭化物混黒褐色土		北壁中央・N－9.5°－E 0.67×0.67 東壁中央・N－103.0°－E 0.65×0.46
備考	北壁の竈を潰した後、新たに東壁に竈を設けたものか。周溝は北壁竈の東から東壁竈の北まで巡る。					
ＳＢ－５９ 第86～87図 第１８１図	F－30,31,G－30,31,H－30,31, 隅丸方形 N－89.7°－E	3.18×3.12 (E) 0.18～(W) 0.22 461.05～461.12	Ⅰ褐色土	P1 (0.34×0.24×0.11) P2 (0.53×0.53×0.16) P3 (0.21×0.20×0.08) Ⅰ灰色混弱粘質暗褐色土　Ⅱ褐色土混弱粘質黄灰色土　Ⅲ炭化物混褐色土		東壁南寄り・N－88°－E 0.55×0.44
備考						

第６表　住居址一覧表（5）

遺構番号 図版番号	位　置 標　高	規　模 主軸方位	構成ピット及びその規模（長径×短径×深さ）cm
ST－01 第88図	G－14,15,16 H－14,15,16 I－14,15,16 461.30～.44	6.60×4.53 N－6.5°－E	P-101(50×50×15)P-102(72×46×10)P-103(61×48×9)P-104(78×60×11)P-106(60×56×11) P-111(60×60×17)P-114(50×48×24)P-115(78×60×16)P-116(48×42×22)P-122(52×46×8) P-123(38×35×10)P-126(40×27×19)P-128(60×55×21)P-250(70×64×30)P-254(46×44×14) P-299(68×55×22)
備考	SB－07を切る。南に庇を出したものか？		
ST－02 第89図	D－13,14,15,16 E－13,14,15,16 F－14,15,16 461.19～.22	7.02×4.17 N－5.5°－E	P-14(62×57×31)P-15(45×44×30)P-16(56×52×31)P-18(62×52×24)P-21(62×62×30) P-27(66×58×28)P-31(58×56×20)P-34(92×41×19)P-35(44×42×30)P-36(56×56×22) P-40(70×68×30)P-42(70×62×20)P-45(67×65×29)
備考	SB－04を切る。4×2間		
ST－03 第90図	C－11,12,13, D－11,12,13 E－11,12,13 461.23～.30	7.17×5.23 N－2.7°－E	P-50(76×60×32)P-51(36×28×20)P-52(75×74×21)P-53(60×54×15)P-54(42×40×13) P-55(52×52×8)P-56(54×52×15)P-57(72×68×22)P-58(64×48×31)P-59(58×44×15) P-67(62×58×24)P-68(54×48×26)P-69(54×52×35)P-70(42×38×18)P-71(64×58×22) P-72(86×58×37)P-73(70×60×23)P-74(66×52×22)P-75(42×42×18)P-80(54×47×37) P-83(70×65×30)P-84(70×59×30)P-477(48×47×13)P-478(54×54×27)P-479(56×46×38) P-480(56×44×15)P-481(60×56×34)
備考	SB－05を切る。北から西に塀を巡らす？3×2間		
ST－04 第91図	D－07,08,09,10 E－07,08,09,10 461.22～.29	5.91×4.15 N－3.5°－E	P-242(66×58×45)P-347(62×53×52)P-349(62×50×35)P-356(93×65×58)P-483(60×46×32) P-484(40×40×38)P-490(62×57×58)P-496(72×38×35)P-497(40×30×36)P-517(62×60×54) P-518(72×42×32)P-559(50×47×40)
備考	3×2間の総柱。SD－04,05を切る。		
ST－05 第92図	H－07,08,09 I－08,09 461.39～.44	4.80×4.48 N－4.0°－E	P-160(66×62×21)P-163(49×48×31)P-169(60×52×19)P-171(53×53×40)P-265(46×38×26) P-266(56×44×14)P-268(55×50×31)P-383(60×40×14)P-485(70×54×19)
備考	3×2間		
ST－06 第93図	A－04,B－03,04 C－03,04,D－03 04.E－03,04 461.10～.21	8.91×4.75 N－87.5°－E	P-413(90×90×51)P-414(95×90×43)P-415(67×60×40)P-417(77×61×59)P-418(60×58×45) P-419(74×66×41)P-494(70×64×34)P-495(68×66×53)P-504(74×70×61)P-534(52×50×50) P-543(98×77×51)P-548(82×67×56)
備考	5×3間		
ST－07 第94図	G－04,05,06 H－04,05,06 I－04,05,06 461.36～.40	3.95×3.47 N－7.5°－E	P-209(46×42×16)P-210(44×41×20)P-213(38×34×16)P-220(47×46×24)P-223(42×40×32) P-330(44×44×26)P-386(40×38×37)P-387(60×44×33)
備考	2×2間		
ST－08 第95図	H－06,07,I－06, 07,J－06,07 461.40～.44	3.03×2.95 N－7.5°－E	P-176(18×16×10)P-177(54×52×11)P-180(76×65×23)P-184(20×20×13)P-185(24×24×4) P-201(60×54×19)P-202(68×38×25)P-276(68×54×22)P-278(22×22×9)P-284(24×24×18) P-286(55×50×30)
備考	2×2間		
ST－09 第96図	H－08,09,I－08, 09,10,J－08,09,10 461.40～.45	6.39×4.33 N－88.5°－W	P-154(50×43×22)P-159(38×36×27)P-167(64×44×24)P-260(58×48×20)P-263(62×60×14) P-267(44×40×25)P-319(30×28×17)P-323(44×42×20)P-327(64×54×15)P-484(34×33×33)
備考	3×2間		
ST－10 第97図	E－14,15,F－14, 15,G－14,15 461.20～.26	4.50×3.80 N－86.5°－W	P-26(60×58×15)P-38(52×46×20)P-109(55×54×17)P-110(40×36×15)P-132(50×45×21) P-476(38×38×18)P-511(44×42×10)
備考	2×2間		
ST－11 第98図	A－16,17,B－16, 17 461.17～.21	4.33×4.10 N－88.5°－W	P-8(63×58×35)P-9(60×58×30)P-10(50×48×34)P-11(48×?×31)P-13(84×64×36) P-32(50×48×44)P-556(56×56×39)P-644(62×58×26)P-658(30×?×?)
備考	3×2間 SB－01を切る。		
ST－12 第99図	C－00,D－00, E－00 461.18～.22	4.76×？ N－86.5°－W	P-488(64×57×50)P-565(76×60×45)P-566(70×66×53)
備考	調査区域南側にのびるか？2×？間		
ST－21 第100図	J－25,26,K－25, 26,L－25,26 461.45～.50	3.98×3.59 N－88.5°－E	P-727(36×34×14)P-728(38×37×16)P-729(40×36×25)P-730(40×39×19)P-731(43×42×17) P-732(34×34×16)P-733(36×33×20)P-914(38×34×17)P-915(38×37×22)
備考	SB－21を切る。2×2間		
ST－22 第101図	N－44,45,O－44, 45,P－44,45 460.83～.88	4.44×3.90 N－89°－W	P-849(38×31×14)P-850(32×32×19)P-881(52×48×19)P-882(33×30×17)P-884(38×34×12) P-887(40×30×24)P-910(68×38×20)P-924(40×32×24)P-925(68×38×15)P-926(76×55×28) P-927(28×26×22)
備考	SB－51を切る。3×2間		

第7表　掘立柱建物址一覧表

番号	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)
1	24	24	17
2	63	38	15
3	48		16
4	26	20	16
5	30	29	21
6	40	27	18
7	26	24	10
12	39	38	31
17	20	18	7
19	54	45	10
20	44	42	11
22	44	38	17
23	28	26	19
24	19	18	14
28	54	46	30
29	19	18	5
30	58	54	12
33	37	30	10
37	38	30	8
39	26	20	14
41	50	42	20
43	39	30	10
44	42	40	8
46	40	37	17
47	9	9	8
48	60	56	34
49	110	62	5
60	22	19	27
61	28	23	19
62	16	15	6
63	44	42	4
64	82	55	6
65	14	14	6
66	22	22	12
76	30	24	10
77	24	23	19
78	35	32	24
79	70	42	22
81	60		6
82	30	28	21
86	24	23	24
87	16	12	6
88	30	24	12
89	25	24	24
90	19	18	18
91	26	25	10
92	20	20	24
93	17	14	12
94	50	44	8
95	28	27	9
96	47	46	7
97	50	43	16
98	29	28	28
99	29	28	15
100	48	33	13
101	50	50	15
102	72	46	10
103	62	48	9
104	78	60	11
105	40	36	10
106	60	56	11
107	38	37	14
108	41	41	21
109	55	54	17
110	40	36	15
111	60	60	17
112	34	32	10
113	32	17	11
114	50	48	24
115	78	60	16
116	48	42	22

番号	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)
117	32	29	10
118	60	58	20
119	24	20	9
120	28	25	15
121	31	30	12
122	52	46	8
123	38	35	10
124	37	32	8
125	24	22	6
126	40	37	19
127	26	24	17
128	68	55	21
129	53	46	20
130	28	20	15
131	30	28	18
132	50	45	21
133	44	31	9
134	30	20	13
135	48	46	12
136	30	25	7
137	22	22	11
138	29	29	6
139	34	34	9
140	28	24	22
141	34	31	11
142	60	50	16
143	28	23	8
144	24	23	10
145	32	28	12
146	63	62	20
147	40	30	11
148	28	24	7
149	30	28	5
150	59	42	11
151	36	23	40
152	36	26	13
153	18	15	6
154	50	43	22
155	34	22	11
156	41	28	15
157	26	24	8
158	36	34	6
159	38	36	27
160	66	62	21
161	20	18	3
162	22	21	3
163	49	48	31
164	33	30	10
165	60	58	28
166	43	30	12
167	64	44	24
168	36	33	17
169	60	52	19
170	26	23	7
171	53	53	40
172	20	18	4
173	27	17	27
174	24	22	10
175	51	43	14
176	18	16	10
177	54	52	11
178	19	18	8
179	25	24	16
180	76	65	23
181	16	16	7
182	46	36	8
183	35	30	14
184	20	20	13
185	24	24	4
186	21	20	10
187	22	20	10

第8表　ピット一覧表（1）

番 号	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)
189	27	20	13
190	25	22	12
191	25	24	20
192	30	28	29
193	50	38	19
194	44	34	14
195	23	18	6
196	22	18	12
197	24	22	11
198	44	40	38
199	36	25	22
200	21	18	32
201	60	54	19
202	68	38	25
203	29	28	27
204	32	29	20
205	23	22	14
206	15	14	7
207	25	22	5
208	22	18	8
209	46	42	16
210	44	41	20
211	15	14	8
212	23	22	12
213	38	34	16
214	47	43	30
215	33	33	20
216	26	22	21
217	36	27	24
218	24	20	7
219	16	14	5
220	47	46	24
221	18	18	12
222	26	25	12
223	42	40	32
225	48	40	29
226	48	46	43
227	46	40	14
229	52	33	16
230	60	22	13
231	30	22	7
232	24	22	9
233	86	20	16
235	28	26	18
236	40	33	8
237	30	28	5
238	35	34	4
239	38	32	6
240	50	30	8
241	30	25	7
242	66	58	45
243	33	30	35
244	34	30	20
245	38	30	27
246	28	28	26
247	32	30	14
248	43	39	16
249	14	11	6
250	64	20	30
251	50	24	18
252	64	58	20
253	33	32	8
254	46	44	14
255	38	32	15
256	40	32	9
257	38	37	14
258	42	40	23
259	34	25	34
260	58	48	20
261	42	38	10
262	34	32	20

番 号	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)
263	62	60	14
264	20	17	9
265	46	38	26
266	56	44	14
267	44	40	25
268	55	50	31
269	19	16	12
270	24	20	6
271	25	24	4
272	28	26	16
273	31	28	7
274	30	29	22
275	24	20	9
276	68	54	22
277	26	24	27
278	22	22	9
279	49	48	26
280	20	19	5
281	25	25	12
282	64	40	18
283	30	24	12
284	24	24	18
285	27	26	5
286	55	50	30
287	19	18	12
288	28	25	18
289	42	23	12
290	27	26	25
291	28	24	11
292	18	14	4
293	34	26	14
294	24	23	10
295	26	24	22
296	28	24	8
297	42	41	26
298	35	33	18
299	68	55	22
300	82	58	36
301	61	61	16
302	43	40	26
303	77	55	24
304	26	23	10
305	61	48	20
306	67	58	43
307	14	14	9
308	71	62	26
309	26	22	8
310	24	22	6
311	72	64	39
312	30	29	21
313	34	32	5
314	40	38	8
315	26	26	18
316	27	23	18
317	40	38	18
318	34	32	10
319	30	28	17
320	44	38	17
321	47	40	30
322	26	24	8
323	44	42	20
324	42	32	17
325	56	42	11
326	24	23	6
327	64	54	15
328	42	40	18
329	28	26	14
330	44	44	26
331	40	34	8
332	52	38	22
333	28	28	15

第9表 ピット一覧表 (2)

番 号	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)
334	35	25	27
335	31	29	21
336	30	27	15
337	30	29	15
338	61	50	19
339	40	33	22
340	40	31	17
341	60	51	38
342	70	48	44
343	32	32	16
344	45	43	11
345	53	52	8
346	26	20	5
347	62	53	52
349	72	50	35
350	26	26	15
351	27	24	9
352	63	45	16
353	24	22	8
354	26	24	12
355	53	33	32
356	93	65	58
357	46	34	22
359	22	22	14
360	80	68	17
361	42	38	9
362	32	24	14
363	42	40	20
364	39	38	20
365	78	54	40
366	60	40	20
367	44	35	18
368	55	55	40
369	44	40	11
370	43	42	20
371	46	45	8
372	36	28	30
373	22	20	10
374	42	38	32
375	43	29	6
376	30	28	6
377	38	35	11
378	50	40	35
379	40	38	13
380	37	26	21
381	47	35	23
382	28	22	35
383	60	40	14
384	39	34	6
385	24	23	8
386	40	38	37
387	60	44	33
388	34	21	27
389	45	30	11
390	49	43	28
391	54	40	38
392	32	28	13
393	40	35	35
394	64	55	22
395	41	29	20
396	47	31	38
397	31	30	15
398	28	26	22
399	44	32	26
400	53	40	19
401	48	44	13
402	44	39	15
403	44	34	13
404	36	34	19
405	68	43	27
406	63	56	30

番 号	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)
407	19	18	8
408	22	2	12
409	46	41	28
410	60	38	24
411	55	42	19
412	42	30	19
413	90	90	51
414	95	90	43
415	67	60	40
416	70	70	10
417	77	61	59
418	60	58	45
419	74	66	41
420	40	38	17
421	33	30	36
422	25	22	5
423	29	23	24
424	40	32	32
425	36	32	14
426	24	22	12
427	43	39	12
428	28	24	8
429	23	22	8
430	28	22	6
431	39	38	8
432	40	29	11
433	30	29	25
434	40	37	12
435	43	37	17
436	76	60	27
437	35	28	7
438	38	24	14
439	50	29	10
440	43	42	10
441	48	46	27
442	46	42	24
443	30	28	14
444	28	24	14
445	88	50	12
446	39	38	18
447	54	38	12
448	40	36	20
449	19	16	10
450	37	20	7
451	29	27	14
452	50	44	12
453	34	30	27
454	16	15	15
455	102	68	18
456	46	37	11
457	64	52	36
458	27	26	16
459	62	60	34
460	27	26	15
461	28	27	11
462	63	63	19
463	30	22	19
464	28	28	14
465	23	22	10
466	37	28	38
467	32	26	20
468	22	18	7
469	26	23	14
470	48	40	32
471	40	32	6
472	45	40	18
473	36	27	9
474	43	35	8
475	35	32	18
476	38	38	18
477	48	47	13

第10表 ピット一覧表（3）

番号	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)
478	54	54	27
479	56	46	38
480	56	44	15
481	60	56	34
483	60	46	32
484	40	40	38
485	70	54	19
486	34	33	33
487	32	30	24
488	64	57	50
489	37	33	16
490	62	57	58
491	28	19	6
492	30	28	20
493	44	32	37
494	70	64	34
495	68	66	53
496	72	38	35
497	40	30	36
498	24	22	10
499	52	46	34
500	60	55	9
501	26	24	10
502	41	41	15
503	39	35	35
504	74	70	61
505	44	36	16
506	23	23	17
507	27	25	26
508	62	27	19
509	35	29	18
510	35	34	12
511	44	42	10
512	40	36	10
514	37	32	12
515	44	42	36
516	42	36	10
517	62	60	54
518	72	42	32
519	34	29	9
520	33	30	10
521	28	25	7
522	52	46	26
523	34	32	14
524	34	27	17
525	20	19	36
526	54	46	20
527	80	78	15
528	30	28	11
529	44	26	25
530	30	25	18
531	29	22	31
532	65	34	12
533	24	22	10
534	52	50	50
535	46	36	27
536	40	38	37
537	32	29	18
538	60	49	30
539	32	29	12
540	25	16	26
541	26	22	6
542	18	18	18
543	98	77	51
544	37	34	7
545	24	18	16
546	51	30	30
547	33	28	20
548	82	67	56
549	30	28	16
550	30	28	13

番号	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)
551	80	52	25
552	40	38	31
553	40	35	19
554	83	56	50
555	41	36	20
556	56	56	39
557	30	28	17
558	77	49	15
559	50	47	40
560	46	42	52
561	39	35	30
562	19	17	20
563	55	48	38
564	55		33
565	76	60	45
566	70	66	53
567	45	44	13
568	50	44	42
569	77	68	30
570	56	54	15
571	24	21	6
572	56	53	20
573	44	40	19
574	54	52	24
575	24	20	8
576	26	24	7
577	54	48	16
578	64	58	34
579	31	30	12
580	38	28	14
581	72	45	12
582	30	22	12
583	32	28	10
584	56	44	20
585	38	36	23
586	46	44	16
587	37	35	29
588	32	22	15
589	46	44	22
590	50	48	25
591	40	39	13
592	40	36	23
593	48	42	40
594	35	35	14
595	52	50	17
596	70	60	24
597	53	52	39
598	54	44	24
599	64	58	21
600	46	33	22
601	28	27	9
602	34	24	22
603	47	44	39
604	24	24	18
605	40	33	13
606	24	23	4
607	39	37	29
608	36	26	26
609	34	33	25
610	50	46	7
611	39	34	8
612	44	41	12
613	26	20	17
614	18	16	14
615	32	30	22
616	38	30	21
617	44	40	37
618	22	20	6
619	22	18	8
620	64	52	38
621	64	48	30

第11表 ピット一覧表 (4)

番号	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)
622	16	16	6
623	38	36	8
624	18	17	13
625	58	52	27
626	24	16	23
627	60	50	13
628	32	32	23
629	88	78	35
630	20	19	6
631	52	41	16
632	24	18	16
633	25	21	7
634	22	22	18
635	28	24	31
636	26	23	20
637	56	54	21
638	24	20	7
639	60	58	33
640	62	53	35
641	44	40	29
642	56	44	29
643	27	25	22
644	62	58	26
645	26	24	24
646	44	40	18
647	37	30	16
648	38	37	18
649	40	39	8
650	30	22	10
651	57	45	35
652	26	20	18
653	23	22	18
654	54	53	29
655	56	44	14
656	48	42	18
657	41	40	26
658	30		
660	31	27	17
661	27	20	23
662	24	22	12
663	34	32	20
701	30	28	11
702	23	22	14
703	26	25	11
704	24	21	9
705	54	45	13
706	21	20	17
707	48	45	44
708	32	29	20
709	54	40	19
710	48	37	15
711	23	17	11
712	32	30	13
713	20	18	8
714	20	19	12
715	27	22	10
716	31	29	17
717	31	28	19
718	40	39	20
719	25	24	22
720	45	37	17
721	31	30	26
722	23	22	11
723	22	20	13
724	27	26	20
725	37	31	26
726	65	48	20
734	23	23	7
735	29	28	13
736	36	33	10
737	47	45	17

番号	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)
738	28	24	12
739	38	37	19
740	22	20	11
741	34	33	22
742	45	36	19
743	40	40	12
744	50	45	21
745	68	65	28
746	40	38	14
747	35	22	16
748	46	43	23
749	48	40	14
750	40	36	26
751	20	18	6
752	28	28	11
753	62	51	10
754	30	28	18
755	37	28	10
756	39	31	24
757	36	29	6
758	32	32	17
759	18	18	12
760	71	56	30
761	28	22	16
762	90	50	14
763	46	46	12
764	16	16	7
765	17	16	9
766	18	18	8
767	23	22	11
768	60	53	32
769	28	26	9
770	13	12	9
771	24	22	5
772	38	36	11
773	32	32	10
774	25	24	12
775	26	26	12
776	38	36	18
777	48	40	5
778	30	29	18
779	38	31	17
780	26	18	11
781	15	14	12
782	30	26	13
783	48	41	11
784	38	36	14
785	20	17	16
786	25	24	13
787	34	32	10
788	38	34	9
789	26	24	11
790	44	31	18
791	70	29	15
792	48	38	26
793	28	26	16
794	22	20	13
795	28	26	16
796	17	17	9
797	31	30	16
798	27	27	13
799	66	62	26
800	78	50	7
801	54	52	6
802	25	23	16
803	30	28	10
804	30	28	10
805	26	23	13
806	26	23	9
807	42	36	12
808	36	32	28

第12表 ピット一覧表 (5)

番号	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)
809	72	68	30
810	42	41	12
811	40	36	22
812	30	30	13
813	40	40	21
814	34	30	15
815	40	40	15
816	28	26	18
817	24	23	7
818	64	64	25
819	24	23	17
820	26	24	13
821	34	30	21
823	28	24	14
824	18	17	6
825	58	48	20
826	38	36	9
827	84	60	13
828	65	60	12
829	48	45	32
830	50	45	32
831	36	23	5
832	30	28	28
833	46	44	20
834	26	24	17
835	20	19	8
836	27	24	14
837	68	58	23
838	68	58	24
839	28	28	10
840	83	76	25
841	57	56	24
842	58	52	30
843	58	44	20
844	54	52	25
845	76	58	22
846	56	30	20
847	34	29	14
848	52	50	19
852	38	35	12
853	40	32	16
854	20	18	6
855	64	60	12
856	62	58	21
857	52	43	14
858	26	25	5
859	32	26	6
860	46	41	12
861	34	32	6
862	52	46	17
863	44	42	13
865	48	44	12
866	34	32	13
867	30	28	20
868	60	58	20
867	30	28	20
868	60	58	20
869	42	40	18
870	60	50	12
871	53	48	25
872	48	44	25
873	58	47	23
874	55	44	28
875	36	30	12
876	64	42	19
877	37	30	21
878	24	23	21
879	46	42	10
883	18	14	17
885	52	50	20
886	53	40	13

番号	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)
888	30	25	10
889	30	24	23
890	18	17	18
891	34	28	12
892	35	31	11
893	39	34	10
894	70	58	18
895	63	58	8
896	56	53	20
897	60	55	19
898	44	44	9
899	62	44	12
900	68	58	9
902	36	35	15
903	42	40	24
904	66	64	10
905	36	24	19
906	22	22	23
907	42	33	20
911	28	25	13
912	48	40	14
913	50	44	18
916	70	65	24
917	60	58	12
918	52	50	32
919	58	56	25
920	56	50	22
921	36	32	13
922	53	53	13
923	32	22	28

第13表 ピット一覧表 (6)

第2節　出土した遺物

1　概要

本調査で出土した遺物は、概ね8世紀前半から11世紀にかけてのものである。出土量は総じて少ないことに加え、遺物整理が中途で、接合作業も十分とはいえない段階であるため、資料の提示が少ない点はお詫びせねばならない。特に、器厚の薄い土師器甕や、SD－06出土の須恵器群、ピット出土遺物については、今後の整理で復元・図化できる個体を多量に抱えているが、今回はその中でも特に残存状態の良いもの、代表的なもののみを提示した点ご了承いただきたい。竪穴住居址からの出土遺物は総じて量が少なく、時期を決定するには少々おぼつかないものもある。その中で、SB－46からは纏まった遺物の出土を見た。遺構が深く、残存状態が良かったためである。蓋抓は宝珠形を呈し、土師器坏は轆轤調整の段階にいたっている。須恵器坏も体部の立ち上がりの開き方が少なく、底部は篦切り、糸切りを共伴しており、9世紀前後の様相を呈している。また、当住居址は布目瓦を床着で出土しており、この窯を探ることにより、その時期はよりいっそう具体的になろう。SB－52も出土遺物が多く、その時期はSB－46より僅か下がり、9世紀半ば頃に比定されよう。SB－39は、住居址南東隅の土壙から多量の土師器坏類が積み重ねた状態で出土しており、その総数は50点余りとなる。今回は先にあげた事情により、そのすべてを提示し兼ねるが、代表的なものを選んで示した。この出土状態や量は何を意味するのであろうか。この住居址からは他に、いわゆる『足高高台付坏』と、土師器の大型の盤、灰釉陶器壺、鍔付の胴部に叩き目のある土師器甑等を出土しており、当遺跡でも最終末の11世紀半ば頃の様相を呈している。

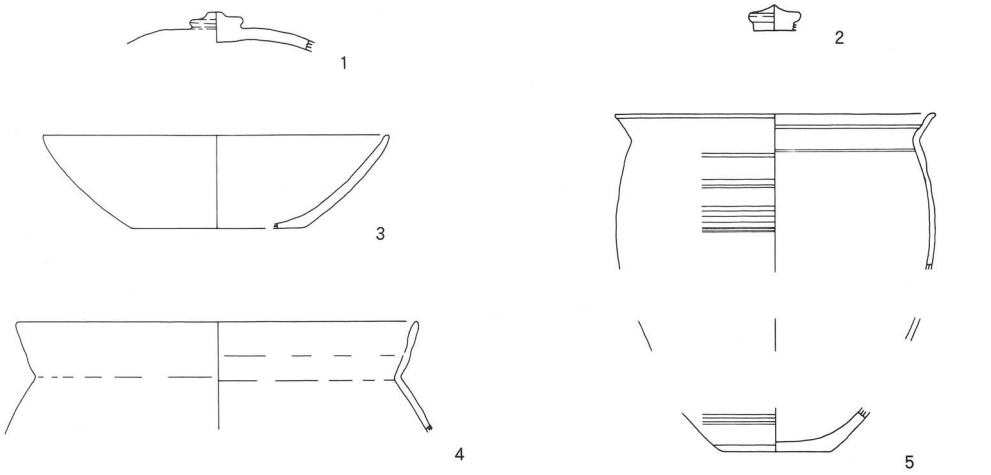
掘立柱建物址については、その構成ピットからの出土遺物が極端に少なく、時期を特定するに至っていない。しかし、竪穴住居址との切り合いの関係から、9世紀半ばを遡る可能性は少ないと思われる。

SD－06からは多量の須恵器が出土している。特に、石組遺構から下流にはかなりの量が纏まって出土している。しかも、具体的に数値化はしていないが、その95％以上は須恵器である。今後の整理と研究により、その意味合いはより深められると思われるが、8世紀半ばから後半の、当地域では比較的資料的に恵まれていない時期だけに、注目したい。

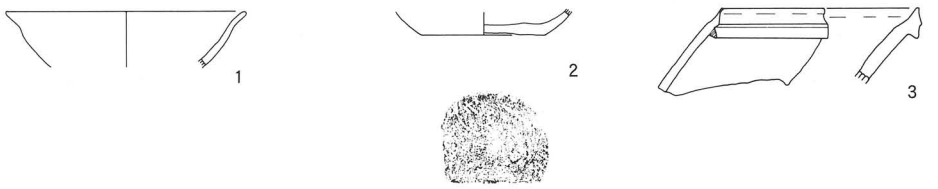
SK－03は井戸址で、かなりの出土量を期待したが、予想していたほどは出ず、今回図示し得たのは8点のみである。

この他、四耳壺も四点出土し、SB－38からは瓶（瓶）の注口、SB－08の覆土からは鉄鏃、G－30グリッドからは『久』の刻書土器等が出土し、バラエティに富んでいる。また、SD－07出土の須恵器については、高台と脚が共にあり、高台がその役目を果たさないという初見の器種である。硯の可能性も考えたが、墨を擦った痕跡は皆無である。御教示をお願いしたい。総じて本遺跡の遺物は、出土量こそ少ないものの、上田市では信濃国分寺・信濃国府・令制東山道と国家的大事業が進捗していた時期と重なり、今後の総合的な研究が期待される。

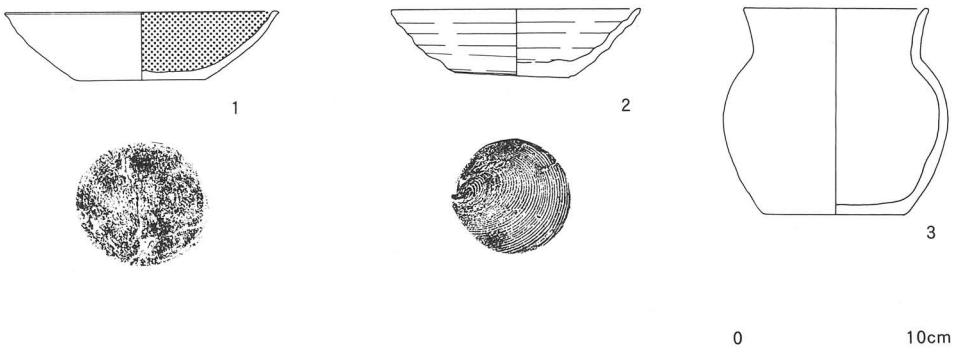
2　竪穴住居址



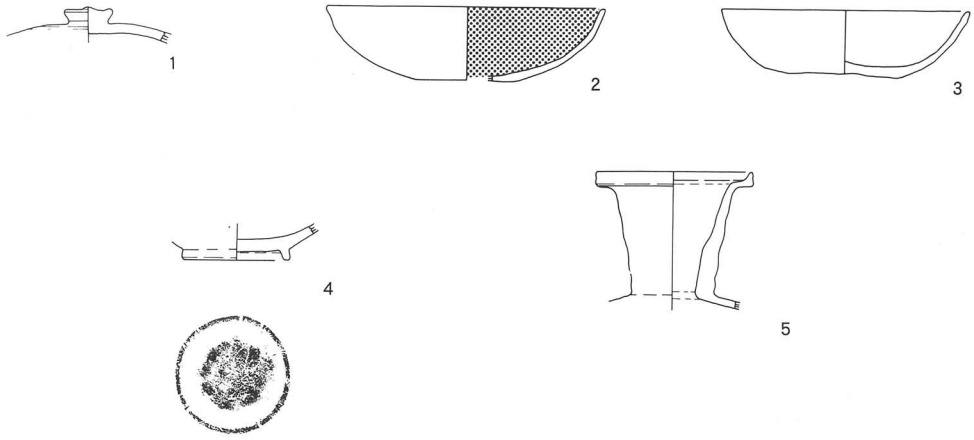
第131図　第1号住居址出土遺物実測図



第132図　第2号住居址出土遺物実測図



第133図　第3号住居址出土遺物実測図

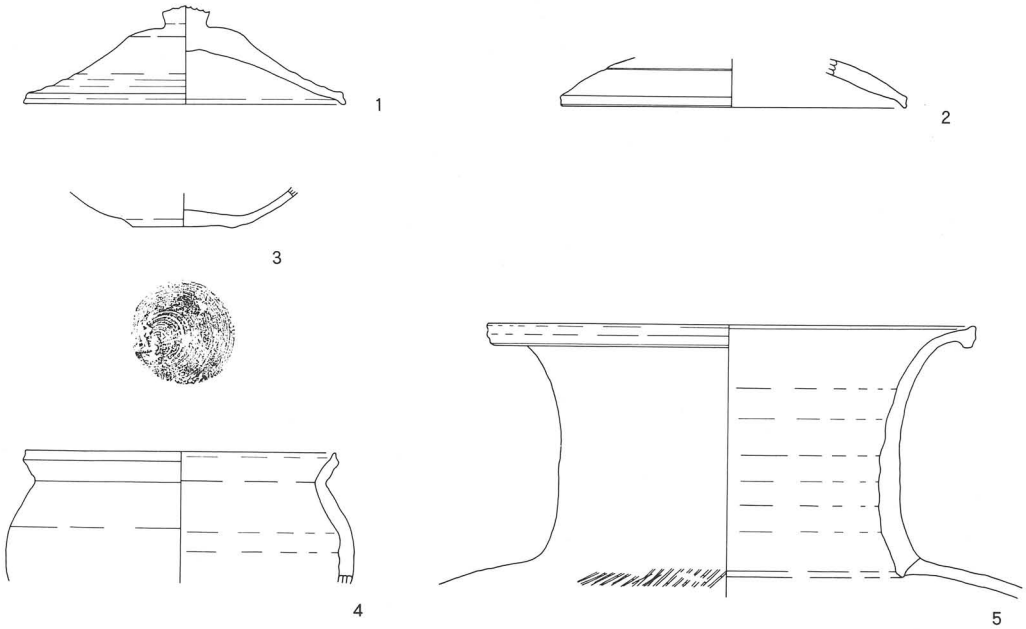


第134図　第４号住居址出土遺物実測図

0　10cm

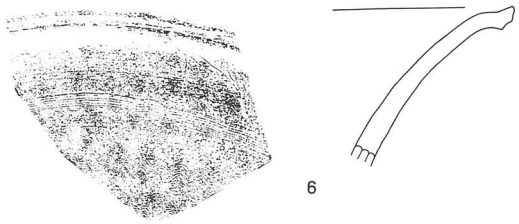
第135図　第５号住居址出土遺物実測図

0　10cm

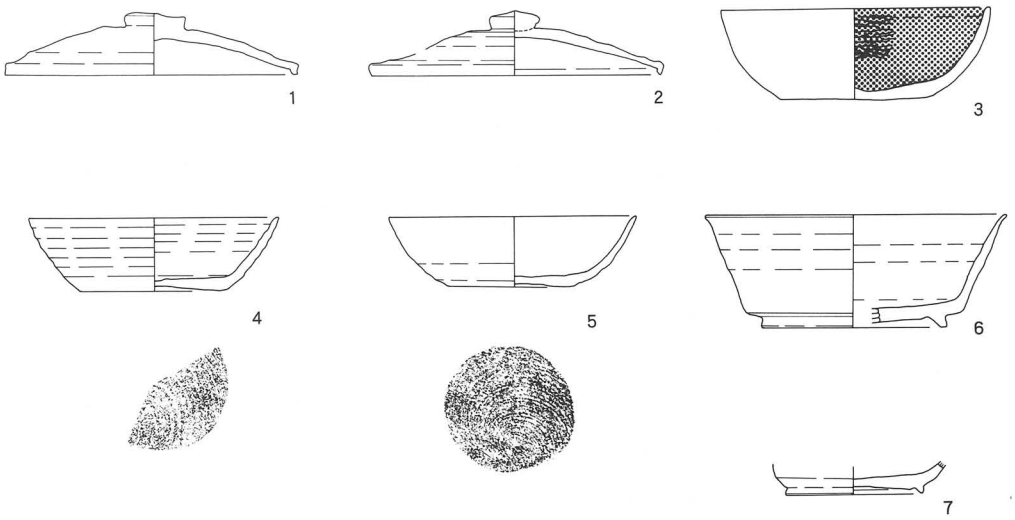


第136図　第６号住居址出土遺物実測図（1）

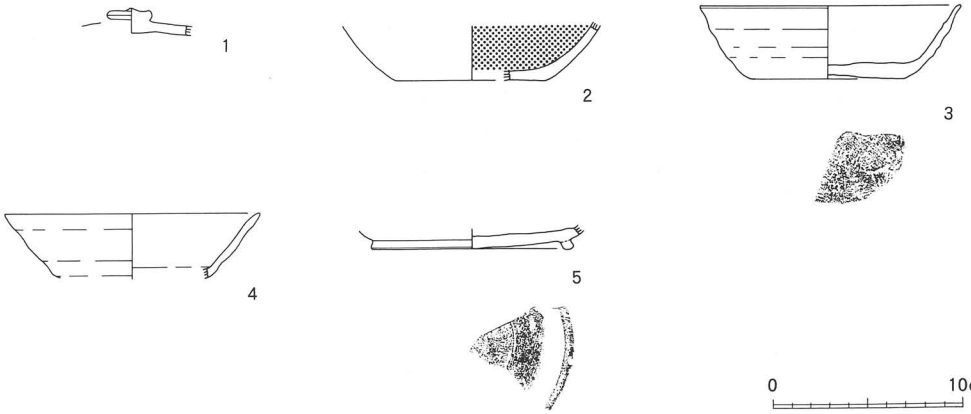
0　10cm



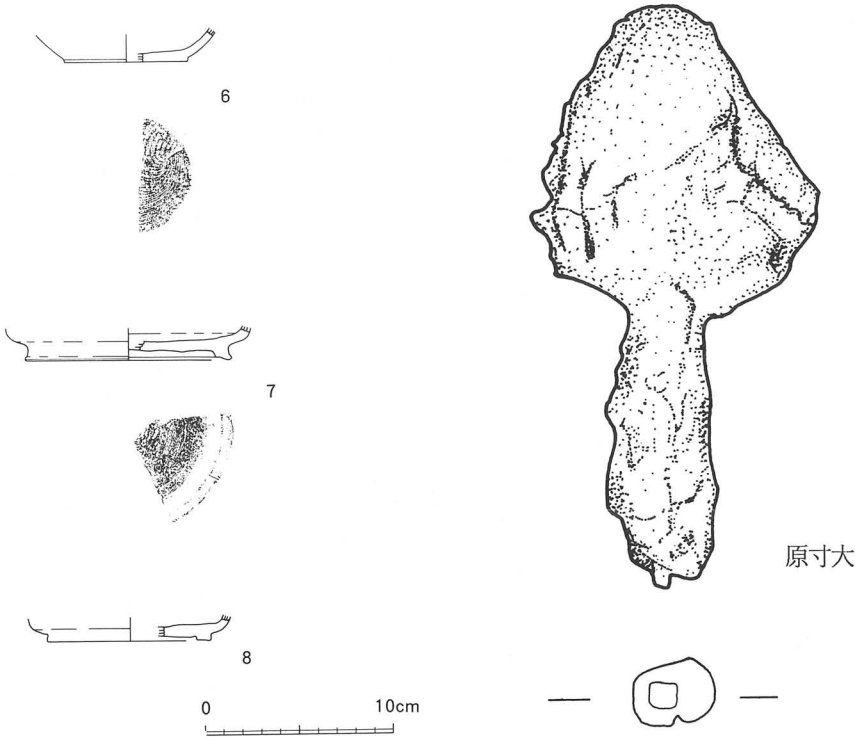
第137図　第6号住居址出土遺物実測図（2）



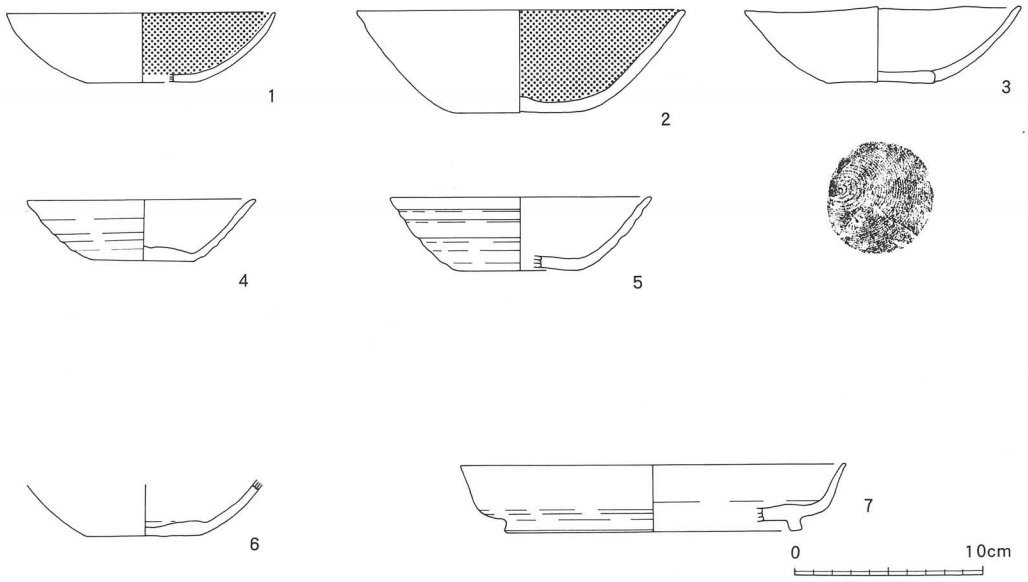
第138図　第7号住居址出土遺物実測図



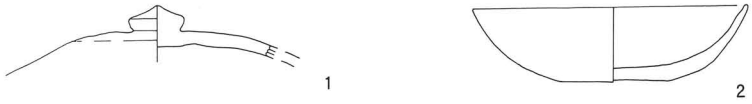
第139図　第8号住居址出土遺物実測図（1）



第140図　第8号住居址出土遺物実測図（2）

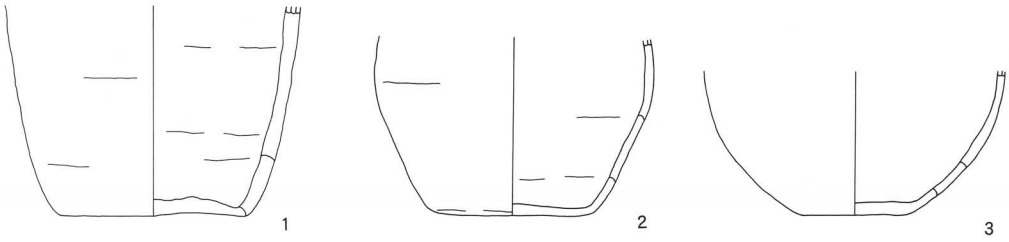


第141図　第9号住居址出土遺物実測図



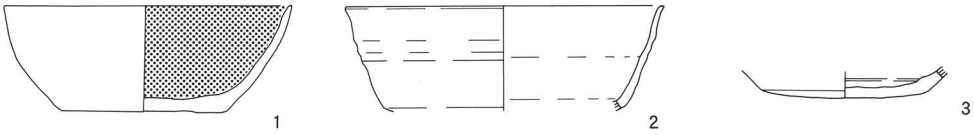
第142図　第11号住居址出土遺物実測図

0　10cm



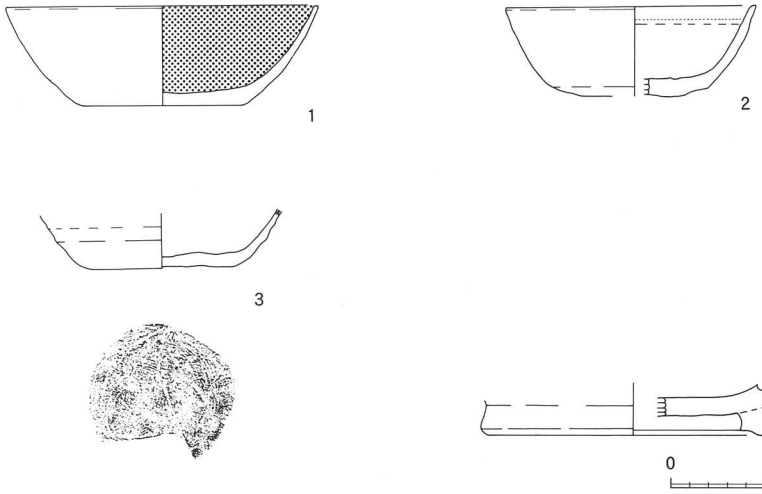
第143図　第13号住居址出土遺物実測図

0　10cm



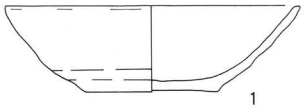
第144図　第21号住居址出土遺物実測図

0　10cm

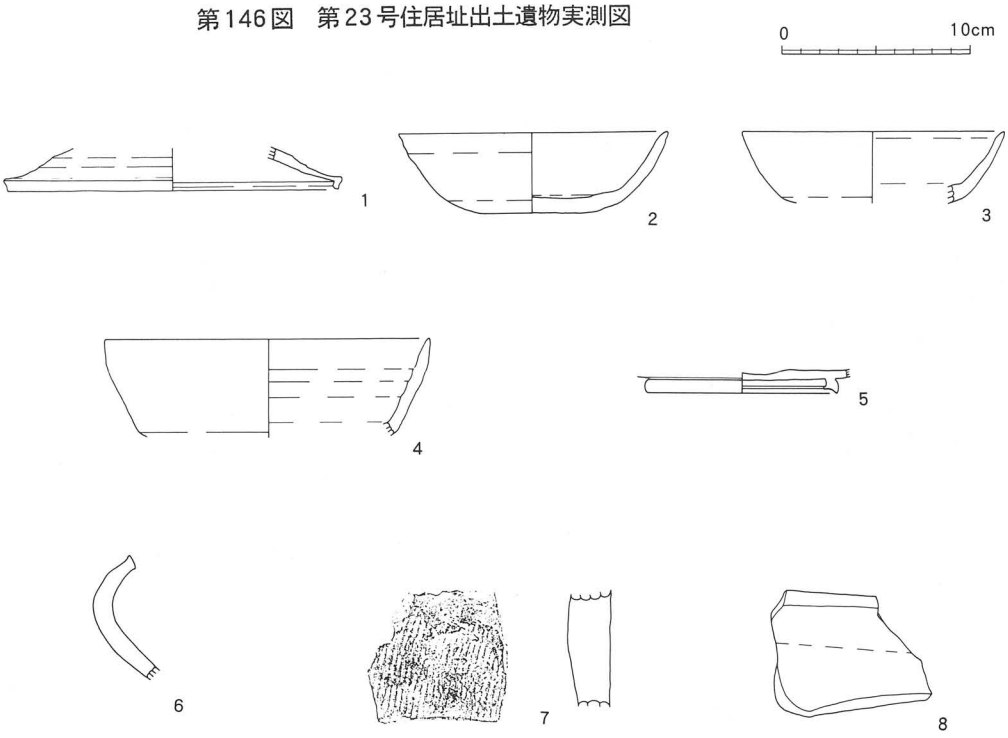


0　10cm

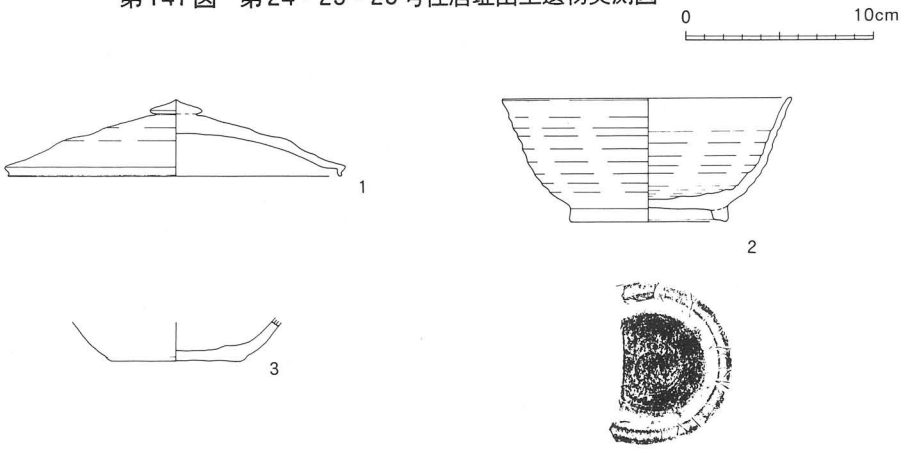
第145図　第22号住居址出土遺物実測図



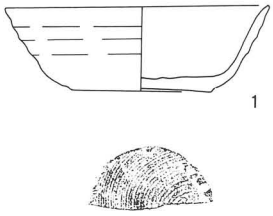
第146図　第23号住居址出土遺物実測図



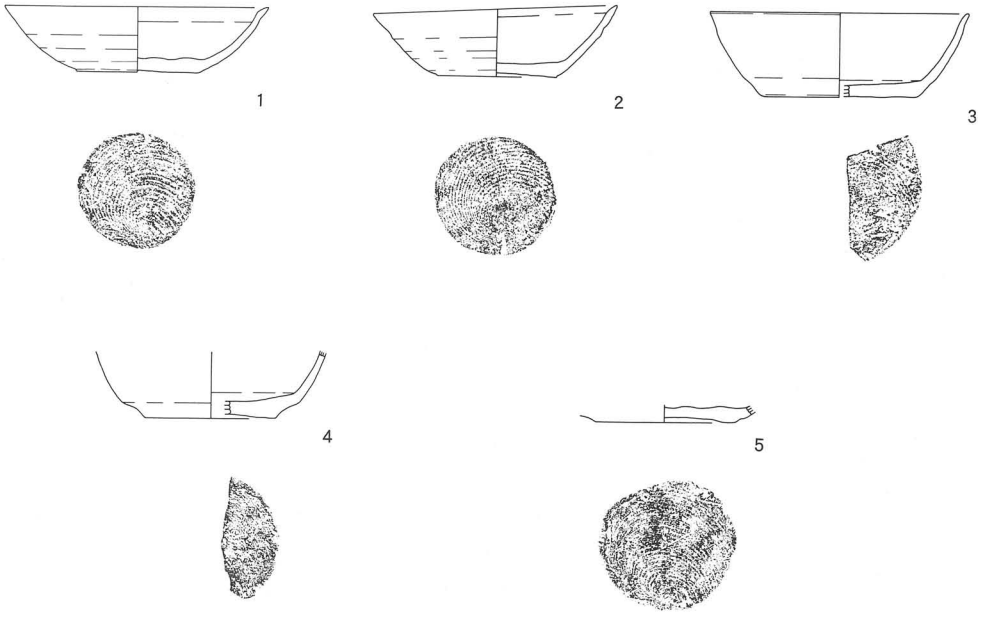
第147図　第24・25・26号住居址出土遺物実測図



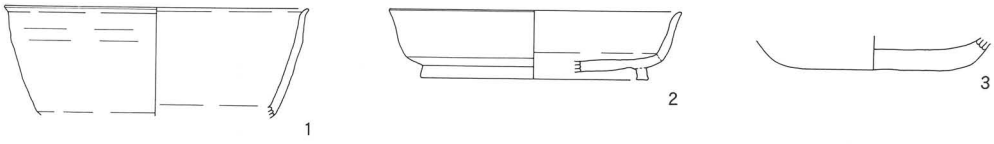
第148図　第27号住居址出土遺物実測図



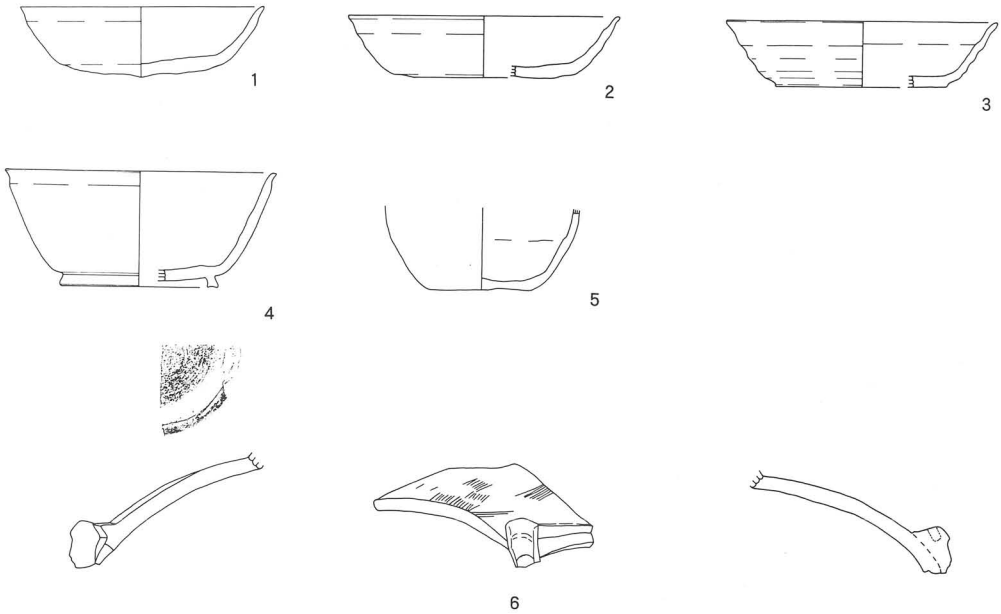
第149図　第28号住居址出土遺物実測図



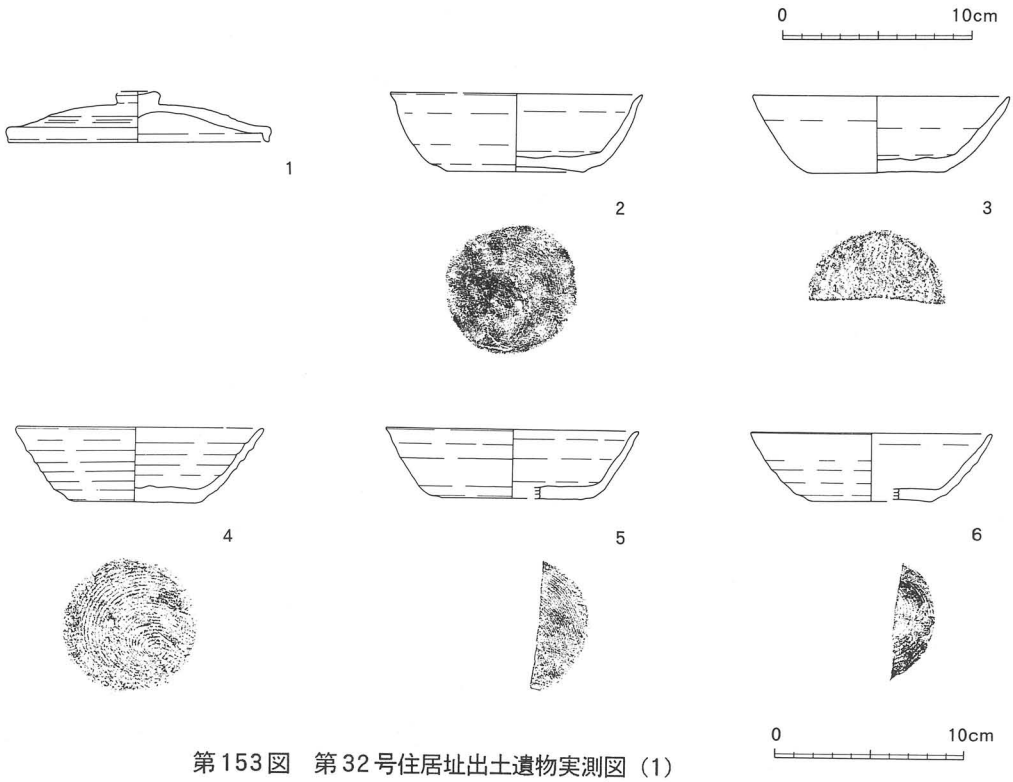
第150図　第29号住居址出土遺物実測図



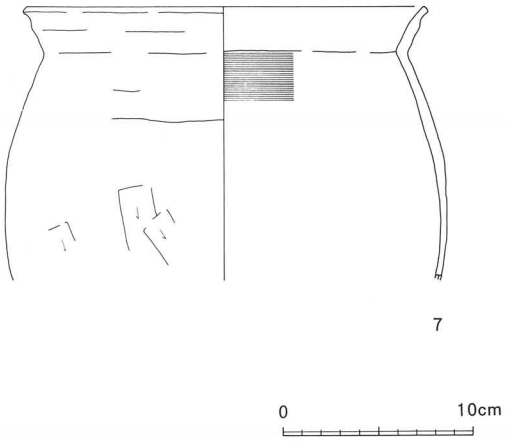
第151図　第30号住居址出土遺物実測図



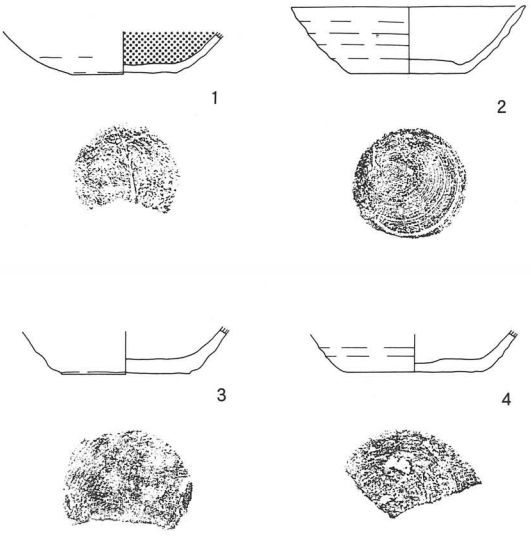
第152図　第31号住居址出土遺物実測図



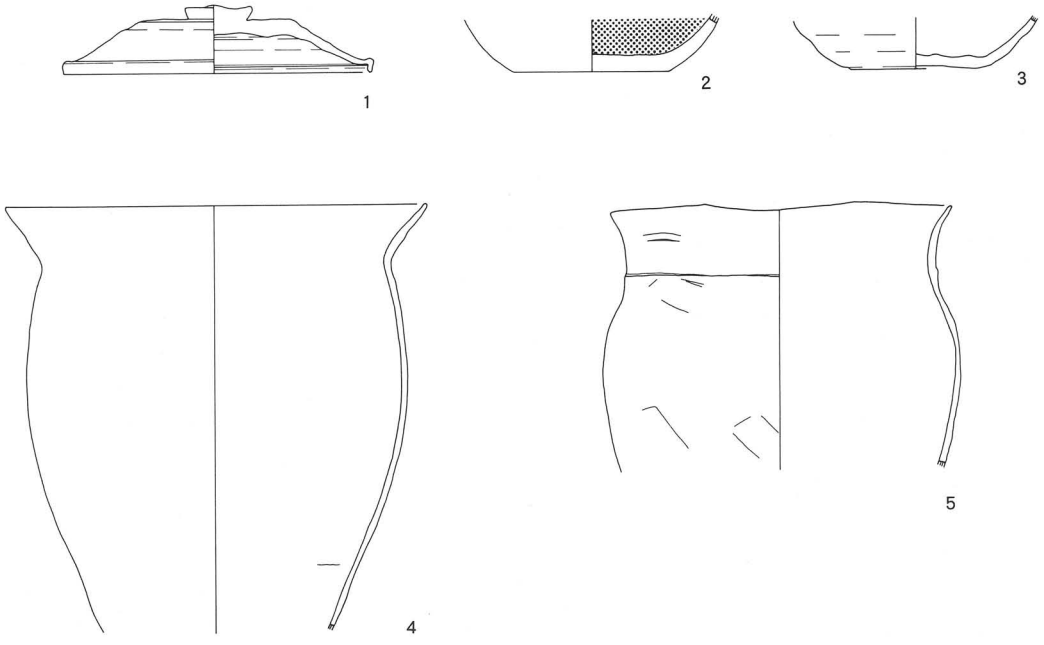
第153図　第32号住居址出土遺物実測図（1）



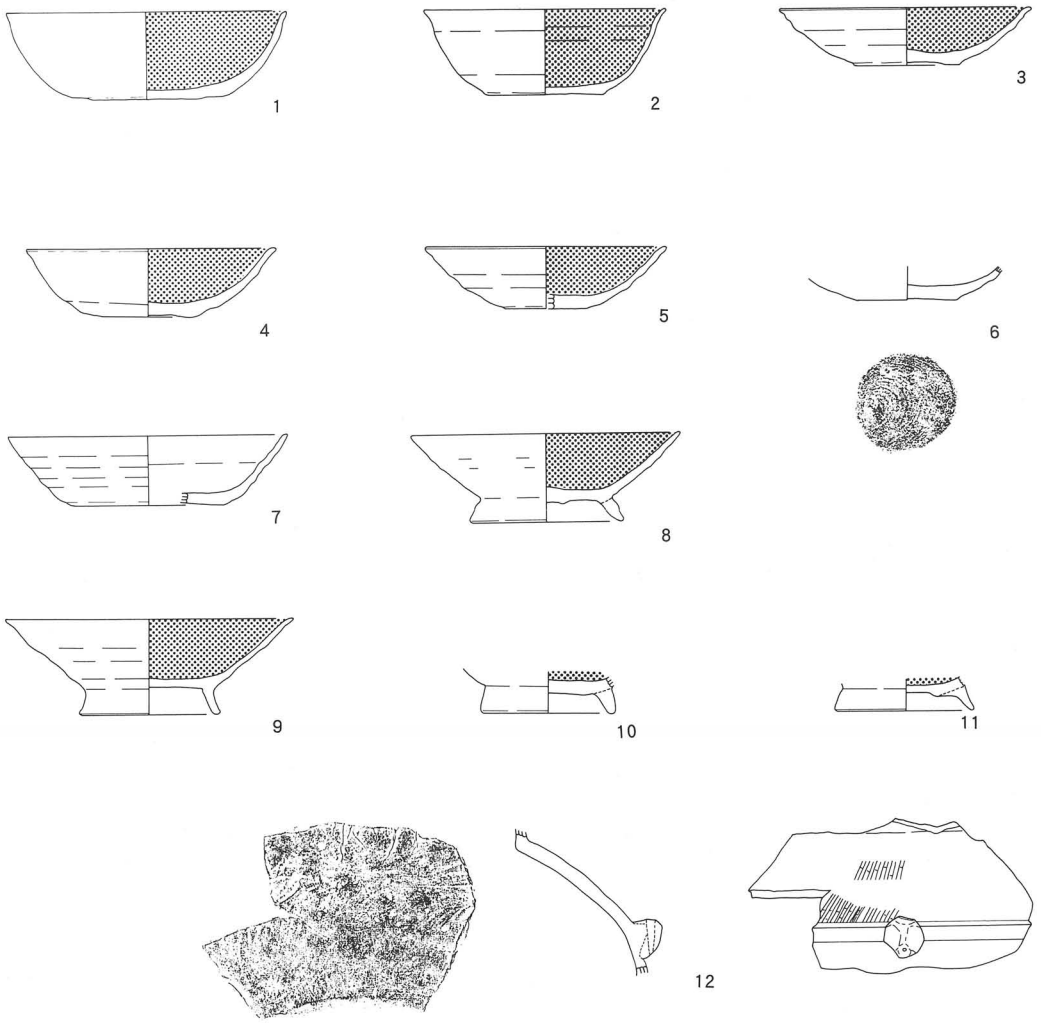
第154図　第32号住居址出土遺物実測図（2）



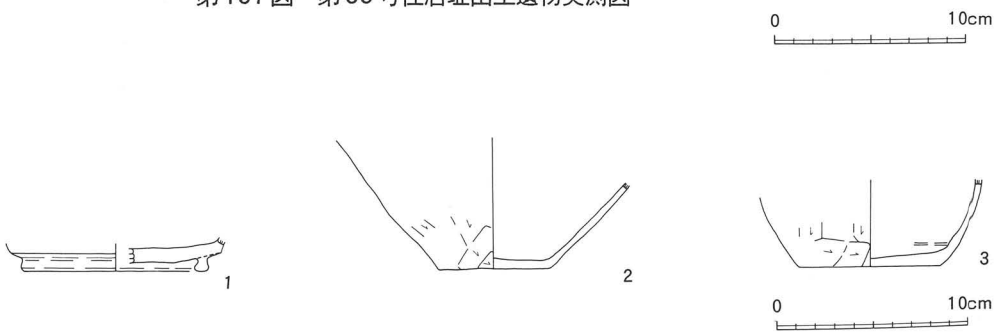
第155図　第33号住居址出土遺物実測図



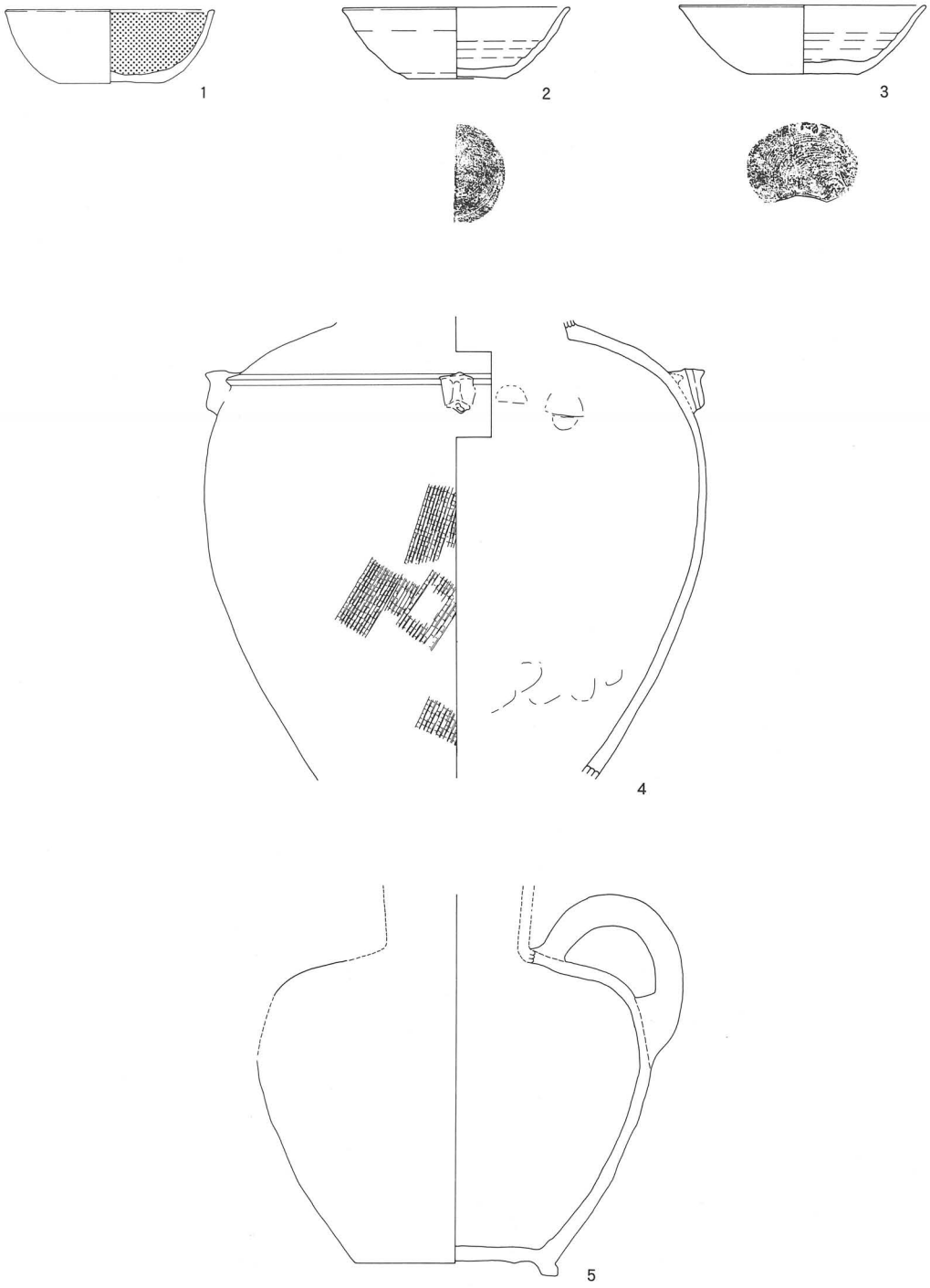
第156図　第34号住居址出土遺物実測図



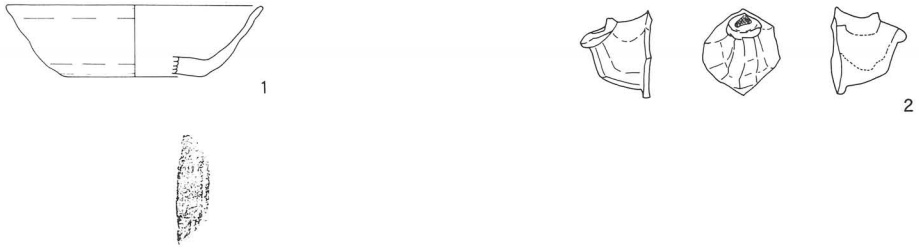
第157図　第35号住居址出土遺物実測図



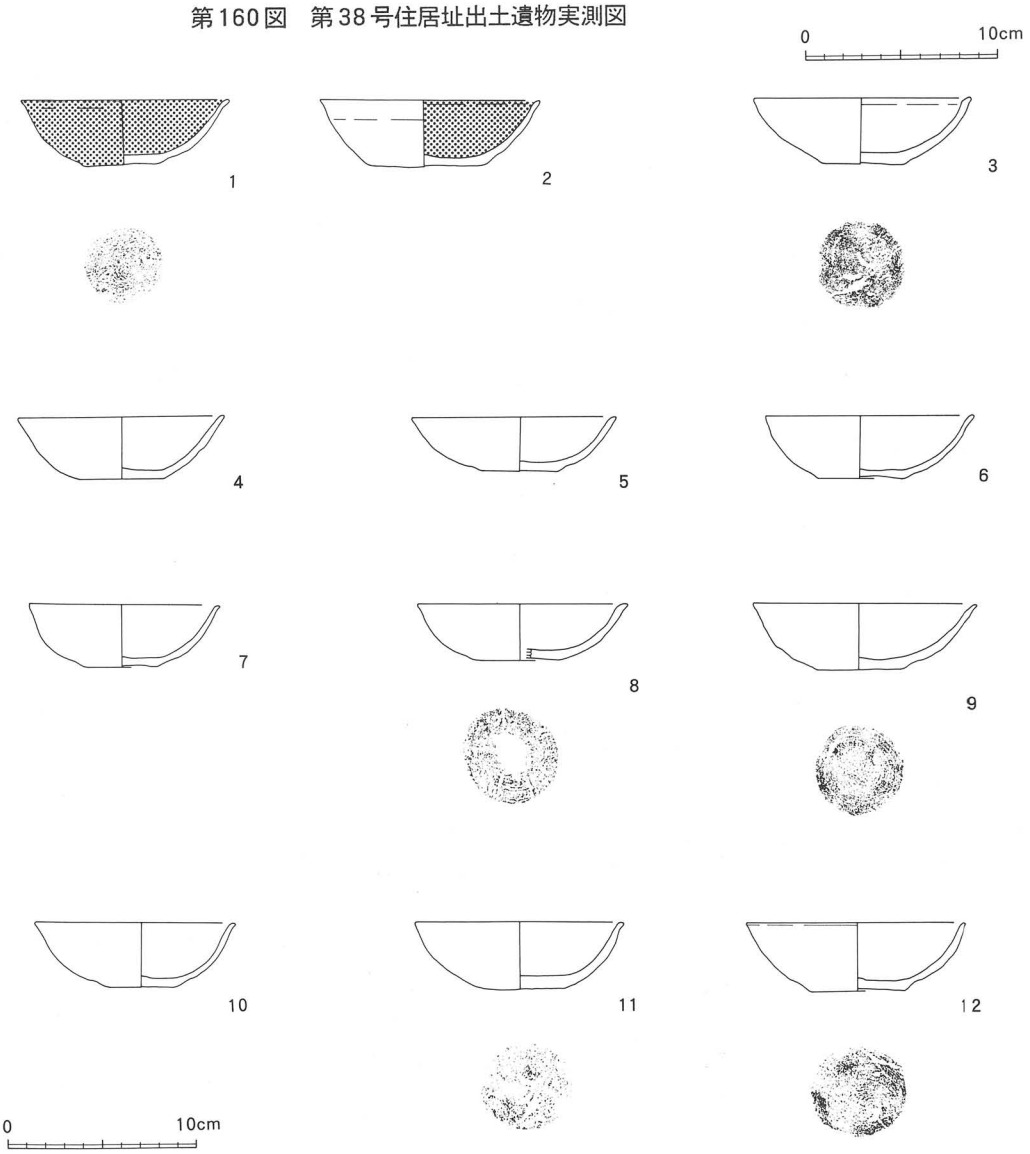
第158図　第36号住居址出土遺物実測図



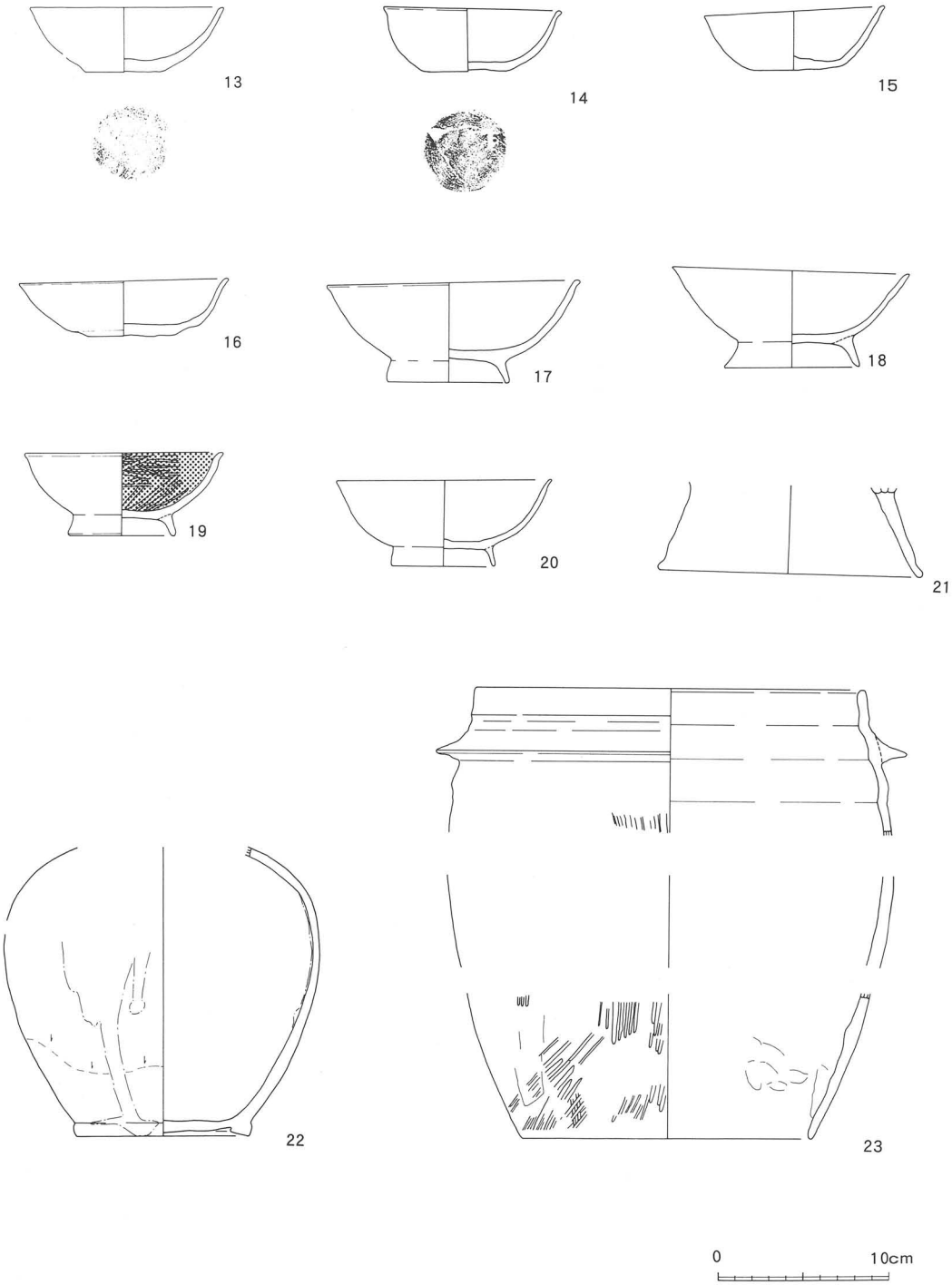
第159図　第37号住居址出土遺物実測図



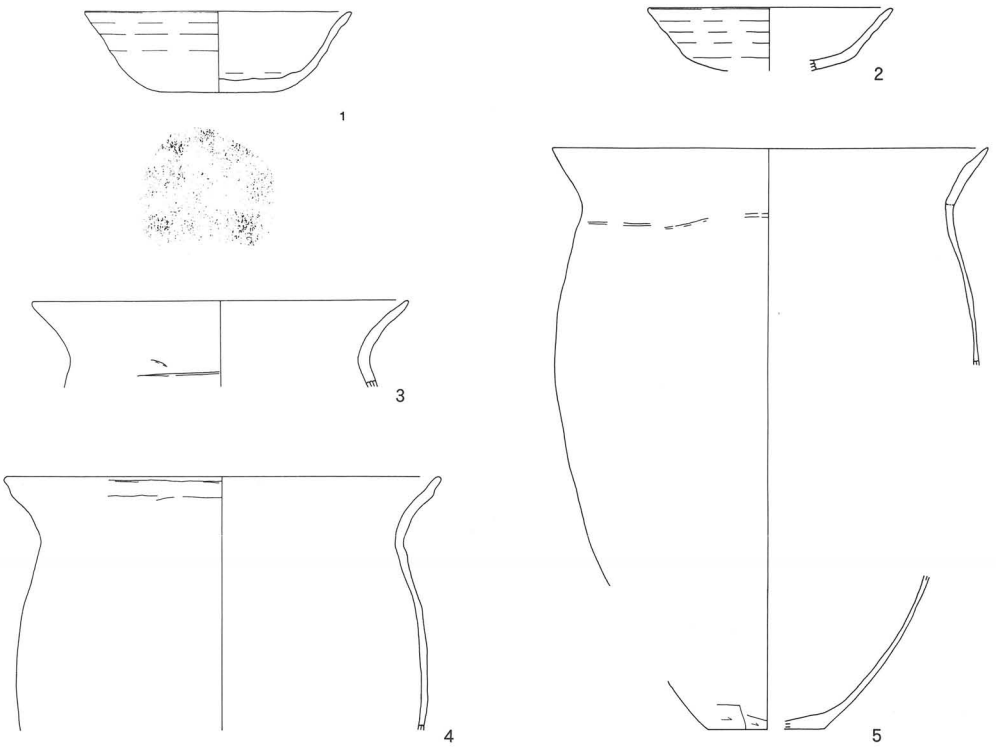
第160図　第38号住居址出土遺物実測図



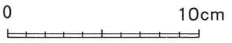
第161図　第39号住居址出土遺物実測図（1）

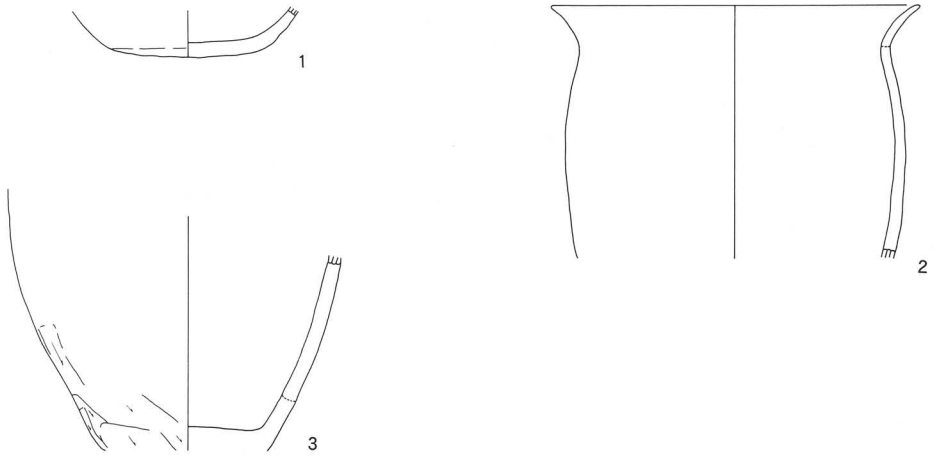


第162図　第39号住居址出土遺物実測図（2）

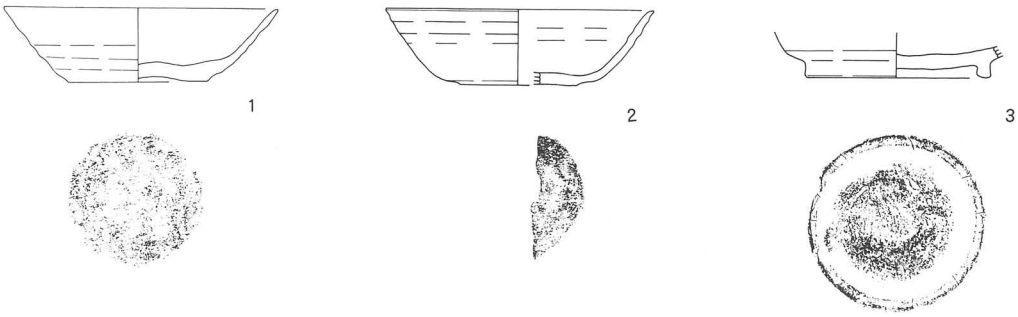


第163図　第40号住居址出土遺物実測図

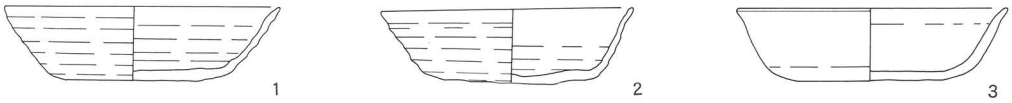




第164図　第41号住居址出土遺物実測図

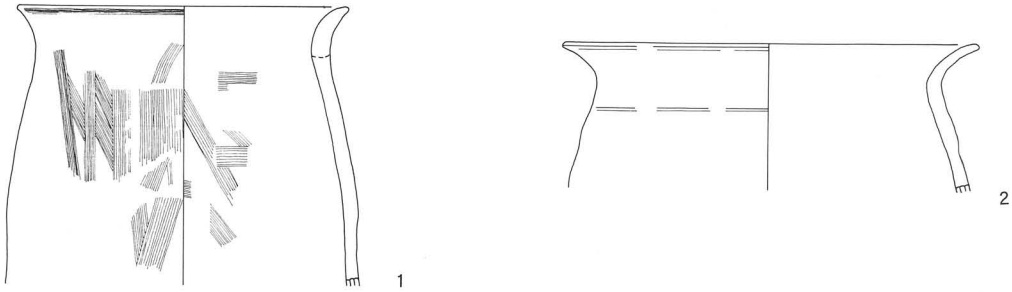


第165図　第42号住居址出土遺物実測図

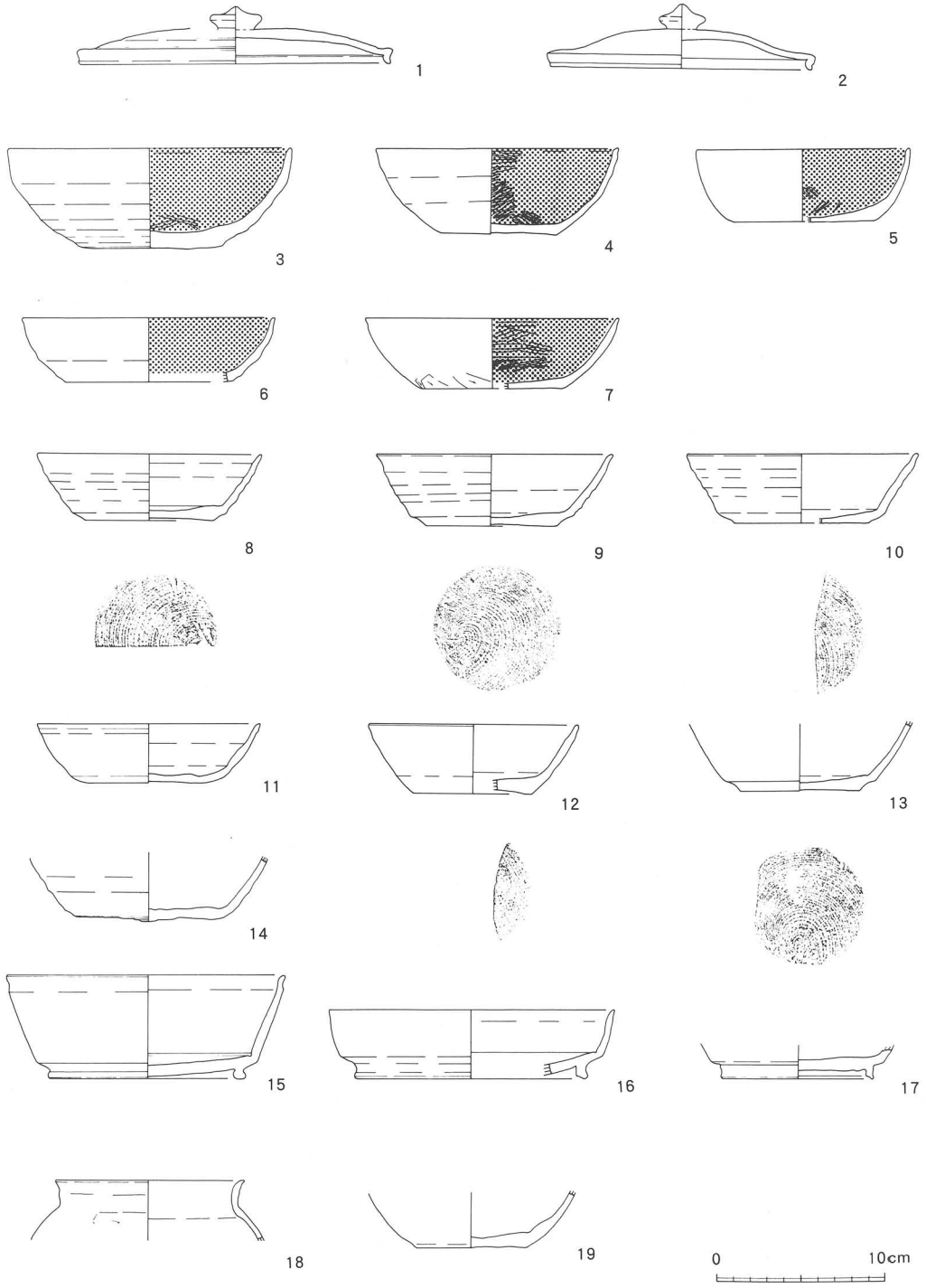


第166図　第43号住居址出土遺物実測図

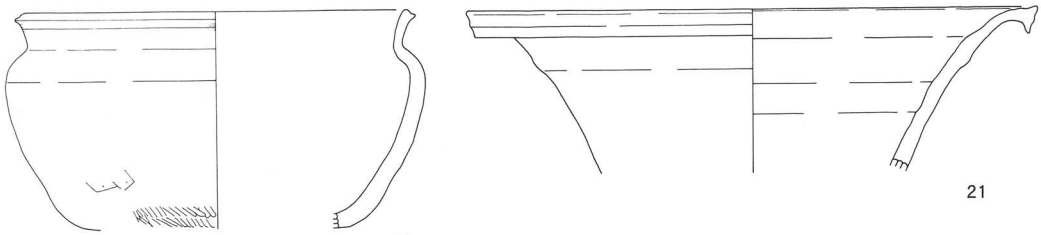
第167図　第44号住居址出土遺物実測図

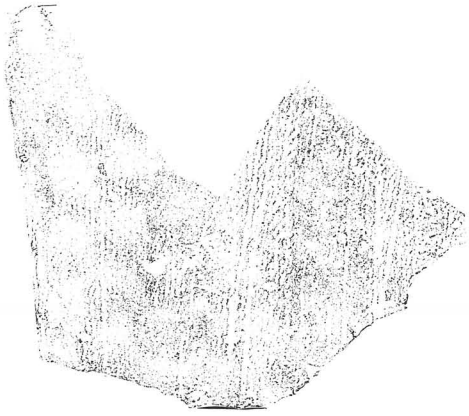


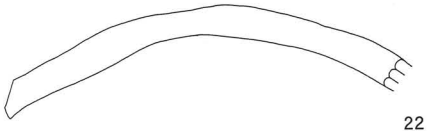
第168図　第45号住居址出土遺物実測図

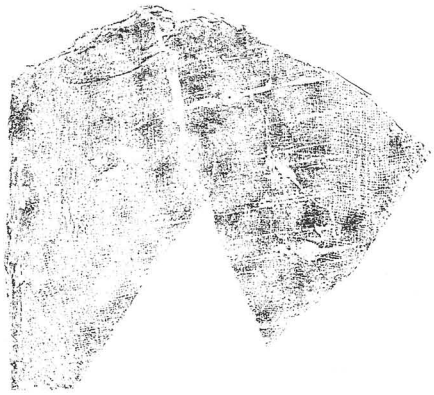


第169図　第46号住居址出土遺物実測図（1）

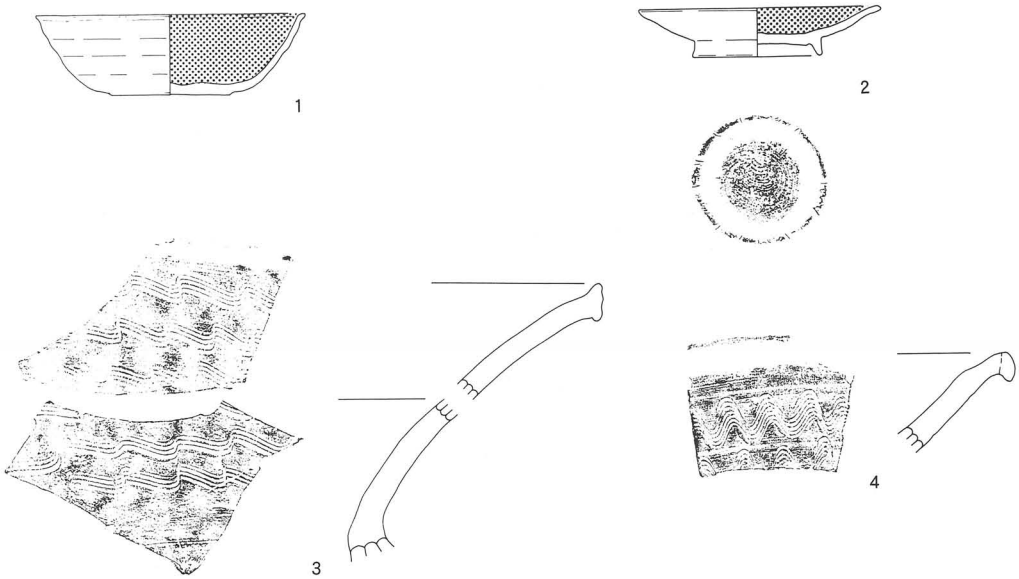






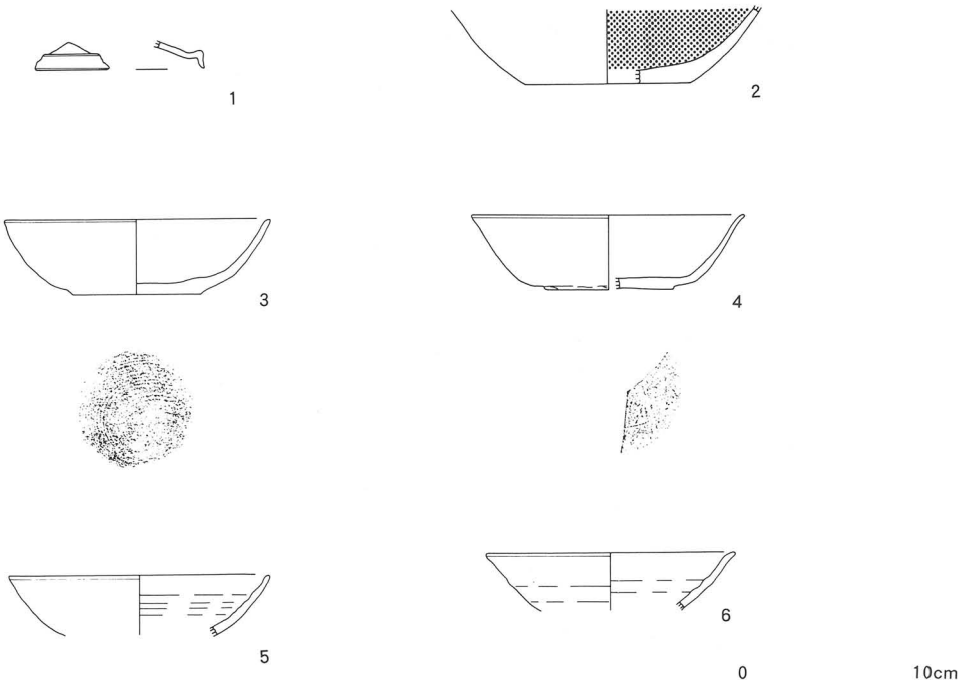


第170図　第46号住居址出土遺物実測図（2）



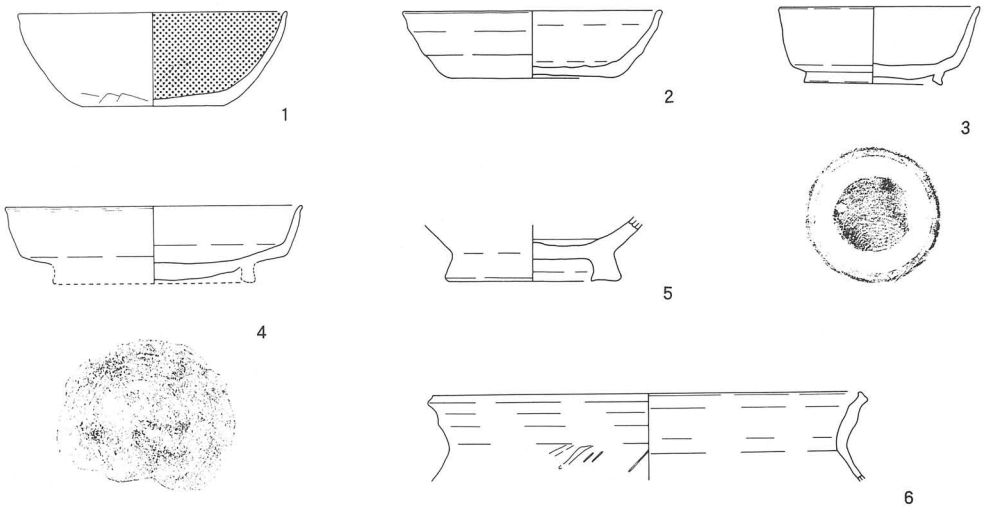
第171図　第49号住居址出土遺物実測図

0　10cm

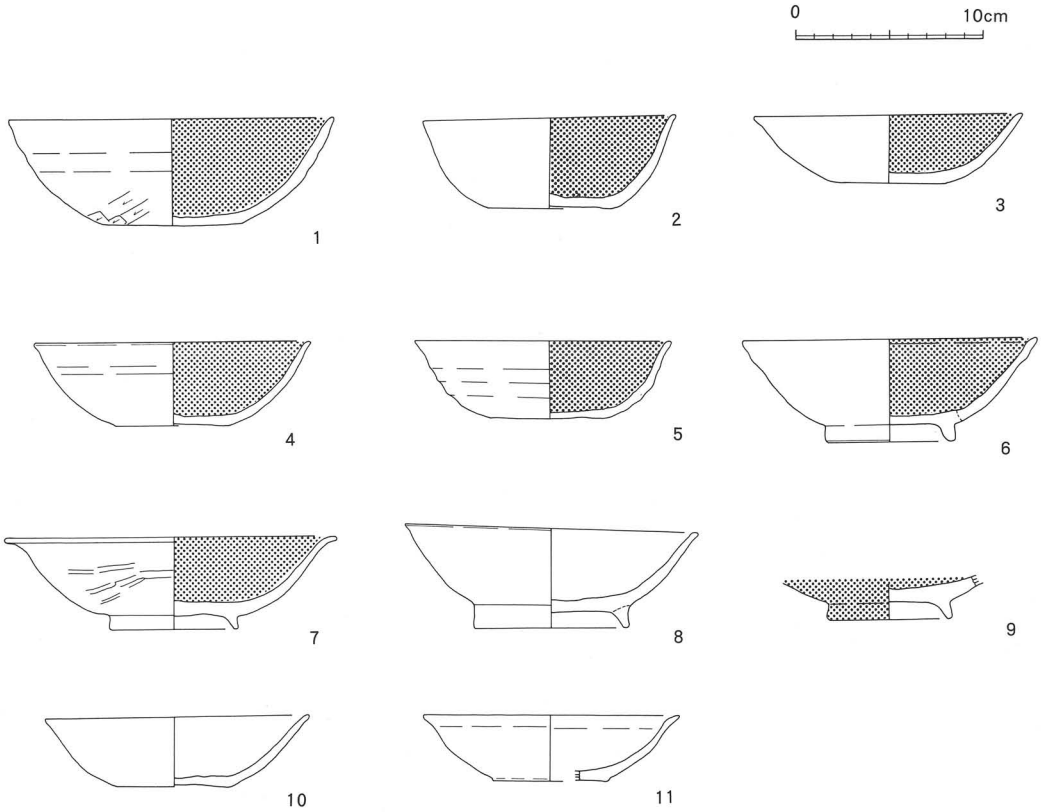


0　10cm

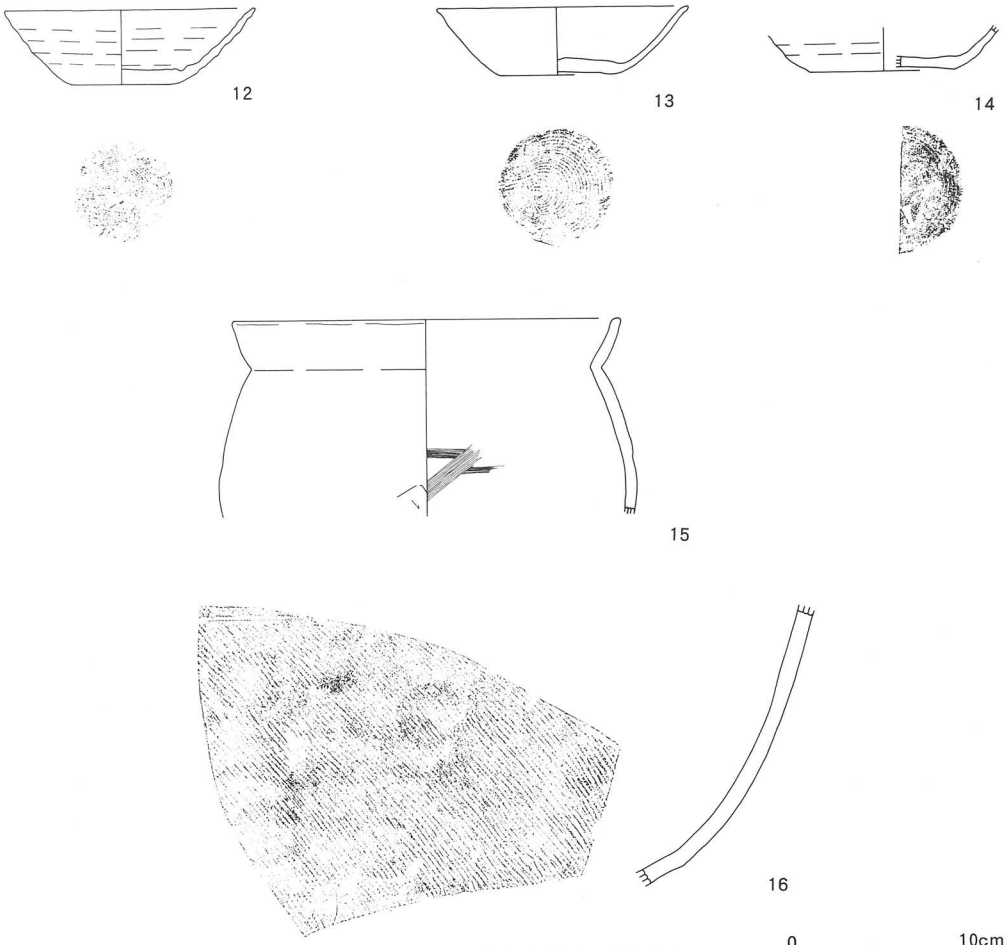
第172図　第50号住居址出土遺物実測図



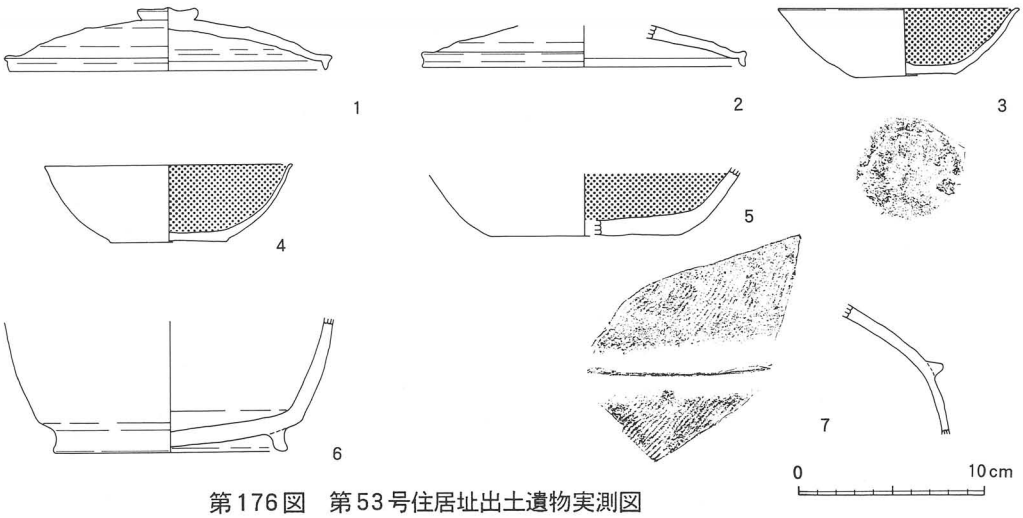
第173図　第51号住居址出土遺物実測図



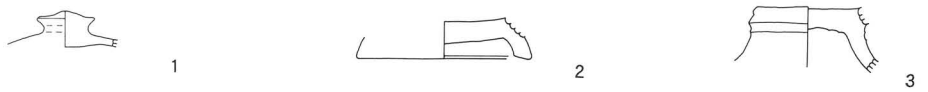
第174図　第52号住居址出土遺物実測図（1）



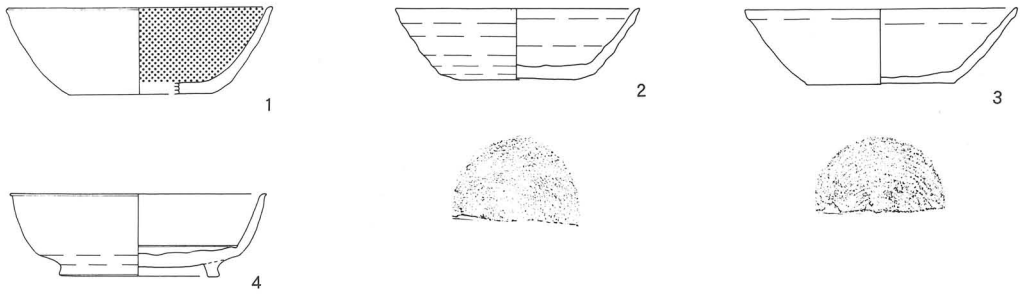
第175図　第52号住居址出土遺物実測図（2）



第176図　第53号住居址出土遺物実測図

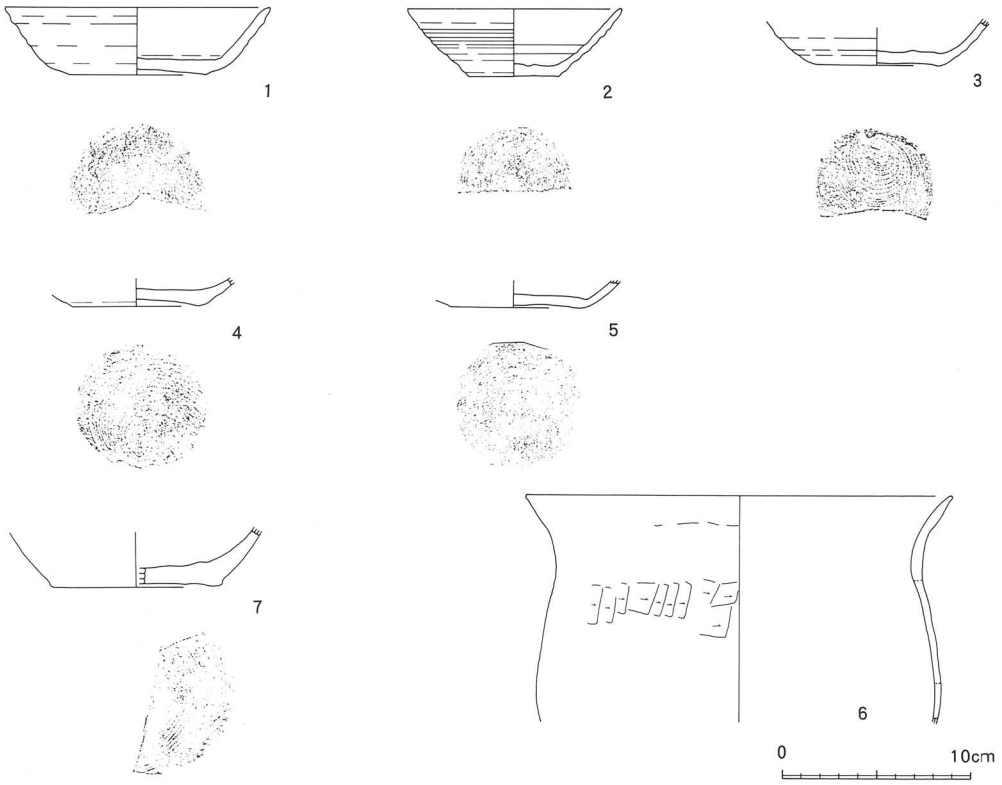


第177図　第54号住居址出土遺物実測図

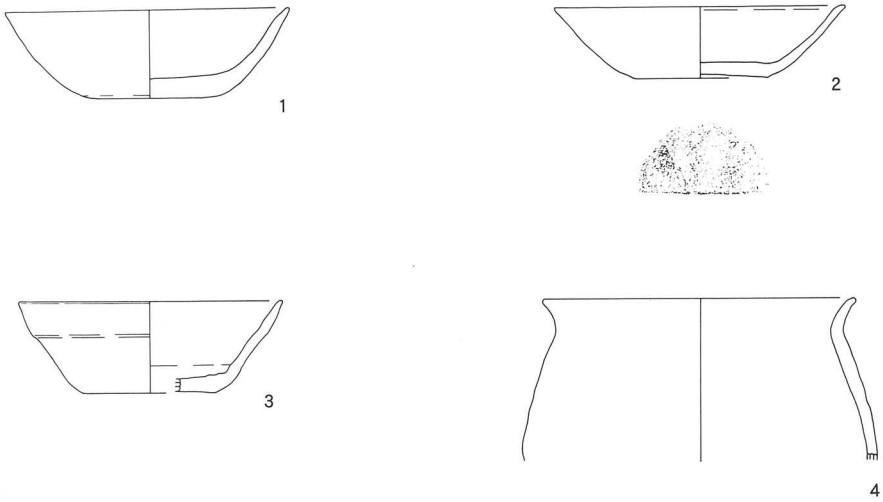


第178図　第56号住居址出土遺物実測図

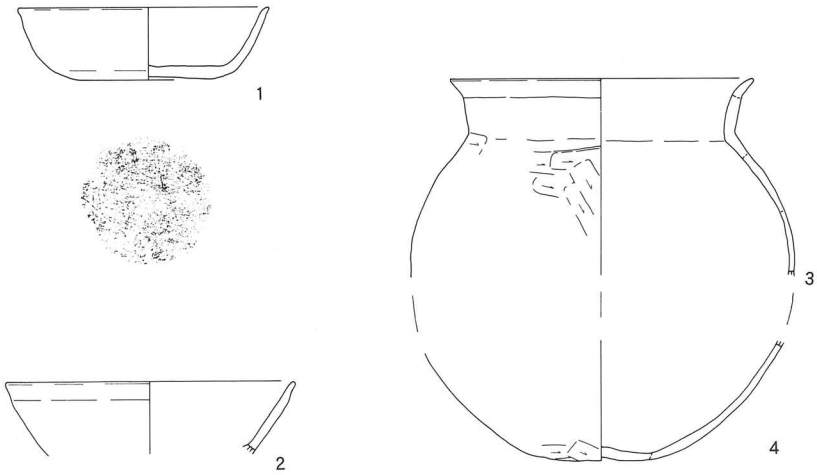
0　10cm



第179図　第57号住居址出土遺物実測図

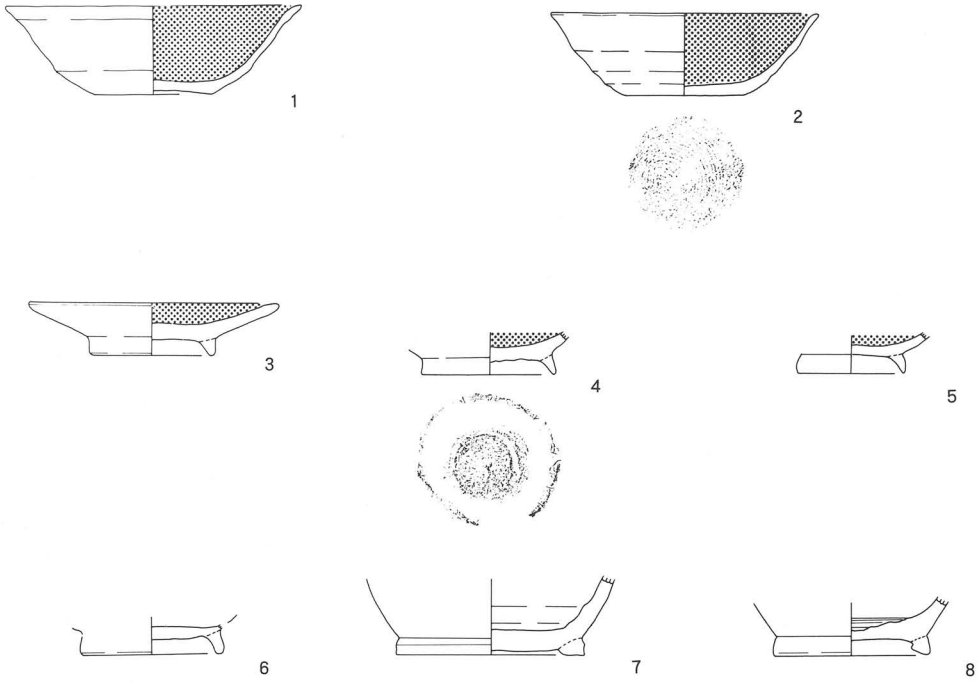


第180図　第58号住居址出土遺物実測図



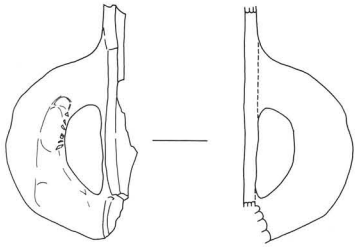
第181図　第59号住居址出土遺物実測図

3　土壙



第182図　第3号土壙出土遺物実測図

0　10cm

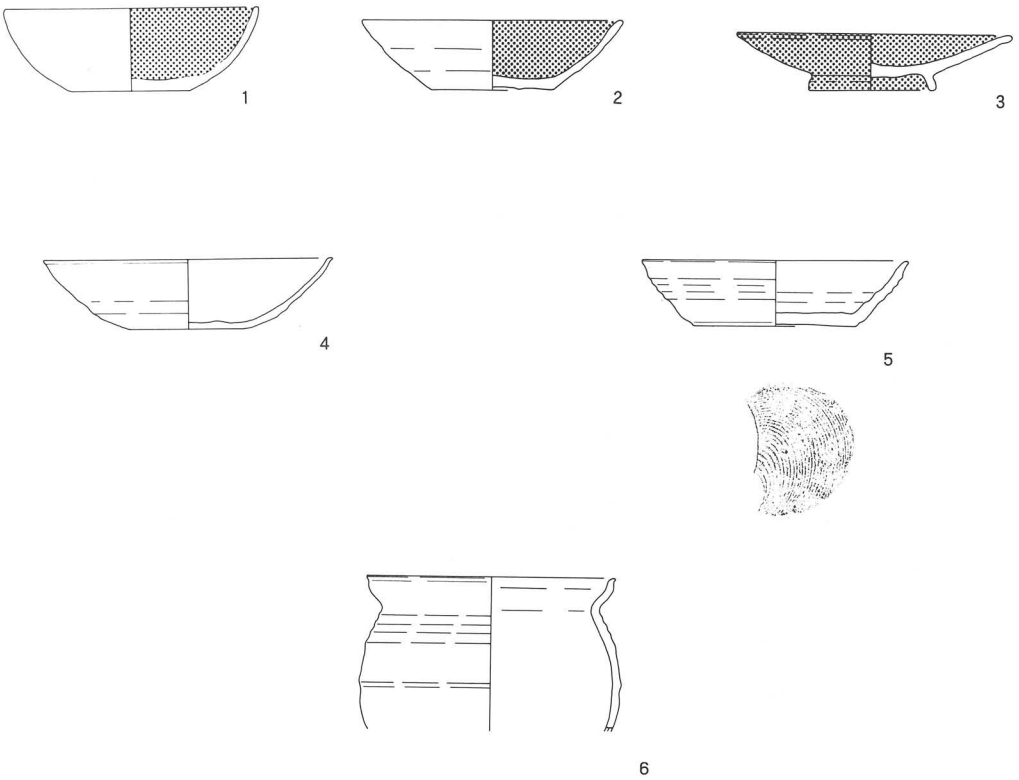


第183図　第11号土壙出土遺物実測図

0　10cm

第184図　第28号土壙出土遺物実測図

0　10cm

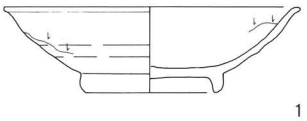


第185図　第31号土壙出土遺物実測図

0　10cm

第186図　第32号土壙出土遺物実測図

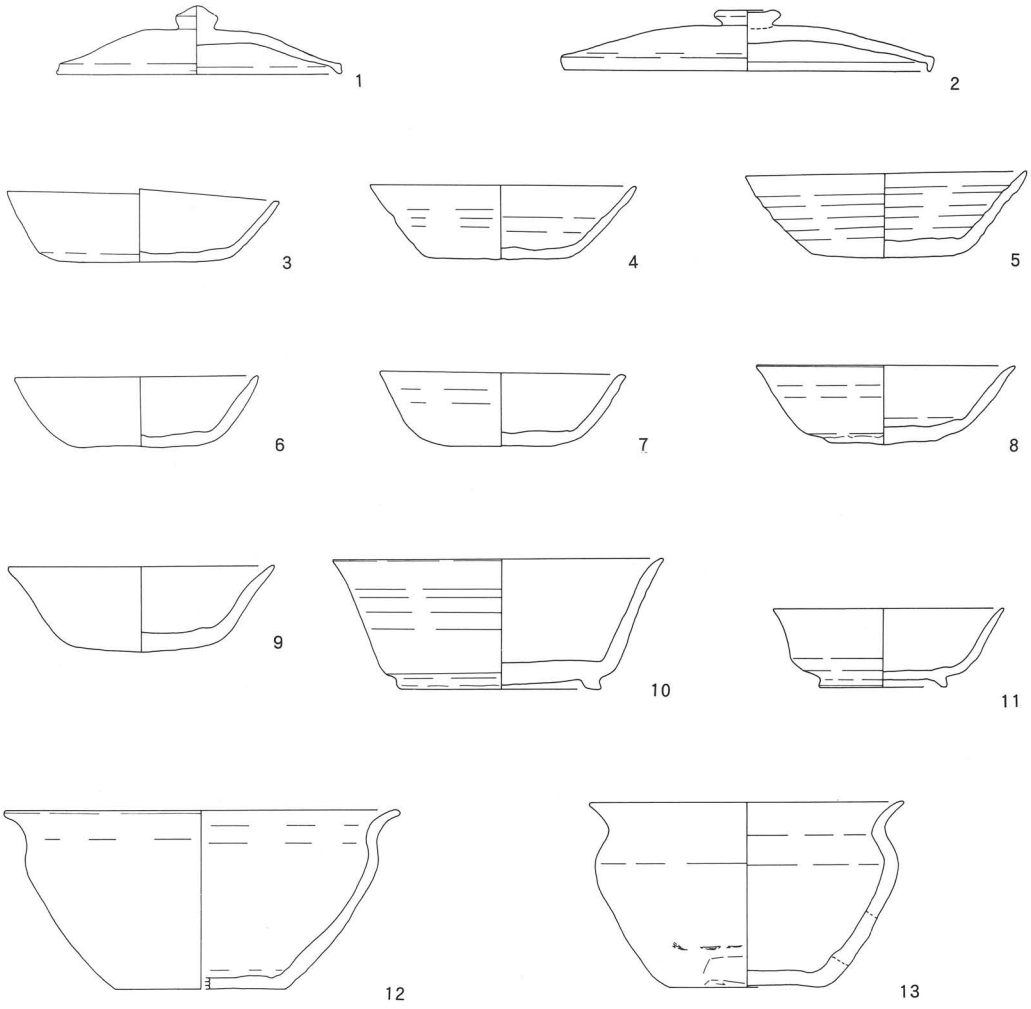
0　10cm



第187図　第35号土壙出土遺物実測図

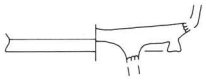
0　10cm

4　溝址



第188図　第6号溝址出土遺物実測図

0　10cm



0　10cm

第189図　第7号溝址出土遺物実測図

0　10cm

第190図　包含層出土遺物実測図

5　出土遺物一覧表

遺構No. 図版No.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態	整形技法ほか
SB－01 131－1	蓋 土師	抓径 2.8 残高 2.2 抓部完存	胎:粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外) 7.5YR7／4にぶい橙色 (内) 2.5YR5／2灰赤色	抓は偏平な擬宝珠状を呈する	(外) 天井部轆轤による篦削り
SB－01 131－2	蓋 須恵	抓径 2.6 残高 1.4 抓部のみ完存	胎：白色粗砂粒を僅かに含む 焼：良 色：(外) N－6灰色 (内) N－5灰色	抓は偏平な擬宝珠状を呈する	轆轤による撫で
SB－01 131－3	坏 土師	口径 18.3 器高 5.0 底径 9.2 体部 1／6	胎：0.2の粗砂粒を含む 焼：良 色：(外) 5YR7／4にぶい橙色 (内) 5YR6／4にぶい橙色	体部はやや内弯しながら直線的に立ち上がる	(内) ごく僅かに篦磨きの痕跡がある
SB－01 131－4	甕 土師	口径 21.2 残高 5.8 口縁部～肩部1／6	胎：粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外) 5YR7／6橙色 (内) 5YR7／4にぶい橙色	口縁部に緩やかな稜を有し、口辺部は「くの字」状に外反する	(外) (内) 撫で
SB－01 131－5	甕 土師	口径 17.0 残高 10.3 口縁～胴部1／8底1／4	胎：0.3の礫、粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外) 10R5／3赤褐色 (内) 10R4／4赤褐色	口辺部は「くの字」状に外反する	(外)口縁部轆轤による横位の撫で、胴部木口状工具による横位の轆轤撫で＝「掻き目」、及び撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による横位の撫で
SB－02 132－1	坏 須恵	口径 12.7 残高 3.0 体部1／6	胎：粗砂粒を僅かに含む 焼：良 色：(外) (内) 7.5Y6／1灰色	口縁部外反する	(外) (内) 轆轤による横位の撫で
SB－02 132－2	坏 須恵	残高 1.2 底径 6.6 底部3／5	胎：黒色粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外) (内) 7.5Y5／1灰色		(外) 体部轆轤による横位の撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による横位の撫で
SB－02 132－3	甕 須恵	残高 5.6 口縁部の一部	胎：粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外) N－4灰色 (内) N－7灰白色		(外) 叩きの後、轆轤による横位の撫で (内) 轆轤による横位の撫で
SB－03 133－1	坏 土師	口径 14.6 器高3.6 底径 6.7 体部2／3欠	胎：粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外) 5YR6／6橙色 (内) 黒色	轆轤成形　平底から体部は内弯し、口唇部で僅かに外反する	(外) 体部轆轤による横位の撫で底部回転糸切りの後、一部篦調整 (内) 篦磨き痕が僅かに残る 轆轤右回転
SB－03 133－2	坏 須恵	口径 13.3 器高 3.7 底径 6.2 体部1／3欠	胎：青黒色粗砂粒を僅かに含む 焼：良 色：(外) (内) 5B6／1青灰色	轆轤成形　平底の底部から体部に稜を有しながら直線的に立ち上がる	(外) 体部轆轤による横位の撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による横位の撫で 轆轤右回転
SB－03 133－3	甕 土師	口径 9.8 器高 11.0 底径 7.5 口縁7／8欠	胎：礫・粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外) 5YR6／6橙色 (内) 5YR5／6明赤褐色	粘土帯積み上げ平底から偏平な球形胴を経て、口縁部は外反する	(外) 篦削り？の後、撫で。 (内) 篦状工具による横位の撫で
SB－04 134－1	蓋 須恵	抓径 2.6 残高 1.9 抓部完存	胎：粗砂粒を僅かに含む 焼：良 色：(外) 2.5GY6/1オリーブ灰色 (内) N－6灰色	付け抓はボタン状を呈する 轆轤成形	(外) 抓部撫で　天井部轆轤による篦状工具による削り (内) 轆轤による撫で
SB－04 134－2	坏 土師	口径 14.7 器高 3.9 底径 5.2 1／3	胎：細砂粒を多く含む 焼：良 色：(外) 10YR7／3にぶい黄橙色	平底の底部から内弯しながら開き気味に立ち上がる	(外) 器面が荒れ、調整等不明 (内) 黒色処理　篦磨き？
SB－04 134－3	坏 土師	口径 12.9 器高 3.4 底径 5.7 口縁3／4欠	胎：粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外) 2.5Y5／1黄灰色 (内) 2.5Y7／1灰白色	平底の底部から内弯しながら立ちあがる 轆轤成形？	(外) 体部轆轤による撫で？ 底部回転糸切り (内) 体部轆轤による撫で？ 轆轤右回転？

第14表　出土遺物一覧表（1）

遺構No. 図版No.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態	整形技法ほか
SB－04 134－4	坏 土師	残高 1.9 底径 5.6 底部完存	胎：細砂粒を含む 焼：良 色：(外)(内) 黒色		(外) 体部轆轤による撫で底部篦状工具による撫で黒色処理 (内) 篦状工具による磨き？
SB－04 134－5	壺 須恵	口径 8.3 残高 7.4 頸部 1／2	胎：礫・粗砂粒を含む 焼：良 色：(外) 2.5YR2／1赤黒色 (内) 2.5YR4／1赤灰色	頸部は外傾し、口辺部で大きく外反し、口唇部でL字状に直立する	(外) 轆轤による撫で (内) 頸部上位轆轤による撫で 頸部下位轆轤による篦削り
SB－05 135－1	坏 土師	口径 12.0 器高 4.4 底径 5.1 坏部1／3	胎：粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外) 10Y1／6灰色 (内) 黒色	付高台から内弯しながら立ち上がり、口唇部でやや外反する	(外) 轆轤による撫で (内) 轆轤による撫で 黒色処理
SB－05 135－2	坏 須恵	口径 13.4 器高 4.0 底径 6.6 ほぼ完存	胎：粗砂粒を含む 焼：良 色：(外)(内)N-5灰色～2.5YR 6/4にぶい橙色	上げ底の底部から開き気味に体部に稜を有しながら立ち上がる	(外) 体部轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で
SB－06 136－1	蓋 須恵	抓径 2.5 残高 5.2 裾径 17.1 裾部3／4欠	胎：礫・粗砂粒を多く含む 焼：良（酸化焔焼成） 色：(外) 7.5YR7／4にぶい橙色 (内) 7.5YR7／5橙色	天井部の張りが強い	(外) 轆轤による撫で (内) 轆轤による撫で 中央部撫で
SB－06 136－2	蓋 須恵	残高 2.6 裾径 18.2 裾部 1／6	胎：粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外) 2.5YR5／1赤灰色 (内) N－7灰白色		(外)(内) 轆轤による撫で
SB－06 136－3	坏 須恵	残高 2.1 底径 5.5 底部完存	胎：0.8の礫を含む 焼：良（酸化焔焼成） 色：(外)2.5YR5/4にぶい赤褐色 (内) 2.5YR6/3にぶい橙色	轆轤成形	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で
SB－06 136－4	壺 須恵	口径 16.5 残高 7.0 口縁部～体部上位1／7	胎：粗砂粒をごく僅か含む 焼：良 色：(外) 10GY6／1緑灰色 (内) 7.5YR6／2灰褐色	口辺部は「くの字」状に外反し、口唇部に面取りが施される	(外) 轆轤による撫で (内) 木口状工具による撫で
SB－06 136－5	甕 須恵	口径 25.8 残高 14.5 頸部1／4 口縁部1／8	胎：礫・粗砂粒を含む 焼：良 色：(外)2.5Y6/1～2/1黄灰～黒色 (内)BG6/1～2/1青灰～青黒色	粘土帯積み上げ肩部が張りだし、口辺部は大きく外弯する	(外) 口縁部～頸部轆轤による撫で肩部叩き (内) 口縁部～頸部轆轤による撫で＋篦調整
SB－06 137－6	甕 須恵	残高 8.3 口縁部～頸部の一部	胎：礫・粗砂粒を含む 焼：良 (外) N－4灰色 (内) N－5灰色		(外) 頸部～口縁部横位の撫で＋櫛歯状工具による施文 (内) 轆轤による撫で
SB－07 138－1	蓋 須恵	抓径 3.1 器高 3.3 裾径 15.5 ほぼ完存	胎：0.2以上の礫・粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外)(内) 5Y8／1灰白色	抓部のボタン状を呈する	(外) 抓部撫で 天井部上位轆轤による篦削り、下位轆轤による撫で (内) 轆轤による撫で
SB－07 138－2	蓋 須恵	抓径 2.6 器高 3.5 裾径 15.3 2／3,	胎：0.2以上の礫・粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外)(内) 5Y8／1灰白色	付け抓は偏平な擬宝珠状を呈する	(外) 抓部撫で 天井部上位轆轤による篦削り、下位轆轤による撫で (内) 轆轤による撫で
SB－07 138－3	坏 土師	口径 14.1 器高 4.9 底径 7.9 完存	胎：0.2の礫・粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外) 7.5YR7／3にぶい橙色 (内) 黒色	平底の底部から内弯しながら立ち上がる	(外) 体部篦削り＋撫で？ 底部篦削り？ (内) 篦状工具による磨き 黒色処理
SB－07 138－4	坏 須恵	口径 13.3 器高 3.9 底径 7.6 底1／2	胎：0.4の礫を含む 焼：良 色：(外)(内) N－7灰白色	上げ底気味の底部から体部に強い稜を有しながら外方へ開く	(外) 体部轆轤による撫で 底部回転篦切り？ (内) 轆轤による撫で 轆轤右回転

第15表　出土遺物一覧表（2）

遺構No. 図版No.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態	整形技法ほか
SB－07 138－5	坏 須恵	口径 13.0 器高 4.8 底径 6.6 体部1／3欠	胎：0.5の礫、粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外)(内) N－7灰白色	上げ底気味の底部から体部は内弯しながら立ち上がる	(外) 体部轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で 轆轤右回転
SB－07 138－6	坏 須恵	口径 15.8 器高 6.0 底径 9.7 1／6	胎：粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外)(内) 7.5Y7／1灰白色	口唇部で僅かに外反する	(外) 体部轆轤による撫で (内) 轆轤による撫で＋手持ちの撫で
SB－07 138－7	坏 須恵	残高 1.7 底径 7.2 底部 1／2	胎：粗砂粒を僅かに含む 焼：不良 色：(外)(内) 7.5Y7／1灰白色		(外) 底部回転糸切り痕が僅かに見えるほか、器面が荒れる
SB－08 139－1	蓋 須恵	抓径 2.4 残高 1.4 抓部完存	胎：粗砂粒を僅かに含む 焼：良（不完全な還元焔焼成） 色：(外) 2.5YR5/4にぶい赤褐色	抓部は中央の突出したボタン状を呈する	(外) 抓部轆轤による撫で 天井部轆轤による箆削り (内) 轆轤による撫で
SB－08 139－2	坏 土師	残高 3.0 底径 7.8 体部下位～底部1／2	胎：粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外) 5YR6／6～1.7／1橙～(内) 黒色	平底から内弯しながら立ち上がる	(外) 体部撫で？底部箆調整？ (内) 体部撫で？黒色処理
SB－08 139－3	坏 須恵	口径 13.8 器高 3.9 底径 7.8 底部1／2	胎：粗砂粒を含む 焼：良 色：(外)(内) N－7灰白色	やや上げ底の底部から体部に稜を有しながら口縁部に開く	(外) 体部轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で 轆轤右回転、火襷あり
SB－08 139－4	坏 須恵	口径 13.6 残高 3.4 体部1／4	胎：粗砂粒をごく僅かに含む 焼：良 色：(外)(内) 10Y5／1灰色	体部は緩やかに屈曲しながら開く	(外)(内) 轆轤による撫で
SB－08 139－5	坏 須恵	残高 1.7 底径 6.4 底部1／2	胎：粗砂粒を含む 焼：良 色：(外)(内) N－7灰白色	平底の底部と体部の間に段を有する	(外) 体部轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で 轆轤右回転、火襷あり
SB－08 140－6	坏 須恵	残高 1.1 底径 10.7 底部1／6	胎：粗砂粒を含む 焼：良 色：(外)(内) 2.5YR－5／3にぶい赤褐色	付高台	(外) 底部回転箆削り (内) 轆轤による撫で
SB－08 140－7	坏 須恵	残高 1.7 底径 10.8 底部1／4	胎：粗砂粒を含む 焼：良 色：(外)(内) 5B7／1明青灰色		(外) 体部轆轤による撫で 底部回転箆削り (内) 轆轤による撫で 轆轤右回転
SB－08 140－8	坏 須恵	残高 1.4 底径 8.6 底部1／5	胎：粗砂粒を僅かに含む 焼：良 色：(外)(内) 5B7／2青灰色		(外) 体部轆轤による撫で 底部回転糸切りの後、轆轤による箆撫で (内) 轆轤による撫で
SB－08 140－9	鏃 鉄製品	長さ 7.7 幅　3.8 厚さ 0.9 重量 25g			検出面直下から出土
SB－09 141－1	坏 土師	口径 14.2 器高 3.7 1／3	胎：0.3の礫、粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外) 5YR8／2～2.5YR7／6灰白色～橙色 (内) 黒色	平底からやや内弯しながら口縁へ開く	(外) 体部轆轤による撫で (内) 黒色処理
SB－09 141－2	坏 土師	口径 17.3 器高 5.5 底径 6.2 1／4	胎：礫、粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外) 5YR7／2～1.7／1明褐灰色～黒色 (内) 黒色	やや上げ底から体部は直線的に開く	磨耗が激しく、調整等不明 (内) 黒色処理

第16表　出土遺物一覧表（3）

遺構No. 図版No.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態	整形技法ほか
SB－09 141－3	坏 須恵	口径 14.6 器高 4.1 底径 5.6 1／2	胎：粗砂粒を僅かに含む 焼：良 色：(外)（内）N－8灰白色	粘土帯積み上げの後、轆轤成形　体部僅かに内弯しながら立ち上がる	(外）体部轆轤による撫で 底部回転糸切り (内）轆轤による撫で 轆轤右回転
SB－09 141－4	坏 須恵	口径 12.0 器高 3.4 底径 5.3 体部1／2欠	胎：精良 焼：良 色：(外）（内）10BG－6／1青灰色	平底の底部から内弯しながら立ち上がり、口縁部で緩く外反する	(外）体部轆轤による撫で 底部回転糸切り (内）轆轤による撫で 轆轤右回転
SB－09 141－5	坏 須恵	口径 13.8 器高 3.9 底径 6.3 1／3	胎：0.3の礫、粗砂粒を多く含む 焼：やや不良 色：(外）（内）N－7～N－3灰白色～暗灰色　やや軟質	上げ底から体部に稜を有しながら開く	(外）体部轆轤による撫で 底部回転糸切り？ (内）轆轤による撫で
SB－09 141－6	坏 須恵	残高 2.9 底径 6.0 底部 1／2 体部 1／3	胎：0.4の礫、粗砂粒を多く含む 焼：良（酸化焔焼成） 色：(外）7.5YR8／3浅黄橙色 (内）7.5YR8／6浅黄橙色	底部内面中央が凹む	(外）体部轆轤による撫で 底部回転糸切り (内）轆轤による撫で 轆轤右回転？
SB－09 141－7	坏 須恵	口径 20.3 器高 3.6 底径 15.5 1／8	胎：粗砂粒を僅かに含む 焼：良 色：(外)N-6灰色底部5R5/1赤灰色	付高台　口唇部で僅かに外反する 器体に気泡が入っている	(外）体部轆轤による撫で　高台部撫で 底部轆轤による篦削り～篦撫で (内）轆轤による撫で
SB－11 142－1	蓋 須恵	抓径 2.9 残高 3.7 抓完存、天井1／2	胎：0.3の白色、粗砂粒を含む 焼：良 色：(外）（内）N－7灰白色	抓は擬宝珠状を呈する	(外）抓部轆轤による撫で 天井部上位轆轤による篦削り、下位轆轤による撫で (内）轆轤による撫で
SB－11 142－2	坏 土師	口径 14.5 器高 4.1 底径 5.7 2／3	胎：粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外）5YR8／1～6／3灰白色～にぶい橙色（内）黒色	僅かに上げ底の底部から体部は内弯しながら立ち上がる	(外）体部撫で？ 底部篦状工具による撫で？ (内）黒色処理＋磨き処理？
SB－13 143－1	甕 土師	残高 11.2 底径 9.7 底部～胴部下位1／2	胎：粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外）（内）5YR7／3～6／6にぶい橙色～橙色	粘土帯積み上げ 胴部は直線的に立ち上がる	(外）（内）篦削り、篦撫での後撫で
SB－13 143－2	甕 土師	残高 9.5 底径 8.4 底部完存 胴部1／4	胎：粗砂粒を多く含む 焼：良 色：（外）１０Ｒ６／３～６／８にぶい赤橙色～橙色（内）２．５ＹＲ６／４にぶい橙色	粘土帯積み上げ	(外）（内）篦削り、篦撫での後撫で
SB－13 143－3	甕 土師	残高 7.7 底径 5.4 底部完存	胎：粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外）2.5YR4／2灰赤色 (内）2.5Y4／6赤褐色	粘土帯積み上げ 球形胴を呈するか	(外）篦削りの後撫で (内）篦削りの後撫で
SB－21 144－1	坏 土師	口径 15.1 器高 5.8 底径 8.2 ほぼ完存	胎：粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外）2.5YR4／8赤褐色 (内）黒色	平底の底部から体部は内弯しながら立ち上がる	(外）体部轆轤による撫で＋撫で 回転篦切り＋篦調整 (内）黒色処理・丁寧な篦磨き
SB－21 144－2	坏 須恵	口径 16.7 残高 5.6 体部1／8	胎：礫を僅かに含む 焼：良 色：(外）5B5／1青灰色 (内）5B7／1明青灰色	体部に僅かな稜を有しながら直線的に立ち上がる	(外）体部轆轤による撫で (内）体部轆轤による撫で 外面に自然釉がかかる
SB－21 144－3	坏 須恵	残高 1.7 底径 9.0 底部1／4	胎：粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外）N－7灰色 (内）10Y6／1灰色	丸底気味の底部	(外）体部轆轤による撫で 底部篦削り (内）体部轆轤による撫で
SB－22 145－1	坏 土師	口径 16.4 器高 5.3 底径 8.4 1／3	胎：粗砂粒を含む 焼：良 色：(外）2.5YR6／4～6／6にぶい橙色～橙色（内）黒色	平底から内弯しながら立ち上がる	(外）撫で？ (内）黒色処理＋篦磨き？

第17表　出土遺物一覧表（4）

遺構No. 図版No.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態	整形技法ほか
SB－22 145－2	坏 須恵	口径 13.2 器高 4.8 底径 5.4 3／4	胎：0.5の礫を含む 焼：良 色：(外) 2.5GY6／1オリーブ灰色 (内) N－7灰白色	底部と体部の間に段を有し、体部はやや内弯しながら立ち上がる	(外) 体部轆轤による撫で　底部轆轤による篦削りの後、外周を篦撫で (内) 轆轤による撫で 轆轤右回転
SB－22 145－3	坏 須恵	残高 3.0 底径 7.4 底部～体部 3／4	胎：粗砂粒を僅かに含む 焼：良 色：(外) (内) N－6灰色	平底から僅かに内弯しながら立ち上がる	(外) 体部轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で 轆轤右回転、火襷あり
SB－22 145－4	甕 須恵	残高 2.6 底径 15.2 高台部1／2	胎：粗砂粒をごく僅かに含む 焼：良 色：(外) 7.5R4／1暗赤灰色 (内) 7.5R5／1赤灰色	付高台	(外) (内) 轆轤による撫で
SB－23 146－1	坏 土師	口径 15.5 器高 4.6 底径 7.0 ほぼ完存	胎：粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外) 2.5YR7／3～6／8淡赤橙～橙色 (内) 2.5YR6／8橙色～黒色	底部と体部の間に段を有し、やや内弯しながら立ち上がる。	(外) 体部轆轤による撫で？ 底部回転糸切り？ (内) 轆轤による撫で？ 轆轤右回転？磨耗が著しい
SB－24 －25 －26 147－1	蓋 須恵	残高 2.3 裾径 17.5 天井部中位～裾部1／3	胎：0.5の礫を含む 焼：良 色：(外) (内) 10BG7／1～1.7／1明青灰色～青黒色		(外) (内) 轆轤による撫で
SB－24 －25 －26 147－2	坏 須恵	口径 14.2 器高 4.2 底径 5.2 ほぼ完存	胎：粗砂粒を多く含む 焼：良（不完全な還元焔焼成） 色：(外) (内) 2.5YR6／2～4／3灰赤色～にぶい赤褐色＋N－6灰色	底部から体部への明確な立ち上がりはなく、内弯しながら立ち上がる	(外) 体部轆轤による撫で 底部篦削り (内) 轆轤による撫で
SB－24 －25 －26 147－3	坏 須恵	口径 13.9 残高 3.8 体部1／8 底部僅か	胎：粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外) (内) 5B7／1～2／1明青灰色～青黒色	体部は緩く内弯しながら立ち上がる	(外) 体部轆轤による撫で 底部篦切り (内) 轆轤による撫で 火襷あり
SB－24 －25 －26 147－4	坏 須恵	口径 17.1 残高 5.2 体部1／6	胎：粗砂粒を僅かに含む 焼：良 色：(外) 10GY7／1明緑灰色 (内) 5YR6／1褐灰色	体部内面に稜を有し、直線的に立ち上がり、口縁部で僅かに内弯する	(外) (内) 轆轤による撫で
SB－24 －25 －26 147－5	坏 須恵	残高 1.3 底径10.0 底部1／2	胎：細砂粒を含む 焼：良 色：(外) 5BG6／1青灰色 (内) 10BG6／1青灰色	付高台	(外) (内) 轆轤による撫で
SB－24 －25 －26 147－6	壺 須恵	残高 6.7 口縁部～頸部の一部	胎：粗砂粒を含む 焼：良（酸化焔焼成） 色：(外) 7.5R4／4にぶい赤色 (内) 7.5R4／1暗赤灰色		(外) (内) 轆轤による撫で
SB－24 －25 －26 147－7	瓦？		胎：礫・粗砂粒を含む 焼：良（酸化焔焼成） 色：(外) 10R2/2～5/3極暗赤褐色～赤褐色 (内) 10R6/1赤灰色		(外) 平行な叩き目 (内) 篦状工具による削り＋撫で
SB－27 148－1	蓋 須恵	抓径 2.8 器高 4.1 裾径 17.6 天井部1／5	胎：礫を含む 焼：良（不完全な還元焔焼成） 色：(外) (内) 7.5R5／3にぶい赤褐色～N－3暗灰色	抓部は擬宝珠状を呈する	(外) 天井部上位篦撫で、抓部・天井部下位轆轤による撫で (内) 轆轤による撫で
SB－27 148－2	坏 須恵	口径 15.3 器高 6.6 底径 8.2 1／2	胎：粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外) (内) N－7～N－5灰白色～灰色	付高台の底部から体部に螺施状の稜を有しながら内弯気味に立ち上がる	(外) 体部轆轤による撫で 底部轆轤による篦削り (内) 轆轤による撫で
SB－27 148－3	坏 須恵	残高 2.3 底径 6.9 底部 1／2	胎：0.5の礫を含む 焼：良 色：(外) (内) 5B7／1～6／1明青灰色～青灰色	底部と体部の間に僅かな段を有する	(外) 体部轆轤による撫で 底部回転篦切り＋篦撫で、撫で (内) 轆轤による撫で＋撫で

第18表　出土遺物一覧表（5）

遺構No. 図版No.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態	整形技法ほか
SB－28 149－1	坏 須恵	口径 13.9 器高 4.7 底径 7.4 1／3	胎：粗砂粒を含む 焼：良 色：(外) 5B7／1～1／3明青灰色～暗青灰色(内) N－4灰	上げ底気味の底部から体部外面に稜を有し、外傾する	(外) 体部轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で 轆轤右回転
SB－29 150－1	坏 須恵	口径 13.9 器高 3.5 底径 6.3 ほぼ完存	胎：0.6の礫を含む 焼：良 色：(外) (内) 5B6／1青灰色	平底の底部から体部は内弯しながら立ち上がり、口唇部で僅か外反する	(外) 体部轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で 轆轤右回転
SB－29 150－2	坏 須恵	口径 12.9 器高 3.9 底径 6.3 完存	胎：0.5の礫を含む 焼：良（不完全な還元焔焼成） 色：(外) (内) 10GY7／1明緑灰色～2.5Y6／4にぶい橙	やや上げ底の底部から体部は僅かに内弯しながら立ち上がる	(外) 体部轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で 轆轤右回転・火襷有り
SB－29 150－3	坏 須恵	口径 13.7 器高 4.5 底径 8.0 1／4	胎：粗砂粒を含む 焼：良 色：(外) (内) 7.5Y6／1灰色	平底から体部は内弯しながら立ち上がり、口縁部で僅かに外反する	(外) 体部轆轤による撫で 底部回転糸切り＋箆撫で (内) 轆轤による撫で 轆轤右回転
SB－29 150－4	坏 須恵	残高 3.6 底径 6.8 底～体部 1／3	胎：粗砂粒を僅かに含む 焼：良 色：(外) (内) 5B6／1青灰色	上げ底の底部から体部へ外反して立ち上がった後、内弯して開く	(外) 体部轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で 轆轤右回転
SB－29 150－5	坏 須恵	残高 0.9 底径 7.1 底部のみ	胎：白色粗砂粒を含む 焼：良 色：(外) 7.5R6／1赤灰色 (内) 10G6／1緑灰色	上げ底の底部	(外) 体部回転糸切り (内) 轆轤による撫で＋箆撫で 轆轤右回転・火襷有り
SB－30 151－1	坏 須恵	口径 16.1 残高 5.8 体部1／6	胎：粗砂粒を含む 焼：良 色：(外) (内) 5B6／1青灰色	体部は直線的に開き、口縁部で外反する	(外) (内) 轆轤による撫で
SB－30 151－2	坏 須恵	残高 2.3 底径 7.1 底部 1／3	胎：粗砂粒を含む 焼：良 色：(外) (内) 5B6／1青灰色	丸底気味の底部	(外) 体部轆轤による撫で 底部回転箆切り？＋箆撫で (内) 轆轤による撫で
SB－30 151－3	坏 須恵	口径 15.5 器高 3.6 底径 12.1 1／3	胎：粗砂粒を含む 焼：良 色：(外) (内) 5B6／1青灰色	付高台　口縁部で僅かに外反する	(外) 体部轆轤による撫で 底部回転箆切り？＋轆轤による撫で (内) 轆轤による撫で
SB－31 152－1	坏 須恵	口径 12.9 器高 3.8 底部 1／2 体部1／8	胎：粗砂粒を含む 焼：良 色：(外) (内) N－6灰色	底部中央に突起 体部は内弯しながら開き、口縁部でやや外反する	(外) 体部轆轤による撫で　底部箆撫で (内) 轆轤による撫で 火襷有り ＊回転図上復元のため、器形に難有り
SB－31 152－2	坏 須恵	口径 12.3 器高 3.3 底径 7.0 底部1／3	胎：粗砂粒をごく僅かに含む 精良 焼：良 色：(外) (内) 10GY6／1緑灰色	丸底気味の底部から体部は内弯しながら開き口唇部で外反する。	(外) 体部轆轤による撫で 底部箆削り (内) 轆轤による撫で
SB－31 152－3	坏 須恵	口径 14.2 器高 3.5 底径 9.0 1／4	胎：白色粗砂粒を含む 焼：良 色：(外) (内) 5B6／1青灰色	平底の底部から体部外面に稜を有し、口縁部で僅かに外反する	(外) 体部轆轤による撫で 底部轆轤による箆切り？の後、胎土を補充する (内) 轆轤による撫で
SB－31 152－4	坏 須恵	口径 14.4 器高 6.2 底径 8.4 1／4	胎：黒色粗砂粒を含む 焼：良 色：(外) 10BG6／1～1／2青灰～青黒色 (内) 10BG6／1青灰色	体部は直線的に開き、口唇部で外反する	(外) 体部轆轤による撫で 底部轆轤による箆削りの後、轆轤による箆削り (内) 轆轤による撫で
SB－31 152－5	甕 土師	残高 4.4 底径 5.4 底部完存 胴部1／3	胎：粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外) 10R5／6赤色 (内) 10R5／4赤褐色		(外) 胴部最下位箆削りの後、撫で 底部箆削り (内) 箆削りの後、撫で

第19表　出土遺物一覧表（6）

遺構No. 図版No.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態	整形技法ほか
SB－31 152－6	壺 須恵		胎：粗砂粒を僅かに含む 焼：良 色：(外)(内) 5B7／1明青灰色	肩部に△帯と耳を有する　耳の孔は貫通しない	(外) 耳部撫で 体部平行文の叩き (内) 撫で（ごく僅かに刷毛目が残る）
SB－32 153－1	蓋 須恵	抓径 2.4 器高 2.7 裾径 13.8 天井部1／4	胎：粗砂粒を含む 焼：良 色：(外) N-7～3灰白～暗灰色 (内) 10GY7／1～3／1明緑灰～暗緑灰色	抓部はボタン状を呈する	(外) 抓部・天井部下位轆轤による撫で　天井部上位轆轤による篦削り (内) 轆轤による撫で
SB－32 153－2	坏 須恵	口径 13.4 器高 4.2 底径 7.2 底体部1／2	胎：黒色粗砂粒を含む 焼：良 色：(外)(内) 10GY6／1緑灰色	上げ底の底部から外反～内弯して立ち上り、口縁部で再び外反する	(外) 体部轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で 轆轤右回転
SB－32 153－3	坏 須恵	口径 13.4 器高 4.1 底径 7.0 口縁1／4欠	胎：0.6の礫・赤褐色粗砂粒を含む 焼：良 色：(外)(内) N－8灰白色	僅かに上げ底の底部から、体部は直線的に外傾する	(外) 体部轆轤による撫で 底部回転糸切り＋篦削り (内) 轆轤による撫で 轆轤右回転
SB－32 153－4	坏 須恵	口径 13.1 器高 4.1 底径7.0 口縁1／3欠	胎：白色粗砂粒を含む 焼：良（不完全な還元焔焼成） 色：(外)(内) 5B7／1明青灰色 5YR7／6橙色、5Y8／2灰白色	僅かに上げ底の底部から、体部は直線的に外傾する	(外) 体部轆轤による撫で 底部回転糸切り＋篦削り (内) 轆轤による撫で 轆轤右回転
SB－32 153－5	坏 須恵	口径 13.4 器高 3.2 底径 7.4 底体部1／4	胎：粗砂粒をごく僅かに含む 焼：良 色：(外)(内) 10Y7／1灰白色	平底から体部は直線的に外傾し、口縁部で外反する	(外) 体部轆轤による撫で 底部回転糸切り＋篦撫で (内) 轆轤による撫で 轆轤右回転
SB－32 153－6	坏 須恵	口径 12.7 器高 3.6 底径6.3 底体部 1／3	胎：0.4の礫・粗砂粒を含む 焼：良 色：(外)(内) 5Y7／2オリーブ灰色～N－6灰色	僅かに上げ底の底部から、体部は直線的に外傾する	(外) 体部轆轤による撫で 底部回転糸切り？ (内) 轆轤による撫で 轆轤右回転
SB－32 154－7	甕 土師	口径 20.9 残高 14.6 口縁部～胴部1／4	胎：0.3の赤・黒色礫を含む 焼：良 色：(外) 2.5YR6／6～5／3橙色～にぶい赤褐色	粘土帯積み上げ口辺部は「くの字」状に外反し、口唇部を面取りする	(外) 口縁部～胴部上位轆轤による撫で 胴部中位縦位の篦削り (内) 轆轤による櫛歯状工具の掻き目
SB－33 155－1	坏 土師	残高 2.3 底径 5.5 底部 3／4 体部 1／6	胎：粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外) 10YR7/3にぶい黄橙色 (内) 黒色		(外) 体部轆轤による撫で 底部回転糸切り？ (内) 黒色処理・磨き？ 轆轤右回転
SB－33 155－2	坏 須恵	口径 12.3 器高 3.6 底径 6.1 底部完存	胎：粗砂粒をごく僅かに含む　精良 焼：良（不完全な還元焔焼成） 色：(外)(内) 底部5G6/1緑灰色 体部10R5／6赤色	平底の底部から体部は直線的に外傾する	(外) 体部轆轤による撫で 底部回転糸切り＋篦削り (内) 轆轤による撫で 轆轤右回転
SB－33 155－3	坏 須恵	残高 2.5 底径 6.8 底部 1／2	胎：粗砂粒を多く含む 焼：良（酸化焔焼成） 色：(外)(内) 5YR6／8橙色	平底	(外) 体部轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で 轆轤右回転
SB－33 155－4	坏 須恵	残高 2.2 底径 7.0 底部 1／3	胎：粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外)(内) N－7～N－5灰白色～灰色	平底	(外) 体部轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で 轆轤右回転
SB－34 156－1	蓋 須恵	抓径 3.5 器高 3.7 裾径 16.4 完存	胎：黒色粗砂粒を含む 焼：良 色：(外)(内) N－6灰色	抓部はボタン状を呈する	(外) 抓部・天井部下位轆轤による撫で 天井部上位轆轤による篦削り (内) 轆轤による撫で 轆轤右回転
SB－34 156－2	坏 土師	残高 3.0 底径 8.3 底～体部下位1／2	胎：0.6の礫・細砂粒を含む 焼：良 色：(外) 5YR6／6橙色 (内) 黒色	平底の底部から内弯しながら立ち上がる	(外) 体部轆轤による撫で 底部回転糸切り？ (内) 黒色処理・磨き？

第20表　出土遺物一覧表（7）

遺構No. 図版No.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態	整形技法ほか
SB－34 156－3	坏 須恵	残高 2.7 底径 6.9 底部完存	胎：褐色の礫を多く含む 焼：良 色：(外)(内) 5B7／1明青灰色	やや上げ底の底部	磨耗が著しく、判別不可
SB－34 156－4	甕 土師	口径 22.2 残高 22.7 口縁部～胴部1／4	胎：粗砂粒・細砂粒を多く含む 焼：良 色：(外)(内) 2.5YR6／8橙色、10YR6／3にぶい黄橙色	最大径を口縁部に有し、口辺部は「くの字」状に外反する	(外) 口縁部～胴部上位撫で 胴部下位箆削りの後撫で (内) 撫で
SB－34 156－5	甕 土師	口径 18.0 残高 14.3 口縁部～胴部1／4	胎：粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外)(内) 2.5YR6／8橙色、10YR6／3にぶい黄橙色	最大径を胴部上位に有する	(外) 口縁部横位の撫で、頸部箆状工具による横位の撫で、胴部斜位の箆削り (内) 撫で
SB－35 157－1	坏 土師	口径 14.8 器高 4.8 底径 5.6 1／3	胎：粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外) 2.5YR6／3～6／6にぶい橙色～橙色 (内) 黒色	平底から体部は内弯しながら開き、口縁部で僅かに外反する	(外) 体部轆轤による撫で 底部箆削り＋撫で (内) 黒色処理＋丁寧な磨き
SB－35 157－2	坏 土師	口径 12.8 器高 4.5 底径 5.9 底完存体部1/2	胎：粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外) 10YR8／3浅黄橙色 (内) 黒色	平底の底部から体部は内弯しながら開き、口縁部で外反する	(外) 体部轆轤による撫で？ 底部回転糸切り？磨耗が激しい (内) 黒色処理
SB－35 157－3	坏 土師	口径 13.2 器高 3.1 底径 5.4 底完存、体部1/4	胎：粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外) 10YR8／3浅黄橙色 (内) 黒色	やや上げ底から体部は僅かに内弯して大きく開き、口縁部で外反する	(外) 体部轆轤による撫で？ 底部回転糸切り？磨耗が激しい (内) 黒色処理、3条の縦位の箆磨き
SB－35 157－4	坏 土師	口径 13.2 器高 3.7 底径 4.6 ほぼ完存	細礫を多く含む 焼：良 色：(外) 2.5YR6／8橙色 (内) 黒色、5YR7／4にぶい橙色	やや上げ底から体部は僅かに内弯して開き、口縁部で外反する	(外) 体部轆轤による撫で？ 底部箆削りの後撫で (内) 黒色処理、磨耗が激しい
SB－35 157－5	坏 土師	口径 12.8 器高 3.4 底径 4.4 1／2	胎：粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外) 7.5YR7／6橙色 (内) 黒色	平底から体部は外傾する	(外) 体部轆轤による撫で 底部回転糸切り？ (内) 黒色処理、磨耗が激しい
SB－35 157－6	坏 土師	残高 1.8 底径 5.2 底部完存	胎：粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外)(内) 7.5YR5／6～8／3明褐色～浅黄橙色		(外) 体部轆轤による撫で 底部回転糸切り？ (内) 轆轤による撫で 轆轤右回転
SB－35 157－7	坏 須恵	口径 14.8 器高 3.7 底径 8.0 1／4	胎：細砂粒を含む 焼：良 色：(外) N－7灰色 (内) 10GY7／1明緑灰色	平底の底部から体部に稜を有し、直線的に開く	(外) 体部轆轤による撫で 底部回転糸切りの後箆撫で (内) 轆轤による撫で
SB－35 157－8	坏 土師	口径 14.3 器高 4.7 底径 7.8 1／2	胎：粗砂粒を含む 焼：良 色：(外) 7.5YR7／4にぶい橙色～黒色 (内) 黒色	付高台の底部から体部は大きく外傾する	(外) 体部轆轤による撫で (内) 黒色処理＋口縁部横位の丁寧な箆磨き・体部縦位の丁寧な箆磨き
SB－35 157－9	坏 土師	口径 15.2 器高 5.1 底径 7.3 底完存、体部1/8	胎：0.6の・粗砂粒を含む 焼：良 色：(外) 7.5YR7／4にぶい橙色 (内) 黒色	付高台の底部から体部は大きく外傾する	(外) 体部轆轤による撫での後箆撫で？ 底部回転糸切りの後撫で (内) 黒色処理
SB－35 157－10	坏 土師	残高 1.9 底径6.9 底部完存	胎：粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外) 2.5YR6／7～7.5YR8／2橙色～灰白色 (内) 黒色	付高台	(内) 黒色処理 磨耗が著しく、調整等不明
SB－35 157－11	坏 土師	残高 1.8 底径 7.2 底部ほぼ完存	胎：粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外) 2.5YR6／6～7.5YR8／2橙色～灰白色 (内) 黒	付高台	(内) 黒色処理＋箆磨き

第21表　出土遺物一覧表（8）

遺構No. 図版No.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態	整形技法ほか
SB－35 157－12	壺 須恵		胎：粗砂粒を僅かに含む 焼：良 色：(外) 肩部10BG6／1青灰色、体部N－3暗灰色 (内) 5B6／1青灰色	肩部に△帯と耳を有する　耳の孔は貫通する	(外) 肩部格子目の叩き △帯部横位の撫で (内) 同心円の当て具痕
SB－36 158－1	坏 須恵	残高 1.7 底径 9.8 底部1／4	胎：粗砂粒をごく僅か含む精良 焼：良 色：(外) 5BG7／1明青灰色 (内) 7.5GR6／1緑灰色	付高台	(外) 高台部・体部轆轤による撫で 底部轆轤による篦撫で (内) 轆轤による撫で
SB－36 158－2	甕 土師	残高7.0 底径 5.7 胴部下位～底部	胎：粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外) 5YR5/8～1.7/1明赤褐～黒色	粘土帯積み上げ	(外) 篦削り (内) 撫で
SB－36 158－3	甕 土師	残高 4.6 底径 7.4 胴部下位～底部	胎：粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外) 5YR6/6～4/1橙～褐灰色		(外) 横位・縦位の篦削り (内) 撫で
SB－37 159－1	坏 土師	口径 12.2 器高 4.3 底径 6.0 底6/5体部1/6	胎：粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外) 5YR6／6橙色、7.5YR6／8橙色 (内) 黒色	僅かに上げ底の底部から体部は内弯して立ち上がる	(外) 体部横位の撫で　底部篦調整 (内) 黒色処理
SB－37 159－2	坏 須恵	口径 13.1 器高 4.1 底径 5.6 底1/2体部1/3	胎：粗砂粒を僅かに含む 焼：良 色：(外) (内) 10GY6／1緑灰色	僅かに上げ底の底部から体部に稜を有しながら立ち上がり、口縁部で外反する	(外) 体部轆轤による撫で 底部回転糸切りの後篦調整 (内) 轆轤による撫で 轆轤右回転・火襷あり
SB－37 159－3	坏 須恵	口径 14.2 器高 4.0 底径 6.2 底3/4体部1/8	胎：粗砂粒を含む 焼：良 色：(外) (内) 10GY6／1緑灰色	平底から体部は直線的に開き、口縁部で僅かに外反する	(外) 体部轆轤による撫で 底部回転糸切りの後篦調整 (内) 轆轤による撫で 轆轤右回転・火襷あり
SB－37 159－4	壺 須恵	残高 26.7 最大径 29.0 体部1／3	胎：0.6の白色礫・粗砂粒を含む 焼：良 色：(外) 7.5R6/1～2/2赤灰～極暗赤褐色(内)7.5R6/1赤灰	体部中位に最大径を有し、肩部に△帯と耳をつける 耳孔は貫通する	(外) 格子目状の叩き △帯横位の撫で (内) 抑えの痕 体部外面に自然釉がかかる
SB－37 159－5	壺 須恵	残高 21.2 底径 11.8 底部完存 体部1／3	胎：0.5の白色礫・粗砂粒を含む 焼：良 色：(外) 5B7／1明青灰色、10GY3／1暗緑灰色、(内) 5B7／1明青灰色	把手を付け、体部上位の振りが強く、高台の裾張りも比較的強い	(外) 体部上～中位轆轤による撫で、下位轆轤による篦削り・底部轆轤による篦撫で・把手撫で (内) 轆轤による撫で 外面に自然釉
SB－38 160－1	坏 須恵	口径 13.5 器高 3.8 底径 7.4 1／4	胎：粗砂粒を僅かに含む 焼：良 色：(外) (内) 5B6／1青灰色	上げ底の底部から体部は外傾し、口縁部で外反する	(外) 体部轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で 轆轤右回転
SB－38 160－2	瓶 須恵		胎：粗砂粒をごく僅かに含む 焼：良 色：(外) N－7灰白色・緑釉 (内) N－7灰白色		(外) 篦状工具による削り (内) 轆轤による撫で
SB－39 161－1	坏 土師	口径 10.9 器高 3.7 底径 3.6 ほぼ完存	胎：粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外) (内) 黒色	平底の底部から体部は内弯して開き、口縁部で緩く外反する	(外) 体部横位の撫で 底部回転糸切り (内) 横位の撫で 内外面とも黒色処理、轆轤右回転
SB－39 161－2	坏 土師	口径 11.5 器高 3.7 底径 5.4 口縁部1/4欠	胎：粗砂粒を含む 焼：良 色：(外) 5YR8／4淡橙色 (内) 黒色	平底の底部から体部は内弯して開き、口縁部で短く緩く外反する	(外) 体部横位・斜位の撫で 底部回転糸切り？の後撫で (内) 横位の撫で＋黒色処理
SB－39 161－3	坏 土師	口径 11.3 器高 3.5 底径 4.2 ほぼ完存	胎：粗砂粒を僅かに含む 焼：良 色：(外) (内) 5YR4／1～6／2褐灰色～灰褐色	平底の底部から体部は内弯して開き、口縁部で短く外反する	(外) 体部轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫での後篦磨き？ 轆轤右回転

第22表　出土遺物一覧表（9）

遺構No. 図版No.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態	整形技法ほか
SB－39 161－4	坏 土師	口径 10.8 器高 3.3 底径 4.4 ほぼ完存	胎：粗砂粒を含む 焼：良 色：(外) 2.5YR6／8橙色～5YR7／4にぶい橙色 (内) 10R5／8赤色～5YR7／6橙色	平底の底部から体部は僅かに内弯して開く	(外) 体部轆轤による撫で、底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で 轆轤右回転 体部外面に漆状のものが付着
SB－39 161－5	坏 土師	口径 10.7 器高 3.0 底径 4.0 ほぼ完存	胎：粗砂粒を含む 焼：良 色：(外) 5YR7／6橙色 (内) 5YR6／4にぶい橙色	平底の底部から体部は僅かに内弯して開く	(外) 体部横位の撫で 底部回転糸切り (内) 横位の撫で 轆轤右回転
SB－39 161－6	坏 土師	口径 10.7 器高 3.4 底径 4.4 ほぼ完存	胎：粗砂粒を含む 焼：良 色：(外) 2.5YR6／8橙色 (内) 2.5YR6／8橙色～5YR8／4淡橙色	僅かに上げ底の底部から体部は内弯して開き、口縁部で短く外反する	(外) 体部横位の撫で 底部回転糸切り (内) 横位の撫で 轆轤右回転
SB－39 161－7	坏 土師	口径 10.2 器高 3.5 底径 3.7 ほぼ完存	胎：粗砂粒を含む 焼：良 色：(外) 10YR8／3浅黄橙色 (内) 7.5YR7／4にぶい橙色	僅かに上げ底の底部から体部は内弯して開き、口縁部で短く外反する	(外) 体部横位の撫で 底部調整不明 (内) 横位の撫で
SB－39 161－8	坏 土師	口径 11.1 器高 3.0 底径 4.0 底部中央欠	胎：粗砂粒を僅かに含む 焼：良 色：(外) 7.5YR7／6橙色 (内) 10YR7／4にぶい橙色	僅かに上げ底の底部から体部は内弯して開き、口縁部で短く外反する	(外) 体部不定方向の撫で 底部回転糸切りの後篦調整 (内) 横位の撫で 轆轤右回転
SB－39 161－9	坏 土師	口径 11.7 器高 3.6 底径 4.4 完存	胎：粗砂粒を僅かに含む 焼：良 色：(外) 7.5YR7／6橙色 (内) 7.5YR7／8黄橙色	平底の底部から体部は緩く内弯して立ち上がり、口縁部で外反する	(外) 体部横位の撫で 底部回転糸切りの後撫で (内) 横位の撫で 轆轤右回転
SB－39 161－10	坏 土師	口径 10.6 器高 3.5 底径 3.4 口縁部1/6欠	胎：0.6の礫・粗砂粒を含む 焼：良 色：(外) 5YR8／4淡橙色 (内) 5YR7／6橙色	平底の底部から体部は内弯して立ち上がり、口縁部で外反する	(外) 体部横位の撫で 底部撫で (内) 横位の撫で
SB－39 161－11	坏 土師	口径 11.0 器高 3.7 底径 3.6 ほぼ完存	胎：粗砂粒を含む 焼：良 色：(外) 10YR7／3～4／1にぶい黄橙～褐灰色 (内) 10YR6／3にぶい黄橙色	平底の底部から体部は内弯して立ち上がり、口縁部で短く外反する	(外) 体部轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で、底部篦磨き
SB－39 161－12	坏 土師	口径 11.5 器高 3.7 底径 4.3 体部1／6欠	胎：粗砂粒を僅かに含む 焼：良 色：(外) 5YR6／3にぶい橙色 (内) 5YR6／4にぶい赤褐	僅かに上げ底の底部から体部は内弯して開く	(外) 体部轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で 轆轤右回転、内面に漆状のものが付着
SB－39 162－13	坏 土師	口径 11.3 器高 3.8 底径 4.4 底完存、体部1/3	胎：粗砂粒を僅かに含む 焼：良 色：(外) 7.5YR8／4浅黄橙色 (内) 5YR7／6橙色	平底の底部から体部は内弯して立ち上がる	(外) 体部轆轤による撫で＋撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で＋撫で 轆轤右回転、外面に漆状のものが付着
SB－39 162－14	坏 土師	口径 10.3 器高 3.9 底径 4.5 体部1／4欠	胎：0.4の礫・粗砂粒を僅かに含む 焼：良 色：(外) (内) 5YR7/6～5/4～2/1橙色～にぶい赤褐色～黒褐色	僅かに上げ底の底部から体部は内弯して開き、口縁部で外反する	(外) 体部横位・斜位の撫で 底部回転糸切り (内) 横位の撫で 轆轤右回転
SB－39 162－15	坏 土師	口径 10.5 器高3.8 底径3.7 完存	胎：粗砂粒をごく僅かに含む 焼：良 色：(外) 5YR7／6～5／2橙～灰褐色 (内) 5YR6／4～4／1にぶい橙色～褐灰色	丸底に近い底部から体部はごく僅かに内弯して開く	(外) 体部轆轤による撫で＋撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で＋撫で 轆轤右回転、内面に漆状のものが付着
SB－39 162－16	坏 土師	口径 12.2 器高 3.4 底径 4.7 ほぼ完存	胎：0.6の礫、粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外) 2.5YR6/8橙色、7.5YR8／8黄橙色(内)2.5YR6/8橙色	平底の底部から体部は内弯し、口縁部で外反する	(外) 体部横位の撫で 底部回転糸切り (内) 横位の撫で 轆轤右回転、外面に化粧粘土？が残る。
SB－39 162－17	坏 土師	口径 14.6 器高 6.1 底径 7.0 体部1／2欠	胎：粗砂粒、細砂粒を多く含む 焼：良 色：(外) (内) 10YR8／3～1.7／1浅黄橙色～黒色	体部は内弯して立ち上がり、口縁部で外反する	(外) 体部轆轤による撫で、高台部横位の撫で、底部篦撫で (内)丁寧な篦磨き痕が僅かに残る 轆轤右回転

第23表　出土遺物一覧表（10）

遺構No. 図版No.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態	整形技法ほか
SB－39 162－18	坏 土師	口径 13.7 器高 6.0 底径 7.8 ほぼ完存	胎：0.4の礫、粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外)(内) 2.5YR7／8橙色～7.5YR8／4浅黄橙色	付高台の底部から体部は僅かに内弯しながら開く	(外) 体部轆轤による撫で？ 高台部横位の撫で、底部不明 (内) 轆轤による撫で？ 器面が荒れる。
SB－39 162－19	坏 土師	口径 11.5 器高 4.9 底径 6.2 口唇部1／2	胎：0.3の礫・粗礫粗砂粒を含む 焼：良 色：(外) 10YR6/3にぶい黄橙色～黒色 (内) 黒色	付高台の底部から体部は内弯しながら立ち上がり、口縁部は外反する	(外) 体部轆轤による撫で＋撫で、高台部横位の撫で、底部回転糸切り＋篦撫で (内) 体部上位横位・斜位の篦磨き、体部下位放射状の15条の篦磨き
SB－39 162－20	坏 土師	口径 12.4 器高 5.2 底径 5.9 ほぼ完存	胎：0.3の礫、粗砂粒を含む 焼：良 色：(外) 7.5R4／8赤色～10R6／8赤橙色 (内) 7.5R4／8赤色　赤色塗彩	付高台の底部から体部は内弯しながら立ち上がり、口縁部は外反する	(外) 体部不定方向の撫で 高台部横位の撫で 底部撫で (内) 横位の撫で
SB－39 162－21	盤 土師	残高 6.2 底径 15.2 高台部2／3	胎：粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外)(内) 10YR7／4にぶい黄橙色～5YR7／6橙色		(外) 轆轤による篦撫で (内) 轆轤による撫で
SB－39 162－22	壺 灰釉陶器	残高 17.0 底径 10.0 体部中位以下ほぼ完存 肩部1／4	胎：精良 焼：良 色：(外)(内) N－8灰白色 (釉) 10GY7／1明緑灰色		(外) 轆轤による篦撫で (内) 轆轤による篦撫で
SB－39 162－23	甑 土師	口径 22.2 残高(上) 8.4 (下) 8.5 底径 17.0	胎：0.1前後の粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外)(内) 5YR7／6～4／1橙色～褐灰色	鍔部は付けており、口縁部へ向かって窄まる	(外) 鍔横位の撫で、胴上位～口縁轆轤による撫で、胴上位～底平行文の叩き (内) 胴上位～口縁轆轤による撫で、胴上位～底当具痕、指頭の押圧
SB－40 163－1	坏 須恵	口径 14.1 器高 4.3 底径 6.0 底1/2体部1/6	胎：粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外) 10YR4／1褐灰色 (内) 7.5R5／2灰赤色	平底の底部から、体部に稜を有しながら開き、口縁部で外反する	(外) 体部轆轤による撫で　底部篦切り？の後、篦撫で (内) 体部轆轤による篦撫で　底部轆轤による篦撫で 底部に篦記号
SB－40 163－2	坏 須恵	口径 12.9 残高 3.4 口縁部1／4	胎：白色粗砂粒を含む 焼：良 色：(外) 10BG6/1～5/1青灰色 (内) 5B5/1青灰色	体部は直線的に開く	(外)(内) 轆轤による撫で
SB－40 163－3	甕 土師	口径19.8 残高 4.6 口縁部1／6	胎：粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外) 10YR6／2黄褐色 (内) 10YR1.7／1黒色	口辺部は「くの字」状に外反し、口唇部で僅かに内弯する	(外) 頸部横位の篦削り＋撫で 口縁部横位の撫で (内) 横位の撫で
SB－40 163－4	甕 土師	口径 23.1 残高 13.6 1／8	胎：粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外) 2.5YR4／8赤褐色 (内) 2.5YR5／8明赤褐色	粘土帯積み上げ 口辺部は「くの字」状に外反する	(外) 胴部～頸部横位の篦削りの後、撫で　口縁部横位の撫で (内) 胴部横位の篦削りの後、撫で 口辺部横位の撫で
SB－40 163－5	甕 土師	口径 23.0 器高 30.0 底径 6.2 1／2	胎：粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外) 2.5YR6／8～1／4橙～赤灰色 (内) 2.5YR7／6～6／6橙色	粘土帯積み上げ 口辺部は「くの字」状に外反する	(外) 胴部～頸部篦削りの後、撫で 口縁部横位の撫で (内) 撫で
SB－41 164－1	坏 須恵	残高 2.5 底部完存	胎：粗砂粒を含む 焼：良 色：(外)(内) N－6灰色	丸底の底部	(外) 体部轆轤による撫で 底部篦撫で (内) 轆轤による撫で
SB－41 164－2	甕 土師	口径 19.4 残高 13.5 1／2	胎：粗砂粒を含む 焼：良 色：(外) 7.5YR8／3浅黄橙色 (内) 5YR8／3橙色	粘土帯積み上げ	(外) 胴部縦位の篦削りの後撫で、口縁部横位の撫で (内) 胴部縦位・斜位の篦削りの後撫で、口縁部横位の撫で　－3と同一固体か
SB－41 164－3	甕 土師	残高 14.0 底径 8.6 1／2	胎：粗砂粒を含む 焼：良 色：(外) 7.5YR8／3浅黄橙色 (内) 5YR7／8橙色	粘土帯積み上げ	(外) 胴部縦位の篦削り (内) 胴部縦位・横位の篦削りの後篦撫で －2と同一固体か

第24表　出土遺物一覧表（11）

遺構No. 図版No.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態	整形技法ほか
SB－41 165－1	坏 須恵	口径 14.4 器高 4.0 底径 7.2 体部1／2欠	胎：粗砂粒を多く含む 焼：やや不良 色：(外)(内) 2.5GY8／1～6／1灰白色～オリーブ灰色	上げ底の底部から体部は直線的に開く	(外) 体部轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で
SB－42 165－2	坏 須恵	口径 14.0 器高 3.9 底径 6.0 底1/2体部1/8	胎：白色・黒色粗砂粒を含む 焼：良 色：(外) N－7灰白色 (内) N－6灰色	平底の底部から体部は僅かに内弯しながら立ち上がる	(外) 体部轆轤による撫で 底部回転糸切りの後篦調整 (内) 轆轤による撫で
SB－42 165－3	坏 須恵	残高 2.4 底径 9.5 底部完存	胎：0.3の礫を含む 焼：良 色：(外) 5B6／1～1／3青灰～暗青灰色 (内) 5B6／1青灰色	付高台？	(外) 体部轆轤による撫で 底部回転糸切りの後回転篦削り (内) 轆轤による撫で
SB－43 166－1	坏 須恵	口径 14.5 底径 7.0 器高 3.9 底完存、体部1/2	胎：粗砂粒を多く含む 焼：良（不完全な還元焔焼成） 色：(外) 7.5Y6／1灰色・7.5YR7／4にぶい橙色 (内) 7.5Y6／1灰色	平底から体部内外面に稜を有し、ごく僅かに内弯しながら立ち上がる	(外) 体部轆轤による撫で 底部切り離しの後胎土を補填、篦撫で (内) 轆轤による撫で
SB－43 166－2	坏 須恵	口径 13.2 器高 4.2 底径 3／4 体部1／2	胎：粗砂粒を僅かに含む 焼：良 色：(外) 10GY7／1～5／1明緑灰色～緑灰色 (内) 10Y6／1灰色	丸底気味の底部から歪みながら立ち上がる	(外) 体部轆轤による撫で 底部切り離しの後胎土を補填し轆轤による撫で (内) 轆轤による撫で
SB－43 166－3	坏 須恵	口径 14.1 器高 3.9 底径 7.7 底7/8体部1/8	胎：粗砂粒を僅かに含む 焼：良 色：(外) N－5灰色 (内) 5B6／1青灰色	平底の底部から体部は僅かに内弯して立ち上がり、口縁部で外反する	(外) 体部轆轤による撫で 底部切り離しの後胎土を補填し、木口状の工具による撫で (内) 轆轤による撫で
SB－44 167－1	蓋 須恵	残高 3.1 裾径 16.6 1／7	胎：粗砂粒を含む 焼：良 色：(外) N－5灰白色、5B6／1青灰色 (内) 5B6／1青灰色		(外) 天井部上位轆轤による篦削り 天井部下位～裾部轆轤による撫で (内) 轆轤による撫で
SB－44 167－2	甕 須恵		胎：0.5の礫を含む 焼：良 色：(外)(内) 5B6／1青灰色	口唇端部を凹ませる。	(外) 口縁部～頸部轆轤による撫で 胴部格子目の叩き (内) 口縁部～頸部轆轤による撫で 胴部抑え
SB－45 168－1	甕 土師	口径 17.1 残高 14.7 1／6	胎：雲母粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外)(内) 5YR4／2～1.7／1灰褐色～黒色	粘土帯積み上げ 口辺部は緩く外反する	(外) 口辺部横位の撫で 胴部縦位・斜位の刷毛目 (内) 口辺部横位の撫で 胴部横位・斜位の刷毛目
SB－45 168－2	甕 土師	口径 22.0 残高 7.8 1／6	胎：粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外) 7.5YR8／浅黄橙色 (内) 7.5YR6／4にぶい橙色	口辺部は「くの字」状に外反する。粘土紐積み上げ？	(外)(内) 横位の撫で
SB－46 169－1	蓋 須恵	抓径 3.0 器高 3.4 裾径 18.1 抓完存、天井1/3	胎：比較的精良 焼：良 色：(外)5G5/1緑灰色 (内)2.5G3/1暗オリーブ灰	付抓は宝珠形を呈する	(外) 抓・天井部下位～裾部轆轤による撫で、天井部上位轆轤による篦撫で (内) 轆轤による撫で
SB－46 169－2	蓋 須恵	抓径 2.7 器高 3.8 裾径 15.3 抓完存、天井1/3	胎：粗砂粒をごく僅かに含む 焼：良 色：(外) 5RP4／1暗紫灰色 (内) 5B6／1青灰色	付抓は宝珠形を呈する	(外) 抓・天井部下位～裾部轆轤による撫で、天井部上位轆轤による篦削り (内) 轆轤による撫で 縁黒色の自然釉がかかる。
SB－46 169－3	坏 土師	口径 16.5 器高 5.9 底径 7.4 底3/4体部1/3	胎：粗砂粒を含む 焼：良 色：(外) 5YR6／4にぶい橙色 (内) 黒色	平底の底部から体部は内弯しながら立ち上がる	(外) 体部横位の撫で 底部篦削り (内) 黒色処理＋篦磨き
SB－46 169－4	坏 土師	口径 16.0 器高 5.2 底径 6.6 底完存、体部1/3	胎：粗砂粒を含む 焼：良 色：(外) 5YR6／8～6／3橙色～にぶい橙色 (内) 黒色	平底の底部から体部は内弯しながら立ち上がる	(外) 体部上～中位横位の撫で、体部最下位横位・斜位の篦削り＋撫で、底部篦削り (内) 黒色処理＋横位・斜位の篦磨き

第25表　出土遺物一覧表（12）

遺構No. 図版No.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態	整形技法ほか
SB－46 169－5	坏 土師	口径 12.4 器高 4.3 底径 8.2 底1/2体部1/6	胎：粗砂粒を含む 焼：良 色：(外) 7.5YR7／4にぶい橙色～黒色 (内) 黒色	平底の底部から体部は直立気味に内弯して立ち上がる	(外) 体部上位横位の撫で、下位篦削り＋撫で　底部篦削り (内) 黒色処理＋斜位の篦磨き
SB－46 169－6	坏 土師	口径 14.7 器高 3.8 底径 9.2 体部1／3	胎：白色粗砂粒を含む 焼：良 色：(外) 7.5YR7／4にぶい橙色～黒色 (内) 黒色	体部外面に僅かな良を有し、内弯して立ち上がる	(外) 体部上位横位の撫で、下位篦削りの後撫で (内) 黒色処理＋篦磨き？
SB－46 169－7	坏 土師	口径 14.7 器高 4.2 底径 8.1 底1/2体部1/3	胎：粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外) 7.5YR7／4にぶい橙色～黒色 (内) 黒色	平底の底部から体部は僅かに内弯しながら立ち上がる	(外) 体部上位横位の撫で、中位斜位の篦削りの後撫で、下位斜位の篦削り 底部篦削り (内) 黒色処理＋横位の篦磨き
SB－46 169－8	坏 須恵	口径 13.1 器高 5.0 底径 7.5 1／2	胎：白色粗砂粒を僅かに含む 焼：良 色：(外) (内) 5Y7／2灰白色～5B6／1青灰色	僅かに上げ底の底部から体部は直線的に開く	(外) 体部轆轤による撫で 底部回転糸切り＋篦削り (内) 轆轤による撫で 轆轤右回転、火襷あり－9と酷似
SB－46 169－9	坏 須恵	口径 13.8 器高 4.3 底径 7.4 底完存、体部1/3	胎：白色粗砂粒を僅かに含む 焼：良 色：(外) (内) 5B7／1～6／1明青灰色～青灰色	僅かに上げ底の底部から体部は直線的に開く	(外) 体部轆轤による撫で 底部回転糸切り＋篦調整 (内) 轆轤による撫で 轆轤右回転、火襷あり、－8と酷似
SB－46 169－10	坏 須恵	1径 13.5 器高 4.1 底径 8.0 1／3	胎：粗砂粒を含む 焼：良 色：(外) 5GY6／1オリーブ灰色～7.5GY6／1緑灰色 (内) 10BG5／1青灰色	平底の底部から体部に稜を有し、直線的に開く	(外) 体部轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で 轆轤右回転、火襷あり
SB－46 169－11	坏 須恵	口径 13.0 器高 3.5 底径 6.2 底2/3体部1/6	胎：粗砂粒をごく僅かに含む 精良 焼：良 色：(外)(内)10G4/1暗緑灰色	僅かに上げ底の底部から体部は弯曲しながら開く	(外) 体部轆轤による撫で 底部篦削りの後、篦削り (内) 轆轤による撫で
SB－46 169－12	坏 須恵	口径 12.2 器高 4.1 底径 6.8 1／4	胎：白色粗砂粒を僅かに含む 焼：良 色：(外) (内) 5B6／1青灰色	僅かに上げ底の底部から体部は直線的に開く	(外) 体部轆轤による撫で＋撫で 底部回転糸切り＋撫で (内) 轆轤による撫で 轆轤右回転
SB－46 169－13	坏 須恵	残高 4.1 底径 7.0 底部ほぼ完存 体部1／8	胎：白色粗砂粒を僅かに含む 焼：良 色：(外) 2.5GY7／1明オリーブ灰色 (内) 2.5GY6／1オリーブ灰色	僅かに上げ底の底部から体部は僅かに内弯して開く	(外) 体部轆轤による撫で 底部回転糸切り＋撫で (内) 轆轤による撫で 轆轤右回転
SB－46 169－14	坏 須恵	残高 3.8 底径 8.4 底部ほぼ完存 体部1／2	胎：白色粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外) (内) N－7～－8灰白色～灰色	雑な仕上げの平底底部から体部は外傾する	(外) 体部轆轤による撫で 底部回転篦削り＋撫で (内) 轆轤による撫で 轆轤右回転
SB－46 169－15	坏 須恵	口径 16.3 器高 6.1 底径 11.3 底1/2体部1/8	胎：0.3の白色礫・白色粗砂粒を含む 焼：良（内面不完全な還元焔焼成） 色：(外) 10G4／1暗緑灰色 (内) 7.5R4／4にぶい赤色	付高台の底部から体部は直立気味に立ち上がり、口縁部で外反する	(外) 体部轆轤による撫で 底部回転篦削り (内) 轆轤による撫で 轆轤右回転
SB－46 169－16	坏 須恵	口径 16.6 器高 4.1 底径 13.2 1／8	胎：白色粗砂粒を僅かに含む 焼：良 色：(外) N－6～－4灰色 (内) 5B6／1青灰色	付高台？の底部から体部は直立気味に立ち上がる	(外) 体部轆轤による撫で (内) 轆轤による撫で
SB－46 169－17	坏 須恵	残高 2.0 底径 8.9 底部1／2	胎：0.5の礫・白色粗砂粒を含む 焼：良 色：(外) 5B6／1青灰色 (内) 10BG6／1青灰色		(外) 体部轆轤による撫で 底部回転篦削り＋撫で (内) 轆轤による撫で
SB－46 169－18	甕 土師	口径 11.0 残高 3.5 口縁部～胴部上位1／2	胎：粗砂粒を含む 焼：良 色：(外) (内) 7.5YR6／6～5／6橙色～明褐色	口辺部は直立した後、僅かに外反する	(外) 口縁部～頸部横位の撫で 胴部横位の篦削り (内) 横位の撫で

第26表　出土遺物一覧表（13）

遺構No. 図版No.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態	整形技法ほか
SB－46 169－19	甕 土師	残高 3.3 底径 6.2 3／4	胎：粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外) 2.5YR6／8～5／4橙色～にぶい赤褐色 (内) 5YR6／8橙色		(外) 胴部横位の（轆轤？）撫で 底部回転糸切り (内) 横位の（轆轤？）撫で
SB－46 170－20	甕 須恵	口径 20.2 残高 11.6 口縁部～胴部1／4	胎：粗砂粒をごく僅か含む 焼：良 色：(外) (内) 10BG4／1暗青灰色	肩部に最大径を有し、口縁部は外反する　口唇部に面取りを施す	(外) 口縁部～体部上位轆轤による撫で　体部下位回転篦削りの後、篦調整　体部最下位平行文の叩き (内) 轆轤による撫で
SB－46 170－21	甕 須恵	口径 30.1 残高 8.7 口縁部～頸部1／2	胎：粗砂粒を含む 焼：良 色：(外) N－2黒色 (内) 5B7／1～6／1明青灰～青灰色	頸部から口縁部にかけて大きく外反し、口縁帯に段を有する	(外) (内) 轆轤による撫で 外面に自然釉がかかる。
SB－46 170－22	平瓦	残長 22.7 残幅 22.7 厚さ 1.5～1.8	胎：1.5の礫を含む 焼：良、軟質 色：(外) (内) N－8灰白色、10GY8／1明緑灰色	側縁は斜縁	(凸) 側縁とほぼ平行の縄叩き (凹) 布目痕
SB－49 171－1	坏 土師	口径 14.2 器高 4.3 底径 6.2 底完存、体部1/2	胎：粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外) 7.5YR8／3浅黄橙色 (内) 黒色	平底の底部から体部は内弯して立ち上がり、口唇部で短く外反する	(外) 撫で (内) 黒色処理
SB－49 171－2	皿 土師	口径 12.7 器高 2.6 底径 6.7 底完存、体部3/4	胎：粗砂粒を僅かに含む 焼：良 色：(外) 7.5YR6／4にぶい橙色～黒色 (内) 黒色		(外) 体部横位の撫で 底部回転糸切り (内) 黒色処理＋丁寧な横位の篦磨き
SB－49 171－3	甕 須恵		胎：粗砂粒を僅かに含む 焼：良 色：(外) 5B2／1青黒色 (内) 5B6／1青灰色～5RP5／1紫灰色		(外) 篦状工具による横位の撫での後、櫛歯状工具による波状文 (内) 轆轤による撫で
SB－49 171－4	甕 須恵		胎：粗砂粒を僅かに含む 焼：良 色：(外) 5B2／1青黒色 (内) 2.5GY4／1暗オリーブ灰色	頸部から口縁部に外傾し、口縁帯に段を有する	(外) 篦状工具による轆轤撫での後、櫛歯状工具による波状文 (内) 篦状工具による轆轤撫で
SB－50 172－1	蓋 須恵		胎：0.3の粗砂粒を含む 焼：良 色：(外) N－6灰色 (内) N－4灰色		(外) (内) 轆轤による撫で
SB－50 172－2	坏 土師	残高 4.0 底径 8.8 1／6	胎：白色粗砂粒を含む 焼：良 色：(外) 5YR6／橙色 (内) 黒色	平底の底部から体部は内弯しながら立ち上がる	(外) 体部上位撫で、下位篦削りの後、撫で　底部篦削り (内) 黒色処理
SB－50 172－3	坏 須恵	口径 14.1 器高 4.0 底径 6.8 体部1／2欠	胎：粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外) (内) 10BG4／1暗青灰色	平底の底部から体部は内弯して立ち上がる	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切りの後、篦調整 (内) 轆轤による撫で 轆轤右回転
SB－50 172－4	坏 須恵	口径 14.4 器高 4.0 底径 6.3 1／7	胎：粗砂粒を含む 焼：良 色：(外) (内) 10GY7／1明緑灰色	平底と体部の間に段を有し、体部は内弯して、口縁部は外反する	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で 轆轤右回転、底部に篦記号？火襷あり
SB－50 172－5	坏 須恵	口径 13.8 残高 3.2 口縁部1／4	胎：粗砂粒をごく僅かに含む精良 焼：良（軟質） 色：(外)(内)10GY8/1明緑灰色		(外) (内) 轆轤による撫で
SB－50 172－6	坏 須恵	口径 13.2 残高 3.1 口縁部1／4	胎：粗砂粒を含む 焼：良 色：(外)2.5YR5/3にぶい赤褐色 (内)2.5YR4/1赤灰色		(外) (内) 轆轤による撫で 轆轤右回転、火襷あり

第27表　出土遺物一覧表（14）

遺構No. 図版No.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態	整形技法ほか
SB－51 173－1	坏 土師	口径 14.2 器高 5.0 底径 7.3 3／4	胎：粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外) 5YR6／6橙色 (内) 黒色	平底の底部から体部は内弯して立ち上がり、口縁部で短く外反する	(外) 体部上～中位撫で 下位斜位の篦削り (内) 黒色処理＋斜位の篦削り
SB－51 173－2	坏 須恵	口径 13.6 器高 3.6 底径 8.4 1／2	胎：白色・褐色粗砂粒を含む 焼：良 色：(外) N－7灰白色 (内) 5B6／1青灰色	上げ底気味の底部から体部は僅かに内弯して開き、口縁部で外反する	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り＋篦調整 (内) 轆轤による撫で 轆轤右回転・火襷あり
SB－51 173－3	坏 須恵	口径 10.7 器高 4.2 底径 7.3 ほぼ完存	胎：0.3の礫・粗砂粒を僅かに含む 焼：良 色：(外) (内) 10BG6／1～4／1	高台付きの底部から体部は直立して立ち上がり、口縁部で僅かに外反する	(外) 体部轆轤による撫で、底部回転糸切りの後、轆轤による篦撫で (内) 轆轤による撫で 轆轤右回転
SB－51 173－4	坏 須恵	口径 15.6 残高 3.8 底部1/3、体部1/6、高台欠損	胎：粗砂粒を僅かに含む 焼：良 色：(外) (内) 10BG6／1～4／1 青灰色～暗青灰色	高台部を欠いた丸底の底部から体部は直立し、口縁部で外反する	(外) 体部轆轤による撫で 底部回転篦削り (内) 轆轤による撫で 轆轤右回転
SB－51 173－5	壺 須恵	残高 3.4 底径 9.0 高台1／4 底部完存	胎：粗砂粒を含む 焼：良 色：(外) 5R2／1赤黒色 (内) 5PB6／1青灰色	付高台	(外) 体部轆轤による篦削り 底部回転糸切り＋轆轤による篦撫で (内) 轆轤による撫で 轆轤右回転、内外面に自然釉がかかる
SB－51 173－6	甕 土師	口径 23.2 残高 4.8 口辺部1／6	胎：粗砂粒を僅かに含む 焼：良 色：(外) 5YR7／6橙色 (内) 5YR7／2明褐灰色	口辺部は「くの字」状に外反し、口縁中位肥厚する　口縁部面取り	(外) 口縁部横位の撫で 頸部斜位の篦抑え？ (内) 横位の撫で
SB－52 174－1	坏 土師	口径 17.2 器高 5.7 底径 7.4 1／2	胎：粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外)5YR7/3～6/8にぶい橙色 (内) 黒色	平底の底部から体部は内弯しながら立ち上がる	(外) 体部横位・斜位の撫で、体部下位横位・斜位の篦削りの後撫で 底部篦削り (内) 黒色処理
SB－52 174－2	坏 土師	口径 13.3 器高 5.1 底径 6.4 ほぼ完存	胎：粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外) 5YR6／6橙色 (内) 黒色	僅かに上げ底の底部から体部は内弯して立ち上がり、口縁部で外反する	(外) 体部横位・斜位の撫で、体部下位横位・斜位の篦削りの後撫で 底部篦削り？ (内) 黒色処理
SB－52 174－3	坏 土師	口径 14.3 器高4.8 底径 6.0 完存	胎：粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外) 5YR7／2明褐灰色 (内) 黒色	平底の底部から体部は内弯しながら開く	(外) 体部横位の撫で 底部篦削り (内) 黒色処理＋丁寧な篦磨き
SB－52 174－4	坏 土師	口径 14.6 器高 4.5 底径 6.0 底完存、体部1/4	胎：粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外) 5YR7／2明褐灰色 (内) 黒色	平底の底部から体部は内弯しながら開き、口縁部で外反する	(外) 体部横位の撫で 底部篦削り＋撫で (内) 黒色処理＋篦磨き？
SB－52 174－5	坏 土師	口径 13.5 器高 4.3 底径6.1 口縁部1/4欠	胎：粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外) 5YR6／8橙色 (内) 黒色	平底の底部から体部は稜を有し内弯して立ち上がり、口縁部は外反する	(外) 体部轆轤による撫で 底部篦削り (内) 黒色処理
SB－52 174－6	坏 土師	口径 15.6 器高 5.5 底径 6.8 底完存、体部1/3	胎：粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外) 2.5YR7／3～6／8明赤橙～橙色 (内) 黒色	粘土帯積み上げ体部は僅かに内弯して開く	(外) 体部横位の撫で 底部回転糸切り＋篦撫で (内) 黒色処理＋篦撫で
SB－52 174－7	坏 土師	口径 17.5 器高 4.9 底径 6.7 口縁部1/4欠	胎：粗砂粒を僅かに含む 焼：良 色：(外) 5YR7／3～6／8にぶい橙～橙色 (内) 黒色	体部は内弯気味に開き、口縁部で大きく外反する	(外) 体部横位の撫で＋横位の篦磨き 底部篦撫で (内) 黒色処理＋丁寧な篦撫で
SB－52 174－8	坏 土師	口径 15.5 器高 5.5 底径 8.1 口縁部1/8欠損	胎：粗砂粒を多く含む 焼：やや不良 色：(外) 5YR7／6橙色 (内) 5YR8／2～6／1灰白色～褐灰色	付高台の底部から体部は僅かに内弯して開く	(外) 撫で？ (内) 撫で？ 器面が荒れる。内面黒色処理か？

第28表　出土遺物一覧表（15）

遺構No. 図版No.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態	整形技法ほか
SB－52 174－9	坏 土師	残高 2.3 底径 6.6 高台部3/4、底完存、体部1/2	胎：粗砂粒を含む 焼：良 色：(外)(内) 5YR2／1黒褐色		(外) 黒色処理＋体部篦磨き？ 高台部横位の撫で (内) 黒色処理＋放射状の篦磨き？
SB－52 174－10	坏 須恵	口径 13.8 器高 3.8 底径 5.9 口縁部1/5欠	胎：細砂粒を多く含む 焼：やや不良（軟質） 色：(外)(内) 7.5Y6／1灰色～7.5YR7／6橙色	平底の底部から体部は直線的に外傾する	(外) 体部轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で 轆撫右回転
SB－52 174－11	坏 須恵	口径 13.5 器高 3.5 底径 6.0 底体部1/2	胎：細砂粒を多く含む 焼：やや不良（軟質） 色：(外)(内) 7.5Y8／2灰色	平底の底部から体部は内弯しながら開き、口縁部で外反する	(外) 体部轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で 轆撫右回転
SB－52 175－12	坏 須恵	口径 13.1 器高 4.0 底径 5.0 ほぼ完存	胎：精良 焼：良 色：(外)(内) 10GY7／1緑灰色	平底の底部から体部内外面に稜を有して直線的に外傾する	(外) 体部轆轤による撫で＋撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で 轆撫右回転
SB－52 175－13	坏 須恵	口径 13.2 器高 3.6 底径 5.8 体部1/4欠	胎：精良 焼：良 色：(外)(内) 10GY5／1緑灰色	僅かに上げ底の底部から体部は外傾し、口縁部で外反する	(外) 体部轆轤による撫で 底部回転糸切り＋篦調整 (内) 轆轤による撫で 轆撫右回転
SB－52 175－14	坏 須恵	残高 2.2 底径 7.7 底部2／1	胎：比較的精良 焼：良 色：(外)(内) 7.5GY6／1緑灰色	僅かに上げ底の底部	(外) 体部轆轤による撫で 底部回転糸切り＋篦調整 (内) 轆轤による撫で 轆撫右回転
SB－52 175－15	甕 土師	口径 30.5 残高 9.5 口縁部～胴上位部1／3	胎：粗砂粒を含む 焼：良 色：(外)5YR6/8～4/3橙色～にぶい赤褐色　(内)2.5YR6/6	口辺部は「くの字」状に外反し、口縁部は内弯、端部を丸める	(外) 口縁部～胴部上位横位の撫で 胴部中位斜位の篦削り (内) 口縁部横位の撫で、頸部木口状工具による横位の撫で、胴部刷毛目
SB－52 175－16	甕 須恵		胎：比較的精良 焼：良 色：(外) 5B5／1青灰色 (内) 5B6／1青灰色		(外) 平行文の叩き (内) 当て具痕＋横位の撫で
SB－53 176－1	蓋 須恵	抓径 3.2 器高 3.4 裾径 16.7 抓1/2天井1/4	胎：粗砂粒を僅かに含む 焼：良 色：(外) 10BG5／1青灰色 (内) 5BG6／1青灰色	抓部はボタン状を呈する	(外) 抓部・天井部下位～裾部轆轤による撫で、天井部上位回転篦削り (内) 轆轤による撫で
SB－53 176－2	蓋 須恵	残高 2.2 裾径 17.1 裾部1／4	胎：粗砂粒を含む 焼：良 色：(外) 5R5／1赤灰色 (内) 5RP3／1暗紫灰色		(外)(内) 轆轤による撫で
SB－53 176－3	坏 土師	口径 12.2 器高3.8 底径 5.2 底完存、体部2/3	胎：粗砂粒を含む 焼：良 色：(外) 10R7／3にぶい黄橙色～黒色 (内) 黒色	僅かに上げ底の底部から体部は内弯して開き、口縁部で外反する	(外) 体部轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で＋黒色処理 轆轤右回転
SB－53 176－4	坏 土師	口径 13.1 器高 4.1 底径 6.2 底完存、体部1/2	胎：粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外) 2.5YR6／8橙色～黒色 (内) 黒色	平底の底部から体部は内弯して立ち上がり、口縁部で僅かに外反する	(外) 体部轆轤による撫で？ 底部回転糸切り？ (内) 轆轤による撫で＋黒色処理？ 轆轤右回転？器面が著しく荒れる。
SB－53 176－5	坏 土師	残高 3.6 底径 10.0 底部1／2	胎：粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外) 7.5YR7／6橙色 (内) 黒色		(外) 体部撫で、底部篦削り＋撫で (内) 黒色処理＋篦磨き？
SB－53 176－6	坏 須恵	残高 7.0 底径 12.2 底部1／2 体部1／7	胎：粗砂粒を僅かに含む 焼：良 色：(外)(内) 5B6／1青灰色	付高台の底部から体部は直立気味に立ち上がる。	(外) 体部轆轤による撫で 底部回転糸切り＋回転篦撫で (内) 轆轤による撫で 轆轤右回転？

第29表　出土遺物一覧表（16）

遺構No. 図版No.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態	整形技法ほか
SB－53 176－7	壺 須恵		胎：0.4の礫を含む 焼：良 色：(外) 5RP2／1紫黒色 (内) 5RP5／1紫灰色	肩部に△帯を巡らせる	(外) △帯部横位の撫で 体部格子目の叩き＋篦撫で (内) 撫で
SB－54 177－1	蓋 土師	抓径 3.1 残高 1.9 抓部のみ	胎：粗砂粒を含む 焼：良 色：(外) 5YR6／8橙色 (内) 黒色	抓部は擬宝珠形を呈する	(外) 撫で (内) 撫で＋黒色処理
SB－54 177－2	盤？ 須恵	残高 3.3 底部～脚部 1／2	胎：0.3の礫を含む 焼：良 色：(外) (内) 5B5／1青灰色	脚部はラッパ状に開く	(外) 轆轤による撫で (内) 轆轤による撫で 底部回転の篦撫で
SB－54 177－3	壺？ 須恵	残高 2.2 底形 9.2 1／2	胎：粗砂粒を含む 焼：良 色：(外) N－7灰白色 (内) N－6灰色	高台は「ハの字」状に踏ん張る	(外) 高台部轆轤による撫で 底部回転篦削り＋撫で (内) 轆轤による撫で
SB－56 178－1	坏 土師	口径 14.0 器高 4.6 底径 7.3 1／4	胎：粗砂粒を含む 焼：良 色：(外) 5YR6／4にぶい橙色 (内) 黒色	体部は僅かに内弯して立ち上がる	(外) 撫で (内) 黒色処理＋篦磨き
SB－56 178－2	坏 須恵	口径 12.8 器高 3.8 底径 5.9 底1/2体部1/6	胎：0.3の礫・粗砂粒を含む 焼：良（不完全な還元焔焼成） 色：(外) (内) 5B3／1暗青灰色～5R3／1暗赤灰色	平底の底部から体部は稜を有して外傾する	(外) 体部轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で 轆轤右回転
SB－56 178－3	坏 須恵	口径 14.5 器高 4.0 底径 7.8 底1/2体部1/8	胎：粗砂粒を僅かに含む 焼：良 色：(外) (内) 5B6／1～7／1青灰色～明青灰色	平底の底部から体部は直線的に外傾する	(外) 体部轆轤による撫で＋撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で 轆轤右回転
SB－56 178－4	坏 須恵	口径 13.5 器高 4.4 底径 8.3 1／2	胎：粗砂粒を含む 焼：良 色：(外) 5BG3／1～6／1暗青灰色～青灰色 (内) 5B6／1青灰色	付高台の底部から体部は真っ直ぐ立ち上がり、口唇部に稜を有する	(外) 体部轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で 轆轤左回転
SB－57 179－1	坏 須恵	口径 14.0 器高 3.6 底径 7.2 底1/2体部1/3	胎：礫を含む 焼：良 色：(外) 7.5Y6／1灰色 (内) 5BG5／1青灰色	上げ底の底部から体部は外面に稜を有して外傾する	(外) 体部轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で
SB－57 179－2	坏 須恵	口径 11.4 器高 3.6 底径 5.8 底1/2体部1/4	胎：粗砂粒をごく僅かに含む　精良 焼：良 色：(外) 5B7／1～5／1明青灰色～青灰色 (内) 5B7／1～6／1青灰色	平底の底部から体部は凹凸を有して外傾する	(外) 体部半載竹管状の工具による削り＋轆轤による撫で　底部回転糸切り＋篦調整 (内) 轆轤による撫で 轆轤右回転
SB－57 179－3	坏 須恵	残高 2.5 底径 6.2 底部1／2	胎：粗砂粒を含む 焼：良 色：(外) (内) 5B7／1明青灰色	僅かに上げ底の底部	(外) 体部轆轤による撫で＋撫で 底部回転糸切り＋篦調整 (内) 轆轤による撫で 轆轤右回転
SB－57 179－4	坏 須恵	残高 1.5 底径 6.7 底部完存	胎：礫・粗砂粒を含む 焼：良 色：(外) (内) 5BG6／1青灰色	上げ底の底部	(外) 体部轆轤による撫で＋撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で 轆轤右回転・内面に火襷
SB－57 179－5	坏 須恵	残高 1.5 底径 6.8	胎：礫・粗砂粒を含む 焼：良 色：(外) (内) 5BG6／1青灰色	上げ底の底部	(外) 体部轆轤による撫で＋撫で 底部回転篦切り＋篦調整 (内) 轆轤による撫で
SB－57 179－6	甕 土師	口径 22.6 残高 12.1 口縁部～胴部1／4	胎：粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外) 5YR6／6橙色 (内) 5YR6／4にぶい橙色	口辺部は「コの字」状に外反する	(外) 口辺部撫で 胴部上位横位の篦削り (内) 撫で

第30表　出土遺物一覧表（17）

遺構No. 図版No.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態	整形技法ほか
SB－57 179－7	坏？ 須恵	残高 2.1 底径 8.7 底部1／2	胎：粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外) 5PB6／1青灰色 (内) 5B6／1青灰色		(外) 体部轆轤による撫で＋撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で 内面に火襷を有する。器種は不詳
SB－58 180－1	坏 土師	口径 14.9 器高 4.8 底径 5.3 ほぼ完存	胎：粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外) (内) 5YR7／6橙色	平底の底部から体部はごく僅かに内弯して開く	(外) 体部横位の撫で 底部篦削りの後撫で (内) 横位の撫で 轆轤による成形か？
SB－58 180－2	坏 須恵	口径 16.5 器高 3.8 底径 6.9 底1/2体部1/4	胎：粗砂粒を含む 焼：良 色：(外) (内) 5B7／1明青灰色	上げ底の底部から体部は直線的に開く	(外) 体部轆轤による撫で＋撫で 底部回転糸切り＋篦調整 (内) 轆轤による撫で 轆轤右回転
SB－58 180－3	坏 須恵	口径 13.9 器高 4.9 底径 6.8 底一部、体部1/3	胎：白色粗砂粒を含む 焼：良 色：(外) (内) 10BG6／1～3／1 青灰色～暗青灰色	平底の底部から体部は外傾して開き、口縁部は肥厚し僅かな段を形作る	(外) 体部轆轤による撫で＋撫で 底部篦削り (内) 轆轤による撫で
SB－58 180－4	甕 土師	口径 16.4 残高 8.6 口縁部～胴部1／4	胎：粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外) 7.5YR7／6橙色 (内) 7.5YR6／4にぶい橙色	口辺部は「くの字」状に外反する	(外) 口縁部横位の撫で 胴部縦位の篦削りの後撫で (内) 横位の撫で
SB－59 181－1	坏 須恵	口径 13.2 器高 3.9 底径 6.7 底4/5体部1/4	胎：粗砂粒をごく僅かに含む 焼：良 色：(外) (内) 7.5Y6／3オリーブ黄色～7.5GY6／1緑灰色	平底の底部から体部は外傾して開き、口唇部で短く僅かに外反する	(外) 体部轆轤による撫で 底部回転糸切り＋篦調整 (内) 轆轤による撫で
SB－59 181－2	坏 須恵	口径 14.2 残高 3.9 体部1／4	胎：粗砂粒をごく僅かに含む 焼：良 色：(外) (内) 7.5R5／3にぶい赤褐色～5／1赤灰色、5GY6／1オリーブ灰色		(外) 轆轤による撫で (内) 轆轤による撫で
SB－59 181－3	甕 土師	口径 16.0 残高 10.6 4／5	胎：粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外) 5YR6／8橙色 (内) 5YR7／4にぶい橙色	粘土帯積み上げ 口辺部は「コの字」状に外反する	(外) 口辺部横位の撫で 胴部上位横位・斜位の篦削り (内) 撫で －4と同一個体か
SB－59 181－4	甕 土師	残高 6.3 底径 4.2	胎：粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外) 5YR6／8橙色 (内) 5YR7／4にぶい橙色	粘土帯積み上げ 丸底に近い底部	(外) 胴部下位斜位の篦削りの後撫で 胴部最下位横位・斜位の篦削り (内) 撫で －3と同一個体か
SK－03 182－1	坏 土師	口径 15.5 器高 4.7 底径 6.1 1／2	胎：粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外) 5YR7／6橙色 (内) 黒色	上げ底の底部から体部は内弯して立ち上がり、口縁部で外反する	(外) 横位の撫で (内) 黒色処理＋篦磨き？
SK－03 182－2	坏 土師	口径 14.0 器高 4.4 底径 6.0 底完存、体部1/3	胎：粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外) 7.5YR8／2灰白色 (内) 黒色	平底の底部から体部は内弯して立ち上がり、口縁部で外反する	(外) (轆轤による？) 横位の撫で 底部回転糸切り (内) 黒色処理＋丁寧な篦磨き 轆轤右回転
SK－03 182－3	皿 土師	口径 13.2 器高 2.8 底径 6.4 底完存、体部1/2	胎：粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外) 7.5YR8／3浅黄橙色 (内) 黒色	付高台	(外) 器面が荒れ不明 (内) 黒色処理＋篦磨き？
SK－03 182－4	坏 土師	残高 2.2 底径 7.1 底部完存	胎：粗砂粒を僅かに含む 焼：良 色：(外) 2.5YR6／6橙色 (内) 黒色	付高台	(外) 体部横位の篦削り？ 高台部横位の撫で 底部回転篦削り＋撫で (内) 黒色処理＋篦磨き
SK－03 182－5	坏 土師	残高 2.2 底径 6.6 底部完存	胎：粗砂粒を含む 焼：良 色：(外) 5YR8／4淡橙色 (内) 黒色	付高台	(外) 体部横位の撫で、高台部横位の撫で、底部回転糸切り＋撫で (内) 黒色処理 轆轤右回転

第31表　出土遺物一覧表（18）

遺構No. 図版No.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態	整形技法ほか
SK－03 182－6	坏 土師	残高 1.5 底径 7.2 底部3／4	胎：0.5の礫・粗砂粒を含む 焼：やや不良 色：(外) 10YR6／3浅黄橙色 (内) 黒色？(剥離のため不詳)	付高台	(外) 高台部横位の撫で 底部不明 (内) 黒色処理？(剥離のため不詳)
SK－03 182－7	壺 須恵	残高 4.2 底径 10.1 底部1／4	胎：粗砂粒を含む 焼：良 色：(外) (内) 5B6／1～3／1青灰色～暗青灰色	付高台	(外) 体部轆轤による篦削り＋轆轤による撫で、高台部轆轤による撫で＋木口状の工具による「起こし」痕、底部回転篦削り (内) 轆轤による撫で
SK－03 182－8	壺 須恵	残高 3.1 底径 8.0 底部1／2	胎：粗砂粒を含む 焼：良 色：(外) (内) 10GY5／1緑灰色	付高台	(外) 体部轆轤による篦削り＋撫で 高台部横位の撫で、底部篦撫で (内) 体部回転篦撫で 底部指頭によるR沿いの撫で押し
SK－11 183－1	壺？ 須恵	把手部完存 体部僅か	胎：粗砂粒を含む 焼：良（不完全な還元焔焼成） 色：(外) 5R3／1暗赤灰色～7.5R4／4にぶい赤色 (内) 5R3／1暗赤灰色		(外) 体部平行文の叩き＋撫で、把手部左側篦削り＋撫で、把手部右側篦削りの後撫で＋指頭による押圧 (内) 篦削りの後撫で
SK－28 184－1	坏 土師	口径 13.3 器高 4.1 底径 5.5 体部1／4欠	胎：細砂粒を多く含む 焼：良 色：(外) 10R3／1暗赤灰色 (内) 黒色	僅かに上げ底の底部から体部は緩く内弯して開く	(外) 体部轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で＋黒色処理 轆轤右回転
SK－28 184－2	坏 土師	口径 13.2 器高 3.6 底径 5.3 底完存、体部1/2	胎：粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外) 2.5YR7／4淡赤橙色 (内) 黒色	僅かに上げ底の底部から外傾して開く	(外) 横位の撫で 底部回転糸切り？ (内) 黒色処理
SK－31 185－1	坏 土師	口径 13.3 器高4.5 底径 6.2 底完存、体部1/3	胎：粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外) 5YR7／8～7／3橙色～にぶい橙色 (内) 黒色	平底の底部から体部は内弯して立ち上がる	(外) 体部横位・斜位の撫で 底部回転糸切り＋篦調整 (内) 黒色処理＋篦磨き？
SK－31 185－2	坏 土師	口径 13.8 器高 3.7 底径 6.5 底完存、体部1/4	胎：粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外) 7.5YR7／4にぶい橙色～黒色 (内) 黒色	僅かに上げ底の底部から外傾して開く	(外) 体部轆轤による撫で？ 底部切り離し方法不明 (内) 黒色処理＋丁寧な篦磨き
SK－31 185－3	皿 土師	口径 14.7 器高3.1 底径 6.7 口縁部1／3欠	胎：粗砂粒を含む 焼：良 色：(外) (内) 黒色	体部は直線的に外傾し開く	(外) (内) 横位の撫で
SK－31 185－4	坏 土師	口径 15.2 器高 4.7 底径 6.0 底1/2体部1/4	胎：0.5の礫・粗砂粒を含む 焼：良 色：(外) (内) 2.5Y8／4淡黄色～5YR7／6橙色	平底の底部から体部は僅かに内弯して開き、口唇部外面に稜を形成する	(外) 体部不定方向の撫で 底部回転糸切り (内) 不定方向の撫で
SK－31 185－5	坏 須恵	口径 14.0 器高 4.5 底径 8.5 底1/2、体部1/4	胎：粗砂粒を含む 焼：良 色：(外) (内) 5B7／1～6／1明青灰色～青灰色	僅かに上げ底の底部から体部は稜を有して外傾する	(外) 体部轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で 轆轤左回転
SK－31 185－6	甕 土師	口径 13.1 残高 8.2 1／6	胎：粗砂粒を含む 焼：良 色：(外) 10R5／6赤色 (内) 5YR8／4淡橙色	胴部に稜を有し、口辺部は「くの字」状に外反し、口縁部は内弯する	(外) (内) 横位の撫で
SK－32 186－1	坏 土師	口径 11.3 器高 4.0 底径 4.1 底完存、体部2/3	胎：粗砂粒をごく僅かに含む 焼：良 色：(外) (内) 10R6／8赤橙色～5YR7／4にぶい橙色	上げ底の底部から体部は内弯しながら立ち上がり、口縁部で外反する	(外) 横位の撫で 底部回転糸切り (内) 横位の撫で 轆轤右回転、外面に化粧粘土が残る
SK－32 186－2	坏 灰釉陶器	口径 16.4 器高 5.0 底径 7.7 1／4	胎：白色粗砂粒をごく僅かに含む 焼：良 色：(外) 7.5Y8／1灰白色 (内) 7.5Y8／1灰白色～10Y6／2オリーブ灰色	轆轤成形 体部は内弯して開き、口縁部で僅かに外反する	(外) 口縁部～高台部轆轤による撫で＋撫で　底部回転篦撫で (内) 轆轤による撫で 釉はごく薄い

第32表　出土遺物一覧表（19）

遺構No. 図版No.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態	整形技法ほか
SK－35 187－1	坏 灰釉陶器	口径 15.8 器高 4.6 底径 7.0 底完存、体部1/8	胎：精良 焼：良 色：(外) 7.5Y8／1灰白色 (内) 7.5Y8／1灰白色～10Y6／2オリーブ灰色	轆轤成形 体部は内弯して開き、口縁部で僅かに外反する	(外)(内) 轆轤による撫で＋撫で
SD－06 188－1	蓋 須恵	抓径 2.2 器高 3.7 裾径 14.9 裾部1／8欠	胎：0.5の礫・粗砂粒を含む 焼：良 色：(外) (内) 2.5YR4／2灰赤色～5PB2／1青黒色	抓部は宝珠形を呈する	(外) 抓部・天井部下位轆轤による撫で 天井部上位回転篦削り 裾部横位の撫で (内) 轆轤による撫で
SD－06 188－2	蓋 須恵	抓径 3.5 器高 3.2 裾径 19.2 抓完存、天井部1/2	胎：0.4の礫・粗砂粒を僅かに含む 焼：良 色：(外) 5R6／1～3／1赤灰色～暗赤灰色 (内) 5P5／1紫灰色	抓部はボタン状を呈する	(外) 抓部・天井部下位轆轤による撫で 天井部上位回転篦削り (内) 轆轤による撫で 外面に自然釉がかかる。
SD－06 188－3	坏 須恵	口径 14.4 器高 3.9 底径 6.7 ほぼ完存	胎：粗砂粒をごく僅かに含む 焼：良 色：(外) (内) 10BG6／1青灰色	平底の底部から体部は直線的に外傾する 歪みが著しい	(外) 体部轆轤による撫で 底部回転篦削りの後、篦撫で (内) 轆轤による撫で
SD－06 188－4	坏 須恵	口径 14.0 器高 7.1 底径 6.6 口縁部1／4欠	胎：粗砂粒を含む 焼：良 色：(外) (内) 10BG6／1～2／1青灰色～青黒色	平底の底部から体部は直線的に外傾する	(外) 体部轆轤による撫で、底部切り離しの後（方法は不明）胎土を補填し篦調整 (内) 轆轤による撫で 轆轤右回転、火襷あり
SD－06 188－5	坏 須恵	口径 14.8 器高 4.7 口縁部1／2欠	胎：粗砂粒を多く含む 焼：良 色：(外)5B7/1～2/1明青灰色～青黒色 (内)5B6/1～4/1青灰色～暗青灰	丸底状の底部から体部は稜を有して外傾する	(外) 体部轆轤による撫で 底部篦削り (内) 轆轤による撫で 轆轤右回転
SD－06 188－6	坏 須恵	口径 12.8 器高 3.8 底径 5.9 体部1／3欠	胎：細砂粒を多く含む 焼：良 色：(外) 5RP4／1暗紫灰色、5B6／1～3／1青灰色～暗青灰色 (内) 5B3／1暗青灰色	平底の底部から体部は外傾する	(外) 体部轆轤による撫で 底部篦調整 (内) 轆轤による撫で 轆轤右回転、外面に火襷あり
SD－06 188－7	坏 須恵	口径 13.0 器高 4.0 底径 5.4 口縁部1／4欠	胎：粗砂粒を僅かに含む 焼：良 色：(外) 5RP4／1暗紫灰色、5B6／1青灰色、10GY6／1緑灰色 (内) 5RP4／1暗紫灰色	平底の底部から体部は外傾して開く	(外) 体部轆轤による撫で 底部篦切り＋篦撫で (内) 轆轤による撫で 轆轤右回転、内外面に火襷あり
SD－06 188－8	坏 須恵	口径 13.6 器高 4.3 体部1／3欠	胎：0.3の白色礫・粗砂粒を含む 焼：良 色：(外) 5GY6／1オリーブ灰色、N－3暗灰色 (内) 7.5GY6／1緑灰色	不安定な底部から体部は外傾して開き、口縁部で外反する	(外) 体部轆轤による撫で 底部回転篦切り＋篦撫で (内) 轆轤による撫で
SD－06 188－9	坏 須恵	口径 14.0 器高 4.6 1／2	胎：0.6の礫・粗砂粒を含む 焼：良（底部酸化焔焼成） 色：(外) (内) 5YR7／4にぶい橙色～5PB5／1青灰色	丸底の底部から体部は外反して開く	(外) 体部轆轤による撫で 底部回転篦切り＋篦撫で (内) 轆轤による撫で 轆轤右回転
SD－06 188－10	坏 須恵	口径 17.6 器高 7.0 底径 10.6 体部1／4欠	胎：0.4の礫・粗砂粒を僅かに含む 焼：良 色：(外) 10BG4／1暗青灰色	体部は緩く外反しながら開く	(外) 体部轆轤による撫で、高台部横位の撫で、底部回転篦削り (内) 轆轤による撫で 轆轤右回転
SD－06 188－11	坏 須恵	口径 12.2 器高 4.2 底径 6.7 口縁部1／3欠	胎：0.5の礫・粗砂粒を含む 焼：良 色：(外) 5B4／1暗青灰色 (内) 5BG6／1青灰色	体部はいったん内弯して立ち上った後、外反して開く	(外) 体部轆轤による撫で 高台部横位の撫で 底部回転篦削り (内) 轆轤による撫で
SD－06 188－12	鉢 須恵	口径 20.8 器高 9.5 底径 9.0 底1/3、体部1/4	胎：0.3の礫を含む 焼：良 色：(外) 7.5R5／3にぶい赤褐色～5B4／1暗青灰色 (内) 5PB3／1暗青灰色	平底の底部から体部は直線的に開き、頸部で窄まり、口縁部で外反する	(外) 口縁部横位の撫で、頸部～体部上位轆轤による撫で、体部下位回転篦削りの後篦調整、底部篦削り＋撫で (内) 轆轤による撫で
SD－06 188－13	鉢 須恵	口径 16.5 器高 9.9 底径 8.1 底1/2、体部1/4	胎：粗砂粒を含む 焼：良（不完全な還元焔焼成） 色：(外) 5PB3／1暗青灰色 (内) 5R5／1赤灰色	粘土帯積み上げ 頸部から口縁部で「くの字」状に屈曲する	(外) 体部轆轤による撫で、体部下位篦調整、底部篦削り＋撫で (内) 轆轤による撫で

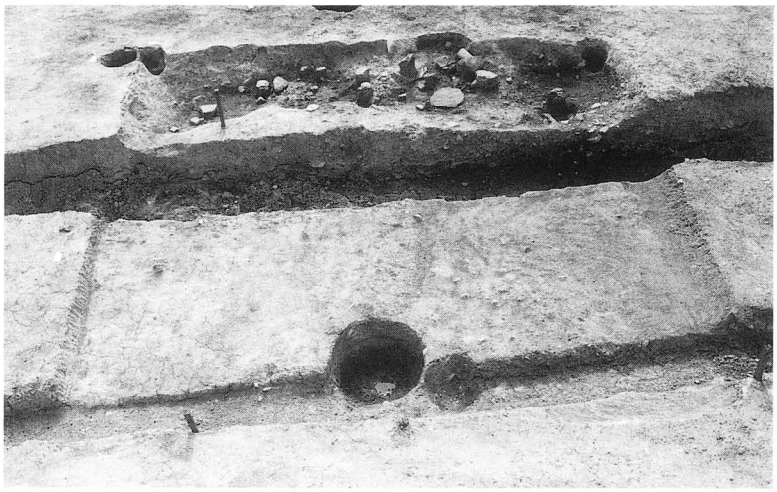
第33表　出土遺物一覧表（20）

遺構No. 図版No.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態	整形技法ほか
SD－07 189－1	? 須恵	残高 2.1 高台径 9.3	胎：粗砂粒を僅かに含む 焼：良 色：(外)(内) 5B6／1 青灰色	高台付坏に脚が付いた器形か　脚部を内下から外上の方向で欠いている	高台部横位の撫でほか轆轤による撫で
G－30g 190－1	甕 須恵	胴部上位の一部	胎：粗砂粒を僅かに含む 焼：良 色：(外) 5PB5／1 青灰色 (内) 10GY6／1 緑灰色		(外) 平行文の叩きの後頸部下位を轆轤による撫で (内) 木口状工具による撫で 『久』?の刻書

第34表　出土遺物一覧表（21）

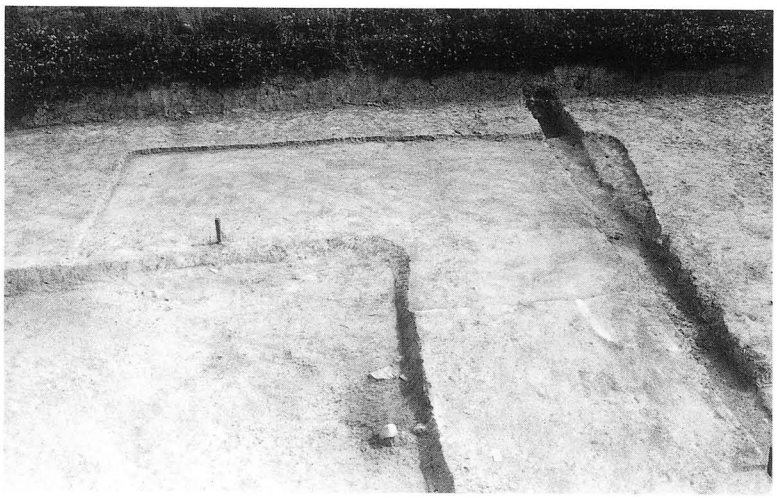
写 真 図 版

高田遺跡周辺航空写真



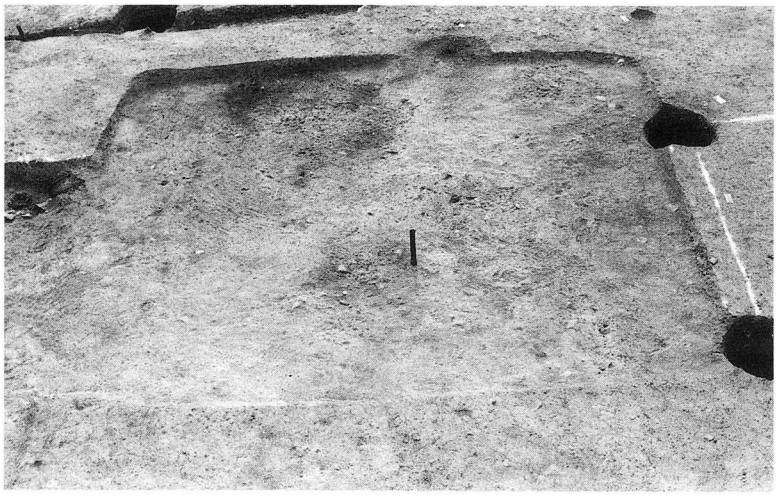
SB－01（E）

SB－01竈（W）



SB－02（S）
手前はSB－03

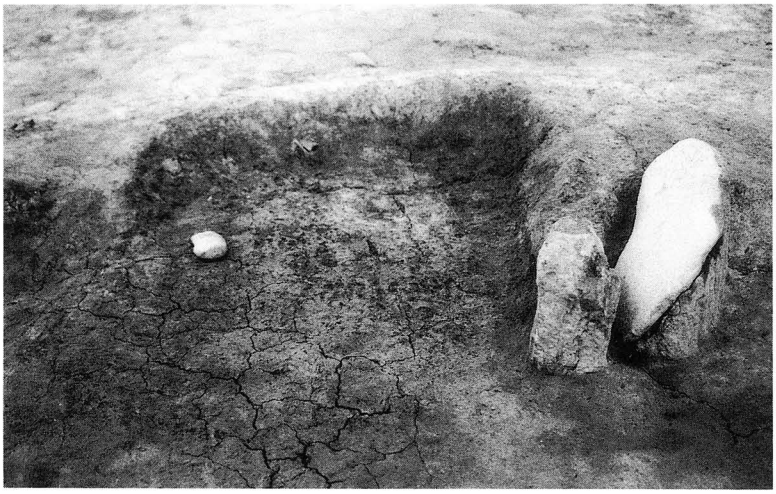
SB－03（W）



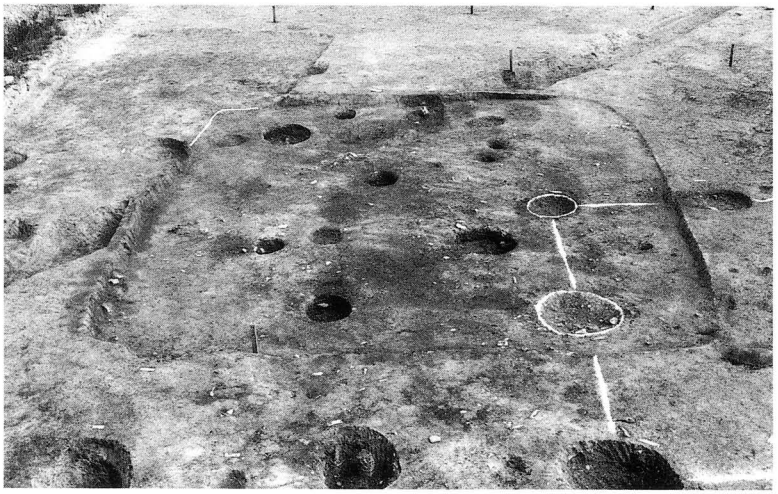
SB－04（W）

SB－05（S）

SB－06（S）



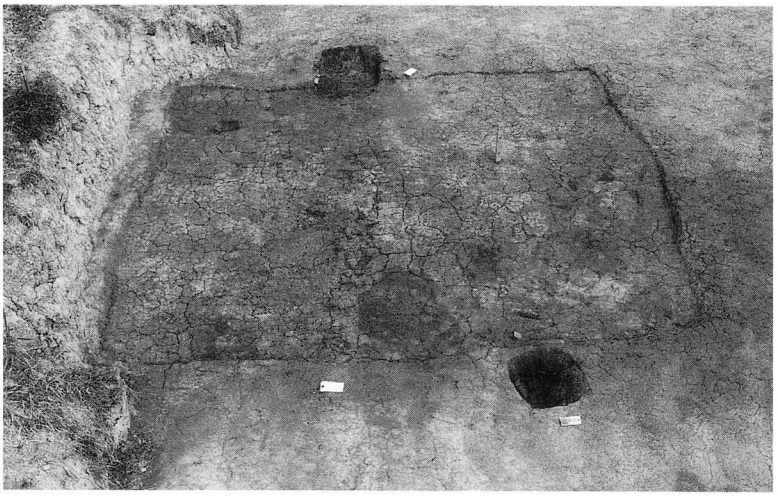
SB－06竈（S）



SB－07（S）

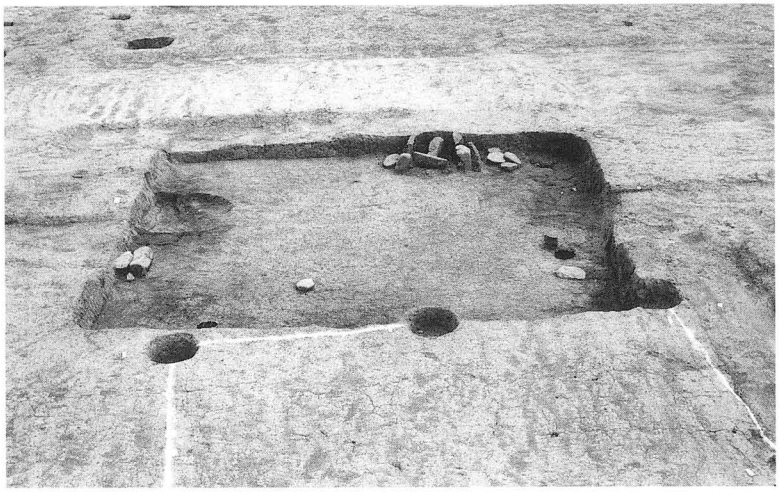
図版 5

SB－08（W）



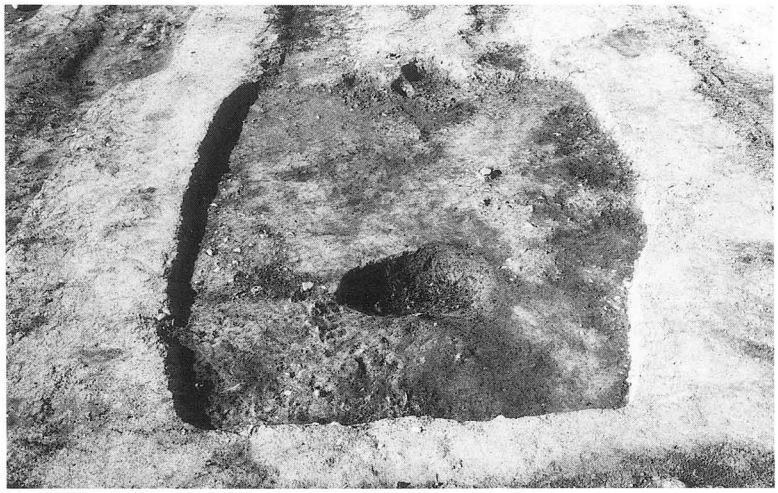
SB－13（S）

SB－13竈（S）



SB－21（W）

SB－21竈（W）

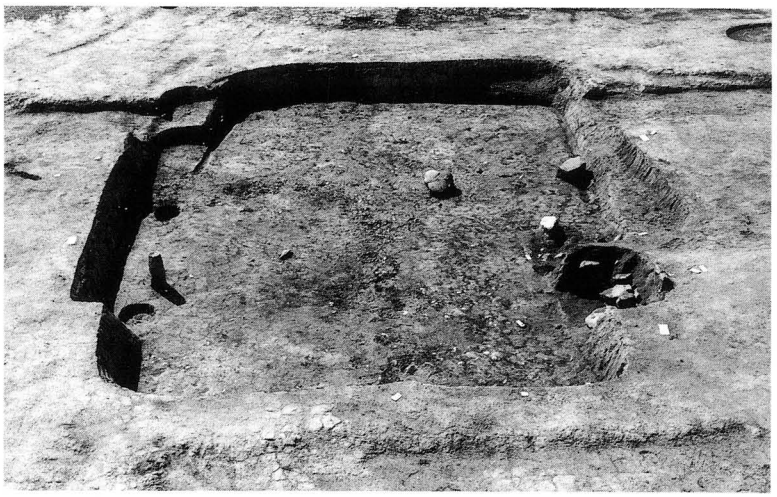


SB－22（S）

図版 7

SB－23（W）
手前はSB－27

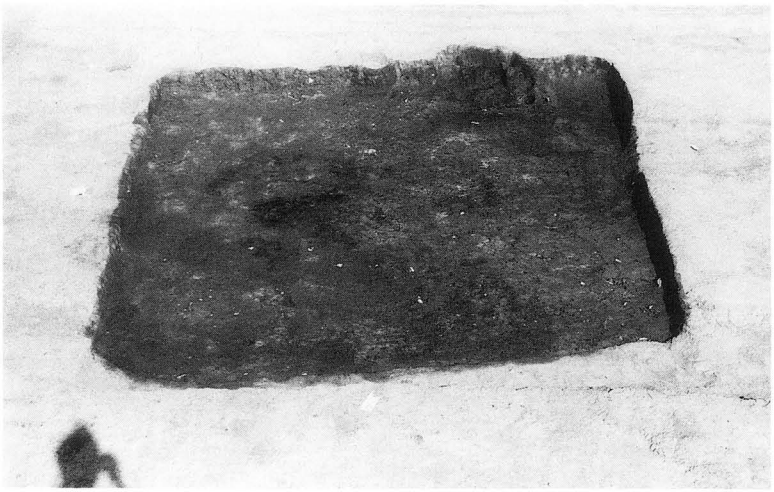
SB－24.25.26（S）



SB－24.25.26（E）

SB－25竈（S）

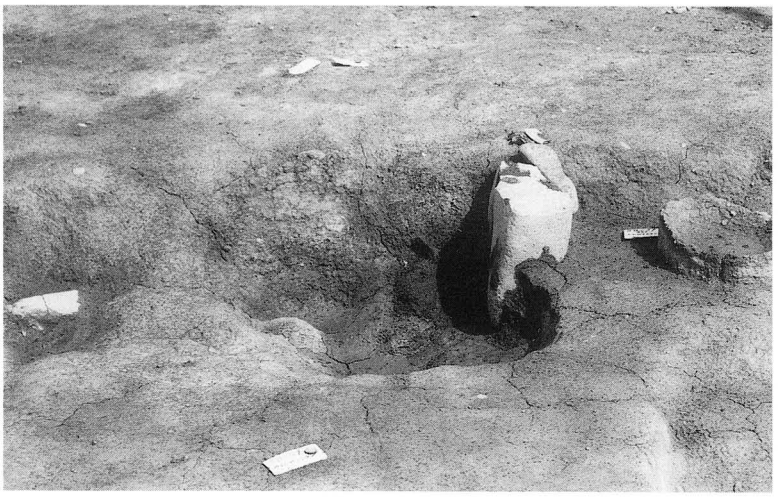
SB－27（W）



SB－28（W）

図版 9

SB－29（W）

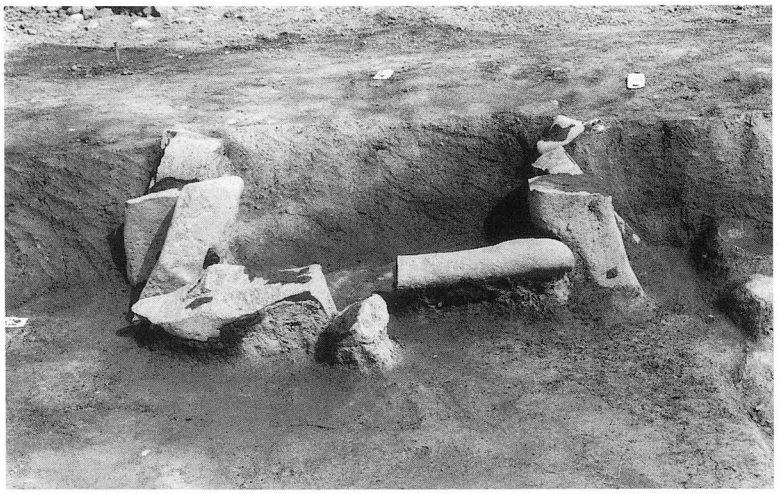


SB－29竈（W）

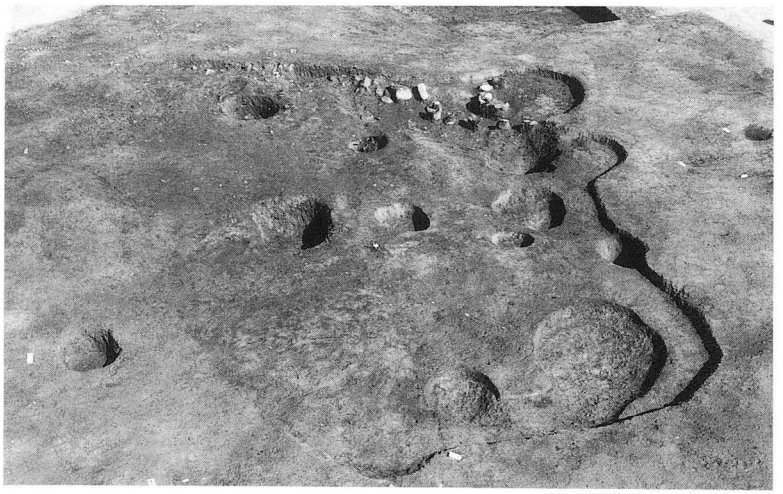
SB－30（SW）

SB－31（S）
手前はSB－30.59
右奥はSB－32

SB－32（W）
手前はSB－31



SB－32竈（W）

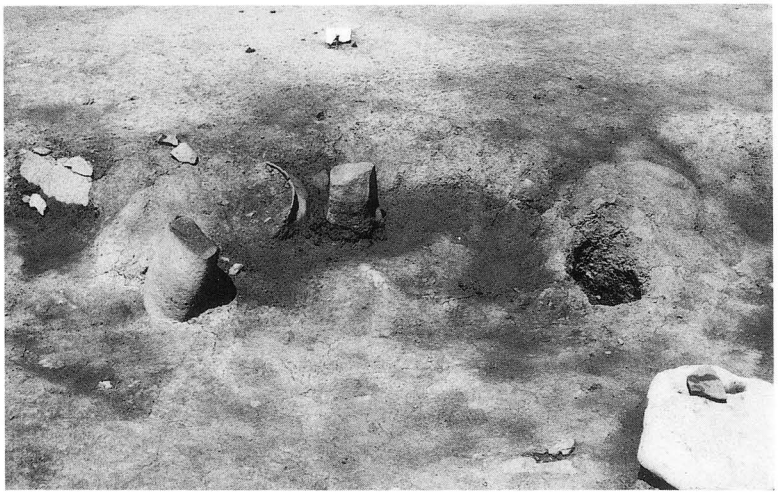


SB－33（W）

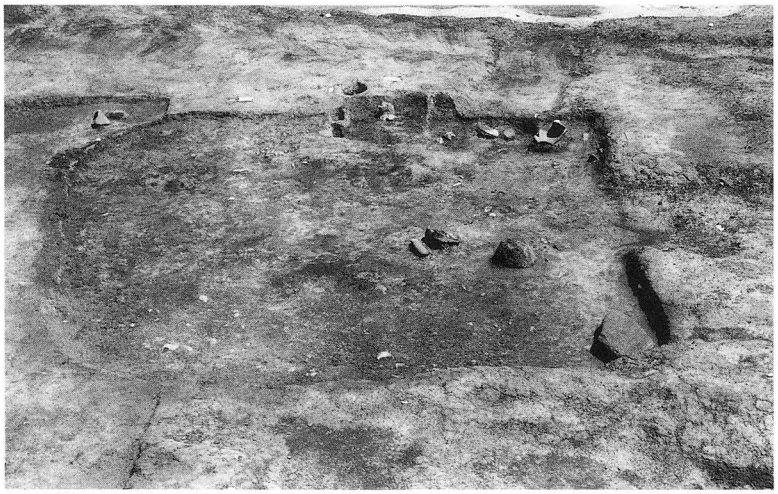
SB－34（W）

SB－35（S）

SB－36（S）
手前はSB－37



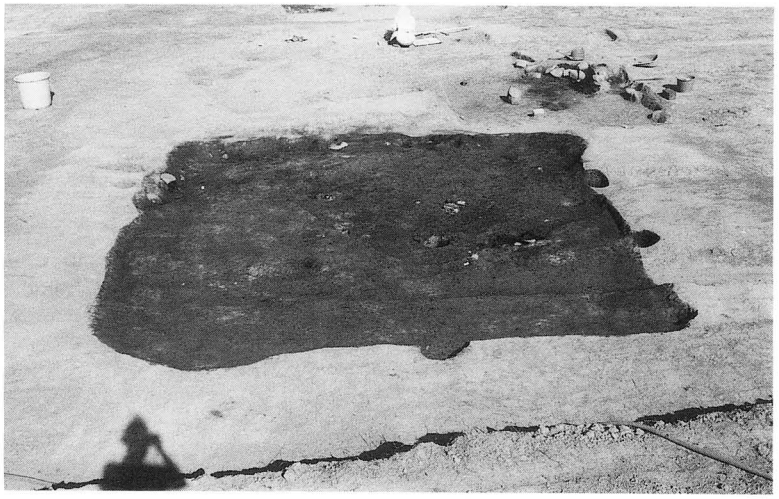
SB－36竈（S）



SB－37（W）

図版13

SB－37遺物出土状況（W）

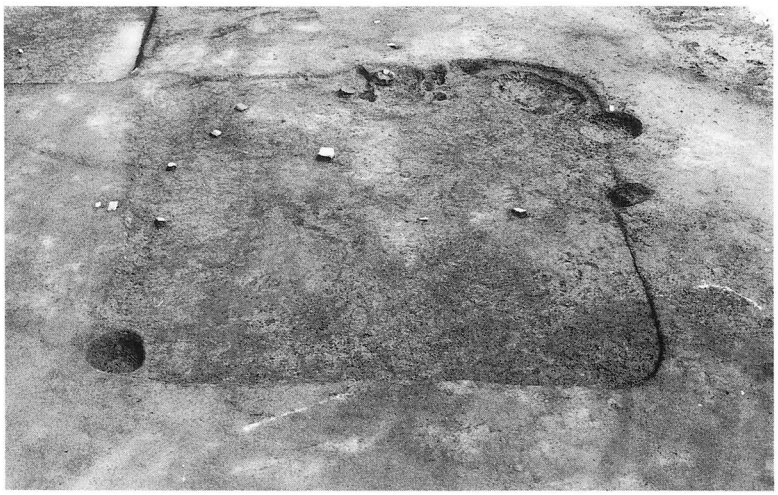


SB－39（W）

SB－39遺物出土状況（N）

SB－40（SE）

SB－40竈（SE）

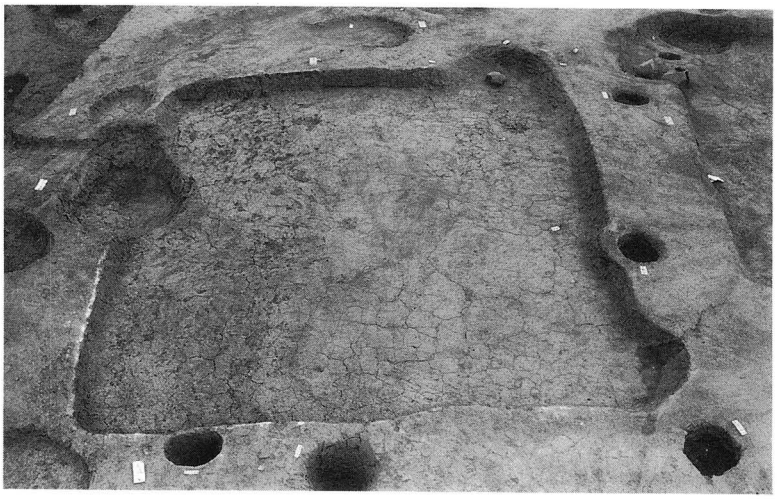


SB－42（W）

図版15

SB－42竈（W）

SB－43（S）



SB－44（W）

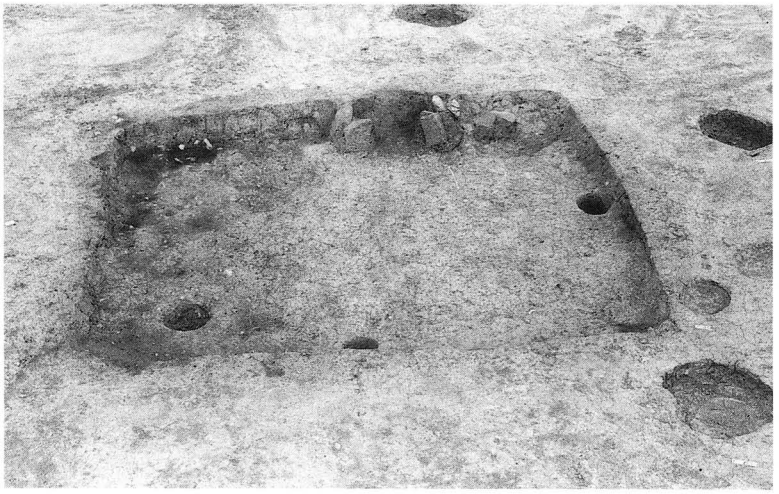
SB－45（S）
右はSB－46

SB－46（W）

SB－46竈（W）

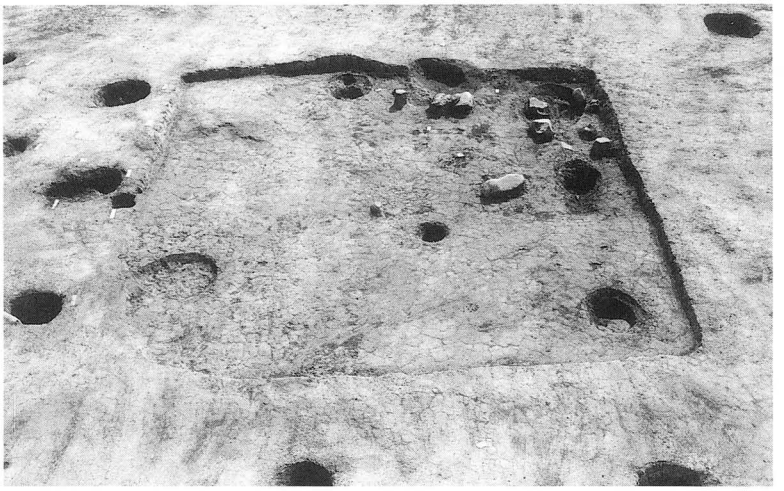
図版17

SB－49（E）



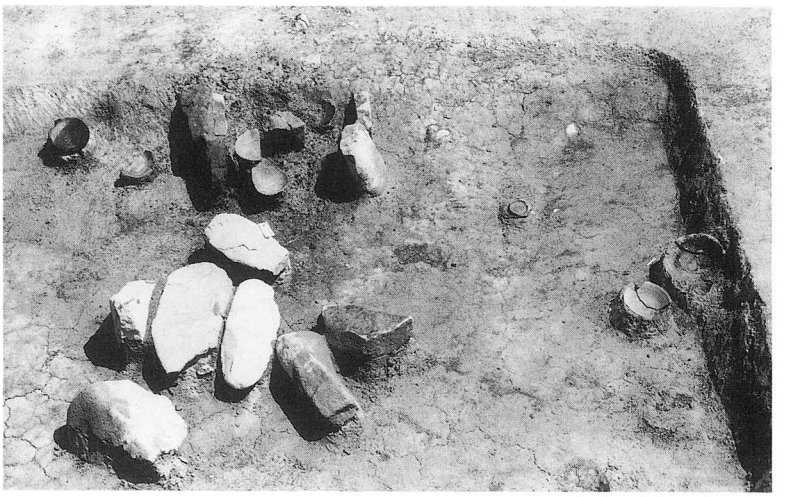
SB－50（S）

SB－50竈（S）

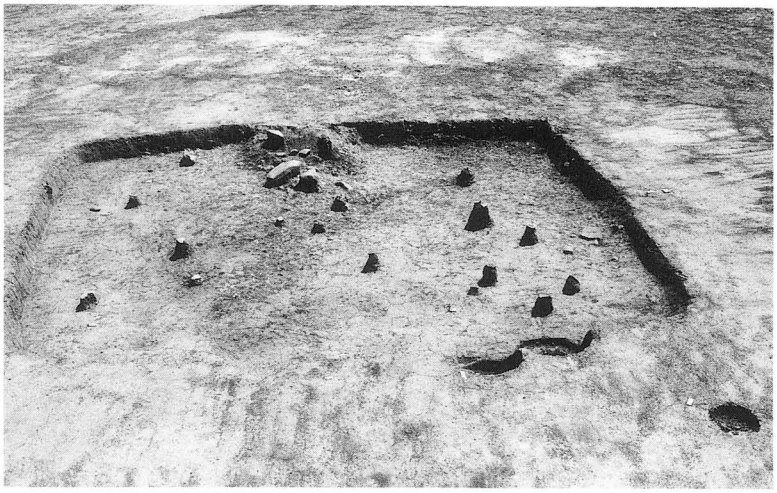


SB－51（W）

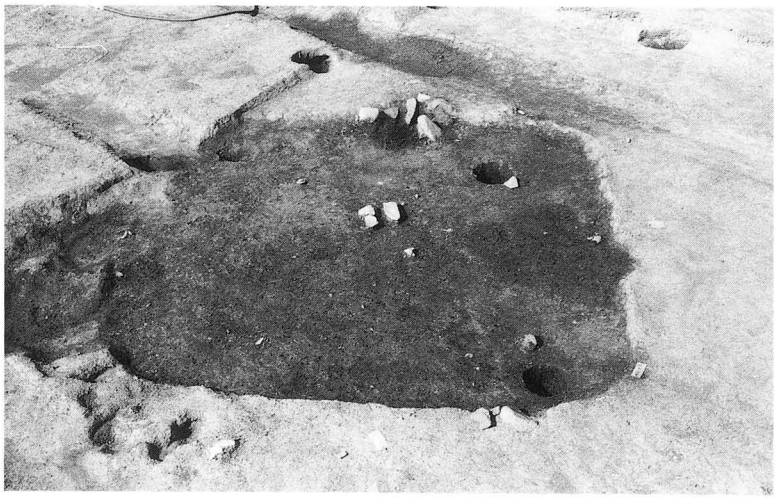
SB－52（W）



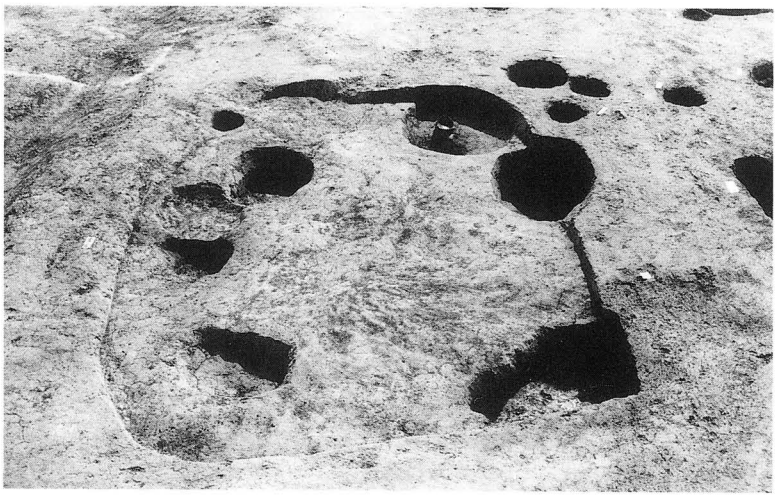
SB－52竈（W）



SB－53（W）



SB－54（NE）



SB－56（W）